

平成 27 年度

第 2 回かわさき市民アンケート

報 告 書

川 崎 市



# 目 次

I 調査概要.....	1
II 調査回答者の属性.....	5
1 第2回アンケートの回答者 .....	7
III 調査結果.....	13
1 定住状況について .....	15
1-1 居住年数.....	15
1-2 定住意向.....	17
1-3 転居意向の理由 .....	20
1-4 転居先の希望 .....	23
2 生活環境の評価について.....	26
2-1 生活環境の満足度.....	26
2-2 総合的な生活環境の満足度.....	37
3 関心ごとと行動範囲について .....	41
3-1 関心を持っていること .....	41
3-2 行動範囲.....	44
4 市政に対する評価と要望について.....	49
4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと .....	49
4-2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと.....	53
4-3 施策や事業の総合的な満足度 .....	57
5 都市農業の振興について.....	60
5-1 川崎の農業に関係する言葉の認知度.....	60
5-2 市内産農産物を購入したい場所 .....	63
5-3 川崎の農業に関する興味のある情報.....	66
5-4 効果的な「食農教育」 .....	69
5-5 観光農園の利用経験と今後の利用意向 .....	72
5-6 援農に対する興味.....	80
5-7 「多摩川梨」について .....	82
5-8 川崎の農業に期待すること .....	85
6 地域を守る消防団員について .....	88
6-1 消防団の認知度 .....	88
6-2 消防団の活動のうちイメージが強い活動 .....	91
6-3 消防団活動の評価.....	94
6-4 消防団への入団希望 .....	97
6-5 入団を希望しない理由 .....	100
6-6 地域でもっと多くの人に入団してもらうために必要なこと .....	103
6-7 女性消防団員に期待する活動 .....	106
6-8 消防団を充実させるための方策 .....	109
6-9 消防団に入団した場合活動できると思う時間帯 .....	112

7	サービス産業に対する消費について .....	115
7-1	1 か月間の消費状況について .....	115
7-2	1 か月間の市内での消費割合 .....	121
7-3	半年間の消費状況について.....	127
7-4	半年間の市内での消費割合.....	133
IV	調査票.....	142

# I 調査概要



## 1. 調査の目的

「かわさき市民アンケート」は、昭和 50 年度から毎年 1 回 1,500 人を対象として行っていた「市民意識実態調査」を、より高くのテーマ、より高くの対象に調査するため、調査回数を年 2 回、各回 3,000 人の市民を対象にした調査に拡充し、名称を変更して平成 18 年度から実施することとしたものである。

本調査では、「定住状況について」「生活環境の評価について」「関心ごとと行動範囲について」「市政に対する評価と要望について」「都市農業の振興について」「地域を守る消防団員について」「サービス産業に対する消費について」のテーマについて、市民の生活意識や行政に対する意識を調査し、市政運営や政策立案の参考資料とすることを目的として実施した。

## 2. 調査の方法

- (1) 調査の地域 川崎市全域
- (2) 調査の対象者 川崎市在住の満 20 歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (4) 標本数 3,000 標本（平成 27 年 10 月抽出）
- (5) 調査方法 郵送法（郵便配布－郵送回収・はがき督促を 1 回）  
※インターネット回答との併用
- (6) 調査期間 平成 27 年 11 月 5 日（木）～ 11 月 26 日（木）
- (7) 調査委託機関 株式会社 アストジェイ

## 3. 調査項目

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 定住状況について	(問 1～問 2-2)
(2) 生活環境の評価について	(問 3～問 4)
(3) 関心ごとと行動範囲について	(問 5～問 6)
(4) 市政に対する評価と要望について	(問 7～問 8)
(5) 都市農業の振興について	(問 9～問 16)
(6) 地域を守る消防団員について	(問 17～問 24)
(7) サービス産業に対する消費について	(問 25①～問 26③)

## 4. 回収状況

(1) 標本数	3,000 標本
(2) 有効回収数	1,300
(3) 有効回収率	43.3%

## 5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数 (n) は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) 回答数が 30 未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

## 6. 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (p) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母集団数 (川崎市の20歳以上人口)  
n=比率算出の基数 (回答者数)  
p=回答の比率 (%)

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率(p) 基数 (n)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,400	±2.27%	±3.02%	±3.46%	±3.70%	±3.78%
1,300	±2.35%	±3.14%	±3.59%	±3.84%	±3.92%
1,000	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注/この表の見方

標本誤差とは、今回のように全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が 1,400 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±3.70%以内 (56.30~63.70%) である」とみることができる。

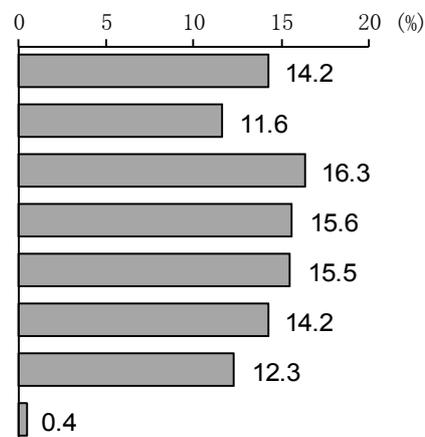
## Ⅱ 調査回答者の属性



# 1 第2回アンケートの回答者

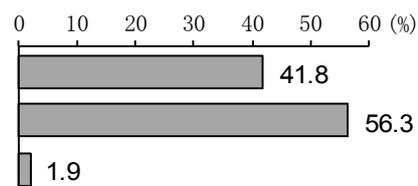
## 1 居住区

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	184	14.2
2 幸区	151	11.6
3 中原区	212	16.3
4 高津区	203	15.6
5 宮前区	201	15.5
6 多摩区	184	14.2
7 麻生区	160	12.3
(無回答)	5	0.4
全 体	1,300	100.0



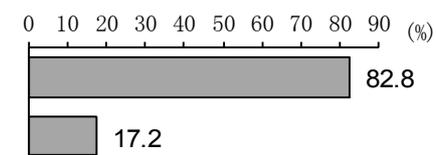
## 2 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	543	41.8
2 女性	732	56.3
(無回答)	25	1.9
全 体	1,300	100.0



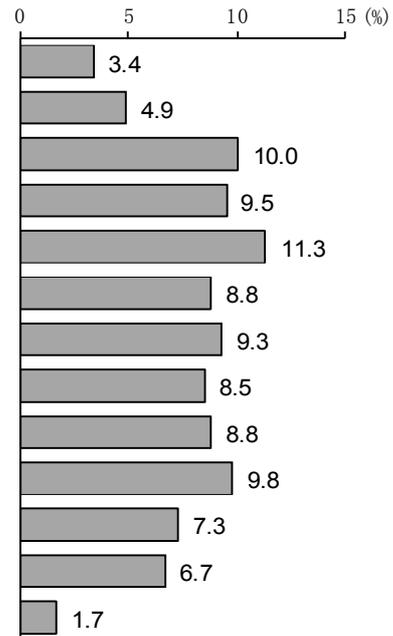
## 3 回答方法別

	基数(人)	構成比(%)
1 郵送	1,077	82.8
2 インターネット	223	17.2
全 体	1,300	100.0



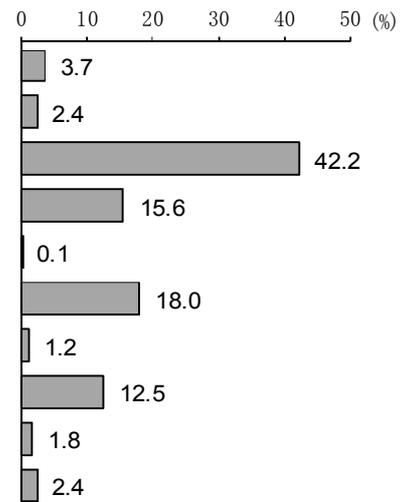
#### 4 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1 20～24歳	44	3.4
2 25～29歳	64	4.9
3 30～34歳	130	10.0
4 35～39歳	124	9.5
5 40～44歳	147	11.3
6 45～49歳	115	8.8
7 50～54歳	121	9.3
8 55～59歳	110	8.5
9 60～64歳	114	8.8
10 65～69歳	127	9.8
11 70～74歳	95	7.3
12 75歳以上	87	6.7
(無回答)	22	1.7
全 体	1,300	100.0



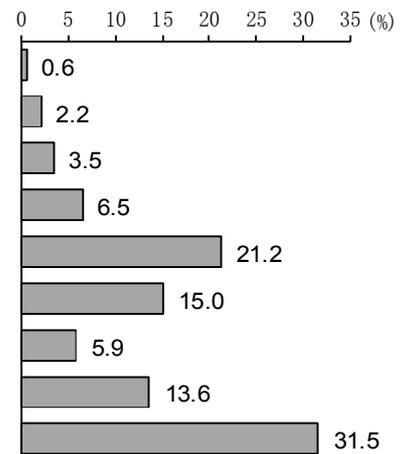
#### 5 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 自営業主	48	3.7
2 家族従業(家事手伝い)	31	2.4
3 勤め(全日)	549	42.2
4 勤め(パートタイム)	203	15.6
5 内職	1	0.1
6 主婦・主夫(家事専業)	234	18.0
7 学生	16	1.2
8 無職(収入が年金のみの方を含む)	163	12.5
9 その他	24	1.8
(無回答)	31	2.4
全 体	1,300	100.0



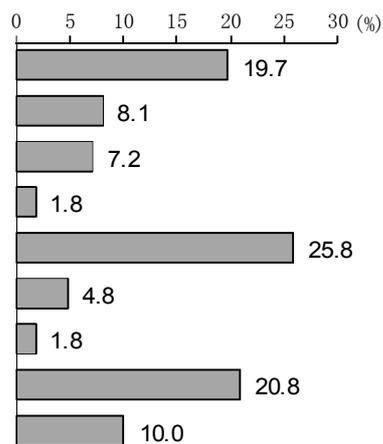
#### 6 具体的な職業内容

	基数(人)	構成比(%)
家 族 自 営 主 ・ 従 業 者	1 農林漁業	5 0.6
	2 商工サービス業	18 2.2
	3 自由業	29 3.5
パ ー ト 勤 め ( 全 日 ・ タ イ ム )	4 経営・管理職	54 6.5
	5 専門・技術職	176 21.2
	6 事務職	125 15.0
	7 技能・労務職	49 5.9
	8 販売・サービス職	113 13.6
(無回答)	262	31.5
全 体	831	100.0



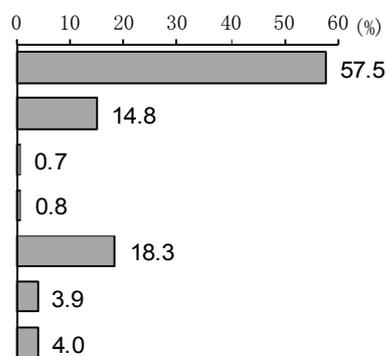
## 7 通勤先・通学先

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎市内（お住まいと同じ区）	256	19.7
2 川崎市内（お住まいと別の区）	105	8.1
3 横浜市	94	7.2
4 神奈川県内（川崎市・横浜市以外）	23	1.8
5 東京都（23区内）	335	25.8
6 東京都（23区以外）	63	4.8
7 その他	24	1.8
8 通勤・通学していない	270	20.8
（無回答）	130	10.0
全 体	1,300	100.0



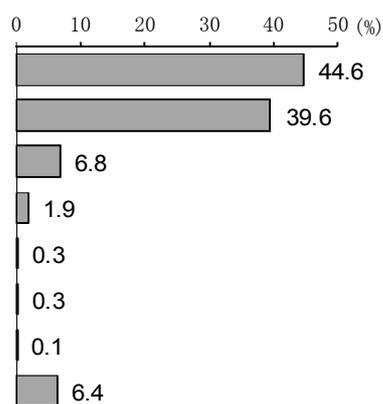
## 8 最寄り駅までの交通手段

	基数(人)	構成比(%)
1 徒歩	747	57.5
2 自転車	193	14.8
3 原付	9	0.7
4 バイク（原付を含まない）	10	0.8
5 バス	238	18.3
6 自動車（送迎含む）	51	3.9
（無回答）	52	4.0
全 体	1,300	100.0



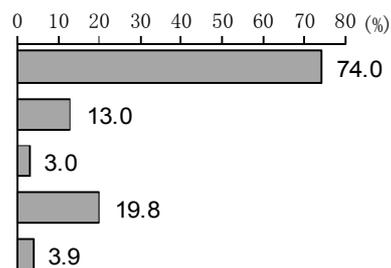
## 9 最寄り駅までの所要時間

	基数(人)	構成比(%)
1 10分未満	580	44.6
2 10分以上20分未満	515	39.6
3 20分以上30分未満	88	6.8
4 30分以上40分未満	25	1.9
5 40分以上50分未満	4	0.3
6 50分以上1時間未満	4	0.3
7 1時間以上	1	0.1
（無回答）	83	6.4
全 体	1,300	100.0



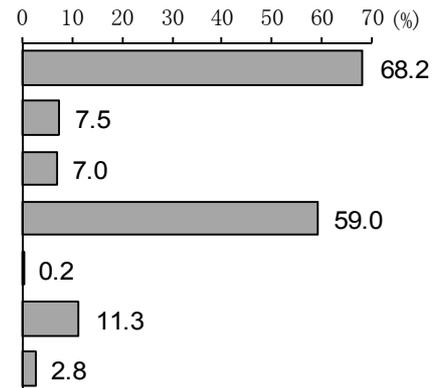
## 10 所持している運転免許（複数回答）

	基数(人)	構成比(%)
1 自動車	962	74.0
2 自動二輪	169	13.0
3 原付のみ	39	3.0
4 運転免許を持っていない	258	19.8
（無回答）	51	3.9
全 体	1,300	100.0



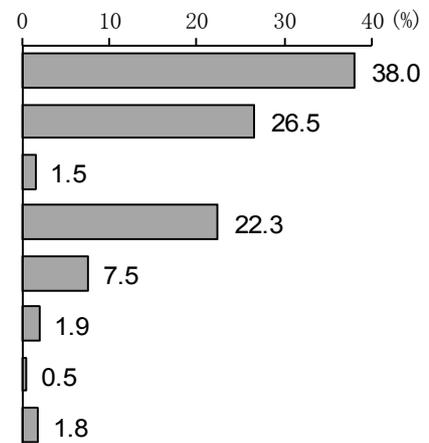
### 11 世帯で所持している交通用具（複数回答）

	基数(人)	構成比(%)
1 自転車	886	68.2
2 原付	98	7.5
3 バイク（原付を含まない）	91	7.0
4 自動車	767	59.0
5 その他	3	0.2
6 いずれも持っていない	147	11.3
（無回答）	37	2.8
全 体	1,300	100.0



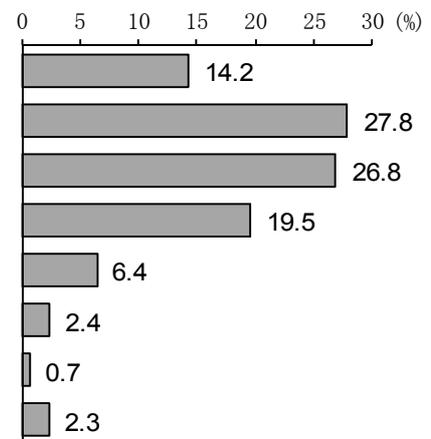
### 12 居住形態

	基数(人)	構成比(%)
1 持ち家（一戸建）	494	38.0
2 持ち家（マンション・集合住宅等）	344	26.5
3 借家（一戸建）	19	1.5
4 借家（マンション・集合住宅等、公営住宅）	290	22.3
5 借家（民間アパート、間借、下宿）	97	7.5
6 社宅・寮・公務員住宅	25	1.9
7 その他	7	0.5
（無回答）	24	1.8
全 体	1,300	100.0



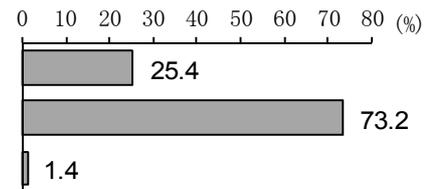
### 13 家族構成

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	184	14.2
2 2人	361	27.8
3 3人	348	26.8
4 4人	254	19.5
5 5人	83	6.4
6 6人	31	2.4
7 7人以上	9	0.7
（無回答）	30	2.3
全 体	1,300	100.0



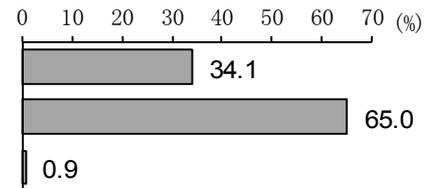
#### 14 中学生以下の子どもの有無

	基数(人)	構成比(%)
1 いる	330	25.4
2 いない	952	73.2
(無回答)	18	1.4
全 体	1,300	100.0



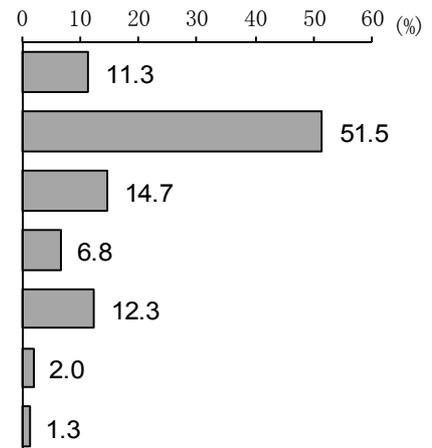
#### 15 65歳以上の方との同居

	基数(人)	構成比(%)
1 いる	443	34.1
2 いない	845	65.0
(無回答)	12	0.9
全 体	1,300	100.0



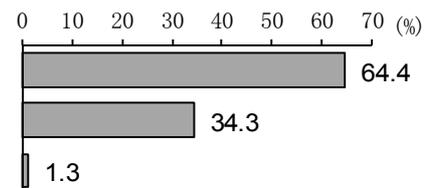
#### 16 地域環境

	基数(人)	構成比(%)
1 オフィスビル、商業ビル、 商店などがある地域	147	11.3
2 古くからの住宅が中心と なっている地域	670	51.5
3 新しく開発された住宅地域	191	14.7
4 住宅と工場が混在している地域	89	6.8
5 まわりに田畑や山林などの 緑が残されている地域	160	12.3
6 その他	26	2.0
(無回答)	17	1.3
全 体	1,300	100.0



#### 17 町内会への加入状況

	基数(人)	構成比(%)
1 加入している	837	64.4
2 加入していない	446	34.3
(無回答)	17	1.3
全 体	1,300	100.0





## Ⅲ 調査結果



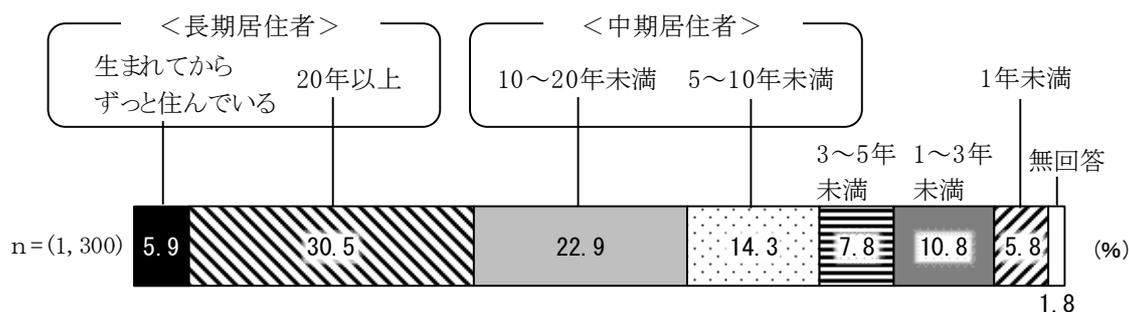
# 1 定住状況について

## 1-1 居住年数

◎＜長期居住者＞が36.4%、＜中期居住者＞が38.5%

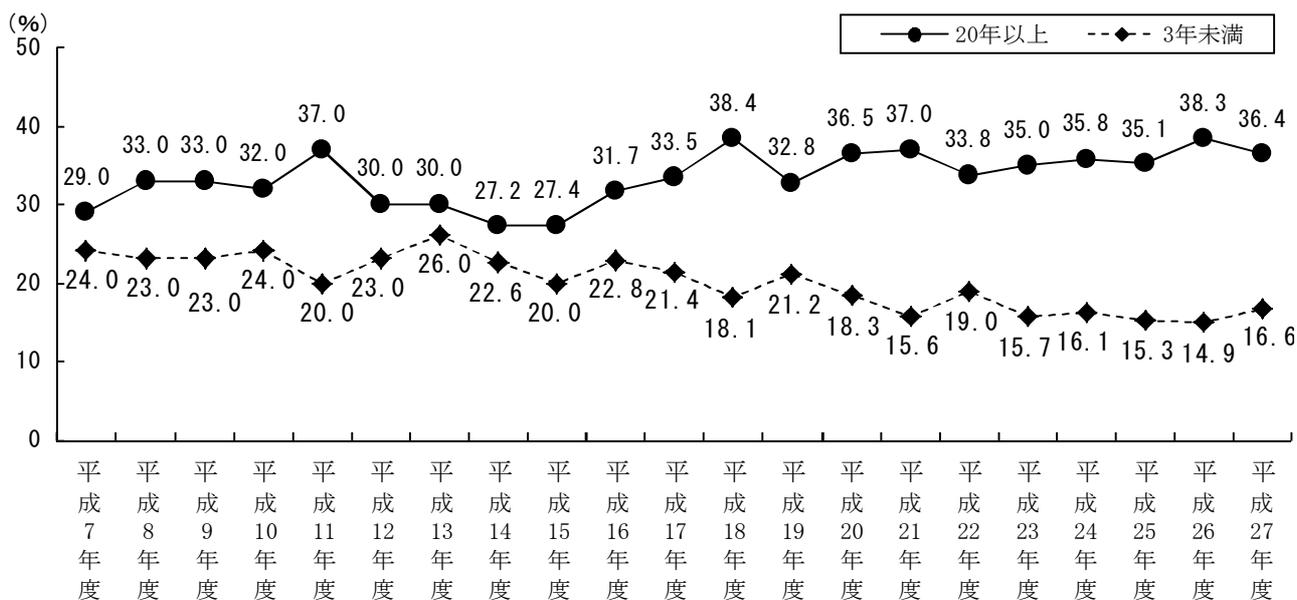
問1 あなたは、今のところにお住まいになって、何年になりますか。(〇は1つだけ)

図表1-1 居住年数



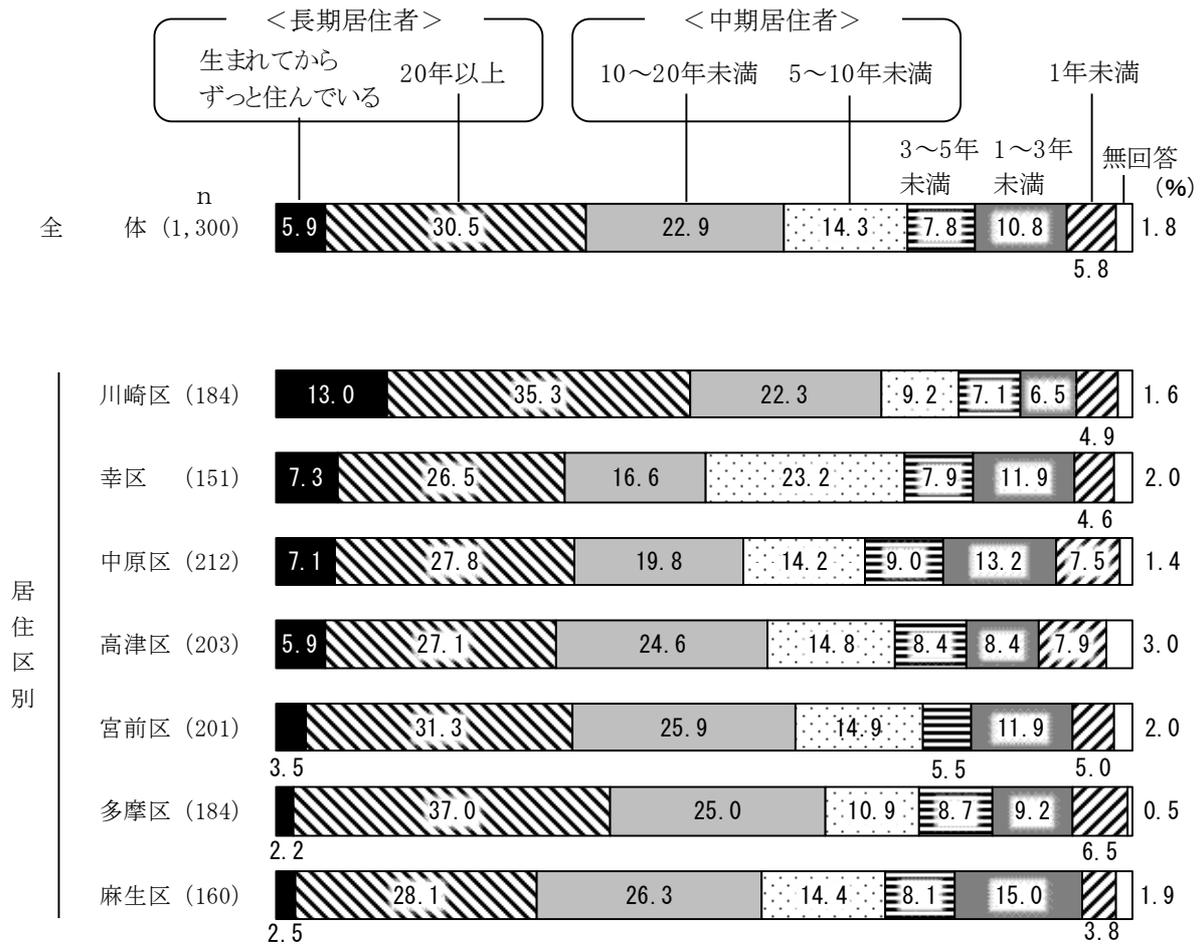
居住年数は、「20年以上」(30.5%)が最も高く、これに「生まれてからずっと住んでいる」(5.9%)を合わせた＜長期居住者＞が36.4%となっている。「5～10年未満」(14.3%)と「10～20年未満」(22.9%)を合わせた＜中期居住者＞は37.2%となっている。

図表1-2 居住年数(経年比較)



過去の推移では、10年前(平成17年度)と比較すると、＜長期居住者は＞33.5%から36.4%と2.9ポイント増加している。「3年未満」は、21.4%から16.6%と減少している。「20年以上」と「3年未満」の割合の差は、10年前の12.1ポイントに対し、今年度は19.8ポイントと増加している。

図表 1 - 3 居住年数（居住区別）



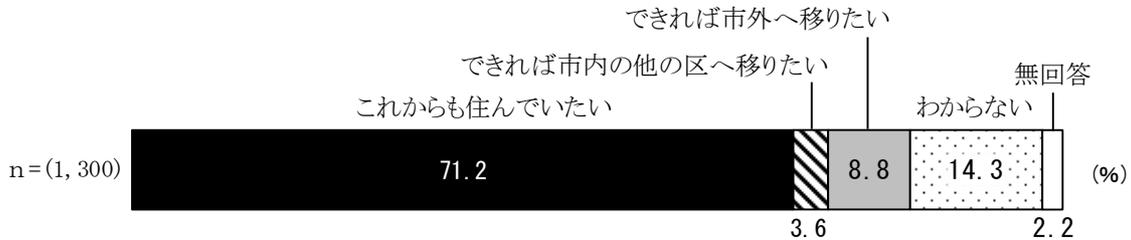
居住区別では、<長期居住者>は、「川崎区」(48.3%)が最も高く、次いで「多摩区」(39.2%)、「中原区」(34.9%)の順となっている。「3年未満」は、中原区(20.7%)が最も高く、次いで麻生区(18.8%)、宮前区(16.9%)の順となっている。

## 1-2 定住意向

◎「これからも住んでいたい」が71.2%

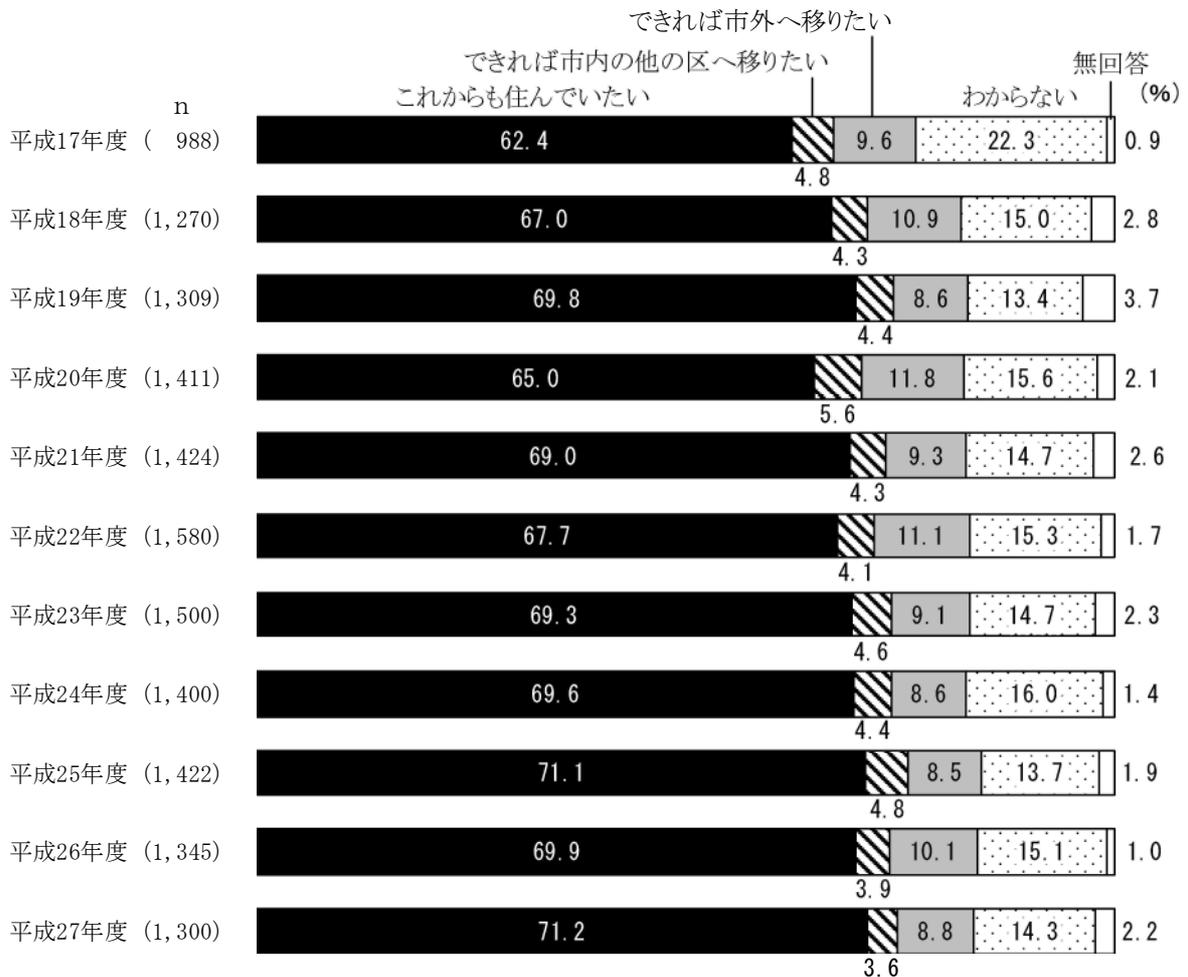
問2 あなたは、これからも今のところにお住まいになりたいですか。(〇は1つだけ)

図表1-4 定住意向



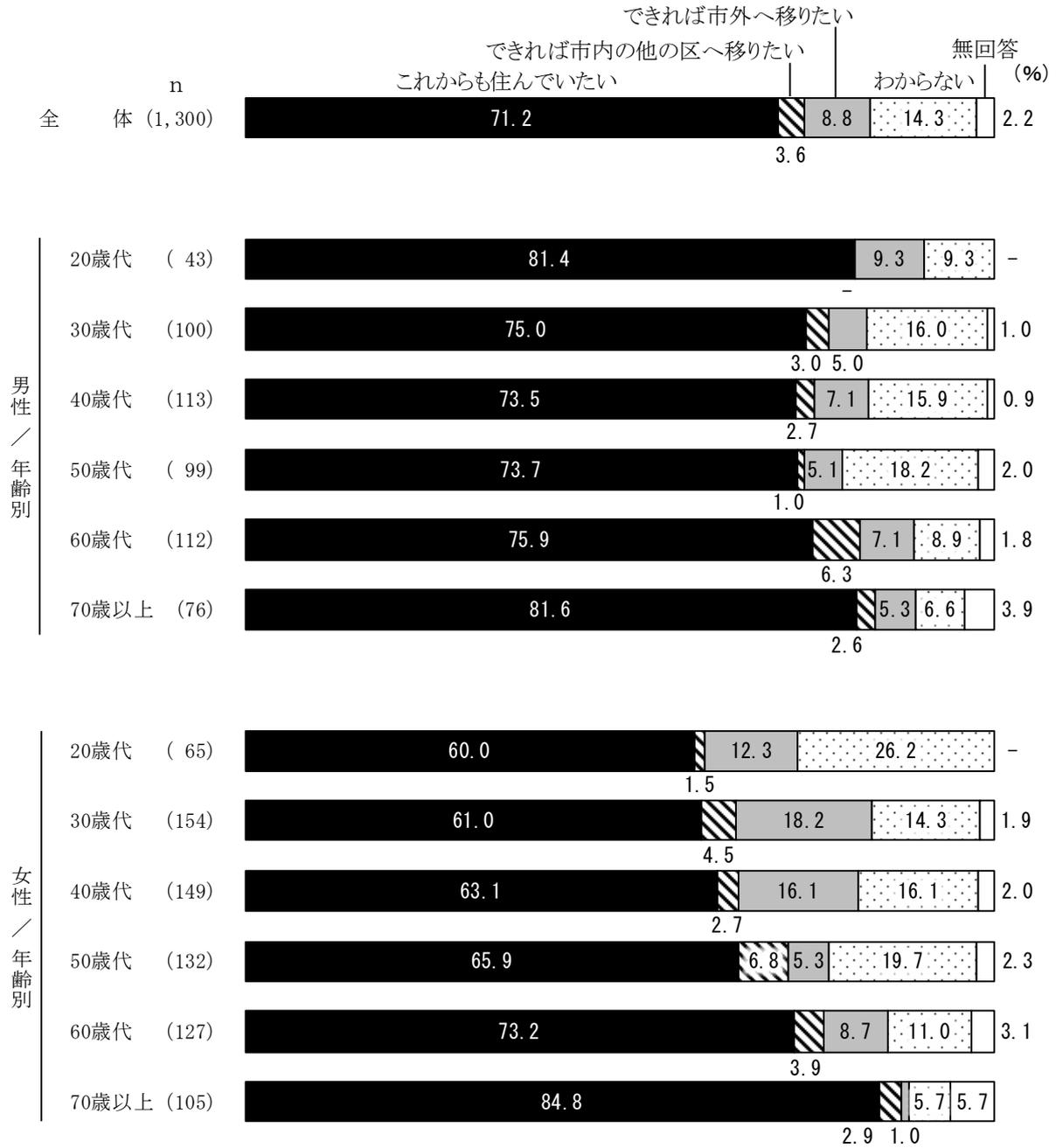
定住意向は、「これからも住んでいたい」(71.2%)が最も高く、「できれば市内の他の区へ移りたい」は3.6%、「できれば市外へ移りたい」は8.8%となっている。

図表1-5 定住意向(経年比較)



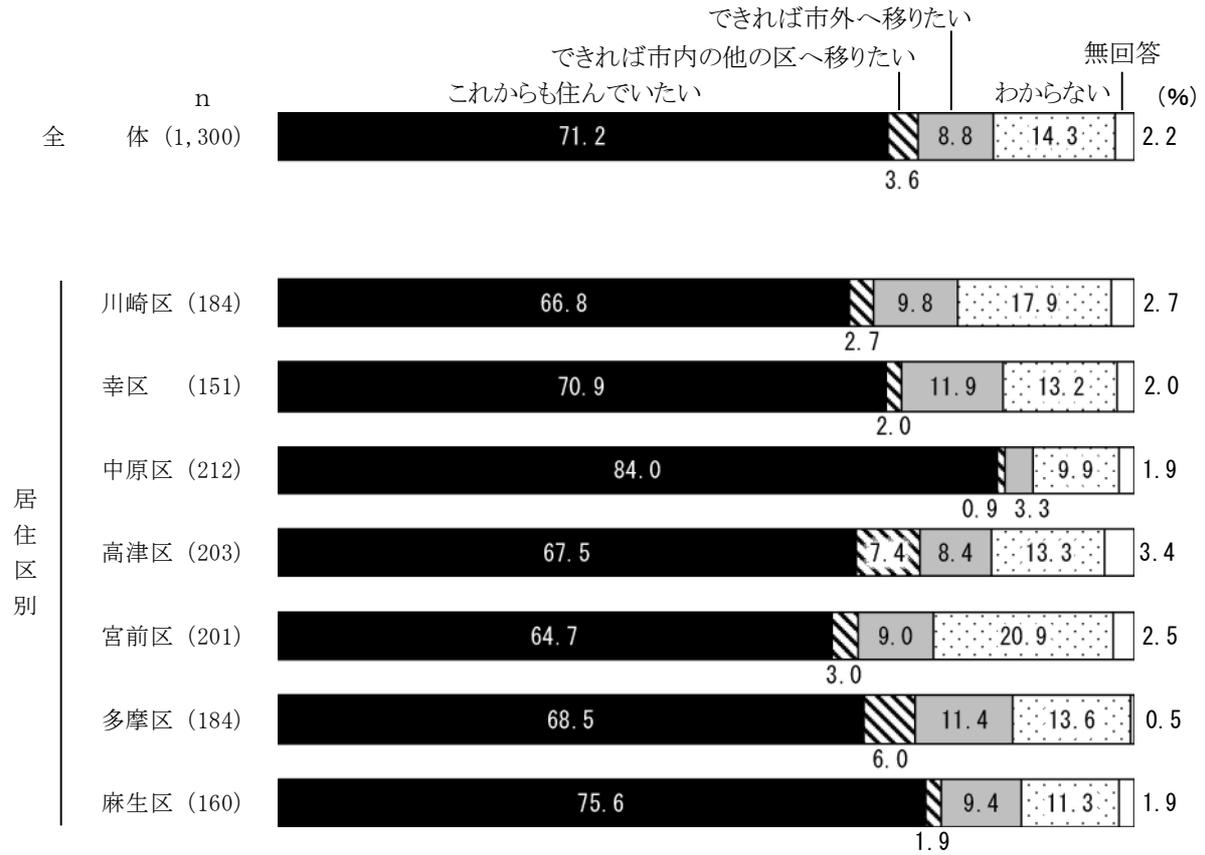
過去の推移では、10年前(平成17年度)と比較すると、「これからも住んでいたい」は、62.4%から71.2%へ8.8ポイント増加している。

図表 1 - 6 定住意向 (性/年齢別)



性/年齢別では、「これからも住んでいたい」は、男女ともにおおむね高い年代ほど高くなる傾向で、男女ともに70歳以上（男性：81.6%、女性：84.8%）が高くなっている。

図表 1 - 7 定住意向（居住区別）



居住区別では、「これからも住んでいたい」は、中原区（84.0%）で最も高く、次いで麻生区（75.6%）、幸区（70.9%）の順となっている。

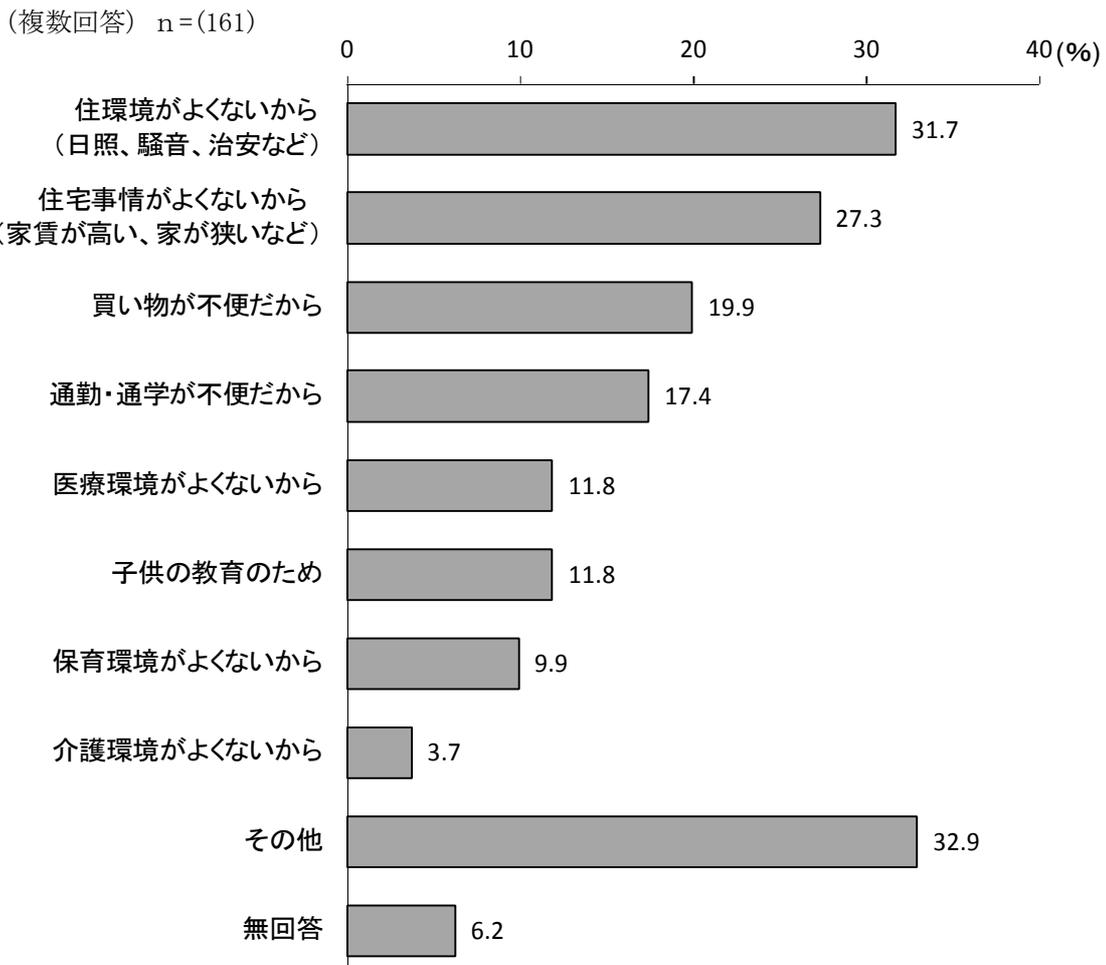
### 1-3 転居意向の理由

◎「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」が31.7%

問2-1 問2で、『できれば市内の他の区へ移りたい』または『できれば市外へ移りたい』と回答された方にうかがいます。あなたが、今のところから移りたい、または移る理由は何ですか。

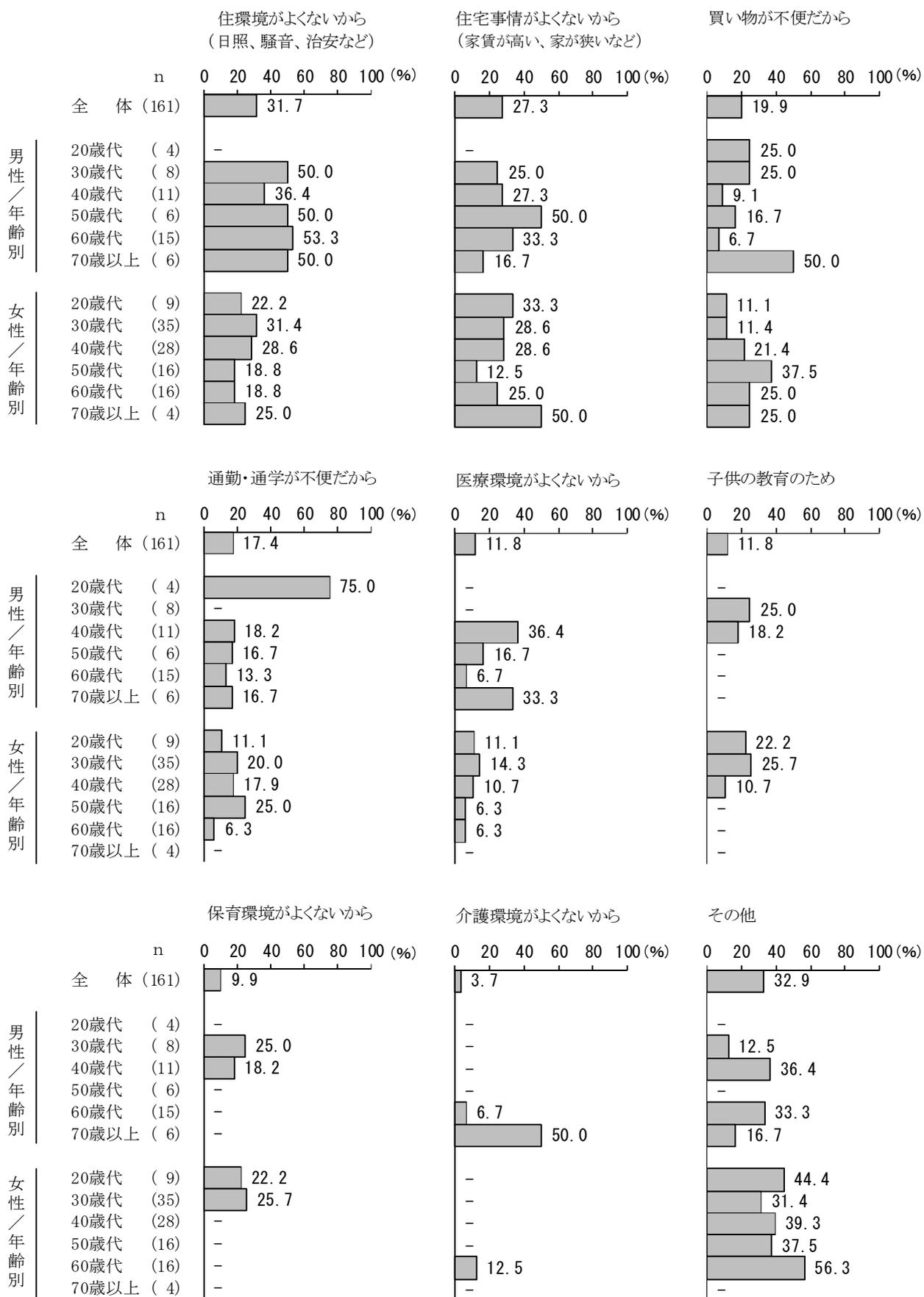
(あてはまるもの全てに○)

図表1-8 転居意向の理由



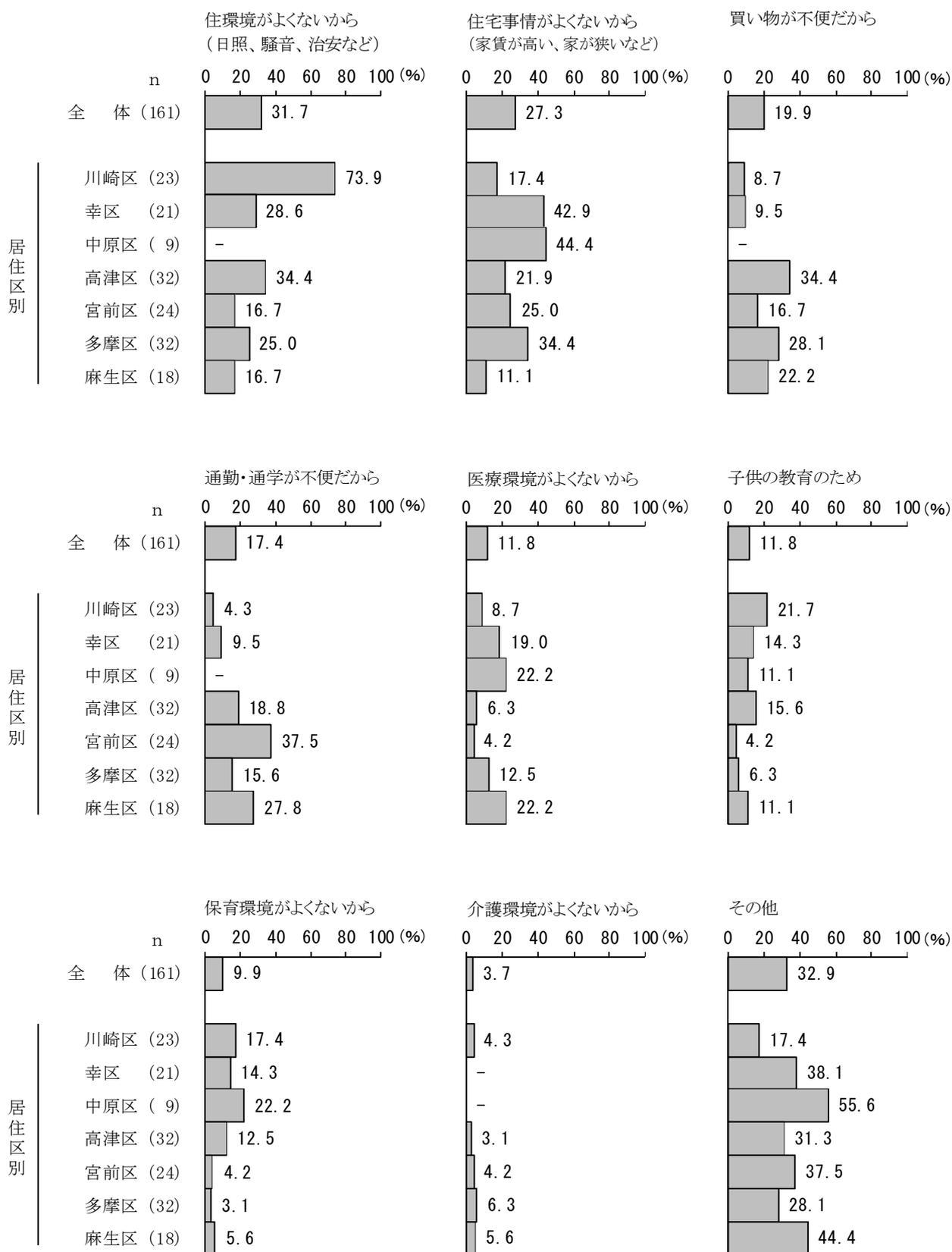
転居意向の理由は、「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」(31.7%)で最も高く、次いで「住宅事情がよくないから（家賃が高い、家が狭いなど）」(27.3%)、「買い物が不便だから」(19.9%)の順となっている。

図表 1-9 転居意向の理由（性／年齢別）



基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

図表 1-10 転居意向の理由（居住区別）



基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

## 1-4 転居先の希望

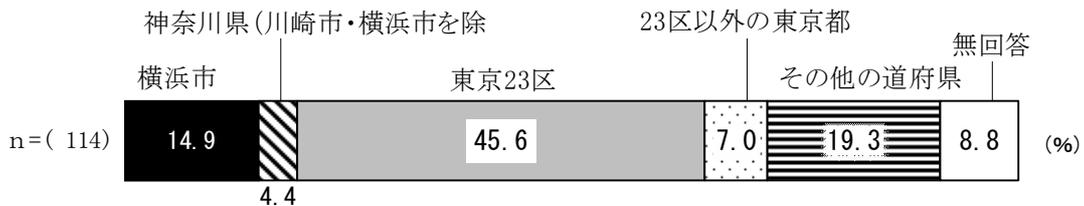
◎市内では「中原区」が17.0%、市外では「東京23区」が45.6%

問2-2 問2で『できれば市内の他の区へ移りたい』または『できれば市外へ移りたい』と回答された方にうかがいます。あなたは、どこに住みたいと思いますか。(〇は1つだけ)

図表1-7 転居先の希望 (市内)



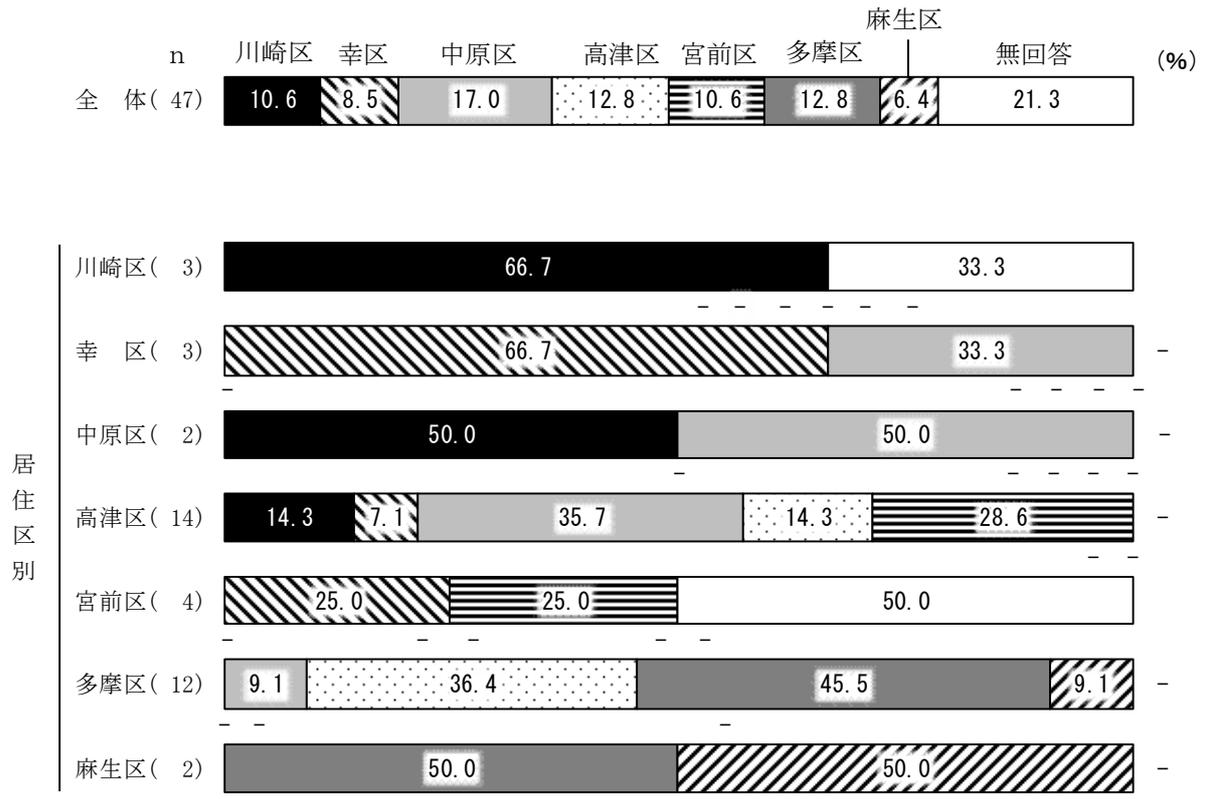
図表1-8 転居先の希望 (市外)



転居先の希望(市内)では、「中原区」(17.0%)が最も高く、次いで「高津区」及び「多摩区」(12.8%)の順となっている。

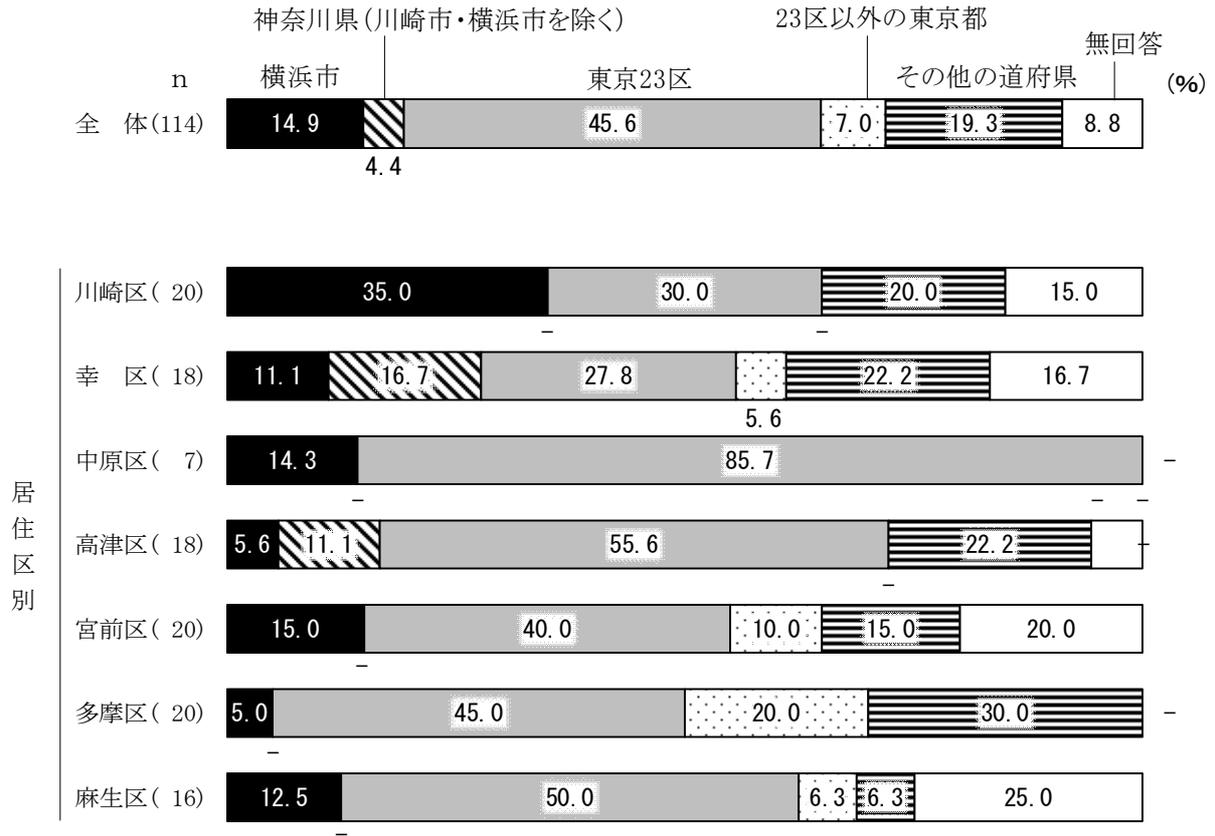
転居先の希望(市外)では、「東京23区」(45.6%)が最も高く、次いで「その他の都道府県」(19.3%)、「横浜市」(14.9%)の順となっている。

図表 1-9 転居先の希望（市内、居住区別）



基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

図表 1-10 転居先の希望（市外、居住区別）



基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

## 2 生活環境の評価について

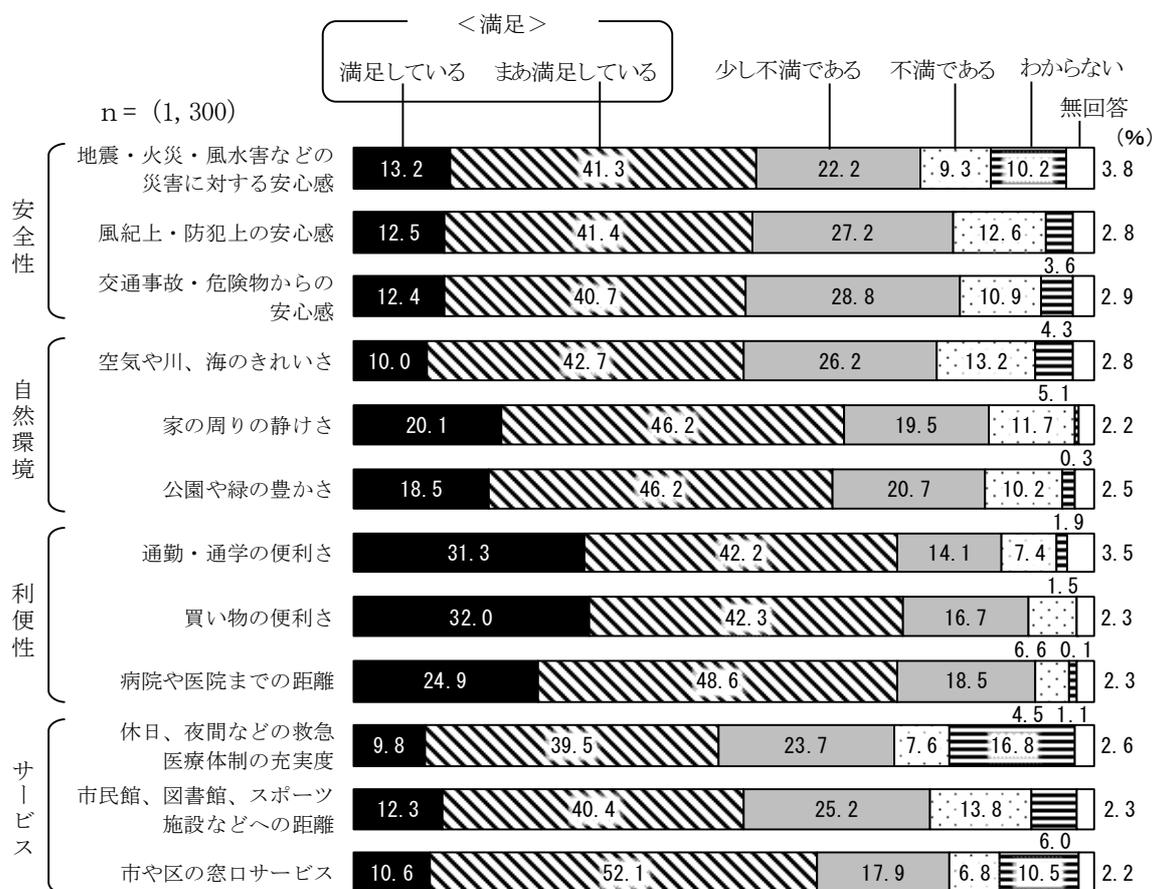
### 2-1 生活環境の満足度

◎<満足>が多いのは「買い物の便利さ」、「通勤・通学の便利さ」、「病院や医院までの距離」の利便性

問3 お住まいの周りの生活環境についてうかがいます。

あなたは、次にあげる項目についてどの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表2-1 生活環境の満足度

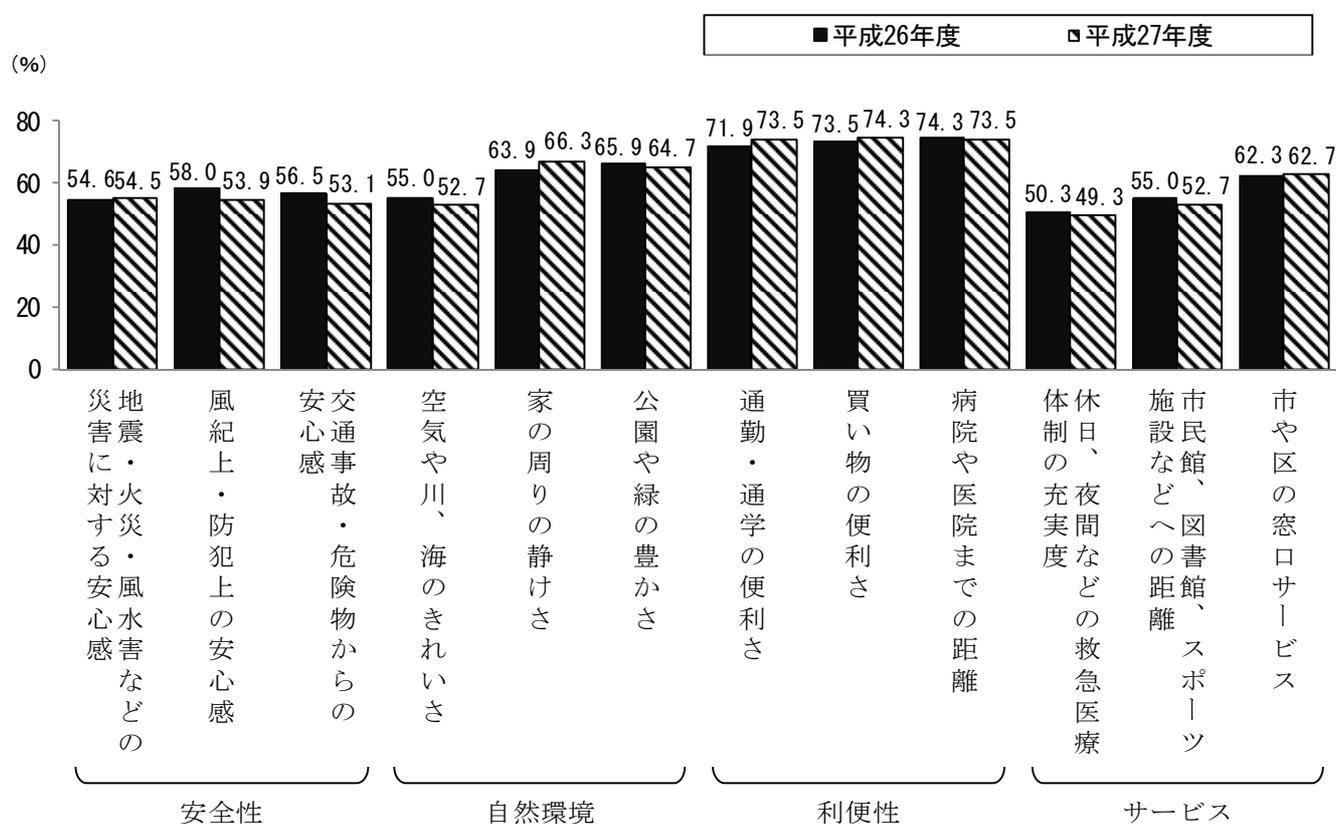


生活環境の満足度について、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた<満足>は、『利便性』の「買い物の便利さ」(74.3%)、「通勤・通学の便利さ」(73.5%)、「病院や医院までの距離」(73.5%)で7割を超えている。一方、<満足>が最も低いのは、「休日、夜間等の救急医療体制の充実度」(49.3%)となっている。

図表 2-2 生活環境の満足度（＜満足＞、経年比較）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

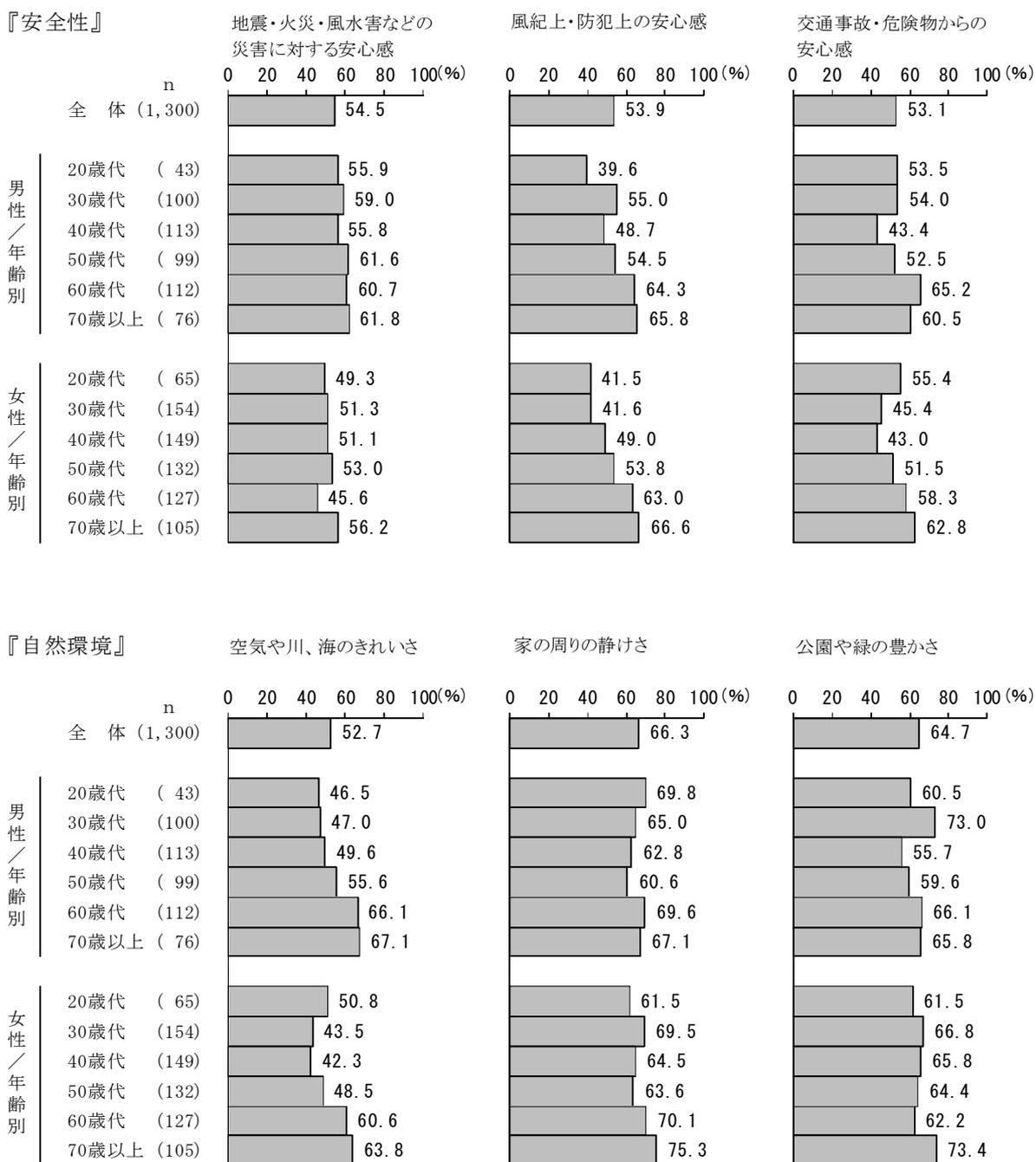
n	災害・地震に対する安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	施設などへの距離	市や区の窓口サービス
平成26年度 (1,345)	54.6	58.0	56.5	55.0	63.9	65.9	71.9	73.5	74.3	50.3	55.0	62.3
平成27年度 (1,300)	54.5	53.9	53.1	52.7	66.3	64.7	73.5	74.3	73.5	49.3	52.7	62.7



平成 26 年度調査と比較すると、「家の周りの静けさ」で 2.4 ポイント、「通勤・通学の便利さ」で 1.6 ポイント増加など、12 項目中 4 項目で増加している。

一方、「交通事故・危険物からの安心感」で 3.4 ポイントなど、12 項目中 8 項目で減少している。

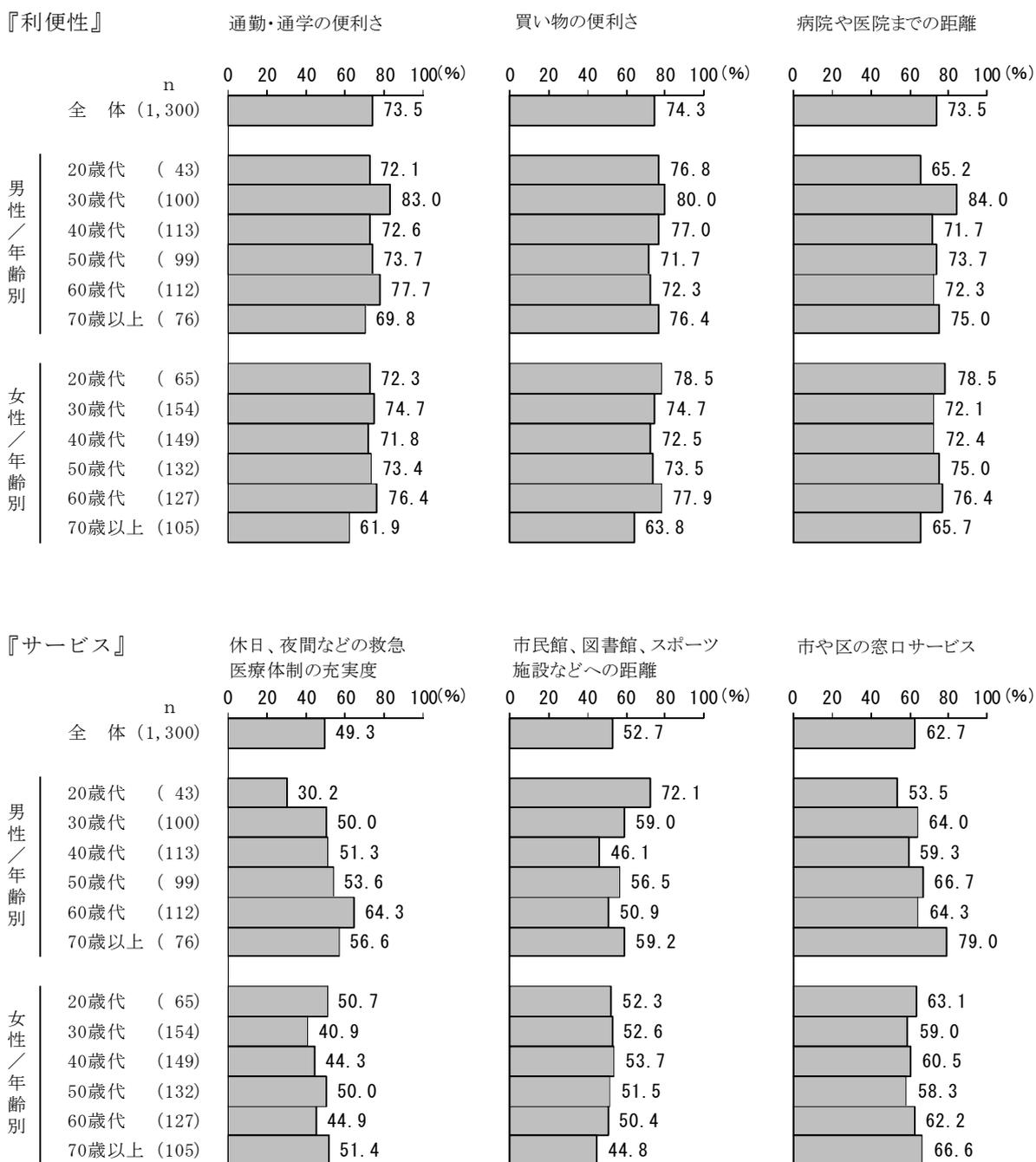
図表 2-3 生活環境の満足度（＜満足＞、性／年齢別）



性／年齢別で『安全性』をみると、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」と「風紀上・防犯上の安心感」は、男女ともに70歳以上で最も高い。「交通事故・危険物からの安心感」は、男性は60歳代、女性は70歳以上で最も高い。

『自然環境』では、「空気や川、海のきれいさ」は男女ともに70歳以上で最も高い。「家の周りの静けさ」は男性では60歳代、女性では70歳以上で最も高い。「公園や緑の豊かさ」は、男性は30歳代、女性は70歳以上で最も高い。

図表 2-4 生活環境の満足度 (<満足>、性/年齢別)



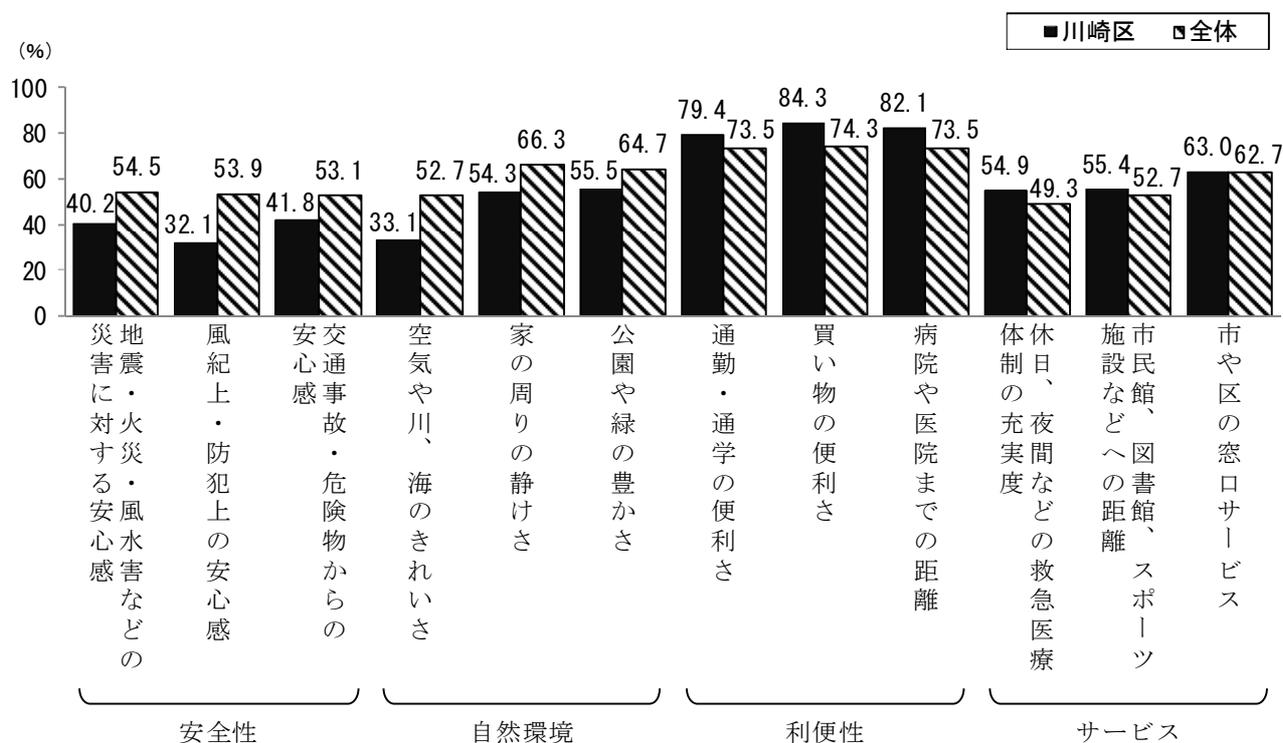
性/年齢別で『利便性』をみると、男性はどれも30歳代で最も高い。女性については、「通勤・通学の便利さ」は60歳代で最も高く、「買い物の便利さ」と「病院や医院までの距離」では20歳代で最も高い。

『サービス』では、「休日、夜間等の救急医療体制の充実度」は、男性の60歳代、女性の70歳以上で最も高い。「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は、男性の20歳代、女性の40歳代で最も高い。「市や区の窓口サービス」は、男女ともに70歳以上で最も高い。

図表2-5 生活環境の満足度（＜満足＞、川崎市）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

	災害・地震・火災・風水害などの安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	施設などへの距離	市民館、図書館、スポーツ	市や区の窓口サービス
n													
川崎市 (184)	40.2	32.1	41.8	33.1	54.3	55.5	79.4	84.3	82.1	54.9	55.4	63.0	
全体 (1,300)	54.5	53.9	53.1	52.7	66.3	64.7	73.5	74.3	73.5	49.3	52.7	62.7	



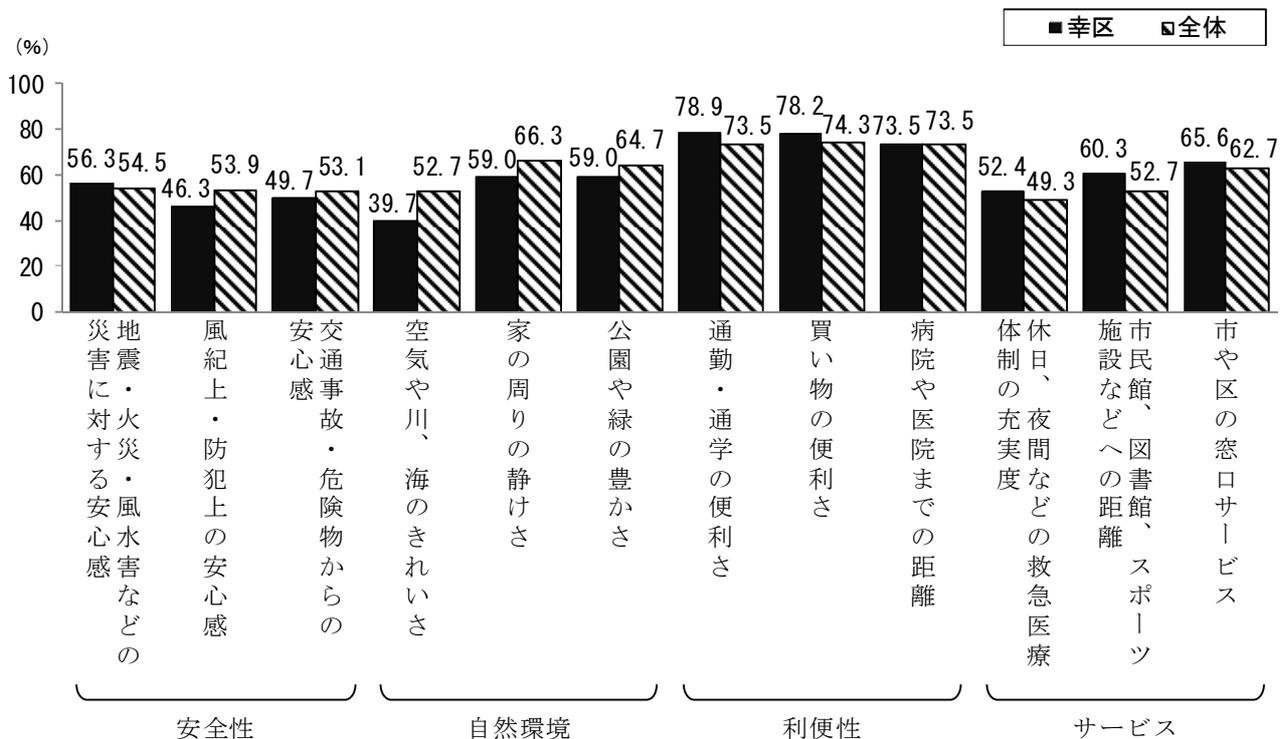
川崎市と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を下回っており、特に「風紀上・防犯上の安心感」は21.8ポイント、「空気や川、海のきれいさ」は19.6ポイント下回っている。

一方、『利便性』、『サービス』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に、「買い物の便利さ」は10.0ポイント、「病院や医院までの距離」は8.6ポイント上回っている。

図表 2-6 生活環境の満足度（＜満足＞、幸区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

	災害・地震・火災・風水害などの安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
幸区 (151)	56.3	46.3	49.7	39.7	59.0	59.0	78.9	78.2	73.5	52.4	60.3	65.6
全体 (1,300)	54.5	53.9	53.1	52.7	66.3	64.7	73.5	74.3	73.5	49.3	52.7	62.7



幸区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』では、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」が唯一市全体の満足度を1.8ポイント上回っている。

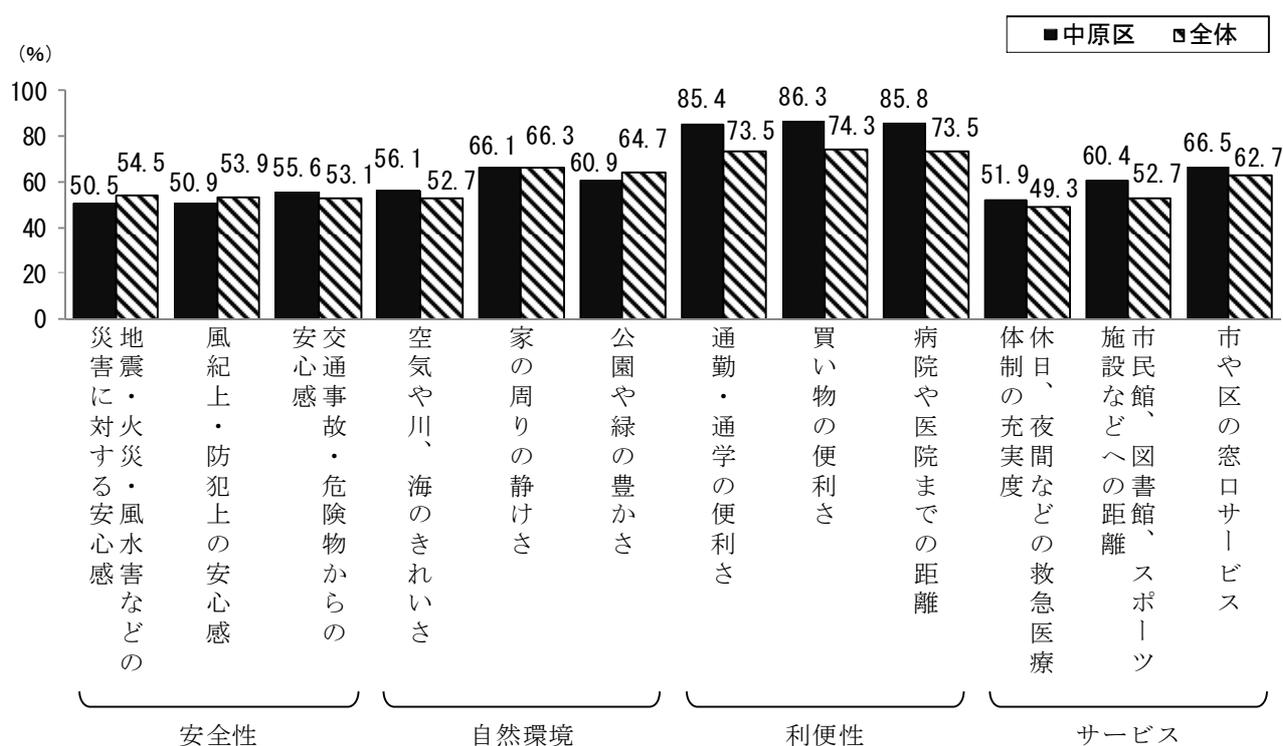
『自然環境』ではどの項目も市全体の満足度を下回っており、特に、「空気や川、海のきれいさ」は13.0ポイント下回っている。

『利便性』、『サービス』では、「病院や医院までの距離」のみ同率で、それ以外は全て市全体の満足度を上回っている。特に、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」は7.6ポイント上回っている。

図表2-7 生活環境の満足度（＜満足＞、中原区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

	災害・地震・火災・風水害などの安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	施設などへの距離	市民館、図書館、スポーツ	市や区の窓口サービス
n													
中原区 (212)	50.5	50.9	55.6	56.1	66.1	60.9	85.4	86.3	85.8	51.9	60.4	66.5	66.5
全体 (1,300)	54.5	53.9	53.1	52.7	66.3	64.7	73.5	74.3	73.5	49.3	52.7	62.7	62.7



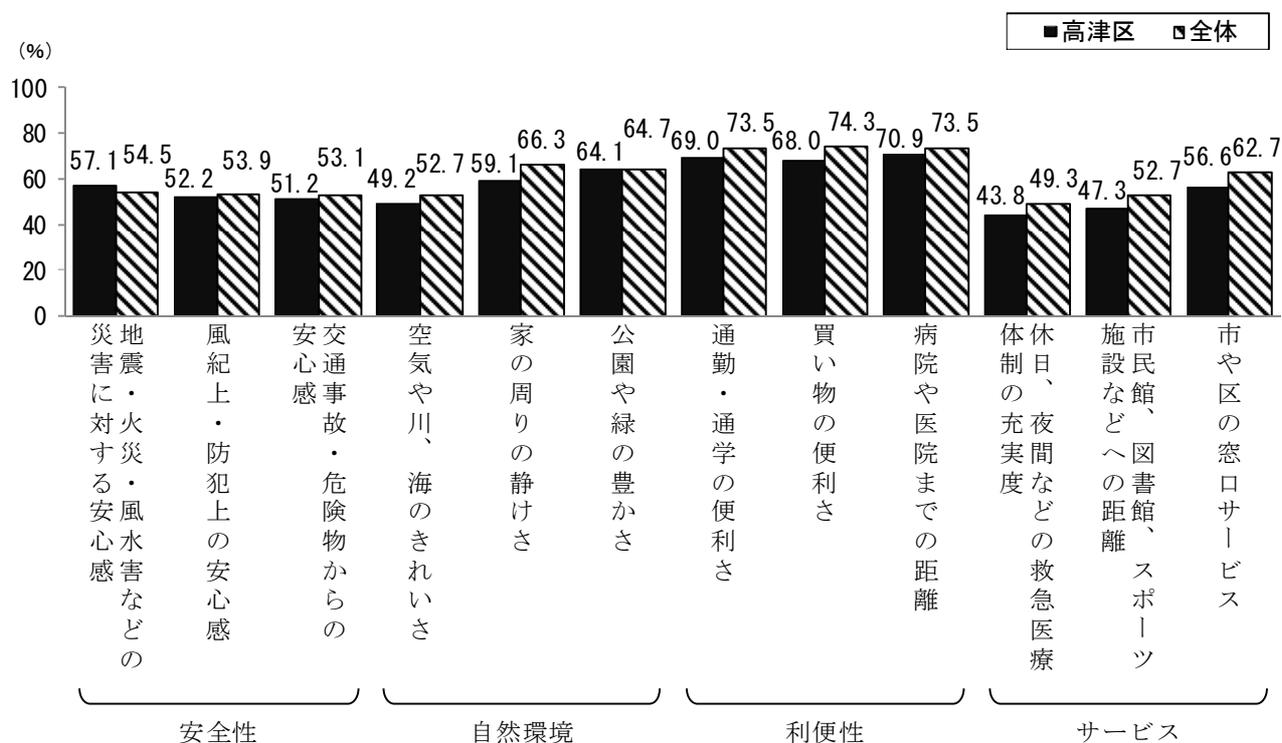
中原区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『自然環境』ではそれぞれ1項目だけ市全体の満足度を上回っており、「交通事故・危険物からの安心感」が2.5ポイント、「空気や川、海のきれいさ」が3.4ポイント上回っている。

『利便性』、『サービス』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に、「病院や医院までの距離」が12.3ポイント、「買い物の便利さ」が12.0ポイント上回っている。

図表2-8 生活環境の満足度（＜満足＞、高津区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

	災害・地震・火災・風水害などの安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	施設などへの距離	市民館、図書館、スポーツ	市や区の窓口サービス
n													
高津区 (203)	57.1	52.2	51.2	49.2	59.1	64.1	69.0	68.0	70.9	43.8	47.3	52.7	56.6
全体 (1,300)	54.5	53.9	53.1	52.7	66.3	64.7	73.5	74.3	73.5	49.3	52.7	62.7	62.7



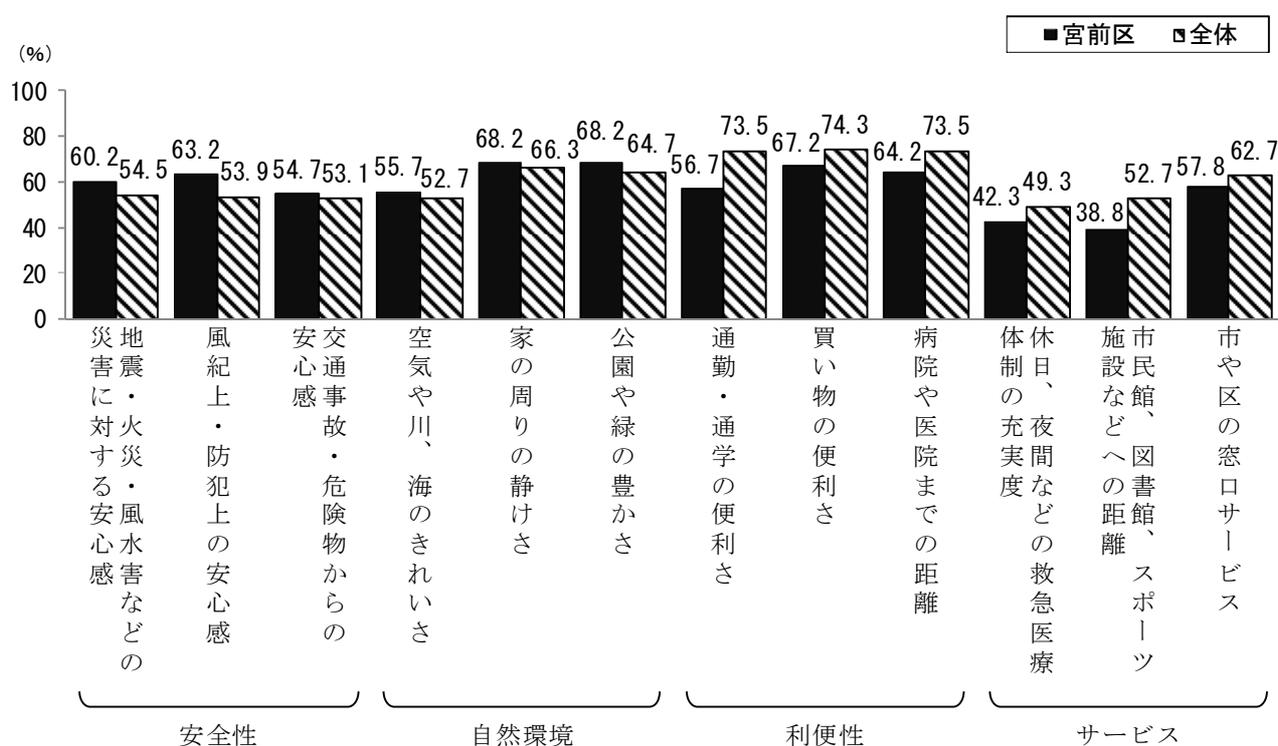
高津区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』では「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」が唯一市全体の満足度を2.6ポイント上回っている。

『自然環境』、『利便性』、『サービス』では、どの項目も市全体の満足度を下回っており、特に、「家の周りの静けさ」が7.2ポイント、「買い物の便利さ」が6.3ポイント下回っている。

図表2-9 生活環境の満足度（＜満足＞、宮前区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

	災害・地震・火災・風水害などの安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	市や区の窓口サービス
n												
宮前区 (201)	60.2	63.2	54.7	55.7	68.2	68.2	56.7	67.2	64.2	42.3	38.8	57.8
全体 (1,300)	54.5	53.9	53.1	52.7	66.3	64.7	73.5	74.3	73.5	49.3	52.7	62.7



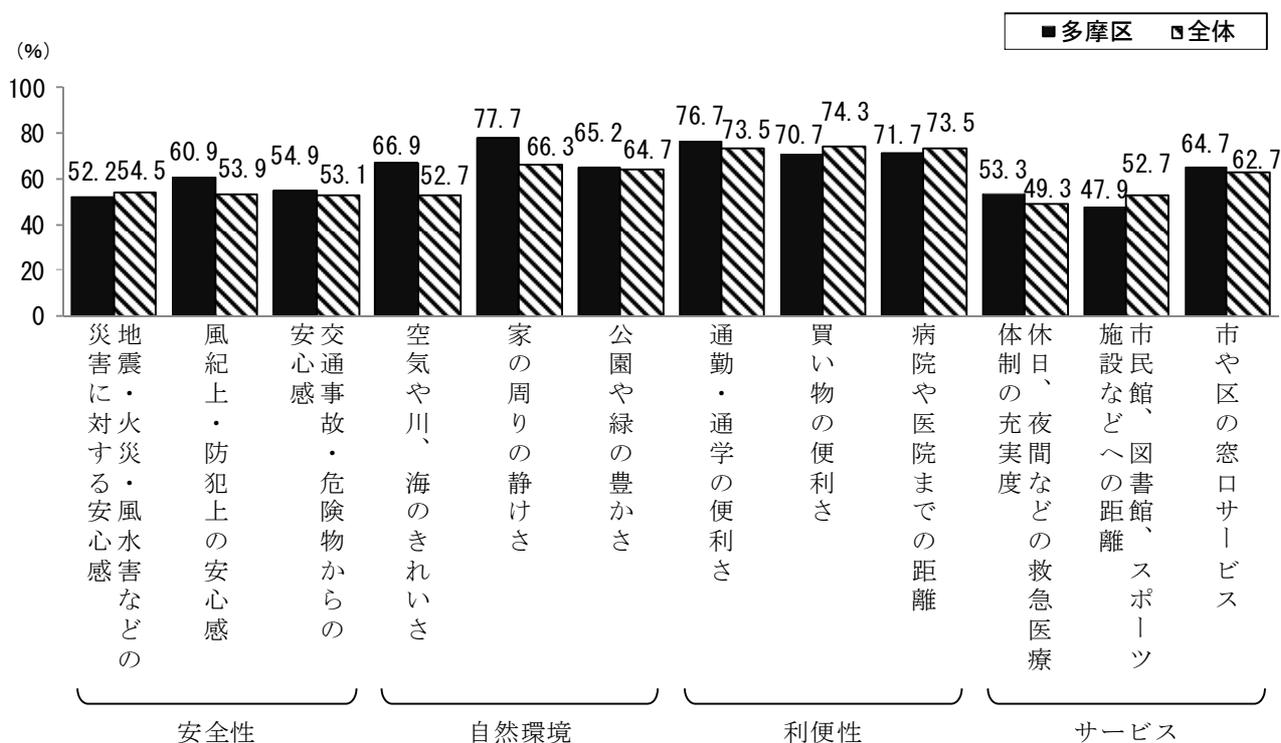
宮前区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に、「風紀上・防犯上の安心感」が9.3ポイント、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」が5.7ポイント上回っている。

一方、『利便性』、『サービス』では、どの項目も市全体の満足度を下回っており、特に、「通勤・通学の便利さ」が16.8ポイント、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」が13.9ポイント下回っている。

図表2-10 生活環境の満足度（＜満足＞、多摩区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

	災害・地震・火災・風水害などの 安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの 安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療 体制の充実度	施設などへの距離	市民館、図書館、スポーツ	市や区の窓口サービス
n													
多摩区 (184)	52.2	60.9	54.9	66.9	77.7	65.2	76.7	70.7	71.7	53.3	47.9	52.7	64.7
全体 (1,300)	54.5	53.9	53.1	52.7	66.3	64.7	73.5	74.3	73.5	49.3	52.7	62.7	62.7



多摩区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『サービス』ではそれぞれ1項目だけ市全体の満足度を下回っており、「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」が2.3ポイント、「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」が4.8ポイント下回っている。

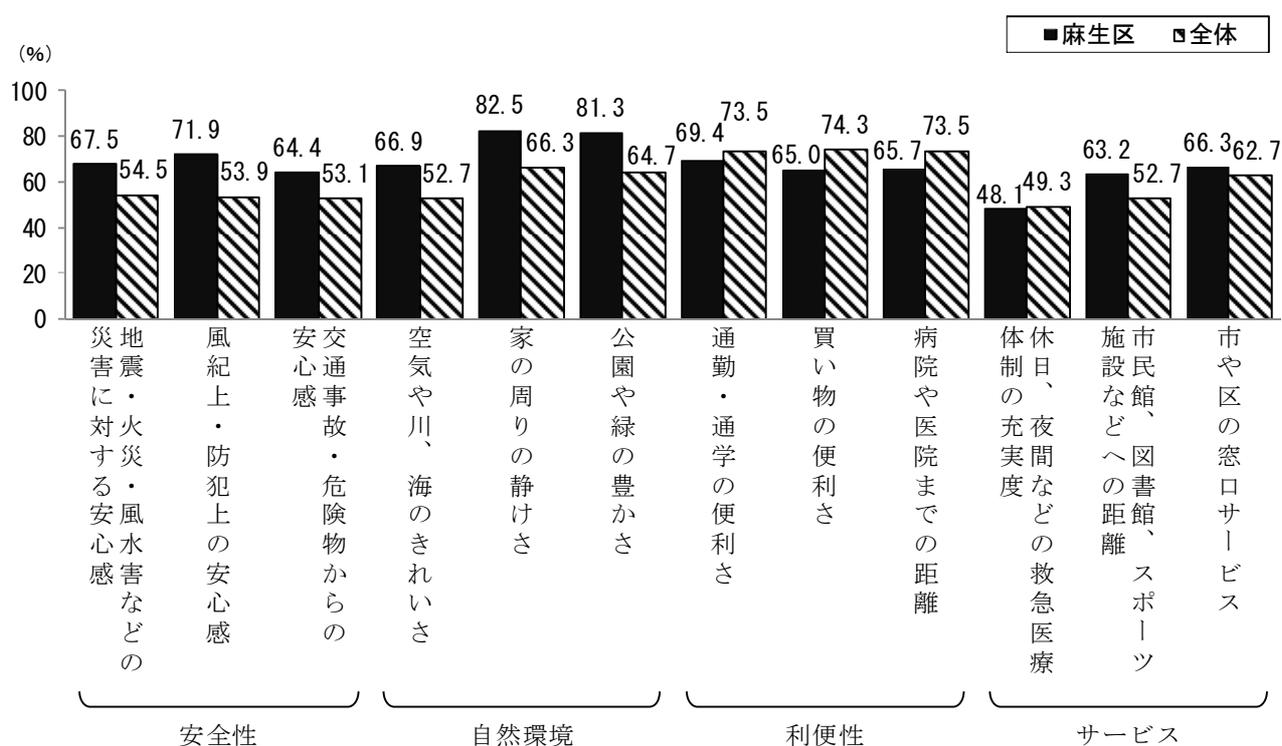
『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に、「空気や川、海のきれいさ」が14.2ポイント上回っている。

『利便性』では、「通勤・通学の便利さ」のみ上回っており、3.2ポイント上回っている。

図表2-11 生活環境の満足度（＜満足＞、麻生区）

「満足している」と「まあ満足している」の率の合計で表示

	災害・地震・火災・風水害などの安心感	風紀上・防犯上の安心感	交通事故・危険物からの安心感	空気や川、海のきれいさ	家の周りの静けさ	公園や緑の豊かさ	通勤・通学の便利さ	買い物の便利さ	病院や医院までの距離	休日、夜間などの救急医療体制の充実度	施設などへの距離	市民館、図書館、スポーツ	市や区の窓口サービス
n													
麻生区 (160)	67.5	71.9	64.4	66.9	82.5	81.3	69.4	65.0	65.7	48.1	63.2	66.3	
全体 (1,300)	54.5	53.9	53.1	52.7	66.3	64.7	73.5	74.3	73.5	49.3	52.7	62.7	



麻生区と市全体の満足度を比較すると、『安全性』、『自然環境』では、どの項目も市全体の満足度を上回っており、特に、「風紀上・防犯上の安心感」が18.0ポイント、「公園や緑の豊かさ」が16.6ポイント上回っている。

『利便性』では、どの項目も市全体の満足度を下回っており、特に、「買い物の便利さ」が9.3ポイント下回っている。

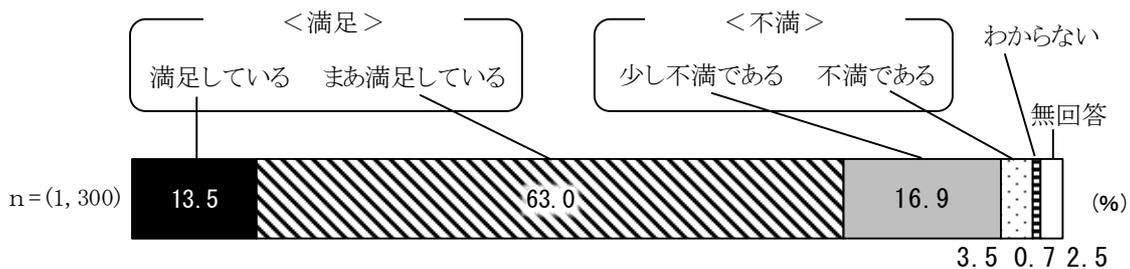
『サービス』では、「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」のみ下回っており、1.2ポイント下回っている。

## 2-2 総合的な生活環境の満足度

◎<満足>が76.5%

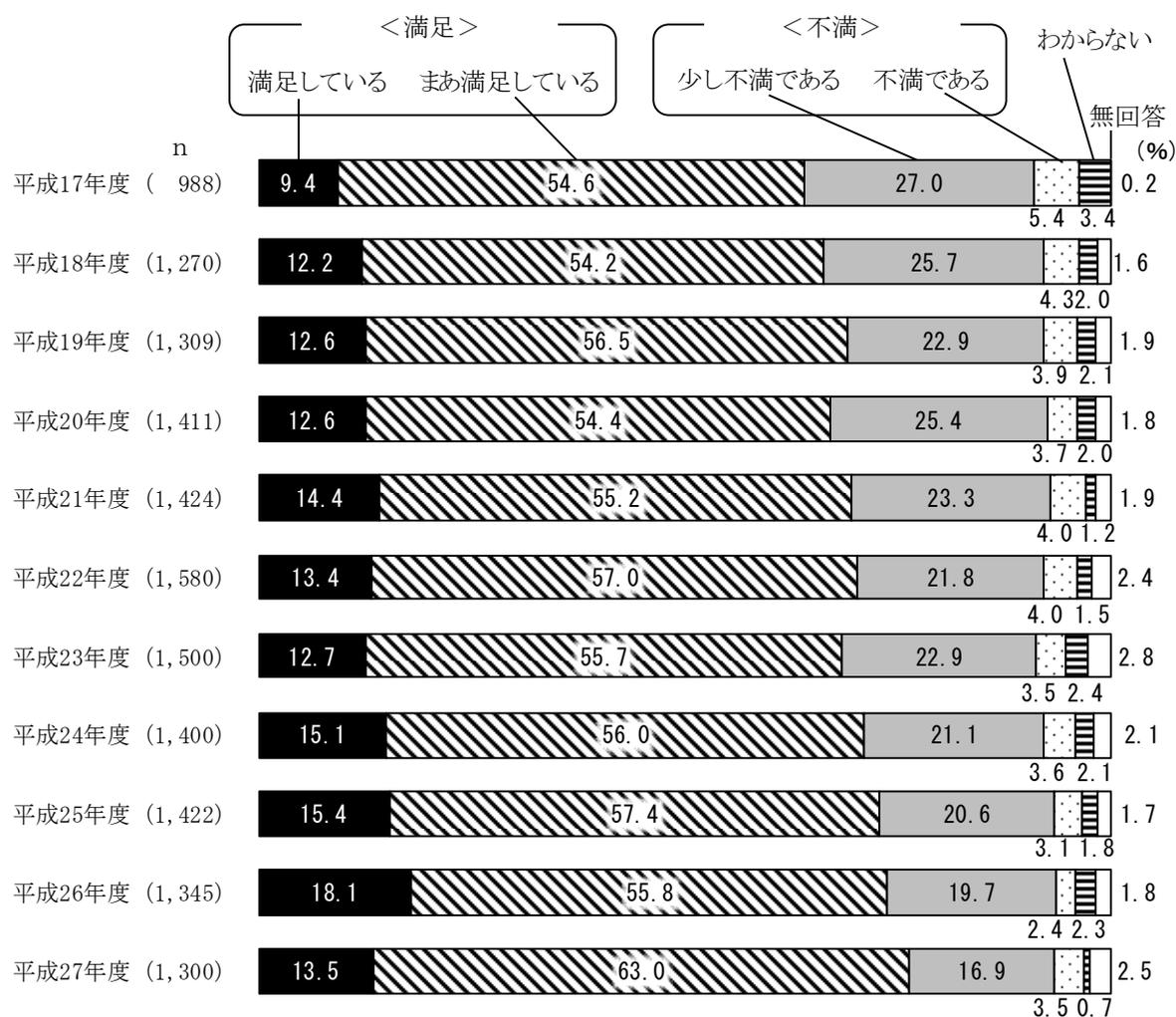
問4 あなたは、地域の生活環境を総合的に見た場合、今住んでいる地域にどの程度満足していますか。(〇は1つだけ)

図表2-12 総合的な生活環境の満足度



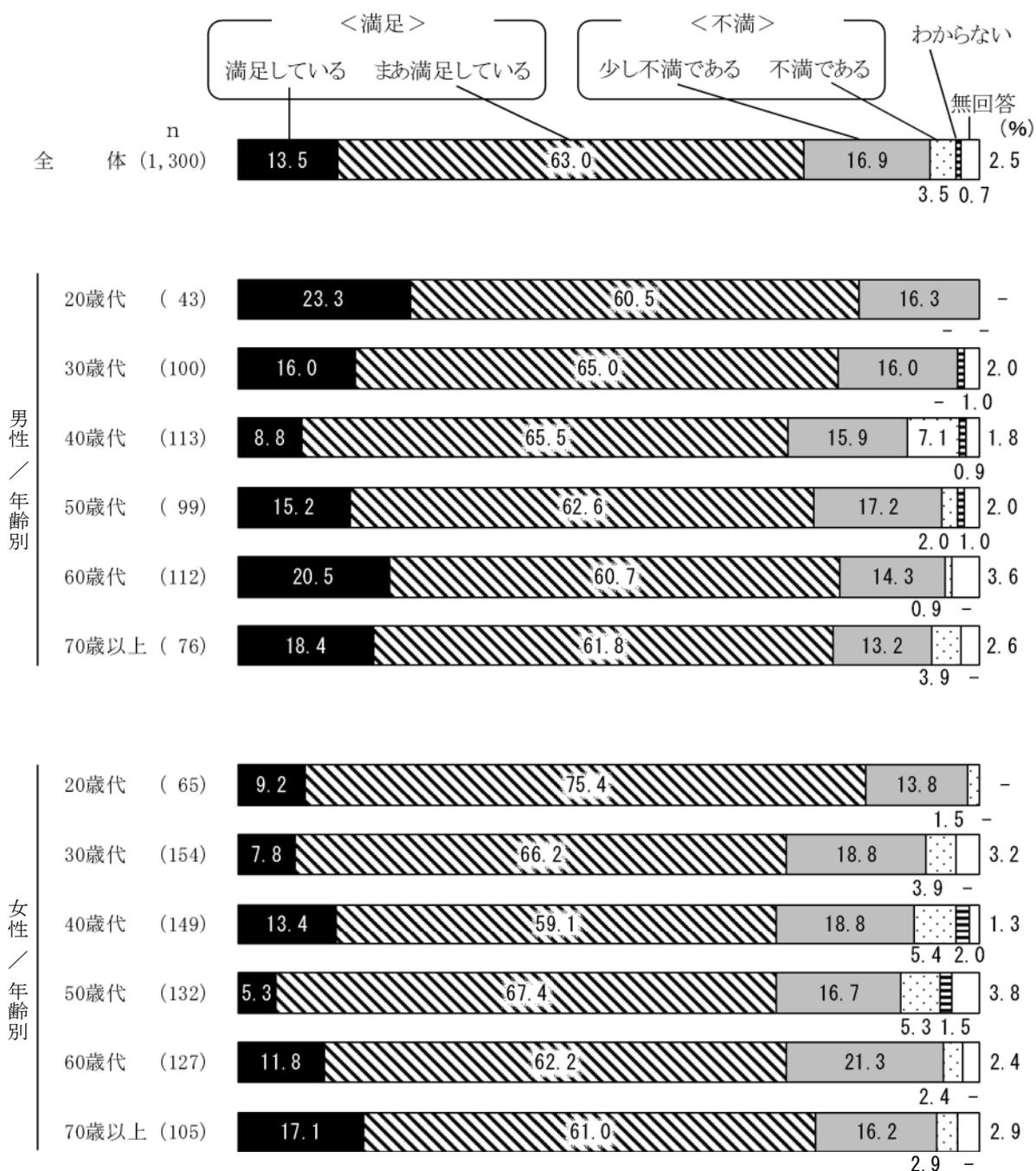
総合的な生活環境の満足度は、「まあ満足している」(63.0%)が最も高く、これに「満足している」(13.5%)を合わせた<満足>が76.5%となっている。「少し不満である」(16.9%)と「不満である」(3.5%)を合わせた<不満>は20.4%となっている。

図表 2-13 総合的な生活環境の満足度（経年比較）



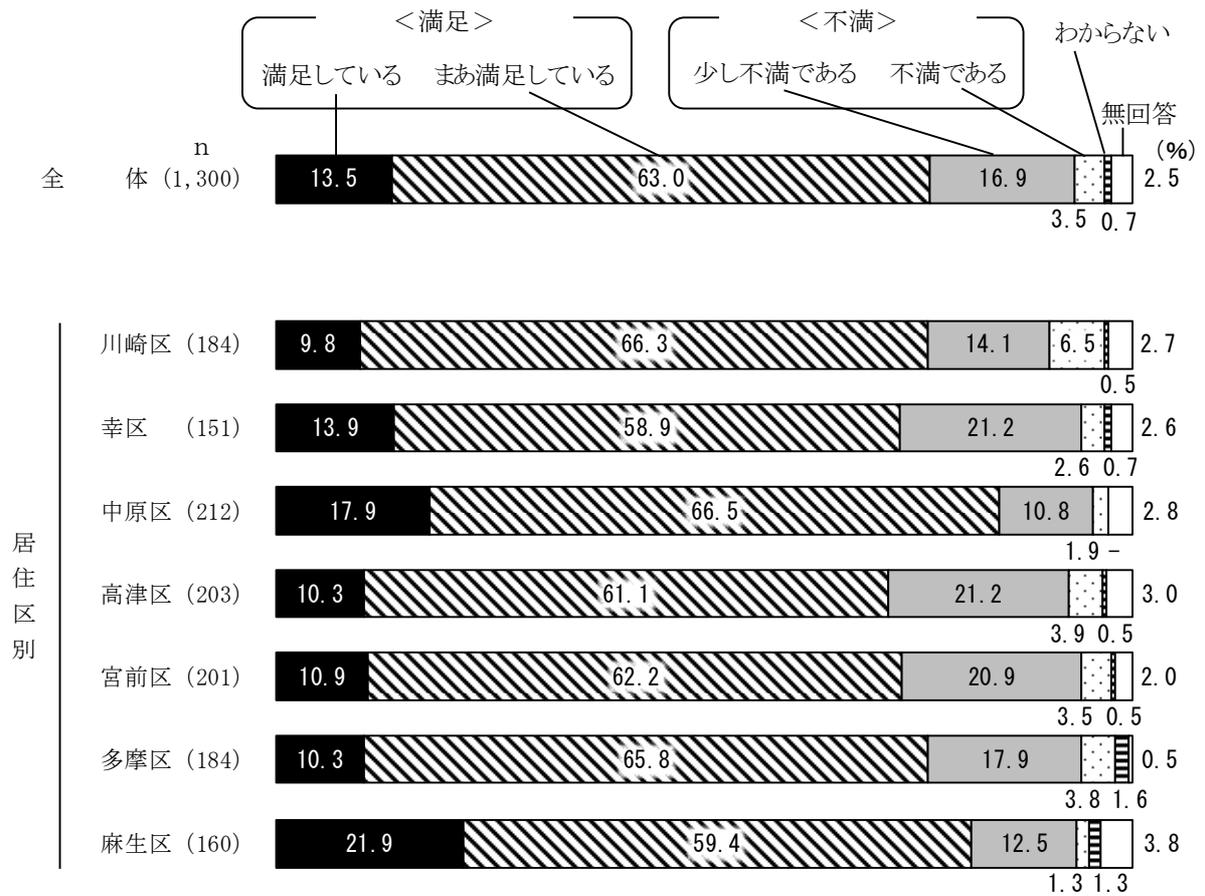
過去の推移では、＜満足＞は、平成17年度調査以降おおむね増加傾向にあり、5年前（平成22年度）と比較して6.1ポイント、10年前（平成17年度）と比較して12.5ポイント増加している。

図表 2-14 総合的な生活環境の満足度（性／年齢別）



性／年齢別では、＜満足＞は、女性の20歳代(84.6%)で最も高く、次いで男性の20歳代(83.8%)、60歳代(81.2%)の順となっている。一方、＜不満＞は、女性の40歳代(24.2%)で最も高く、次いで女性の60歳代(23.7%)、男性の40歳代(23.0%)の順となっている。

図表 2-15 総合的な生活環境の満足度（居住区別）



居住区別では、<満足>は、中原区(84.4%)、麻生区(81.3%)の順で高い一方、<不満>は、高津区(25.1%)が最も高い。

### 3 関心ごとと行動範囲について

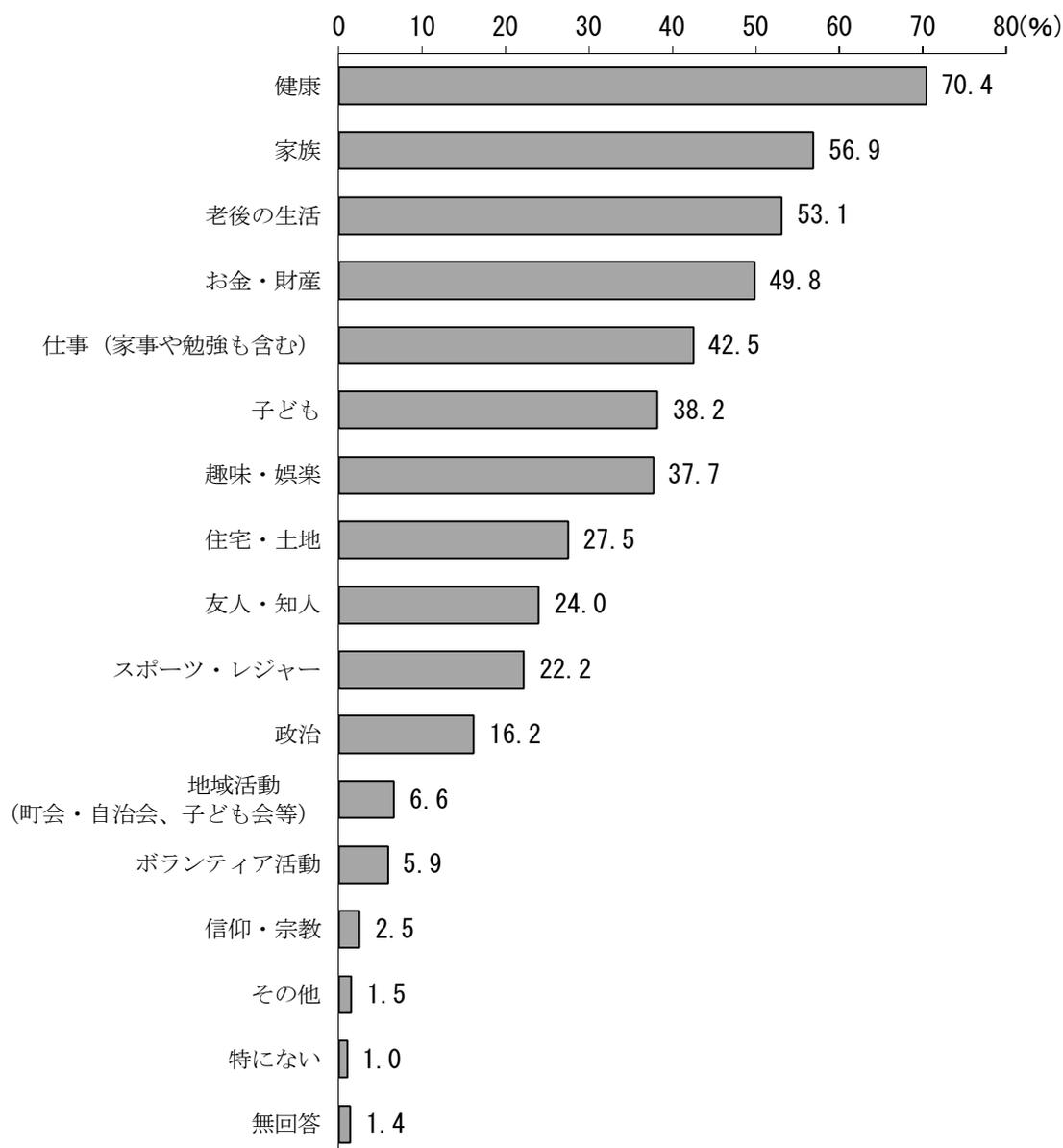
#### 3-1 関心を持っていること

◎「健康」が70.4%

問5 あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

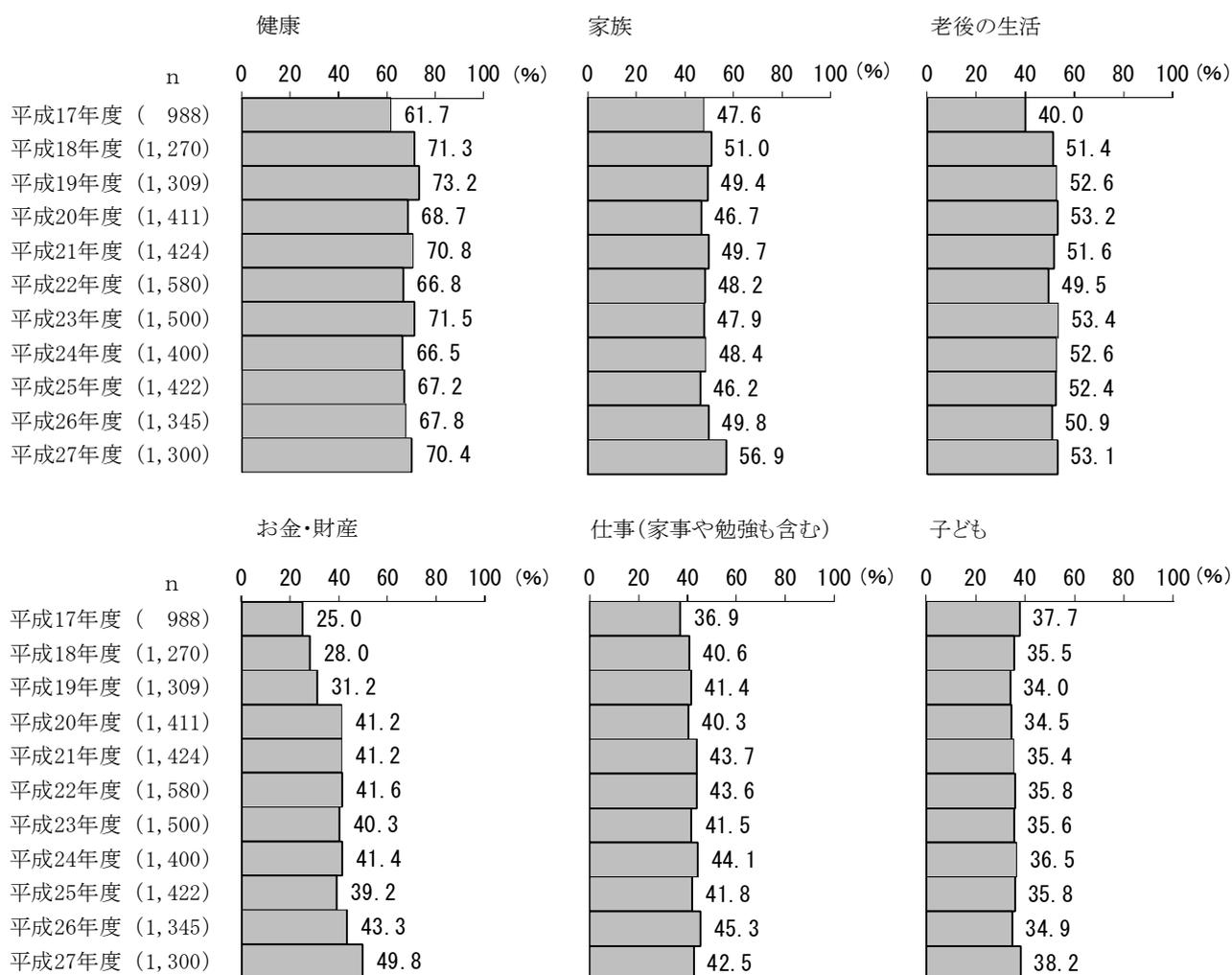
図表3-1 関心を持っていること

(複数回答) n=(1,300)



関心を持っていることは、「健康」(70.4%)が最も高く、次いで「家族」(56.9%)、「老後の生活」(53.1%)、「お金・財産」(49.8%)、「仕事 (家事や勉強も含む)」(42.5%)の順となっている。

図表3-2 関心を持っていること（経年比較、上位6項目）

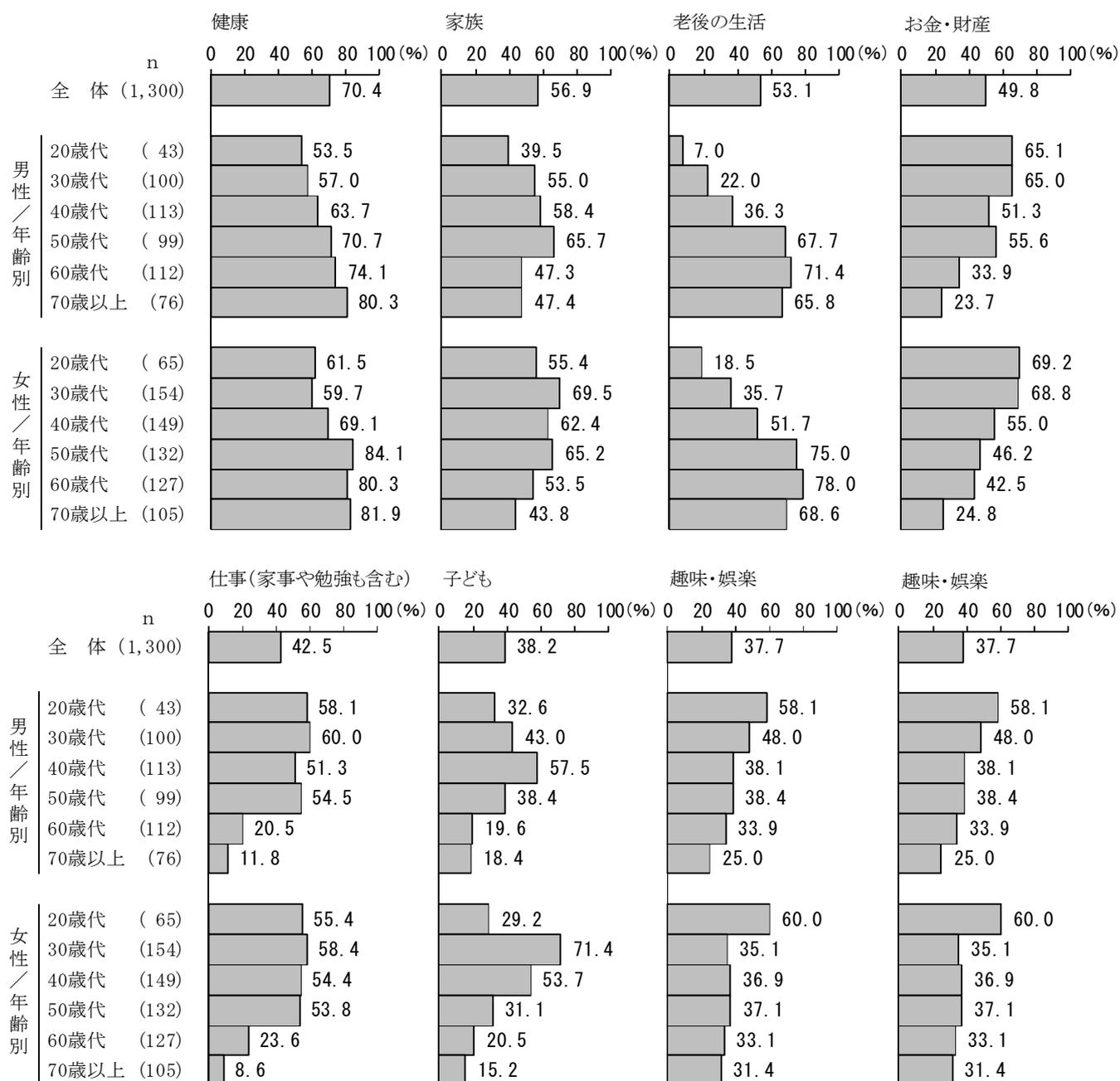


年度	順位					
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
平成17年度	健康 61.7	家族 47.6	趣味・娯楽 41.0	老後の生活 40.0	子ども 37.7	仕事(家事や勉強も含む) 36.9
平成18年度	健康 71.3	老後の生活 51.4	家族 51.0	趣味・娯楽 45.9	仕事(家事や勉強も含む) 40.6	子ども 35.5
平成19年度	健康 73.2	老後の生活 52.6	家族 49.4	趣味・娯楽 41.6	仕事(家事や勉強も含む) 41.4	子ども 34.0
平成20年度	健康 68.7	老後の生活 53.2	家族 46.7	お金・財産 41.2	仕事(家事や勉強も含む) 40.3	趣味・娯楽 40.2
平成21年度	健康 70.8	老後の生活 51.6	家族 49.7	仕事(家事や勉強も含む) 43.7	趣味・娯楽 41.4	お金・財産 41.2
平成22年度	健康 66.8	老後の生活 49.5	家族 48.2	仕事(家事や勉強も含む) 43.6	お金・財産 41.6	趣味・娯楽 39.7
平成23年度	健康 71.5	老後の生活 53.4	家族 47.9	仕事(家事や勉強も含む) 41.5	お金・財産 40.3	趣味・娯楽 39.1
平成24年度	健康 66.5	老後の生活 52.6	家族 48.4	仕事(家事や勉強も含む) 44.1	お金・財産 41.4	趣味・娯楽 41.1
平成25年度	健康 67.2	老後の生活 52.4	家族 46.2	仕事(家事や勉強も含む) 41.8	趣味・娯楽 40.3	お金・財産 39.2
平成26年度	健康 67.8	老後の生活 50.9	家族 49.8	仕事(家事や勉強も含む) 45.3	お金・財産 43.3	趣味・娯楽 39.0
平成27年度	健康 70.4	家族 56.9	老後の生活 53.1	お金・財産 49.8	仕事(家事や勉強も含む) 42.5	子ども 38.2

注：「お金・財産」は平成19年度までは「金・財産」であった。

上位6項目の過去の推移では、平成26年度調査と比較すると、「健康」は1位のままだが、「家族」は7.1ポイント増加し3位から2位、「お金・財産」は6.5ポイント増加し5位から4位、「仕事(家事や勉強も含む)」は2.8ポイント減少し4位から5位となっている。

図表3-3 関心を持っていること（性／年齢別、上位8項目）



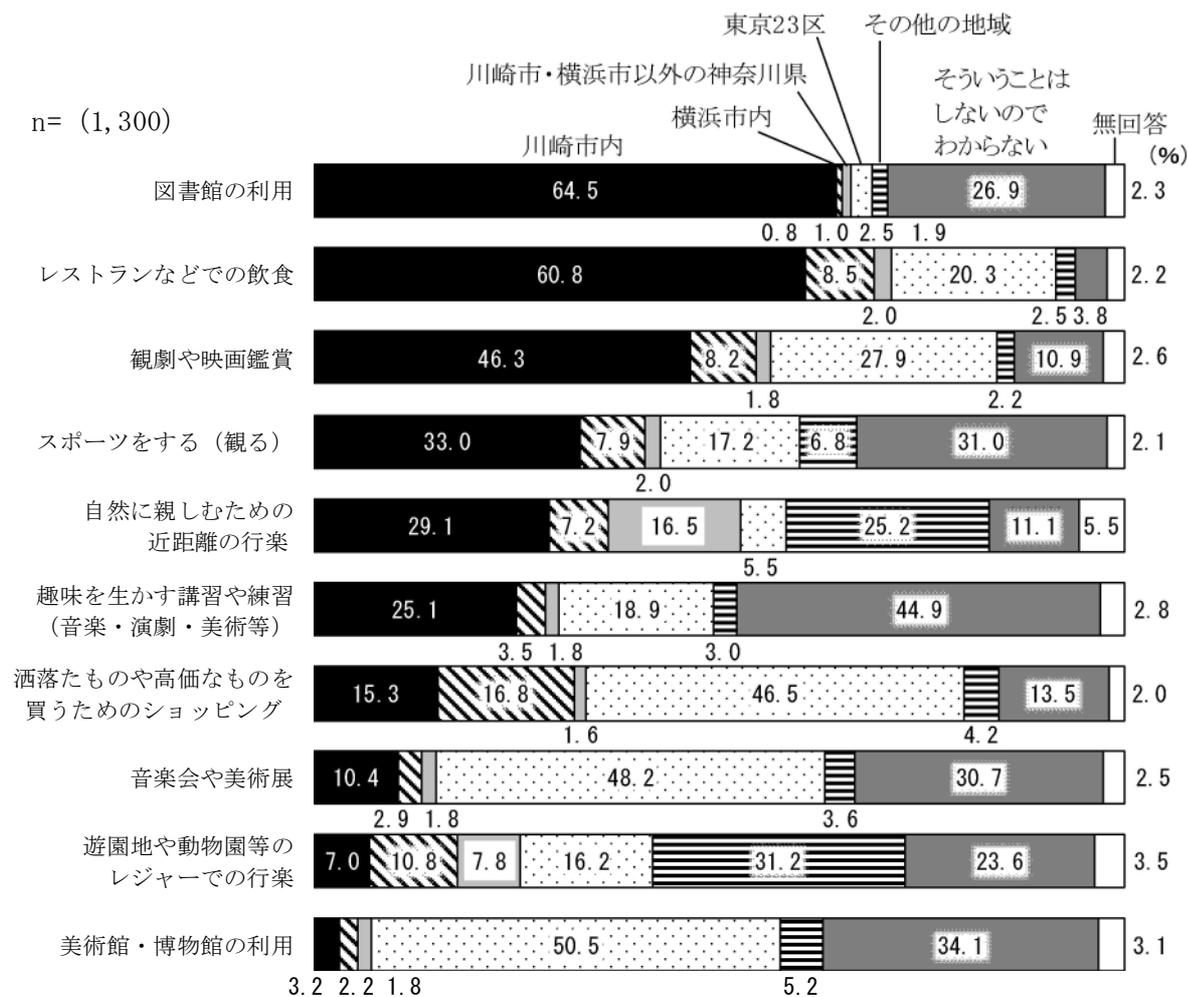
性／年齢別では、「健康」は、男女とも50歳代以上の年代で7～8割台と高い。「家族」は、女性の30歳代（69.5%）と男性の50歳代（65.7%）で高く、男女ともに50歳代を過ぎてから減少傾向にある。「老後の生活」は男女ともに50歳代から大幅に増加し、男女ともに60歳代（男性：71.4%、女性：78.0%）で最も高い。

## 3-2 行動範囲

◎『川崎市内』が最も多いのは、「図書館の利用」で64.5%

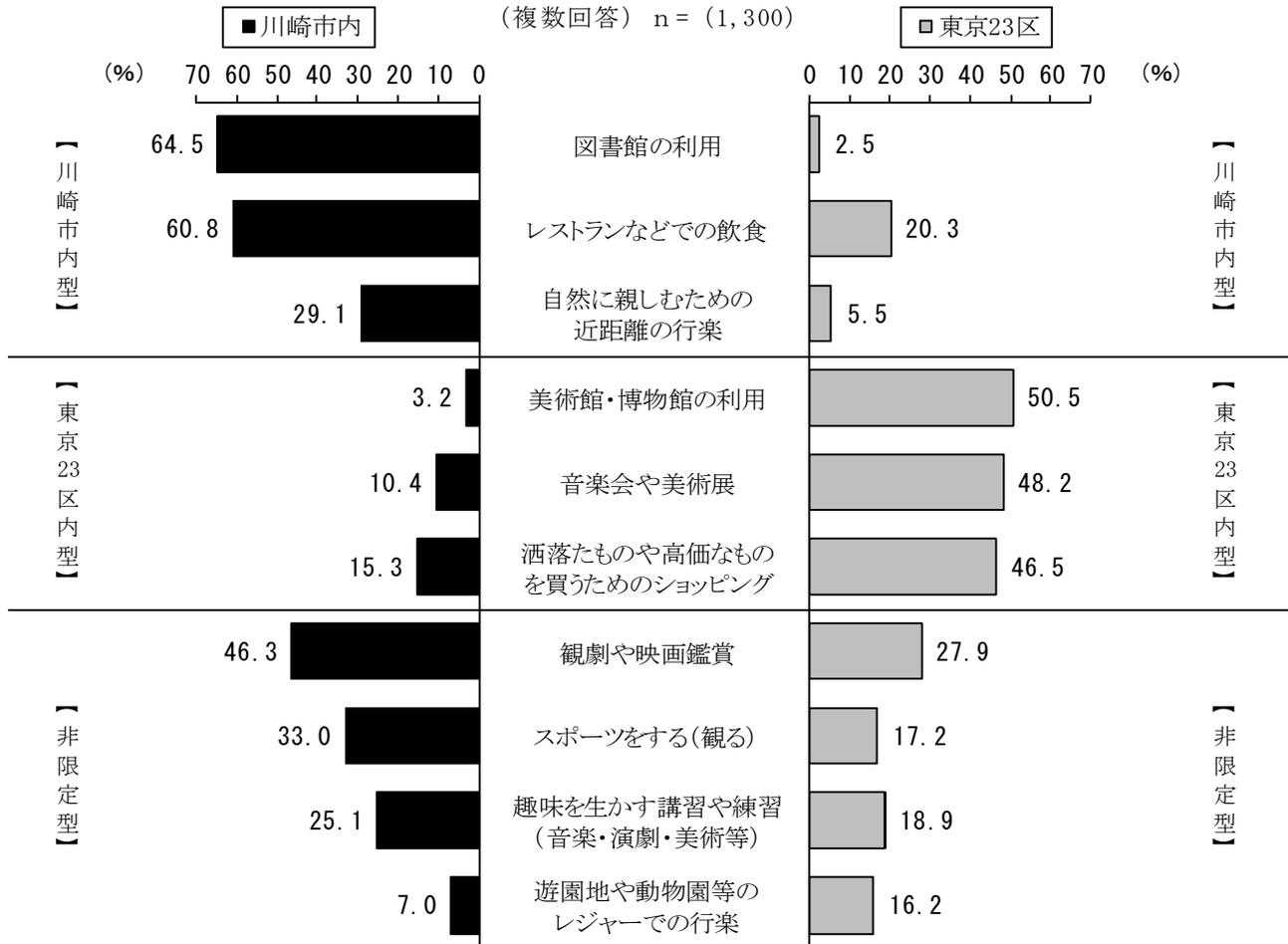
問6 あなたは、行楽や文化施設の利用・ショッピングなどをされる場合、主にどこに行かれますか。  
(〇はそれぞれ1つずつ)

図表3-4 行動範囲



川崎市民の行動範囲で『川崎市内』が最も高いのは、「図書館の利用」(64.5%)で、次いで「レストランなどでの飲食」(60.8%)、「観劇や映画鑑賞」(46.3%)の順となっている。一方『東京23区』が最も高いのは、「美術館・博物館の利用」(50.5%)で、次いで「音楽会や美術展」(48.2%)、「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」(46.5%)の順となっている。

図表3-5 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較）



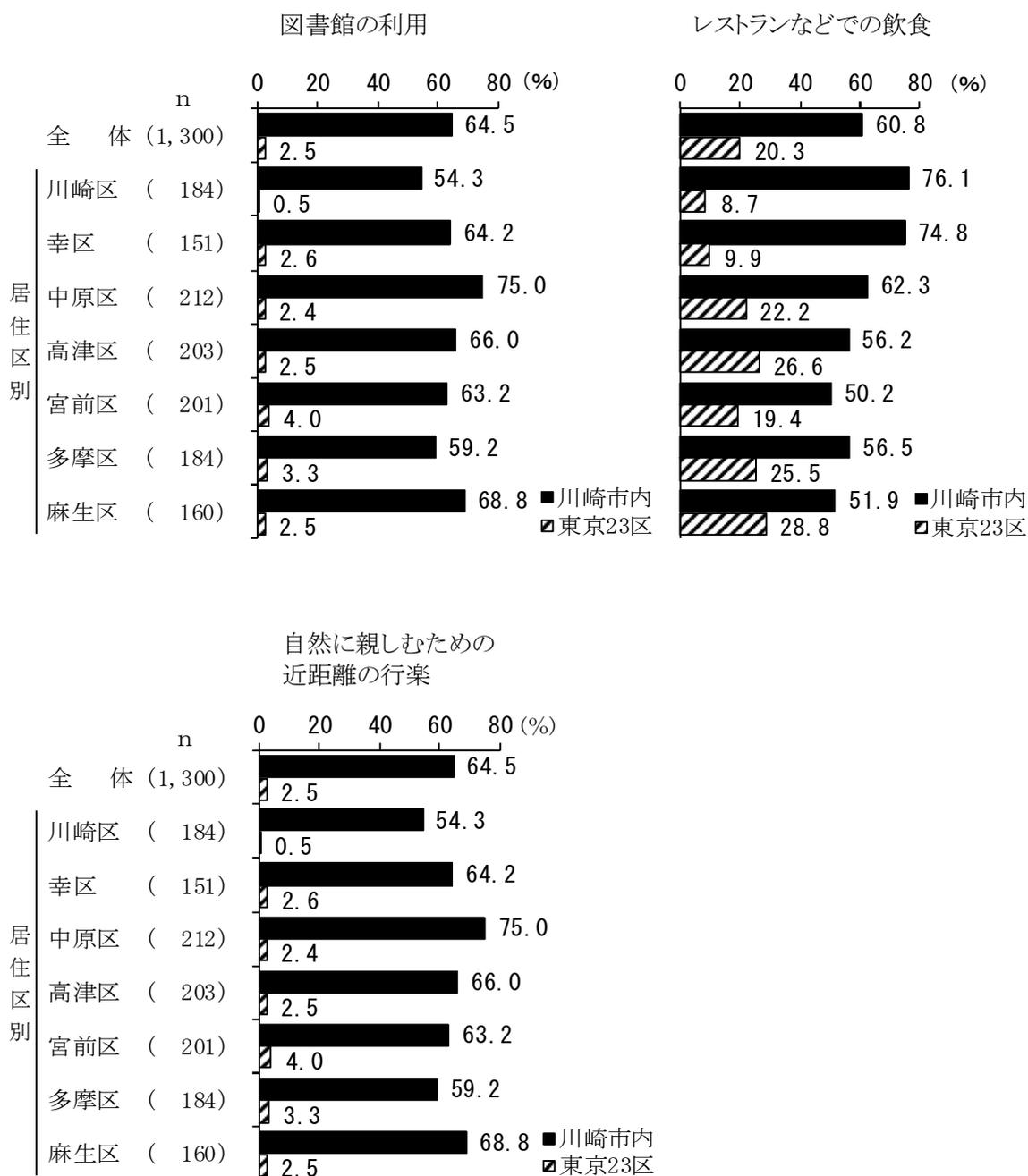
各項目について、行動範囲別に【川崎市内型】、【東京23区内型】、【非限定型】に分類すると、以下のようになる。

【川崎市内型】・・・ 図書館の利用  
 レストランなどでの飲食  
 自然に親しむための近距離の行楽

【東京23区内型】・・・ 美術館・博物館の利用  
 音楽会や美術展  
 洒落たものや高価なものを買うためのショッピング

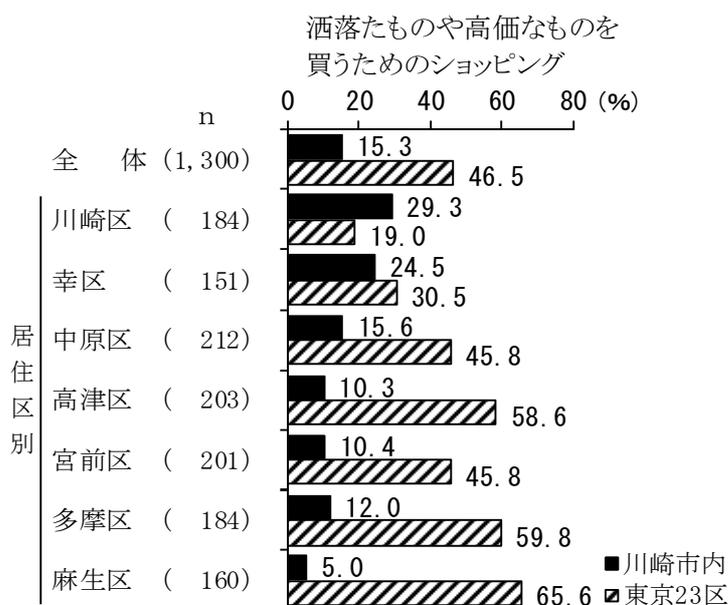
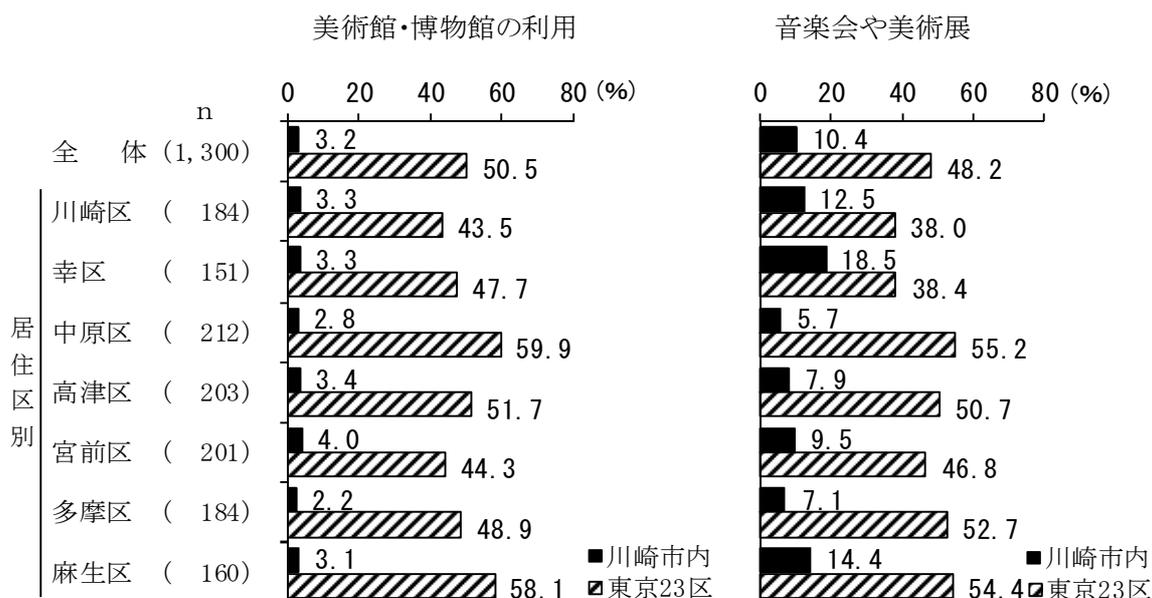
【非限定型】・・・ 観劇や映画鑑賞  
 スポーツをする(観る)  
 趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)  
 遊園地や動物園等のレジャーでの行楽

図表 3-6 行動範囲（『川崎市内』と『東京 23 区』との比較、居住区別）【川崎市内型】



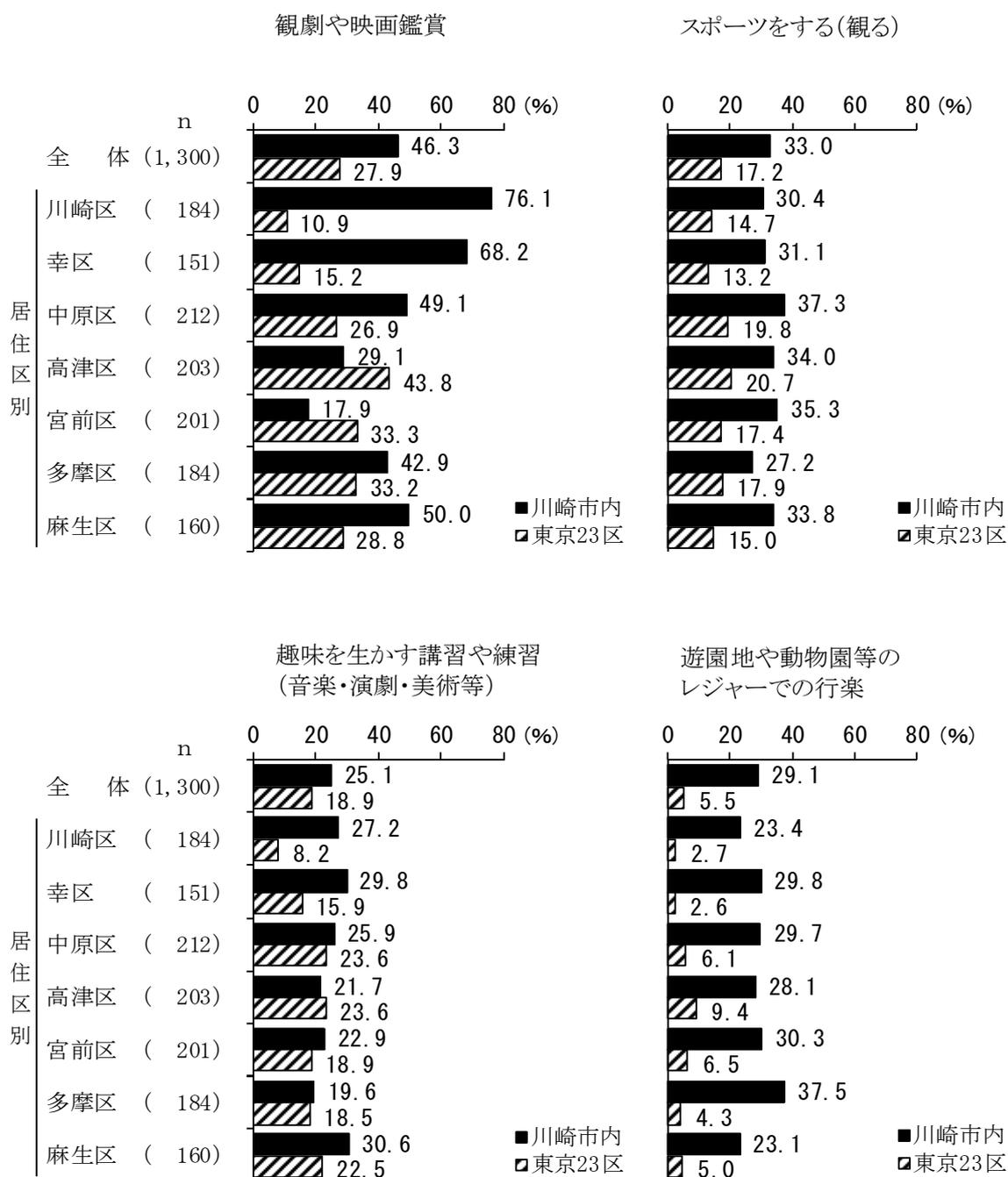
【川崎市内型】に分類した『川崎市内』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「図書館の利用」は、中原区（75.0%）が最も高く、『東京 23 区』での利用率は、いずれの居住区においても1割未満と低い。「レストランなどでの飲食」は、川崎区（76.1%）が最も高く、『東京 23 区』での利用率は、麻生区（28.8%）が最も高い。「自然に親しむための近距離の行楽」は、多摩区（37.5%）が最も高く、『東京 23 区内』での利用率は、いずれの居住区においても1割未満となっている。

図表3-7 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別)【東京23区内型】



【東京23区内型】に分類した『東京23区』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「美術館・博物館の利用」は、中原区(59.9%)が最も高く、『川崎市内』での利用率は、いずれの居住区においても1割未満と低い。「音楽会や美術展」は、中原区(55.2%)が最も高く、『川崎市内』での利用率は、幸区(18.5%)が最も高い。「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」は、麻生区(65.6%)が最も高く、『川崎市内』での利用率は、川崎区(29.3%)が最も高い。

図表 3-8 行動範囲（『川崎市内』と『東京 23 区』との比較、居住区別）【非限定型】



『川崎市内』と『東京 23 区』に限らず平均的な利用があると思われる【非限定型】4項目を、居住区別で比較すると、「観劇や映画鑑賞」は、川崎区(76.1%)、幸区(68.2%)で『川崎市内』が約7割と高い。「スポーツをする(観る)」は、いずれの居住区においても、『川崎市内』が『東京 23 区』を上回っている。「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)」は、高津区を除き、『川崎市内』が『東京 23 区』を上回っている。「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」は、多摩区を除き、『東京 23 区』が『川崎市内』を上回っている。

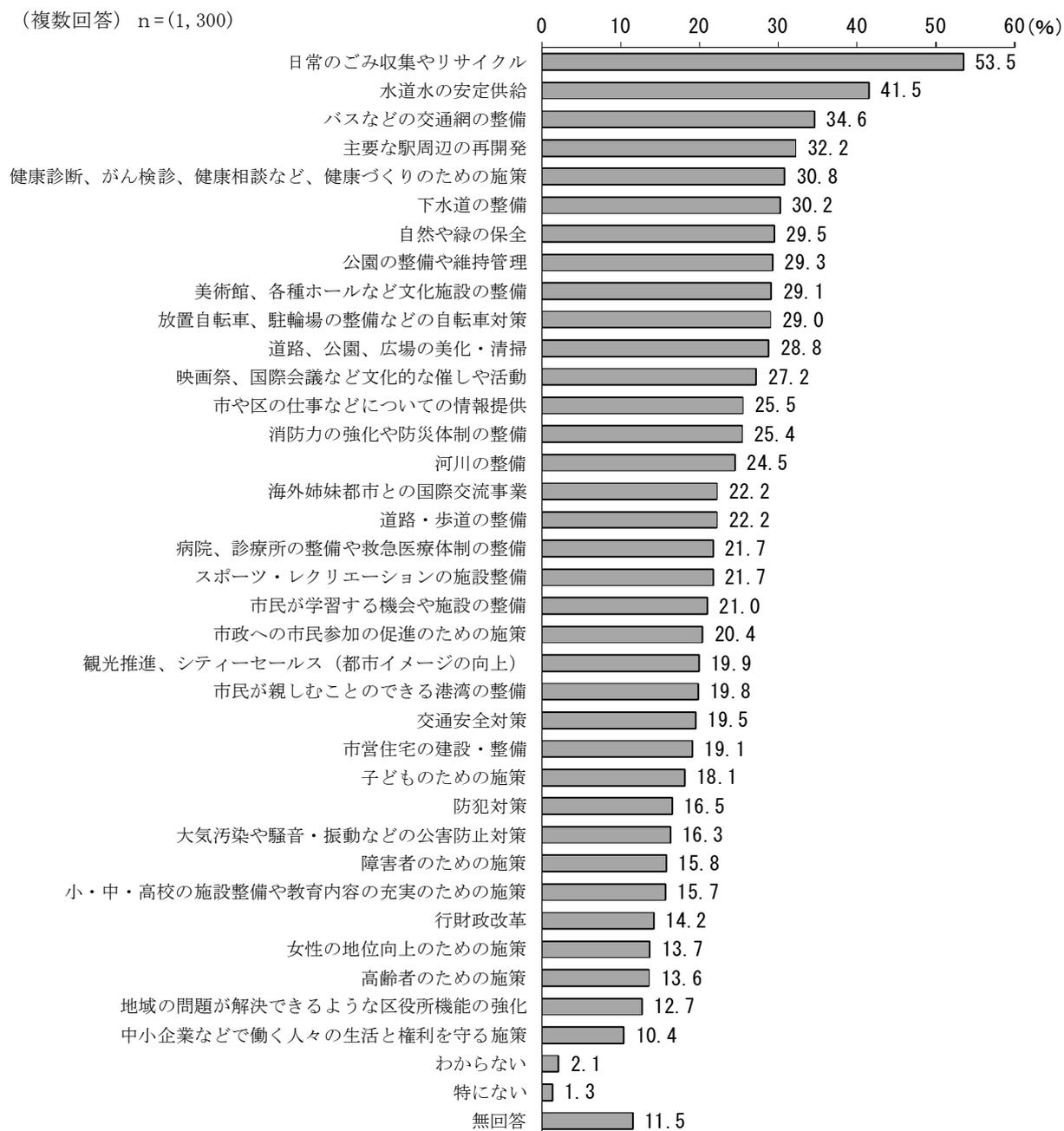
## 4 市政に対する評価と要望について

### 4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと

◎「日常のごみ収集やリサイクル」が53.5%

問7① 市政について総合的にうかがいます。あなたは、次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものはどれですか。(あてはまるもの全てに○)

図表4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと



市政の仕事でよくやっていると思うことは、「日常のごみ収集やリサイクル」(53.5%)が最も高く、次いで「水道水の安定供給」(41.5%)、「バスなどの交通網の整備」(34.6%)、「主要な駅周辺の再開発」(32.2%)の順となっている。

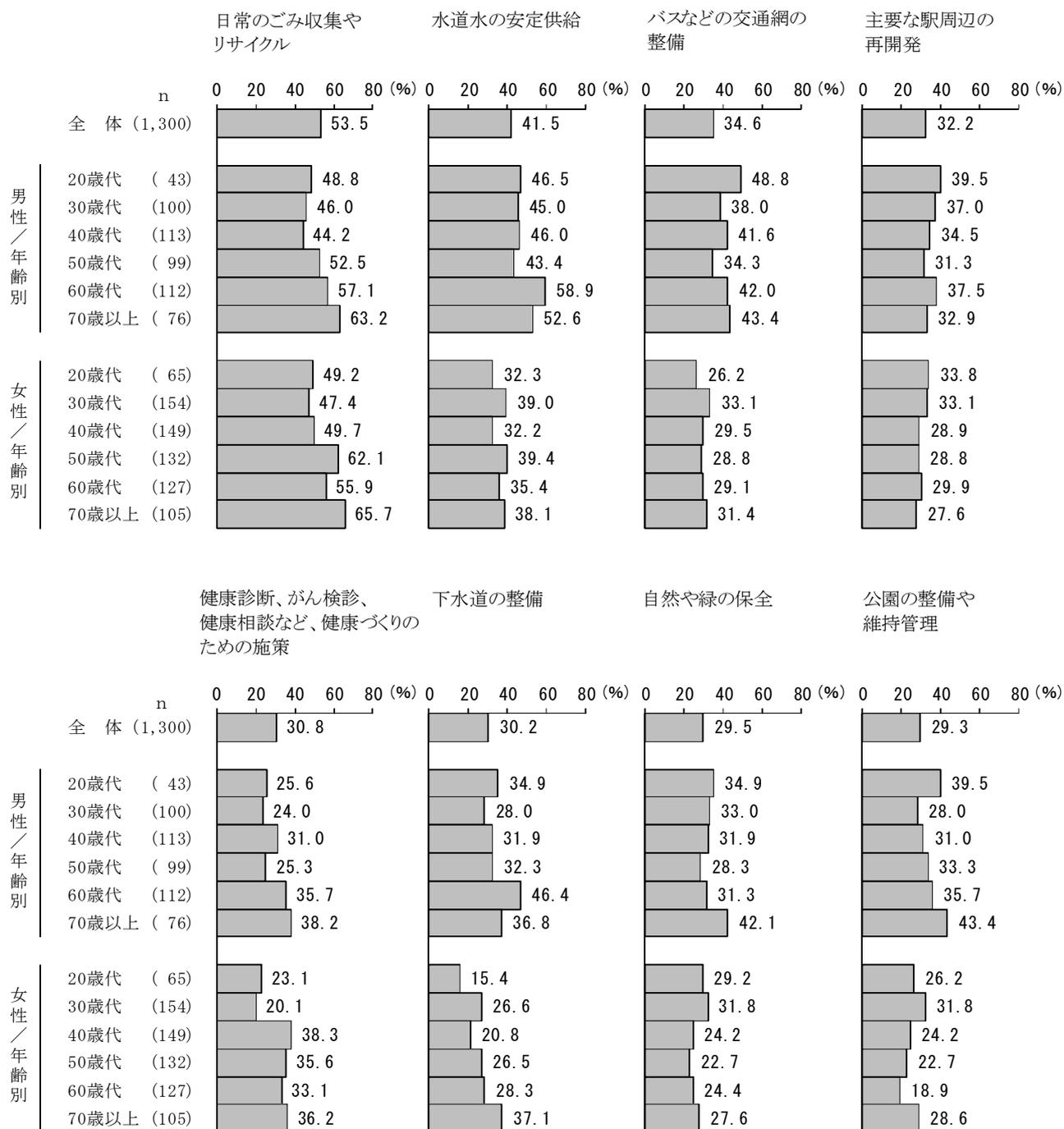
図表 4-2 市政の仕事でよくやっていると思うこと（前年比較）

(%)

	平成27年度 n=(1,300)	平成26年度 n=(1,345)
日常のごみ収集やリサイクル	53.5	56.7
水道水の安定供給	41.5	36.8
バスなどの交通網の整備	34.6	30.7
主要な駅周辺の再開発	32.2	28.3
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	30.8	33.1
下水道の整備	30.2	23.9
自然や緑の保全	29.5	23.2
公園の整備や維持管理	29.3	26.2
美術館、各種ホールなど文化施設の整備	29.1	24.3
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	29.0	26.5
道路、公園、広場の美化・清掃	28.8	30.0
映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	27.2	21.4
市や区の仕事などについての情報提供	25.5	25.5
消防力の強化や防災体制の整備	25.4	18.4
河川の整備	24.5	17.5
海外姉妹都市との国際交流事業	22.2	14.5
道路・歩道の整備	22.2	17.5
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	21.7	21.0
スポーツ・レクリエーションの施設整備	21.7	15.7
市民が学習する機会や施設の整備	21.0	12.9
市政への市民参加の促進のための施策	20.4	14.8
観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）	19.9	14.5
市民が親しむことのできる港湾の整備	19.8	10.5
交通安全対策	19.5	17.3
市営住宅の建設・整備	19.1	13.9
子どものための施策	18.1	16.1
防犯対策	16.5	14.3
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	16.3	13.6
障害者のための施策	15.8	14.2
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	15.7	11.4
行財政改革	14.2	10.8
女性の地位向上のための施策	13.7	7.1
高齢者のための施策	13.6	11.4
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	12.7	9.0
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	10.4	6.5
わからない	2.1	3.1
特にない	1.3	1.8
無回答	11.5	9.7

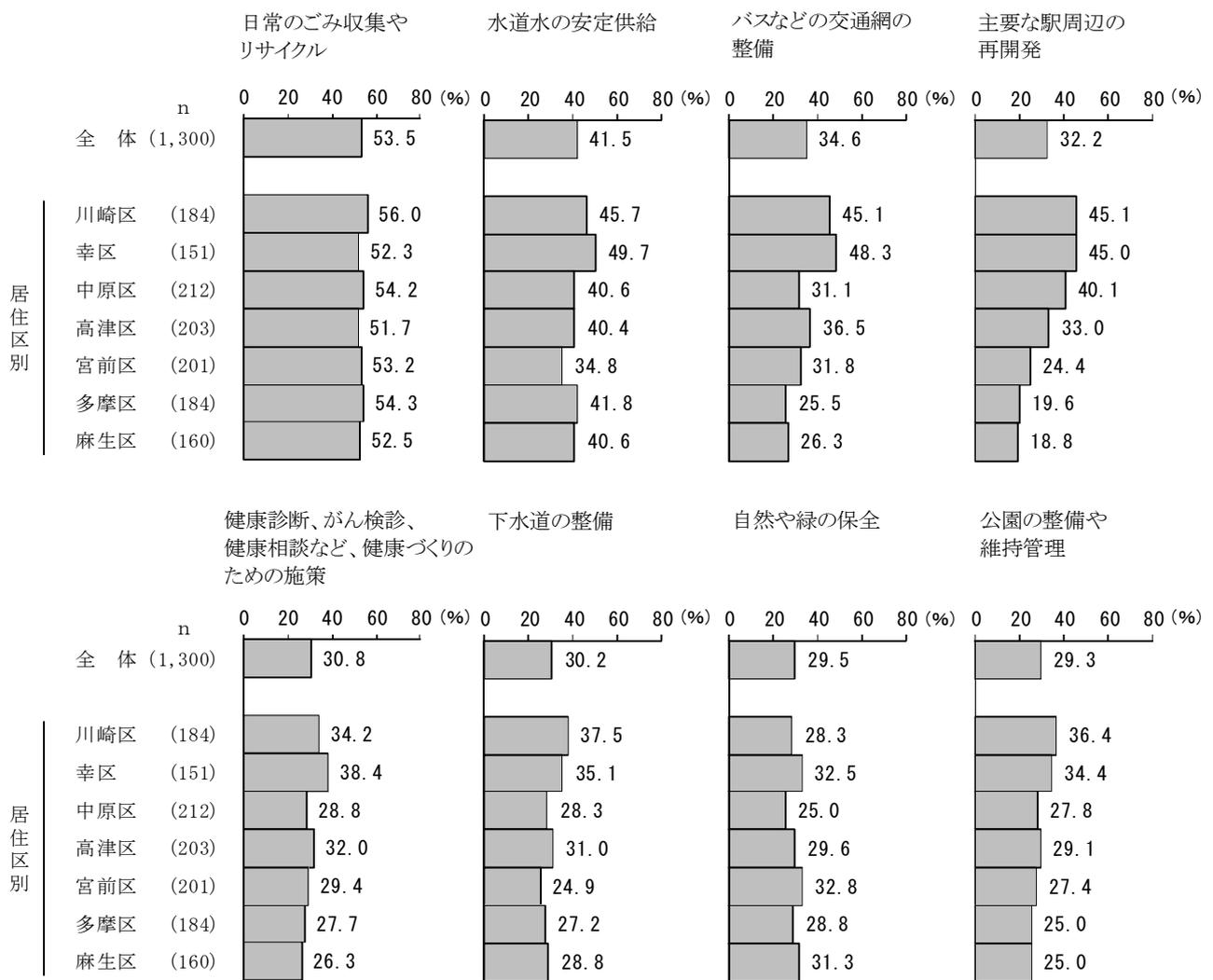
平成26年度調査と比較すると、「日常のごみ収集やリサイクル」、「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」、「道路、公園、広場の美化・清掃」、「市や区の仕事などについての情報提供」を除き増加している。特に「市民が楽しむことのできる港湾の整備」で9.3ポイント、「市民が学習する機会や施設の整備」で8.1ポイント増加している。

図表4-3 市政の仕事でよくやっていると思うこと（性／年齢別、上位8項目）



性／年齢別では、「日常のごみ収集やリサイクル」は、男女ともに70歳以上（男性：63.2%、女性：65.7%）で最も高い。「水道水の安定供給」は、男性の60歳代（58.9%）、70歳以上（52.6%）の順で高い。「バスなどの交通網の整備」は、男性は20歳代（48.8%）、女性は30歳代（33.1%）で最も高い。

図表4-4 市政の仕事でよくやっていると思うこと（居住区別、上位8項目）



居住区別では、「日常のごみ収集やリサイクル」は、川崎区（56.0%）で最も高い。「水道水の安定供給」は、幸区（49.7%）で最も高く、「バスなどの交通網の整備」も、幸区（48.3%）で最も高い。

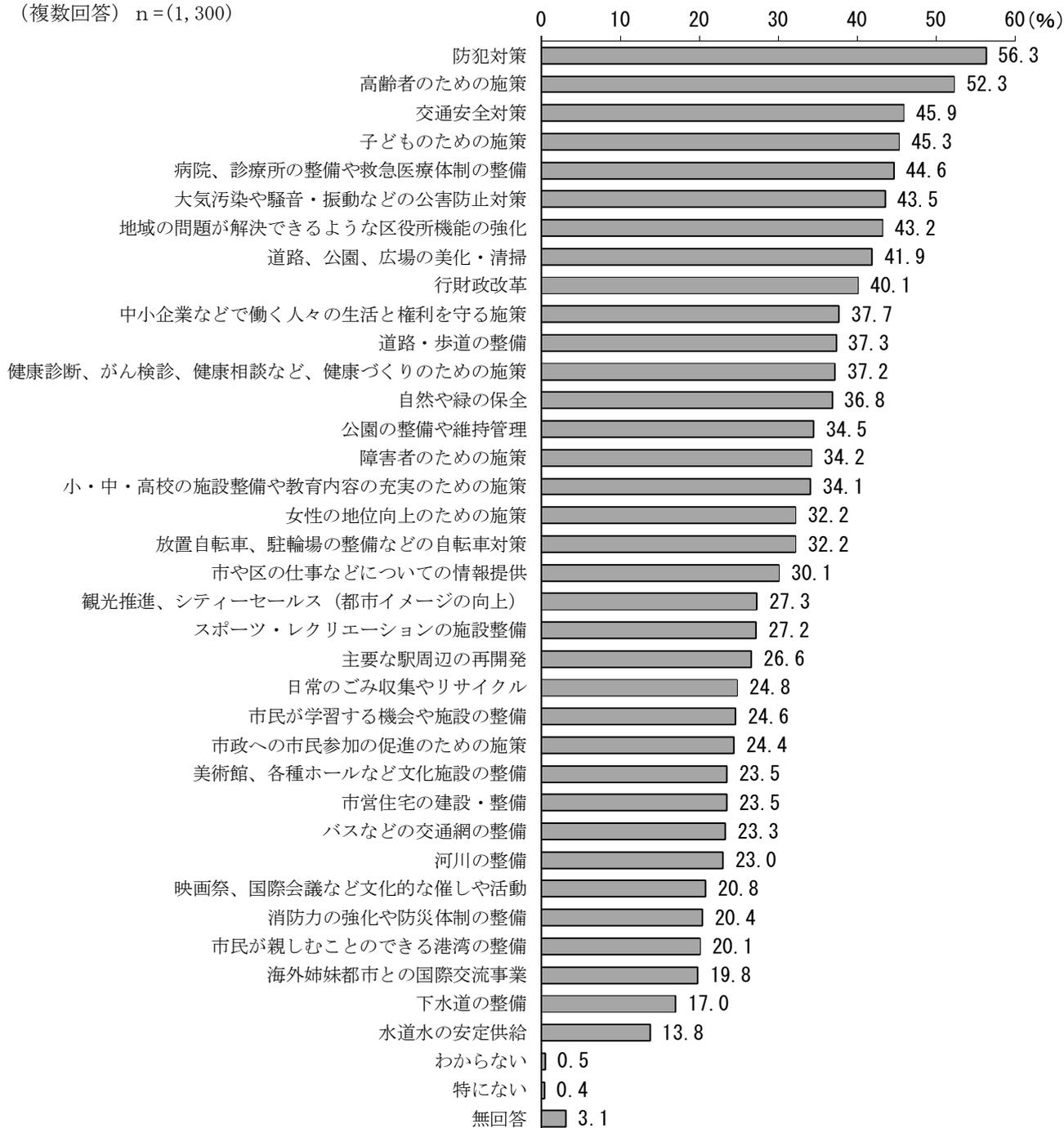
## 4-2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと

◎「防犯対策」が56.3%、「高齢者のための施策」が52.3%

問7② 市政について総合的にうかがいます。あなたは、次にあげる仕事の中で、あなたが今後特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。(あてはまるもの全てに○)

図表4-5 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと

(複数回答) n=(1,300)



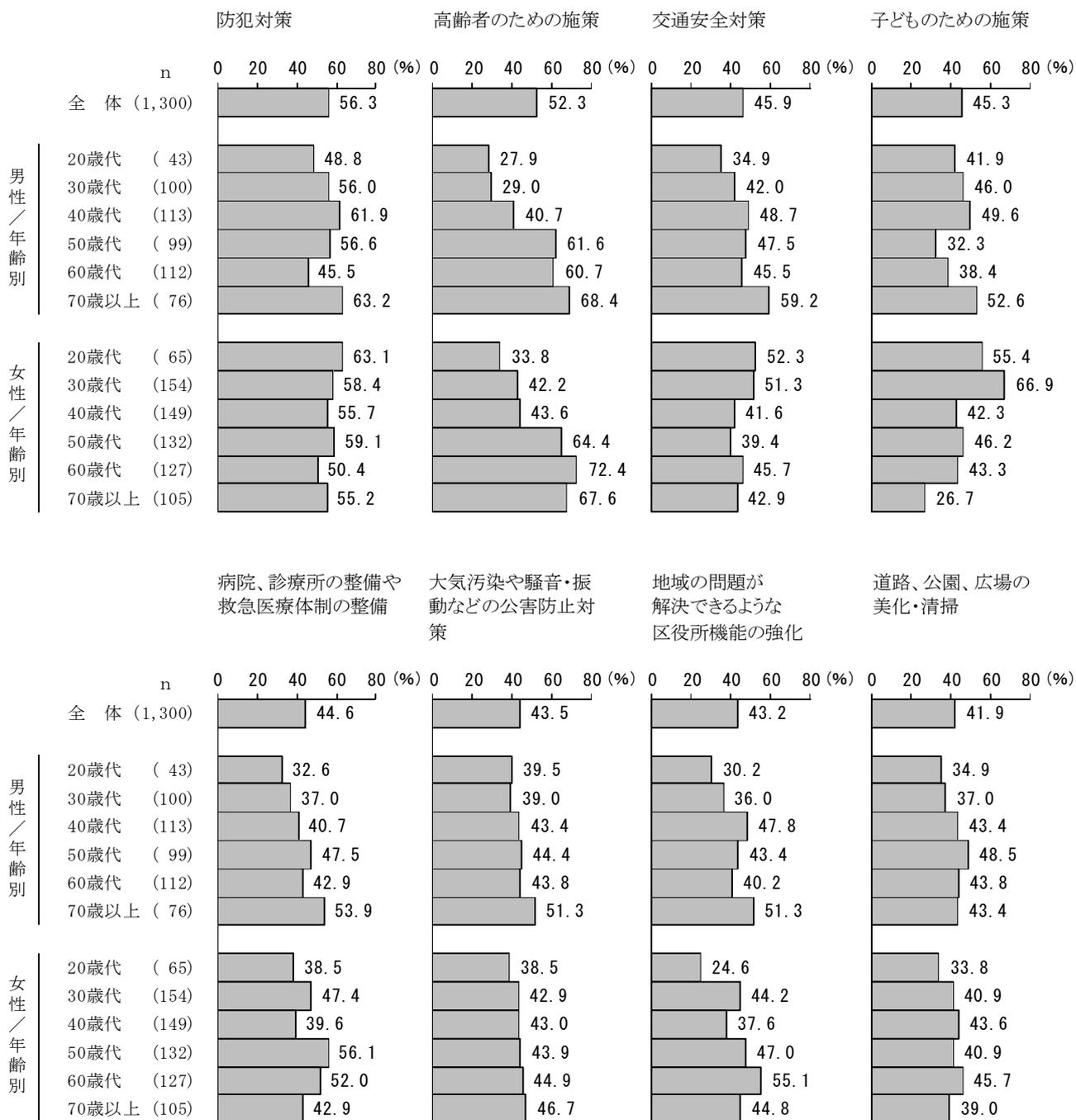
市政の仕事で今後特に力を入れてほしいことは、「防犯対策」(56.3%)が最も高く、次いで「高齢者のための施策」(52.3%)、「交通安全対策」(45.9%)、「子どものための施策」(45.3%)の順となっている。

図表４－６ 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（前年比較）

	(%)	
	平成27年度 n=(1,300)	平成26年度 n=(1,345)
防犯対策	56.3	52.6
高齢者のための施策	52.3	52.9
交通安全対策	45.9	41.3
子どものための施策	45.3	44.8
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	44.6	42.8
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	43.5	38.4
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	43.2	36.4
道路、公園、広場の美化・清掃	41.9	38.7
行財政改革	40.1	35.5
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	37.7	30.5
道路・歩道の整備	37.3	38.5
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	37.2	34.2
自然や緑の保全	36.8	38.5
公園の整備や維持管理	34.5	33.7
障害者のための施策	34.2	28.7
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	34.1	30.3
女性の地位向上のための施策	32.2	26.2
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	32.2	31.7
市や区の仕事などについての情報提供	30.1	23.9
観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）	27.3	22.2
スポーツ・レクリエーションの施設整備	27.2	24.7
主要な駅周辺の再開発	26.6	26.1
日常のごみ収集やリサイクル	24.8	26.2
市民が学習する機会や施設の整備	24.6	20.7
市政への市民参加の促進のための施策	24.4	19.3
美術館、各種ホールなど文化施設の整備	23.5	19.2
市営住宅の建設・整備	23.5	18.8
バスなどの交通網の整備	23.3	22.8
河川の整備	23.0	19.3
映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	20.8	16.4
消防力の強化や防災体制の整備	20.4	19.1
市民が親しむことのできる港湾の整備	20.1	16.9
海外姉妹都市との国際交流事業	19.8	14.1
下水道の整備	17.0	17.2
水道水の安定供給	13.8	15.5
わからない	0.5	0.4
特にない	0.4	0.9
無回答	3.1	3.6

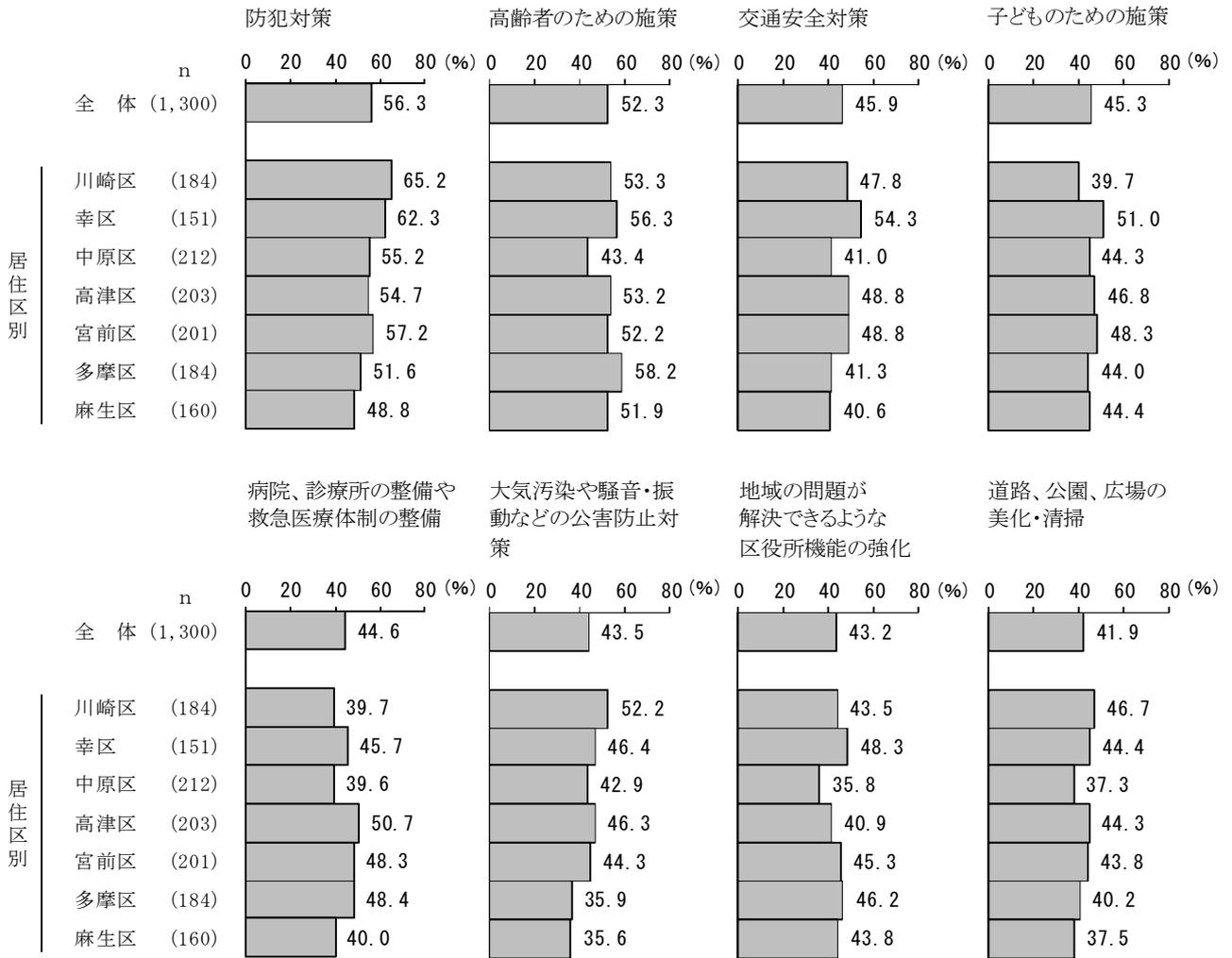
平成26年度調査と比較すると、「高齢者のための施策」、「道路・歩道の整備」、「自然や緑の保全」、「日常のごみ収集やリサイクル」、「下水道の整備」、「水道水の安定供給」を除き増加している。「中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策」で7.2ポイント、「地域の問題が解決できるような区役所機能の強化」で6.8ポイント増加している。

図表4-7 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（性／年齢別、上位8項目）



性／年齢別では、「防犯対策」は、男性は70歳以上（63.2%）、女性は20歳代（63.1%）で最も高い。「高齢者のための施策」は、女性の60歳代（72.4%）、男性の70歳以上（68.4%）の順で高い。「子どものための施策」は、男性は70歳以上（52.6%）、女性は30歳代（66.9%）で最も高い。

図表4-8 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（居住区別、上位8項目）



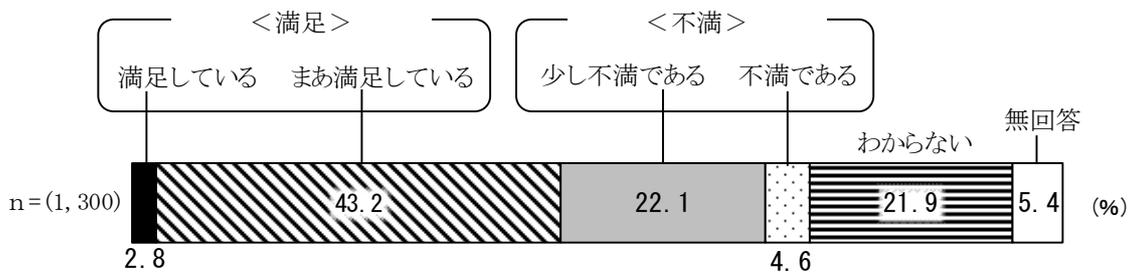
居住区別では、「防犯対策」は、川崎区（65.2%）で最も高い。「高齢者のための施策」は、多摩区（58.2%）で最も高く、「交通安全対策」は、幸区（54.3%）で最も高い。「子どものための施策」は、幸区（51.0%）、宮前区（48.3%）の順で高い。

### 4-3 施策や事業の総合的な満足度

◎<満足>が46.0%

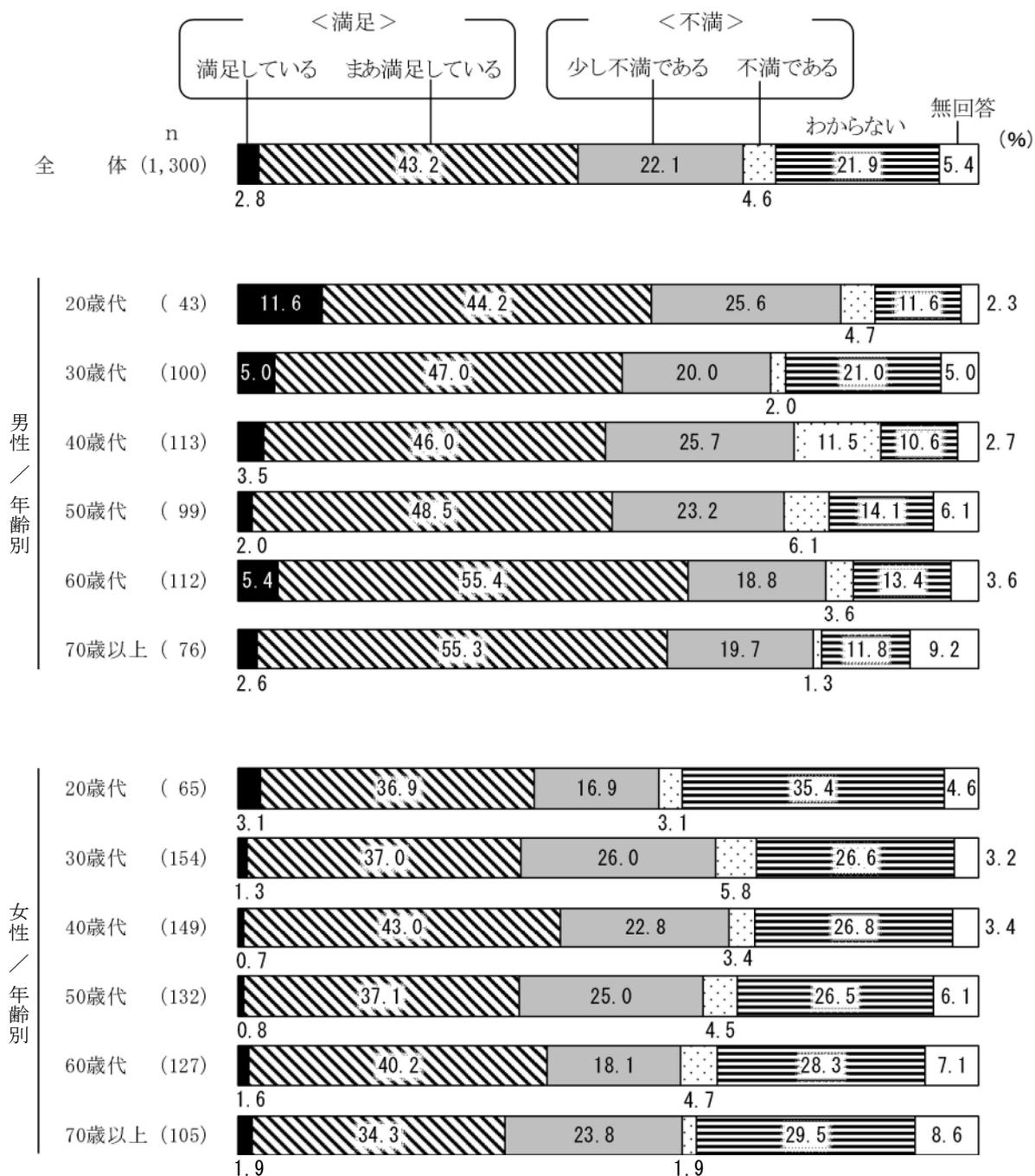
問8 あなたは、川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。  
(〇は1つだけ)

図表4-9 施策や事業の総合的な満足度



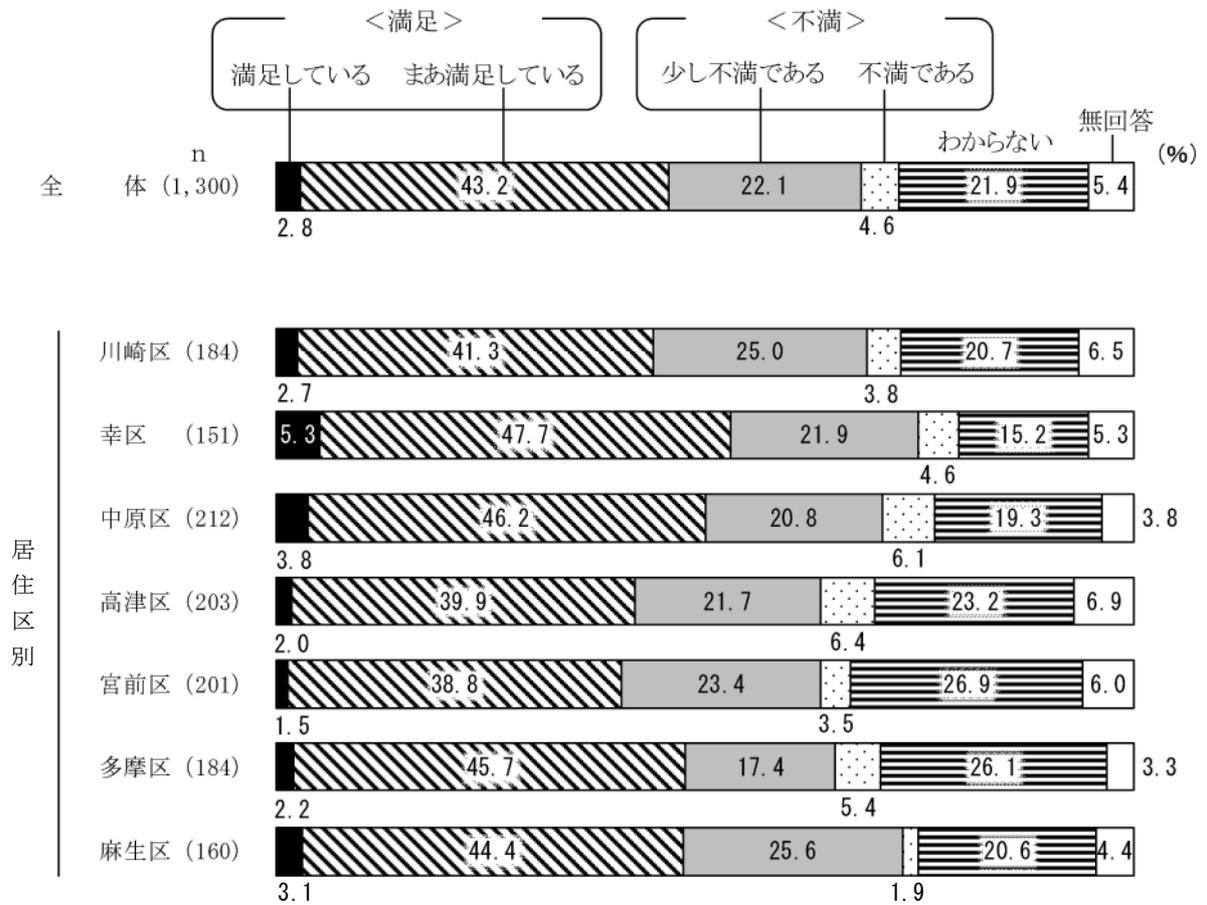
施策や事業の総合的な満足度は、「満足している」(2.8%)と「まあ満足している」(43.2%)を合わせた<満足>が46.0%となっている。一方、「少し不満である」(22.1%)と「不満である」(4.6%)を合わせた<不満>は26.7%となっている。

図表 4-10 施策や事業の総合的な満足度（性／年齢別）



性／年齢別では、<満足>は男性の60歳代（60.8%）、70歳以上（57.9%）の順で高い。一方、<不満>は、男性の40歳代（37.2%）、女性の30歳代（31.8%）で高い。

図表 4 - 11 施策や事業の総合的な満足度（居住区別）



居住区別では、<満足>は、幸区（53.0%）、中原区（50.0%）、多摩区（47.9%）の順で高い。一方、<不満>は、川崎区（28.8%）、高津区（28.1%）の順で高い。

## 5 都市農業の振興について

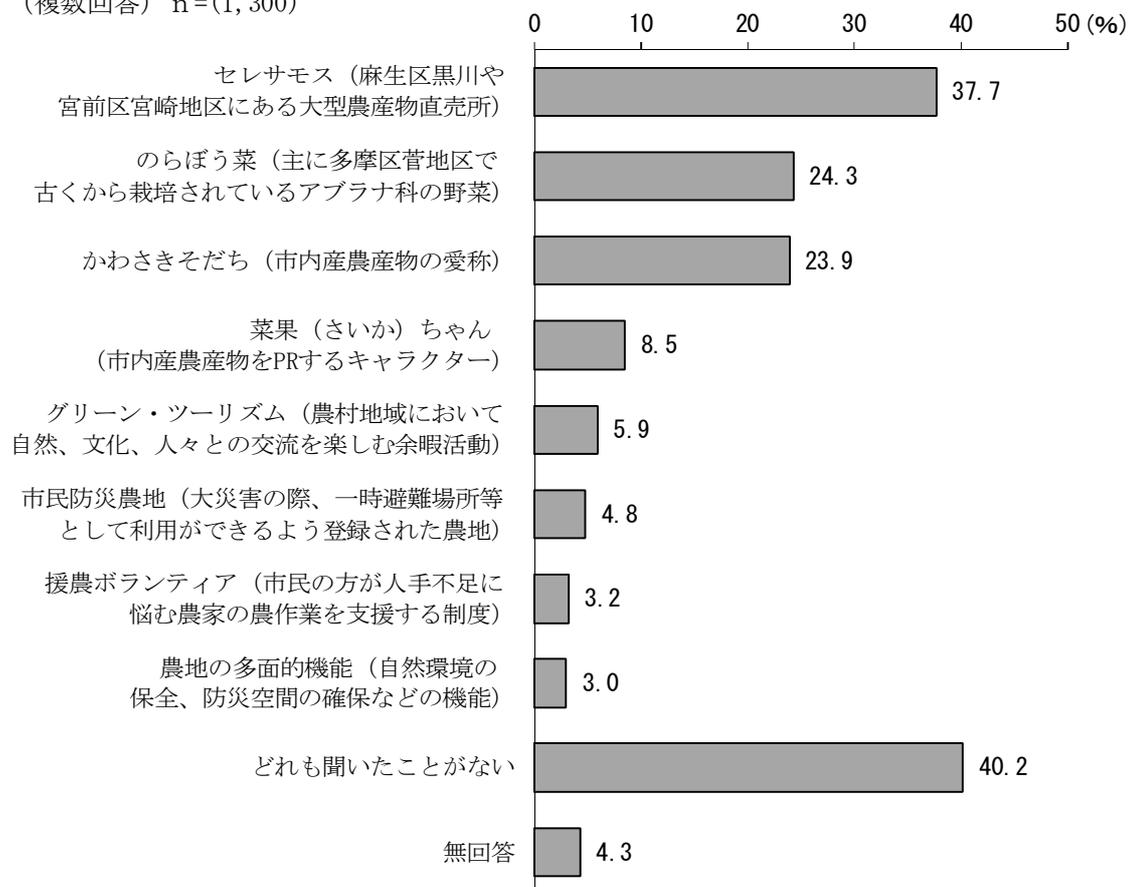
### 5-1 川崎の農業に関する言葉の認知度

◎「セレスモス（麻生区黒川や宮前区宮崎地区にある大型農作物直売所）」が37.7%

問9 あなたは、川崎の農業に関する次の言葉を知っている、または、聞いたことがありますか。  
(あてはまるもの全てに○)

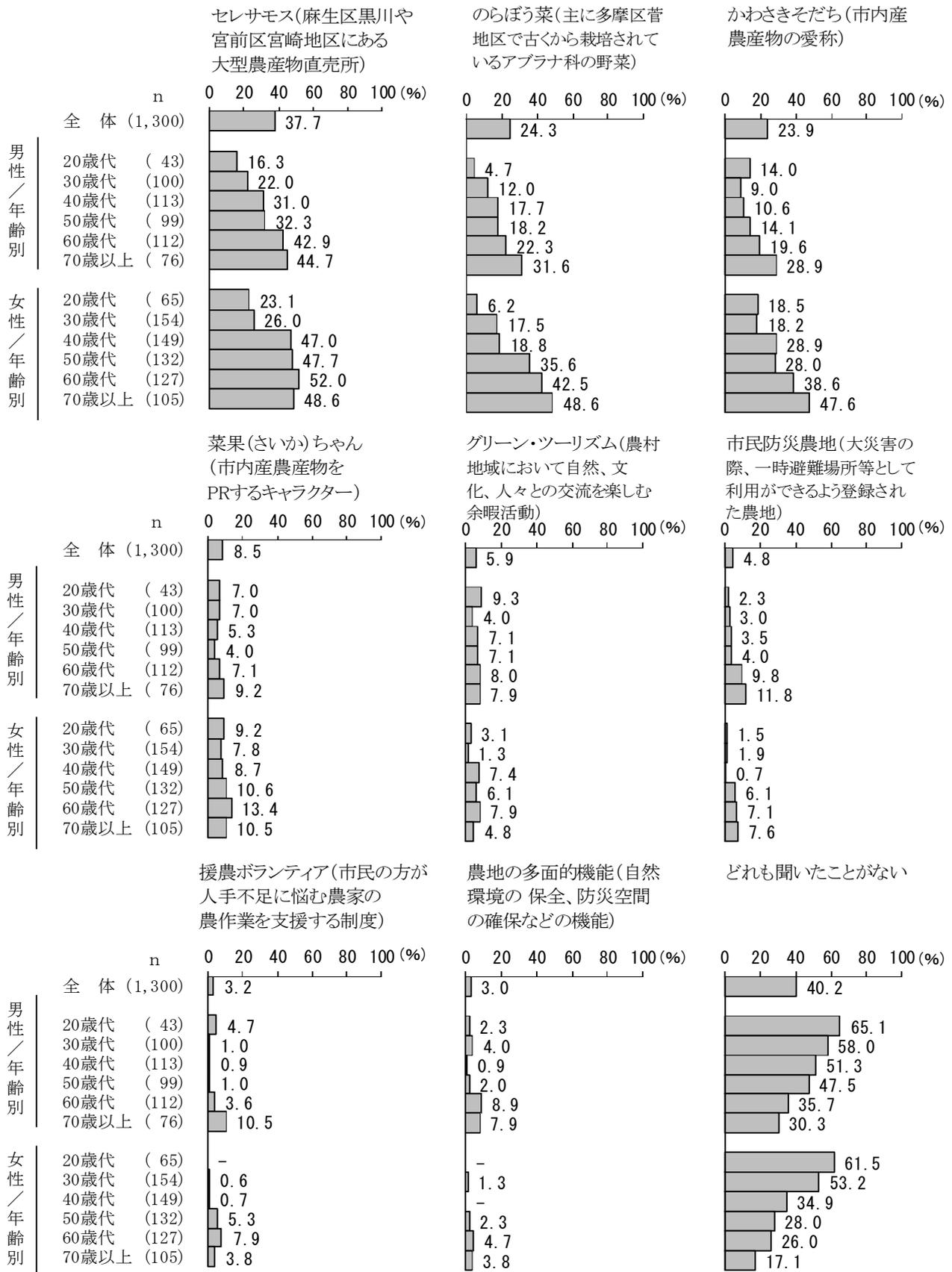
図表5-1 川崎の農業に関する言葉の認知度

(複数回答) n=(1,300)



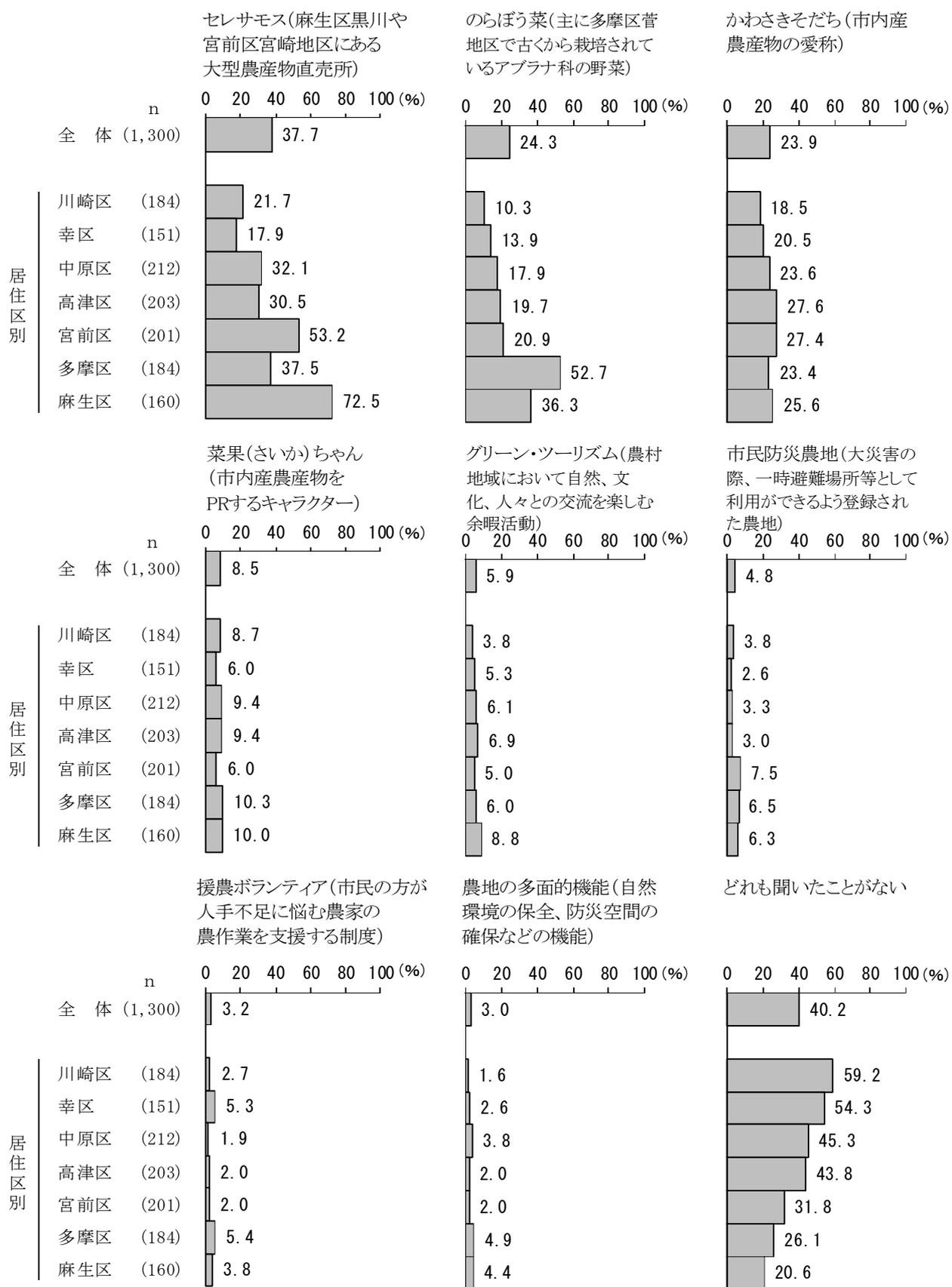
川崎の農業に関する言葉で知っているものは、「セレスモス（麻生区黒川や宮前区宮崎地区にある大型農作物直売所）」(37.7%) が最も高く、次いで「のらぼう菜（主に多摩区菅地区で古くから栽培されているアブラナ科の野菜）」(24.3%)、「かわさきそだち（市内産農作物の愛称）」(23.9%) の順となっている。

図表5-2 川崎の農業に関する言葉の認知度（性／年齢別）



性／年齢別では、「セレスモス（麻生区黒川や宮前区宮崎地区にある大型農作物直売所）」は、女性の60歳代（52.0%）、70歳以上（48.6%）、50歳代（47.7%）の順で高い。「のらぼう菜（主に多摩区菅地区で古くから栽培されているアブラナ科の野菜）」は、女性の70歳以上（48.6%）、60歳代（42.5%）、50歳代（35.6%）の順で高い。

図表5-3 川崎の農業に関する言葉の認知度（居住区別）



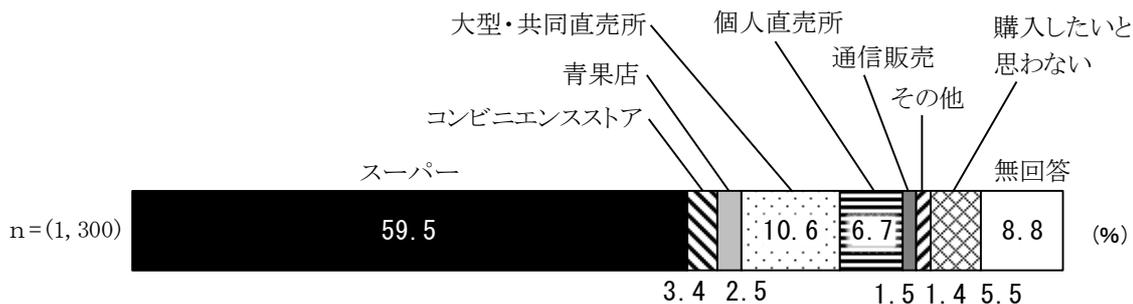
居住区別では、セルサモス（麻生区黒川や宮前区宮崎地区にある大型農作物直売所）は、麻生区（72.5%）、宮前区（53.2%）の順で高い。「のらぼう菜（主に多摩区菅地区で古くから栽培されているアブラナ科の野菜）」は、多摩区（52.7%）で最も高い。

## 5-2 市内産農産物を購入したい場所

◎「スーパー」が59.5%

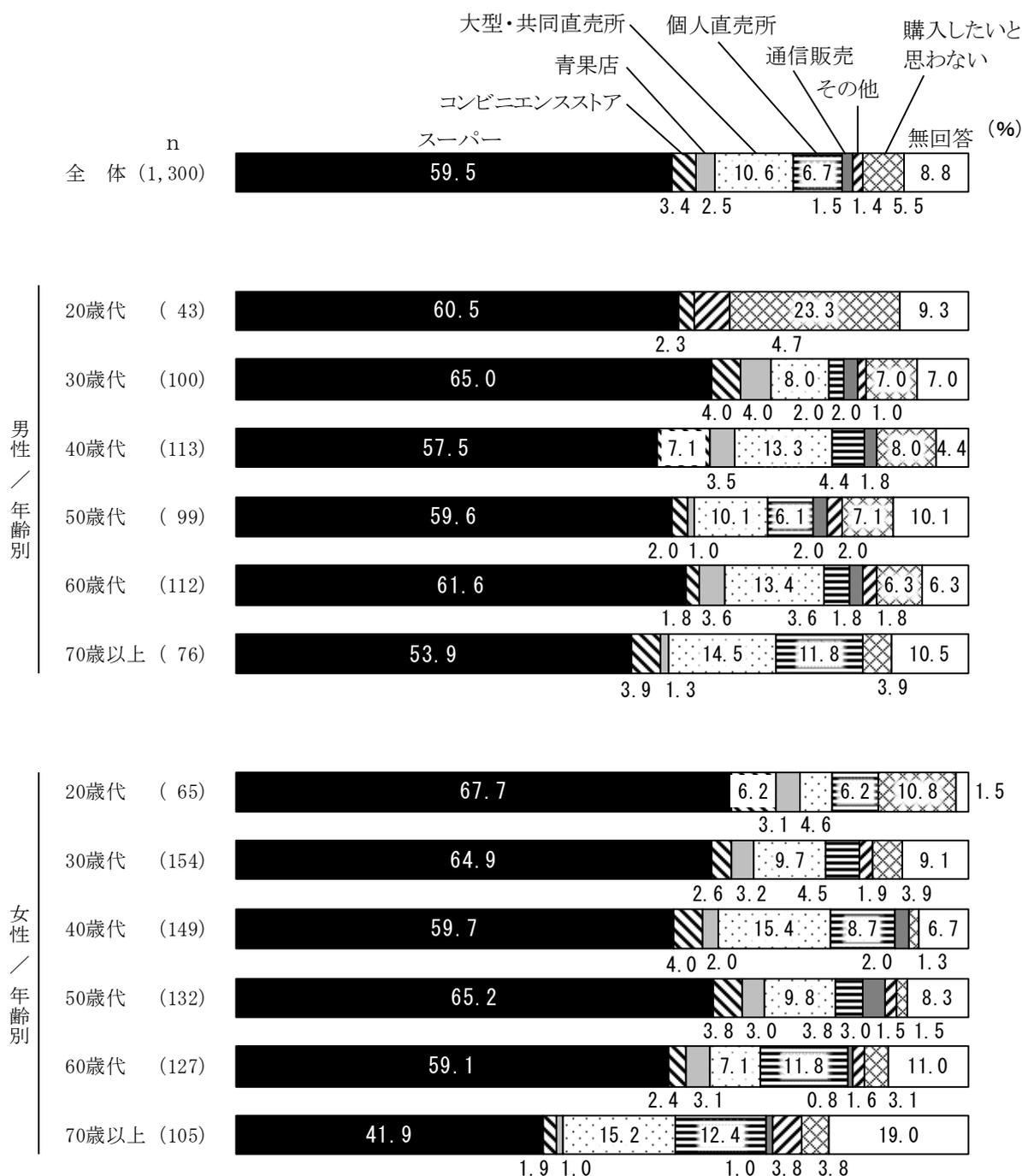
問 10 地産地消の拠点施設である大型農産物直売所「セレスモス（宮前店）」が宮前区宮崎に今年  
の秋にオープンしましたが、あなたは、市内産農産物をどのようなところ（方法）で購入  
したいですか。（○は1つだけ）

図表 5-4 市内産農産物を購入したい場所



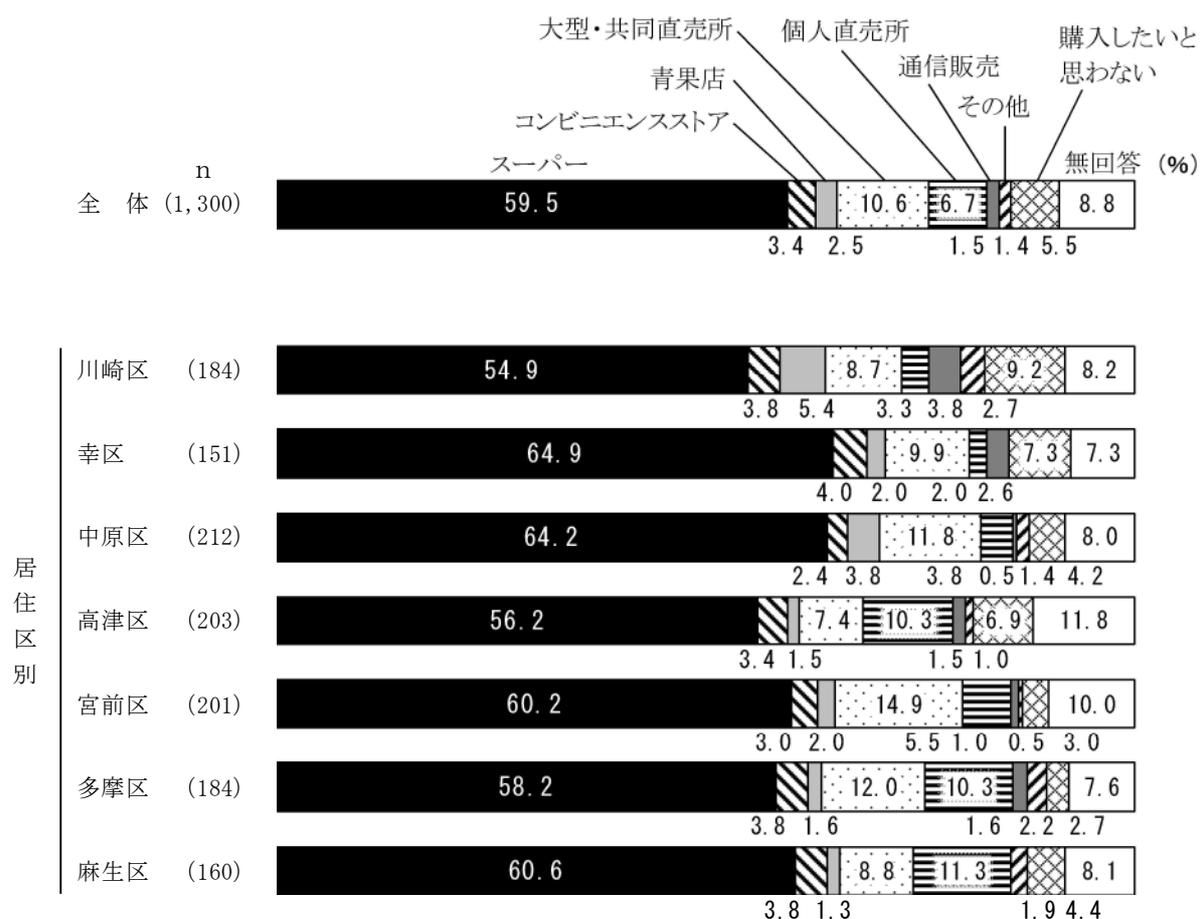
市内産農産物を購入したい場所は、「スーパー」（59.5%）が最も高く、次いで「大型・共同直売所」（10.6%）、「個人直売所」（6.7%）、「コンビニエンスストア」（3.4%）、「青果店」（2.5%）の順となっている。

図表 5-5 市内産農産物を購入したい場所（性／年齢別）



性／年齢別では、「スーパー」は、女性の20歳代(67.7%)、50歳代(65.2%)、男性の30歳代(65.0%)の順で高い。「大型・共同直売所」は、女性の40歳代(15.4%)、70歳以上(15.2%)、男性の70歳以上(14.5%)の順で高い。

図表 5-6 市内産農産物を購入したい場所（居住区別）



居住区別では、「スーパー」は、幸区（64.9%）が最も高く、「大型・共同直売所」は、宮前区（14.9%）、多摩区（12.0%）、中原区（11.8%）の順で高い。「個人直売所」は、麻生区（11.3%）が最も高く、次いで高津区及び多摩区（10.3%）の順となっている。

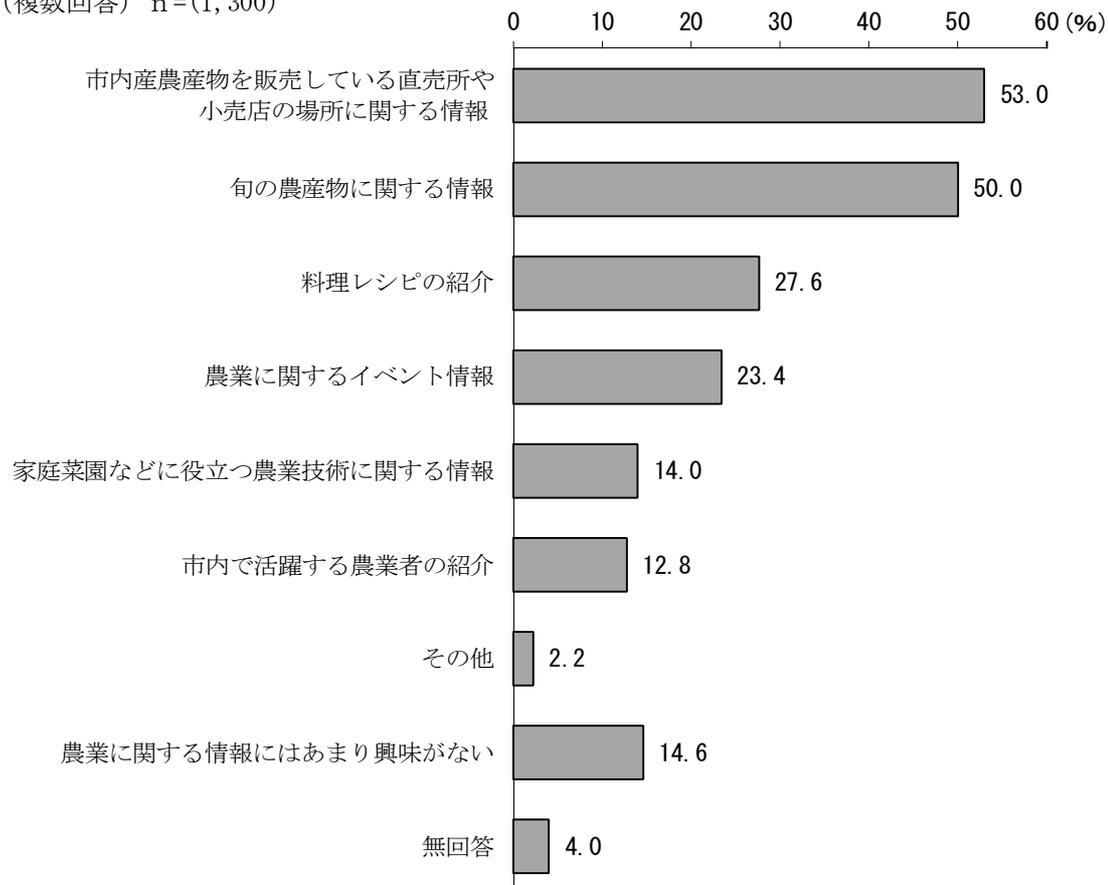
### 5-3 川崎の農業に関する興味のある情報

◎「市内産農作物を販売している直売所や小売店の場所に関する情報」が53.0%

問 11 川崎市では、都市農業を理解し、応援する市民の方が増えることが、市内農業の活性化につながることを考え、農業に関する情報発信を市民の方に対して行っています。あなたは、川崎の農業に関するどのような情報に興味がありますか。(あてはまるもの全てに○)

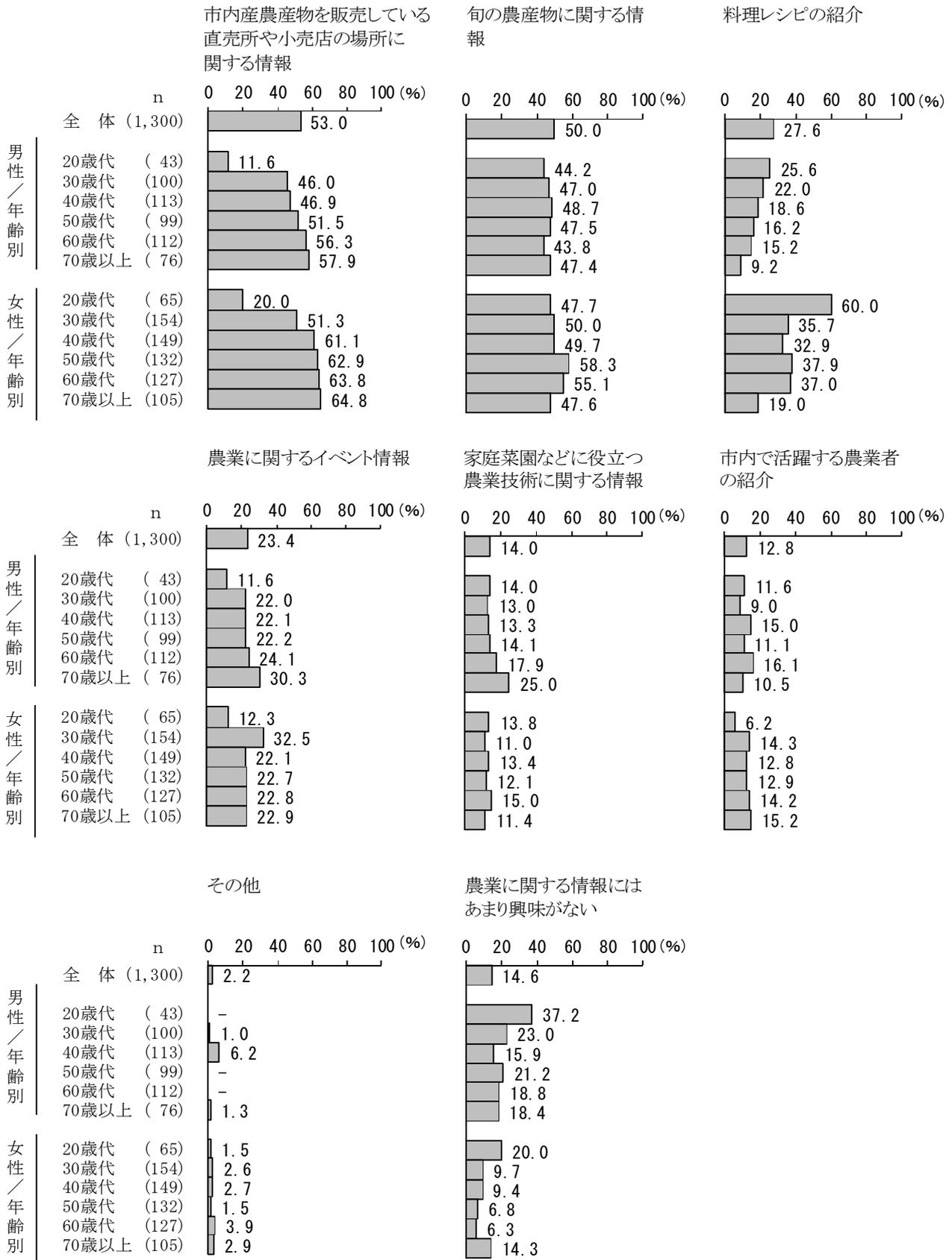
図表 5-7 川崎の農業に関する興味のある情報

(複数回答) n=(1,300)



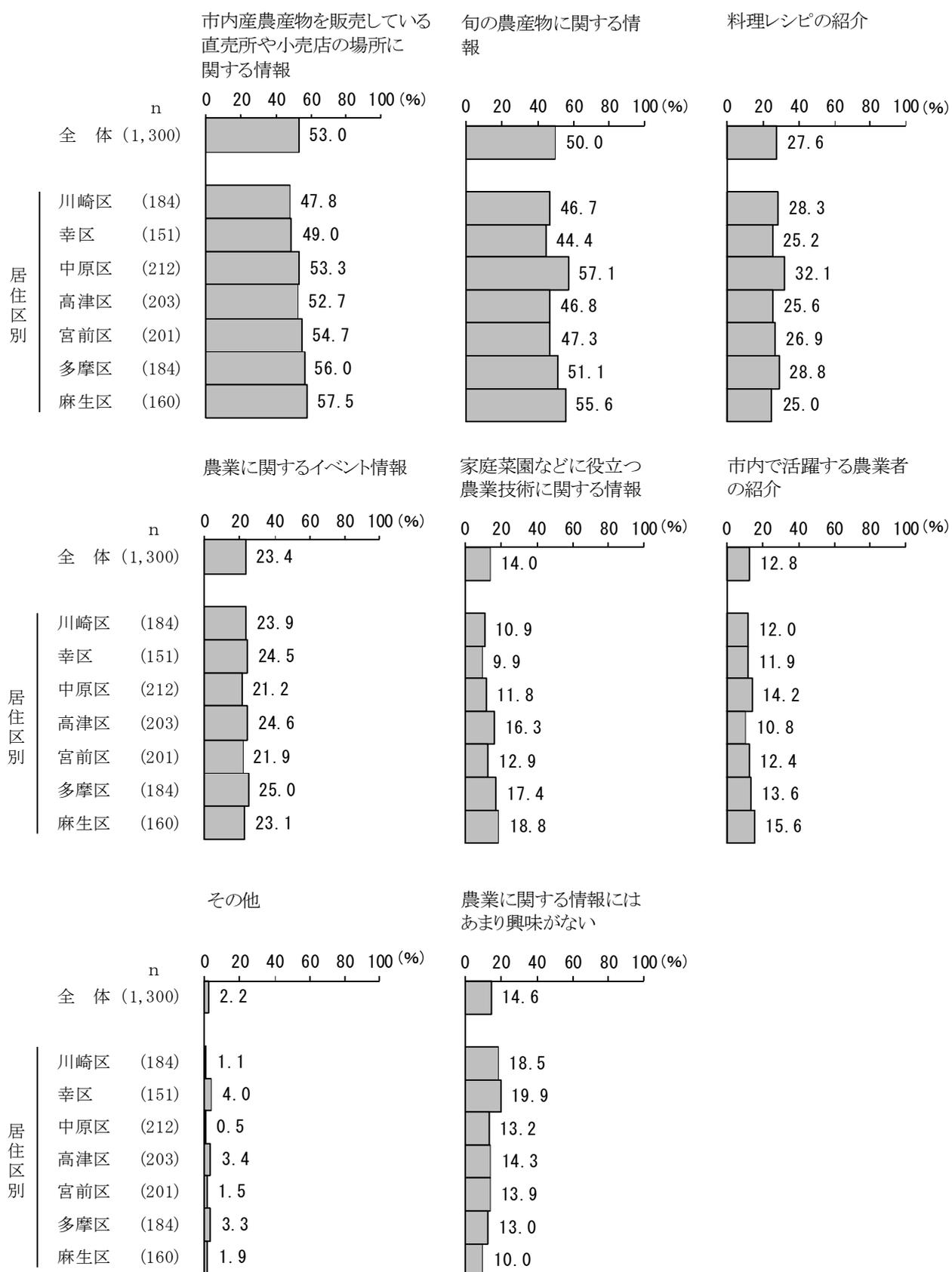
川崎の農業に関する興味のある情報は、「市内産農作物を販売している直売所や小売店の場所に関する情報」(53.0%)が最も高く、次いで「旬の農作物に関する情報」(50.0%)、「料理レシピの紹介」(27.6%)の順となっている。

図表5-8 川崎の農業に関する興味のある情報（性／年齢別）



性／年齢別では、「市内産農作物を販売している直売所や小売店の場所に関する情報」は、男女ともに年齢が高くなるほど割合が高くなり、女性の70歳以上（64.8%）が最も高い。「旬の農作物に関する情報」は、女性の50歳代（58.3%）、60歳代（55.1%）、30歳代（50.0%）の順で高い。「料理レシピの紹介」は、女性20歳代（60.0%）が最も高い。

図表5-9 川崎の農業に関する興味のある情報（居住区別）



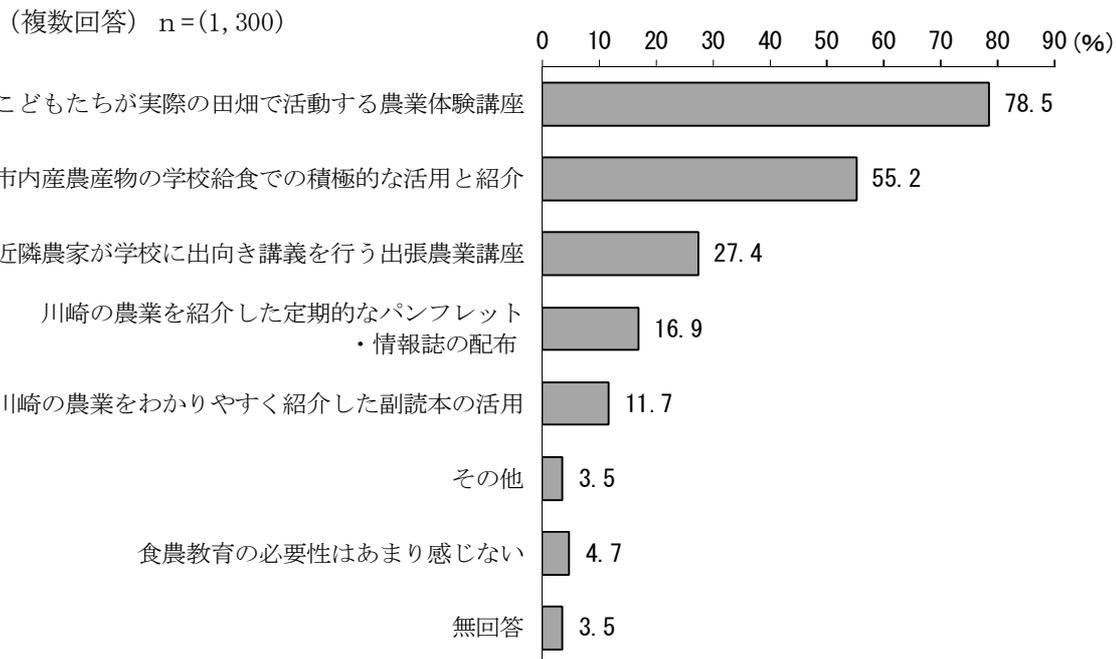
居住区別では、「市内産農作物を販売している直売所や小売店の場所に関する情報」は、麻生区（57.5%）が最も高い。「旬の農作物に関する情報」は、中原区（57.1%）で最も高く、「料理レシピの紹介」は、中原区（32.1%）、多摩区（28.8%）、川崎区（28.3%）の順となっている。

## 5-4 効果的な「食農教育」

◎「こどもたちが実際の田畑で活動する農業体験講座」が78.5%

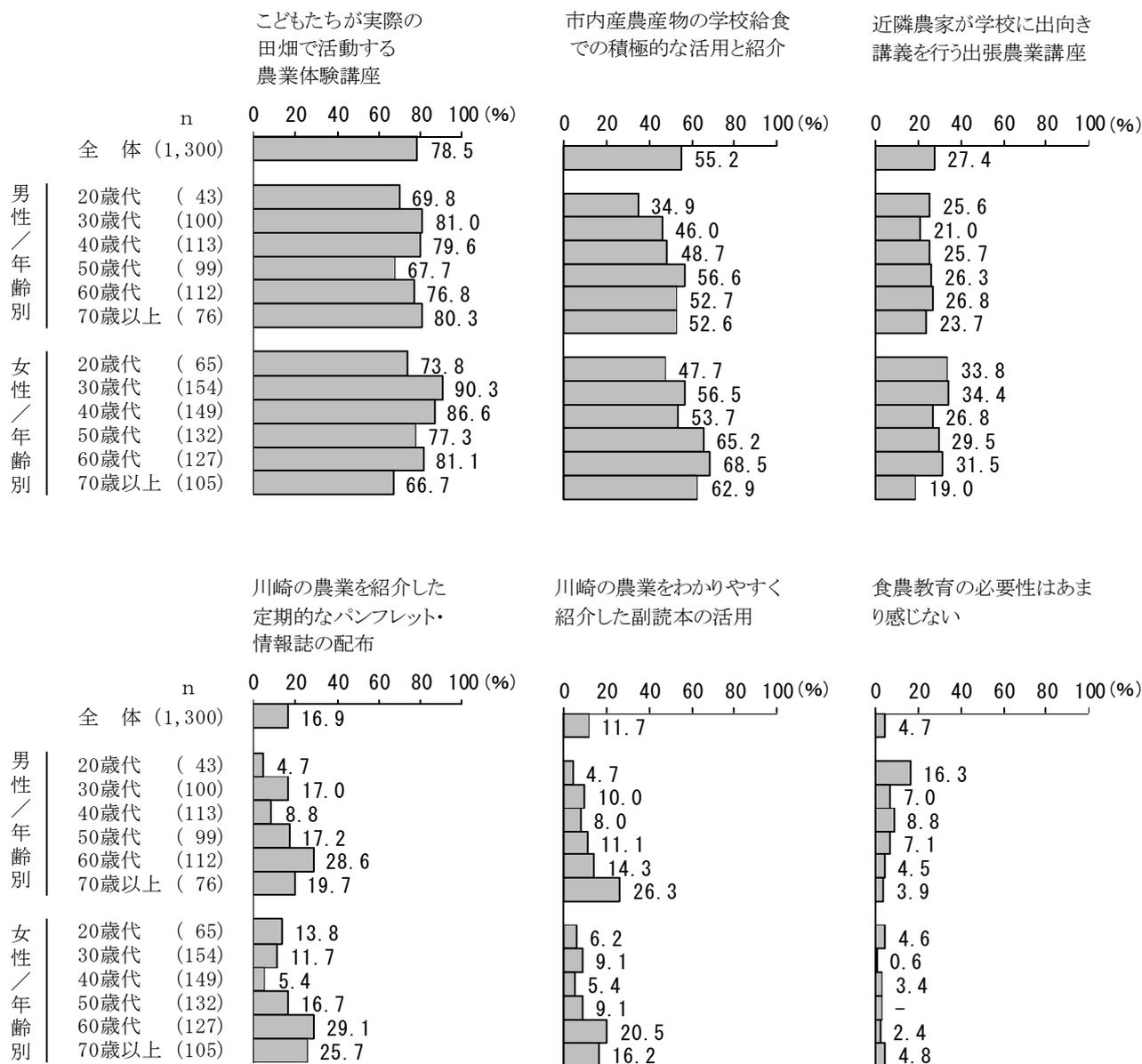
問12 川崎市では、川崎の農業を理解し、応援する市民の方を増やすために、次の世代を担うこどもたちを対象に「食」や「農業」の大切さなどを伝える「食農教育」に取り組んでいます。あなたは、どのような方法で「食農教育」を行えば、こどもたちにより効果的に伝わるとおもいますか。(あてはまるもの全てに○)

図表5-10 効果的な「食農教育」



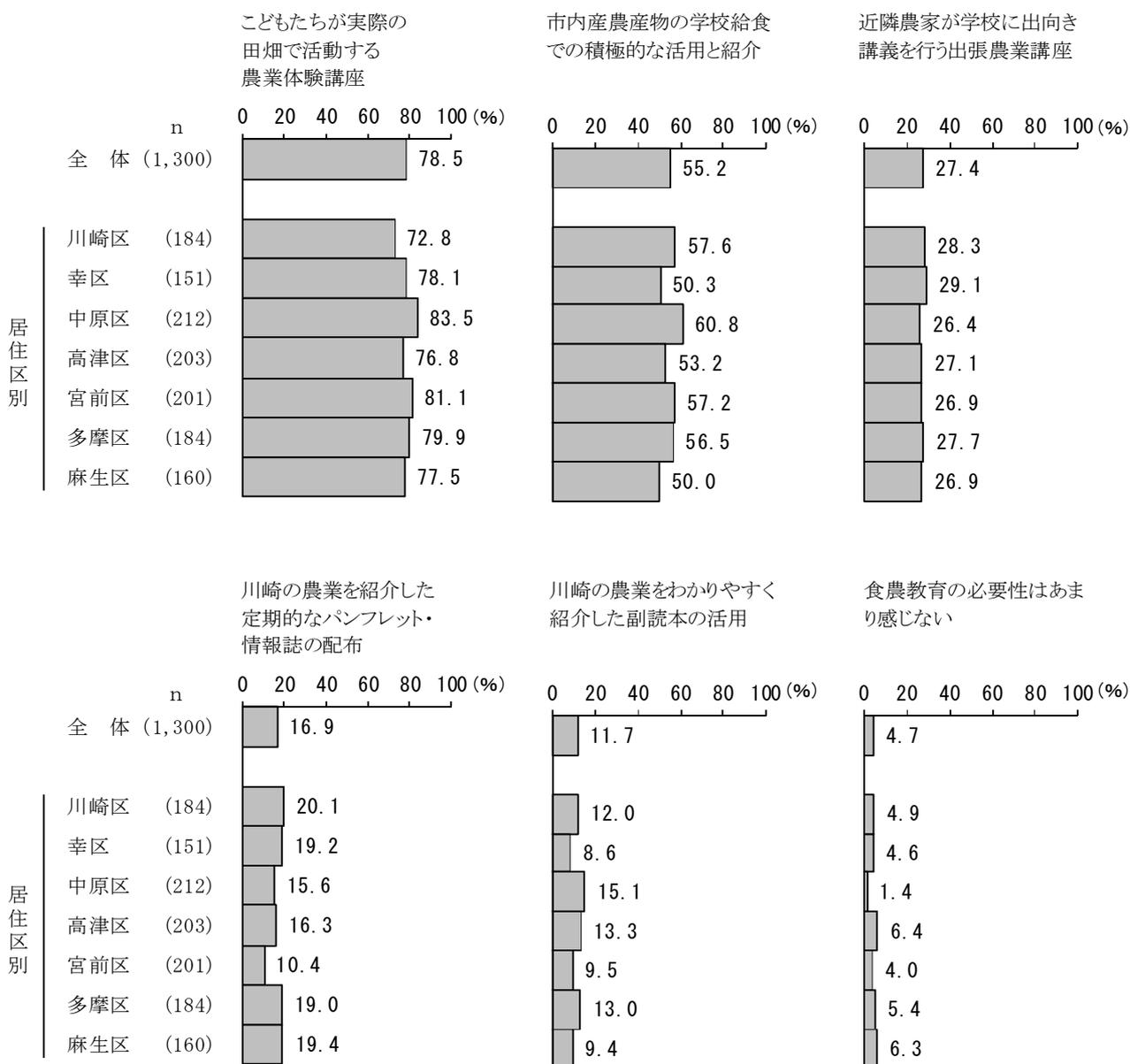
効果的な「食農教育」は、「こどもたちが実際の田畑で活動する農業体験講座」(78.5%)が最も高く、次いで「市内産農作物の学校給食での積極的な活用と紹介」(55.2%)、「近隣農家が学校に出向き講義を行う出張農業講座」(27.4%)の順となっている。

図表 5-11 効果的な「食農教育」方法（性／年齢別）



性／年齢別では、「子どもたちが実際の田畑で活動する農業体験講座」は、女性の30歳代(90.3%)、40歳代(86.6%)、60歳代(81.1%)の順で高い。「市内産農産物の学校給食での積極的な活用と紹介」は、女性の60歳代(68.5%)、50歳代(65.2%)の順で高い。「近隣農家が学校に出向き講義を行う出張農業講座」は、女性の30歳代(34.4%)、20歳代(33.8%)の順で高い。

図表5-12 効果的な「食農教育」方法（居住区別）



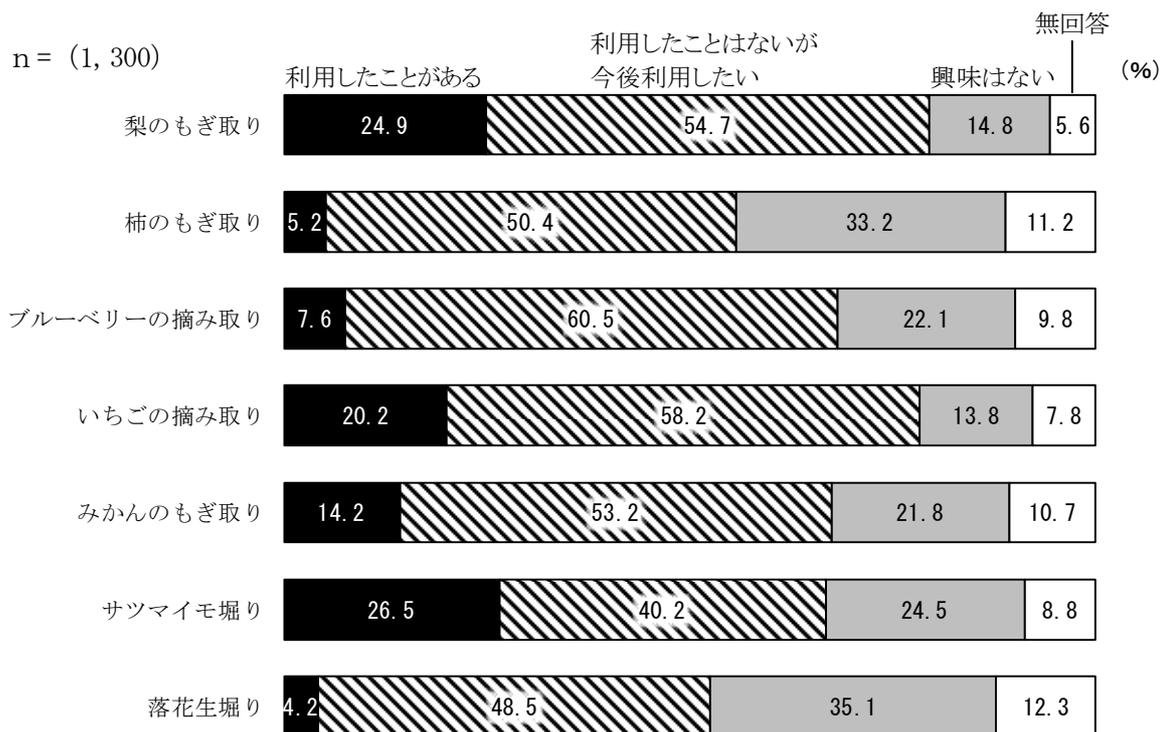
居住区別では、「子どもたちが実際の田畑で活動する農業体験講座」は、中原区（83.5%）、宮前区（81.1%）の順で高い。「市内産農産物の学校給食での積極的な活用と紹介」は、中原区（60.8%）、川崎区（57.6%）、宮前区（57.2%）の順で高い。「近隣農家が学校に出向き講義を行う出張農業講座」は、幸区（29.1%）が最も高い。

## 5-5 観光農園の利用経験と今後の利用意向

◎観光農園の利用経験は、「サツマイモ掘り」が26.5%

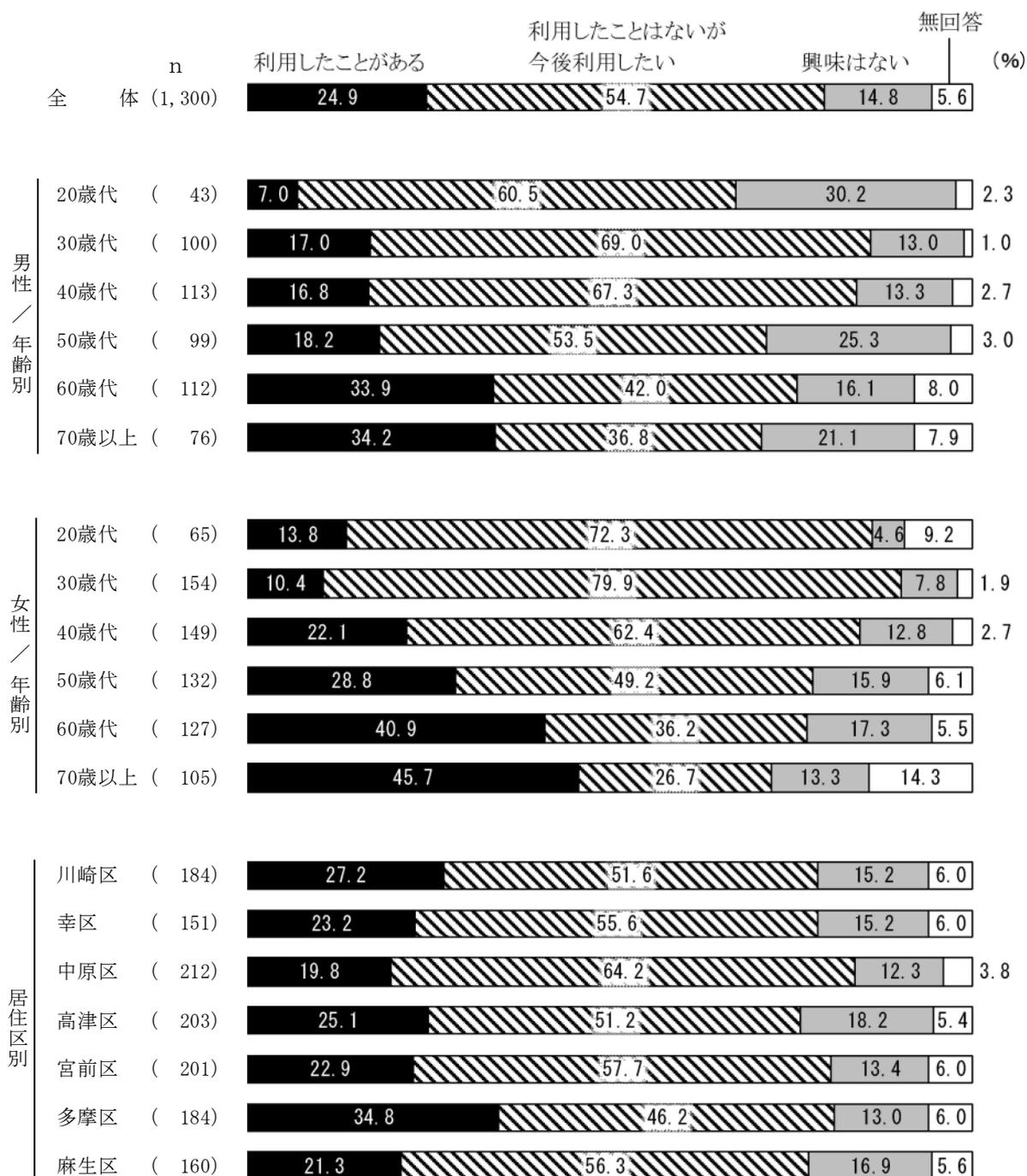
問 13 川崎市では、梨のもぎ取りやブルーベリーの摘み取り、サツマイモ掘りなど、下記のような観光農園があります。あなたは、そのような観光農園を利用したことがありますか。また、利用したいと思いますか。川崎市以外のものも含めてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表 5-13 観光農園の利用経験と今後の利用意向



観光農園の利用経験は、「サツマイモ掘り」(26.5%)、「梨のもぎ取り」(24.9%)の順となっている。今後の利用意向については、「ブルーベリーの摘み取り」(60.5%)、「いちごの摘み取り」(58.2%)の順となっている。

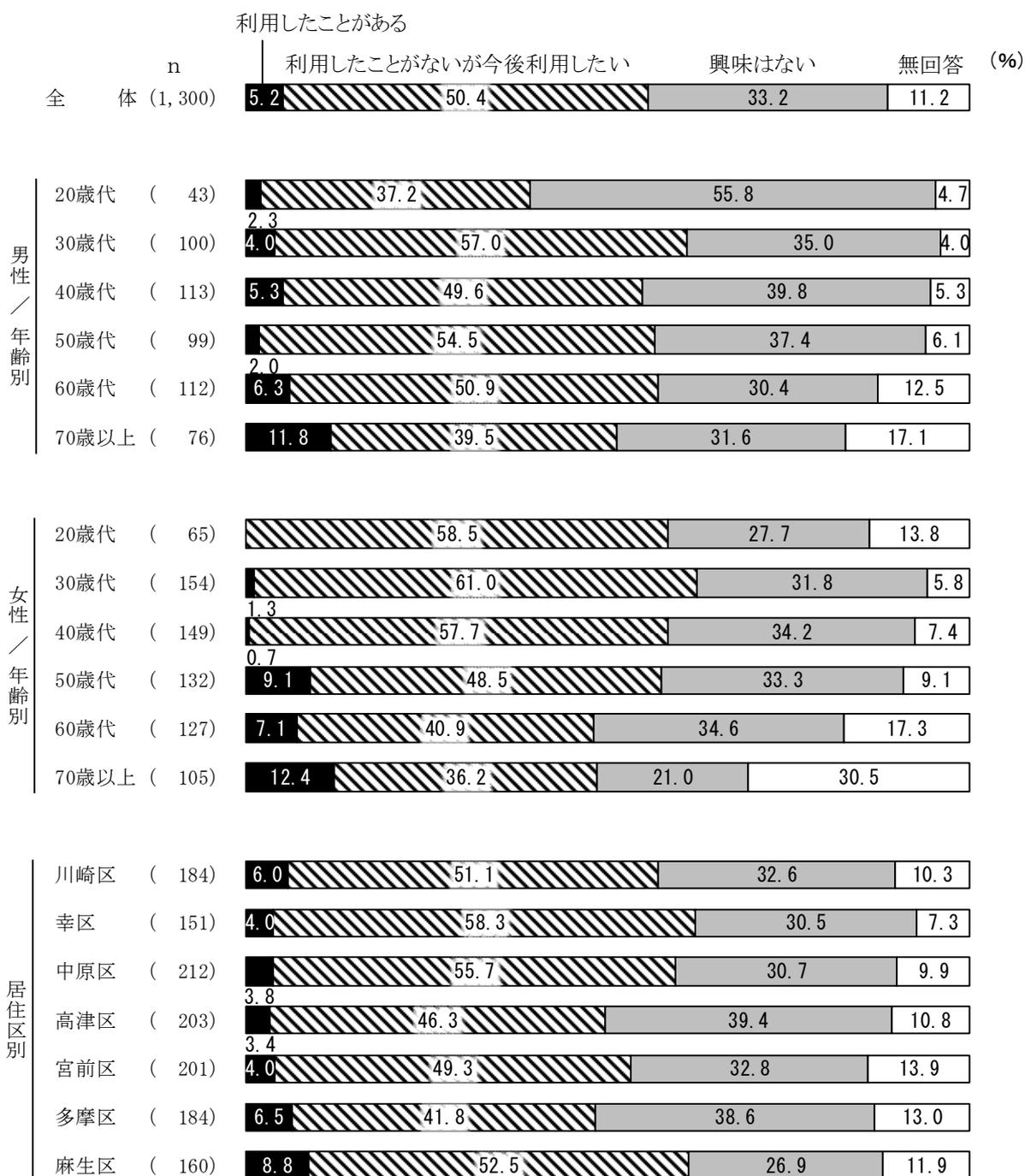
図表5-14 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ①梨のもぎ取り  
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は女性の70歳以上(45.7%)、60歳代(40.9%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(79.9%)、20歳代(72.3%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、多摩区(34.8%)で最も高く、次いで川崎区(27.2%)、高津区(25.1%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用してみたい」は、中原区(64.2%)が最も高く、次いで宮前区(57.7%)、麻生区(56.3%)の順となっている。

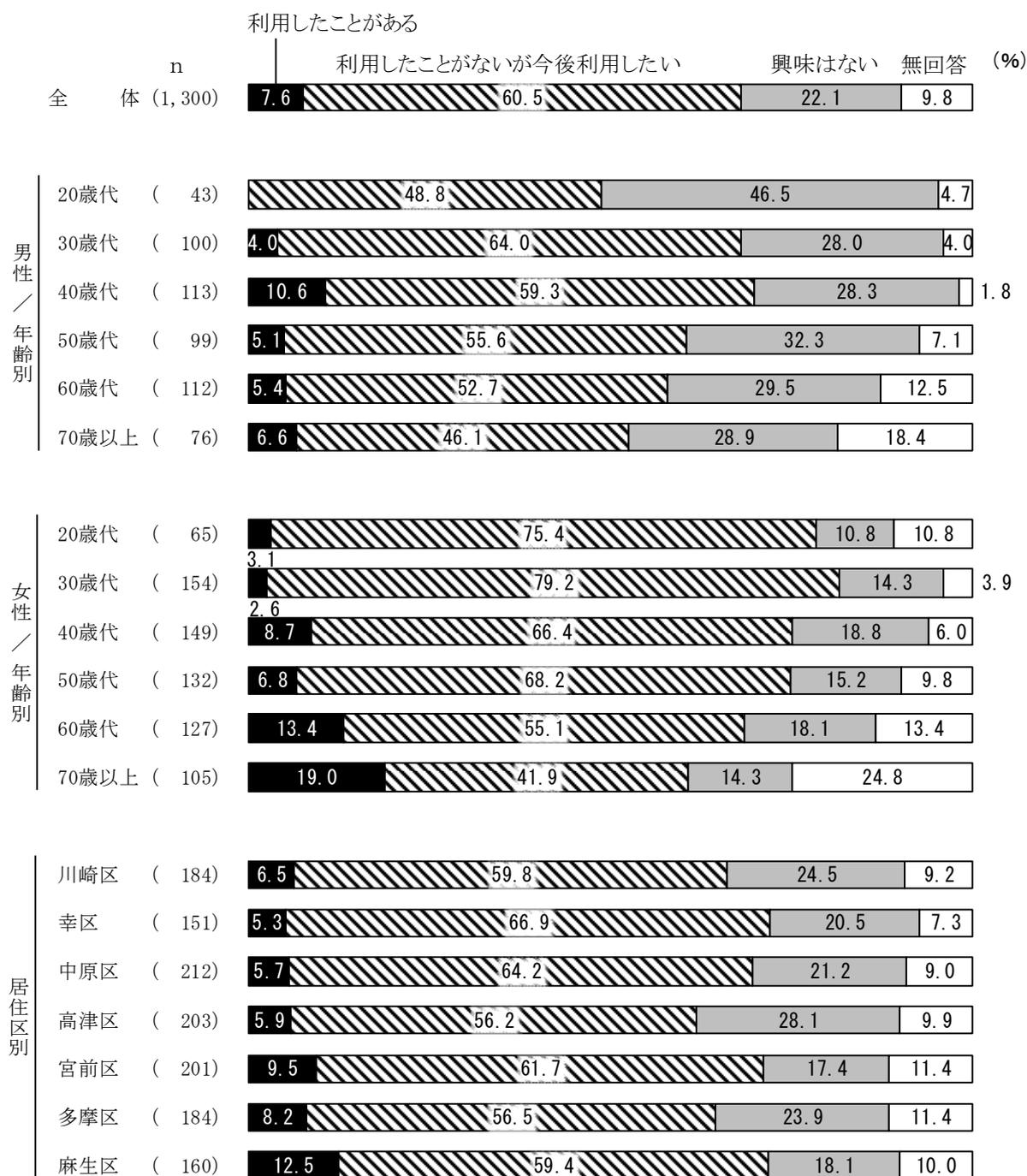
図表 5-15 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ②柿のもぎ取り  
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は女性の70歳以上(12.4%)、男性の70歳以上(11.8%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(61.0%)、20歳代(58.5%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、麻生区(8.8%)で最も高く、次いで多摩区(6.5%)、川崎区(6.0%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、幸区(58.3%)が最も高く、次いで中原区(55.7%)、麻生区(52.5%)の順となっている。

図表5-16 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ③ブルーベリーの摘み取り  
(性/年齢別・居住区別)

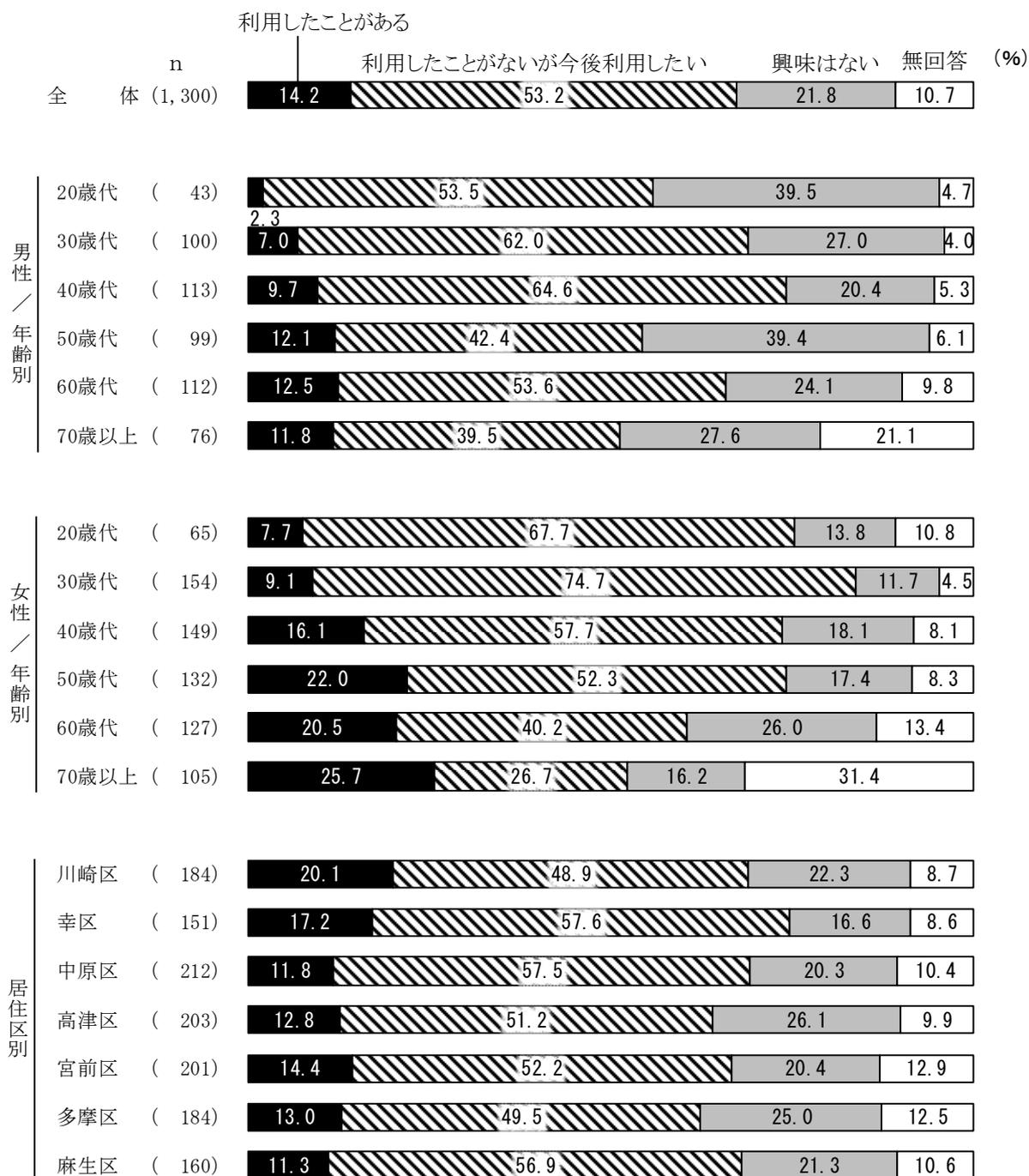


性/年齢別では、「利用したことがある」は女性の70歳以上(19.0%)、60歳代(13.4%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(79.2%)、20歳代(75.4%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、麻生区(12.5%)で最も高く、次いで宮前区(9.5%)、多摩区(8.2%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、幸区(66.9%)が最も高く、次いで中原区(64.2%)、宮前区(61.7%)の順となっている。



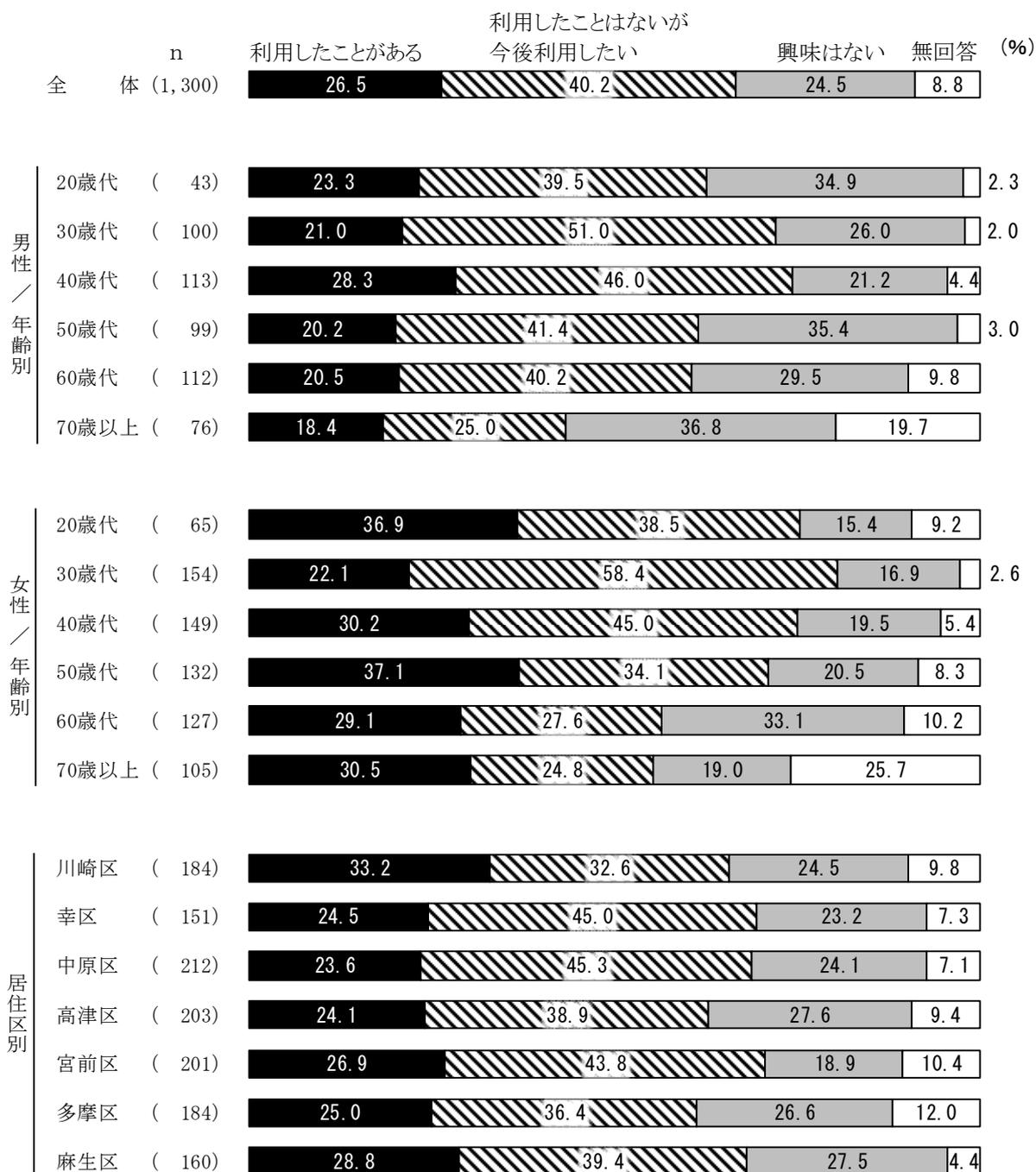
図表 5-18 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ⑤みかんのもぎ取り  
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は、女性の70歳以上(25.7%)、50歳代(22.0%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(74.7%)、20歳代(67.7%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、川崎区(20.1%)で最も高く、次いで幸区(17.2%)、宮前区(14.4%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、幸区(57.6%)が最も高く、次いで中原区(57.5%)、麻生区(56.9%)の順となっている。

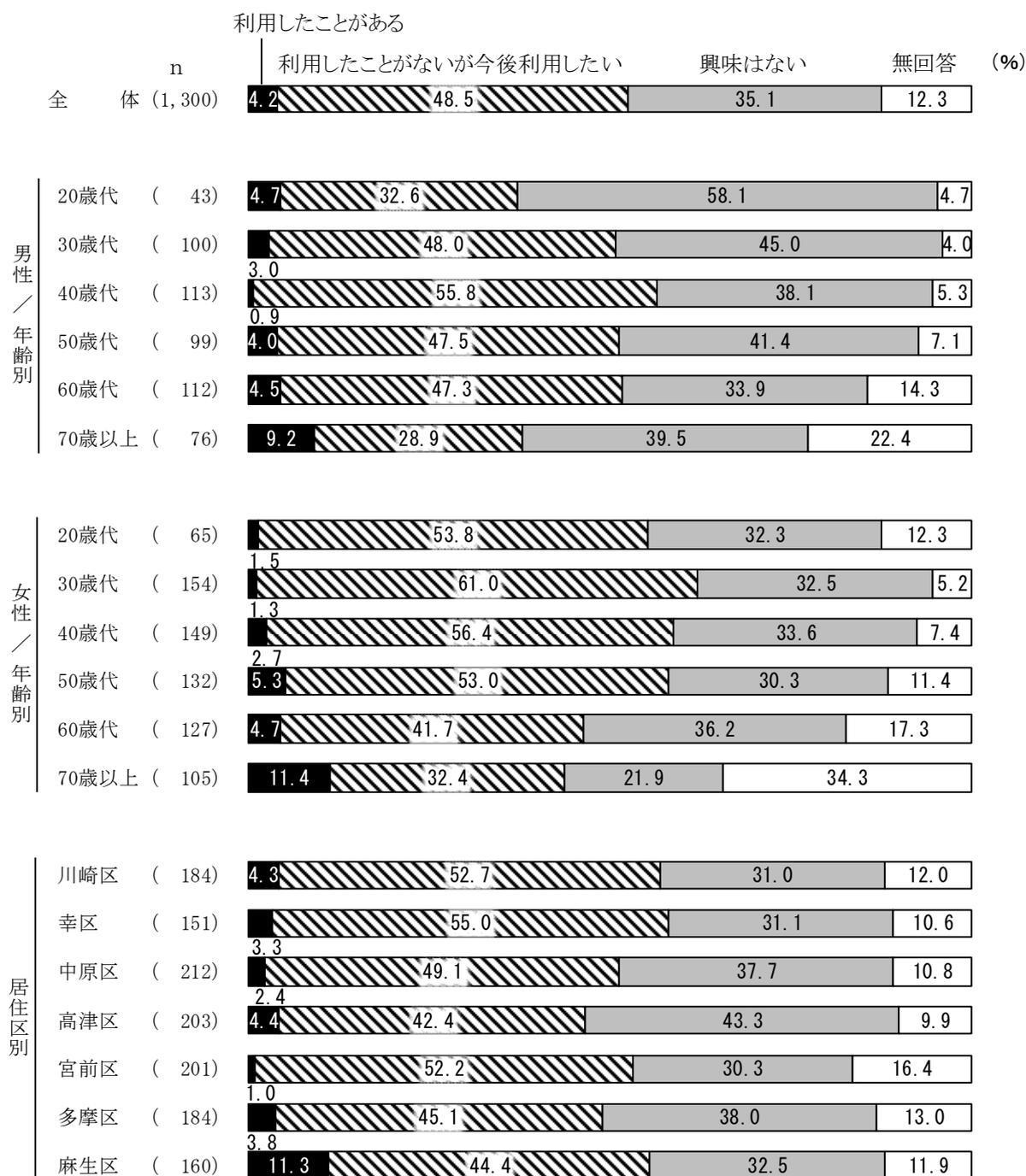
図表5-19 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ⑥サツマイモ掘り  
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は、女性の50歳代(37.1%)、20歳代(36.9%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(58.4%)、男性の30歳代(51.0%)の順で高い。

居住区別では、「利用したことがある」は、川崎区(33.2%)で最も高く、次いで麻生区(28.8%)、宮前区(26.9%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、中原区(45.3%)が最も高く、次いで幸区(45.0%)、宮前区(43.8%)の順となっている。

図表5-20 観光農園の利用経験と今後の利用意向 ⑦落花生掘り  
(性/年齢別・居住区別)



性/年齢別では、「利用したことがある」は女性の70歳以上(11.4%)、男性の70歳以上(9.2%)の順で高い。「利用したことはないが今後利用したい」は、女性の30歳代(61.0%)、40歳代(56.4%)の順で高い。

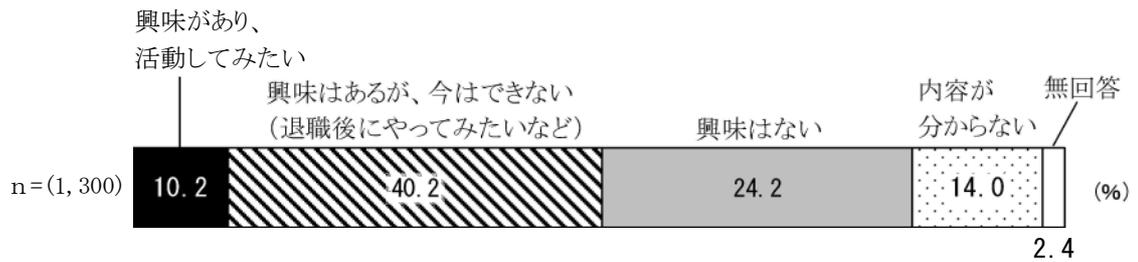
居住区別では、「利用したことがある」は、麻生区(11.3%)で最も高く、次いで高津区(4.4%)、川崎区(4.3%)の順となっている。「利用したことはないが今後利用したい」は、幸区(55.0%)が最も高く、次いで川崎区(52.7%)、宮前区(52.2%)の順となっている。

## 5-6 援農に対する興味

◎「興味はあるが、今はできない（退職後にやってみたいなど）」が40.2%

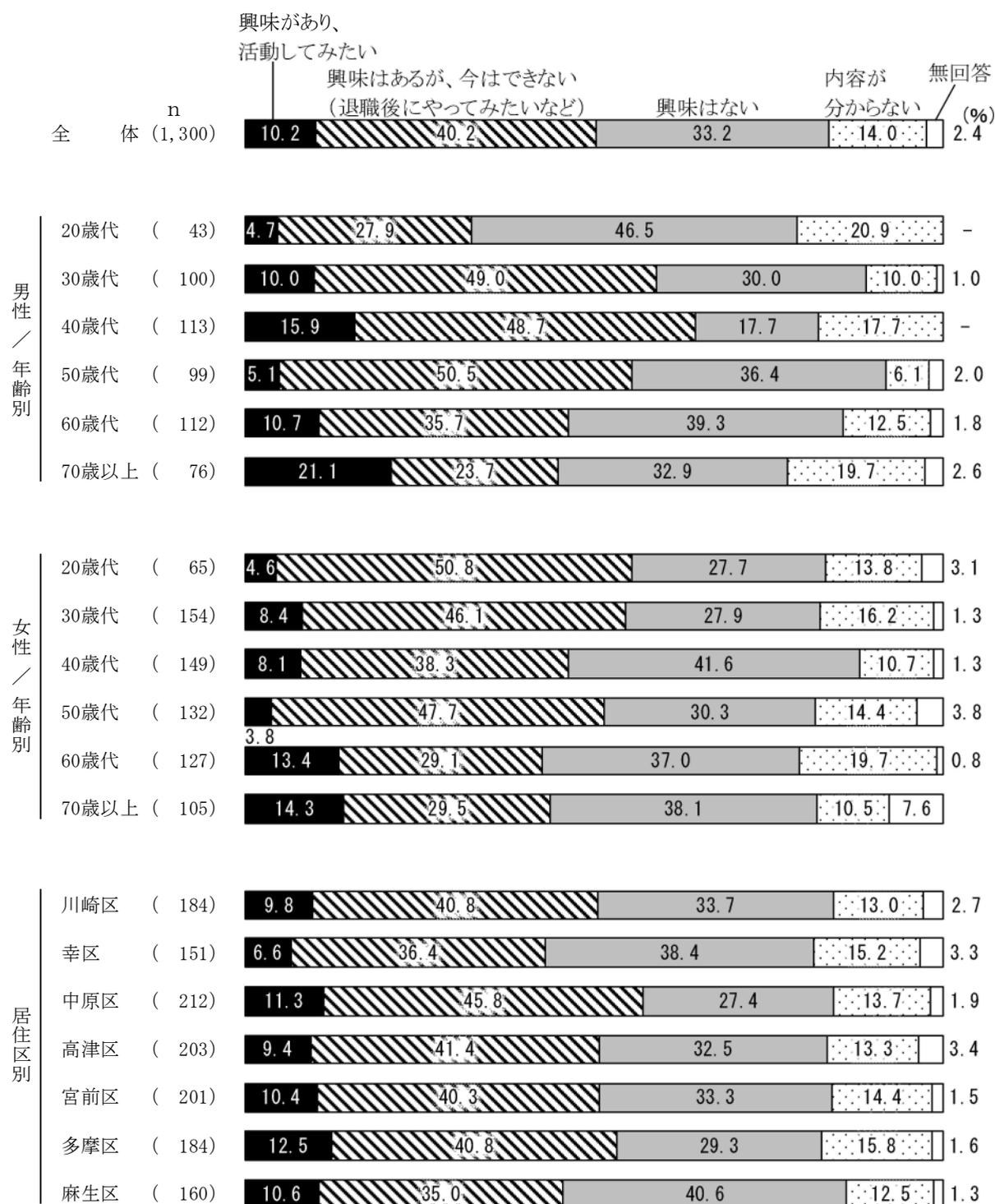
問 14 川崎市では、農家を手助けしたい（援農）と思う市民の方に対して栽培等の技術を支援し、修了後は実際の援農活動ができるような支援を行っています。あなたは、援農に興味がありますか。（○は1つだけ）

図表 5-21 援農に対する興味



援農に対する興味は、「興味はあるが、今はできない（退職後にやってみたいなど）」（40.2%）で最も高く、次いで「興味はない」（33.2%）、「内容がわからない」（14.0%）、「興味があり、活動してみたい」（10.2%）の順となっている。

図表 5-22 援農に対する興味（性／年齢別、居住区別）



性／年齢別では、「興味があり、活動してみたい」は、男性 70 歳代 (21.1%) で最も高く、次いで男性 40 歳代 (15.9%)、女性 70 歳代 (14.3%) の順となっている。「興味はあるが、今はできない (退職後にやってみたいなど)」は女性の 20 歳代 (50.8%)、男性 50 歳代 (50.5%) の順で高い。

居住区別では、「興味があり、活動してみたい」は、多摩区 (12.5%) で最も高く、次いで中原区 (11.3%)、麻生区 (10.6%) の順となっている。「興味はあるが、今はできない (退職後にやってみたいなど)」は、中原区 (45.8%) が最も高く、次いで高津区 (41.4%)、川崎区と多摩区 (40.8%) の順となっている。

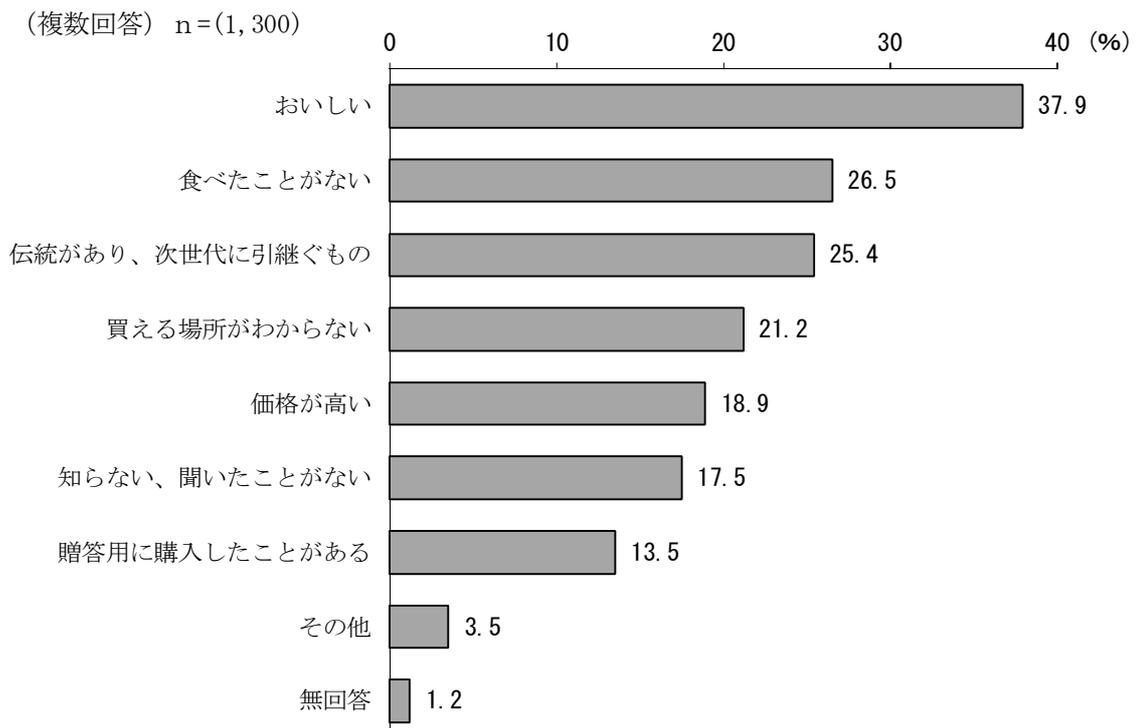
## 5-7 「多摩川梨」について

◎「おいしい」が37.9%

問 15 川崎市では、江戸時代の初期から多摩川沿いを中心に「多摩川梨」の生産が盛んに行われています。「多摩川梨」について、あなたにあてはまるものをお答えください。

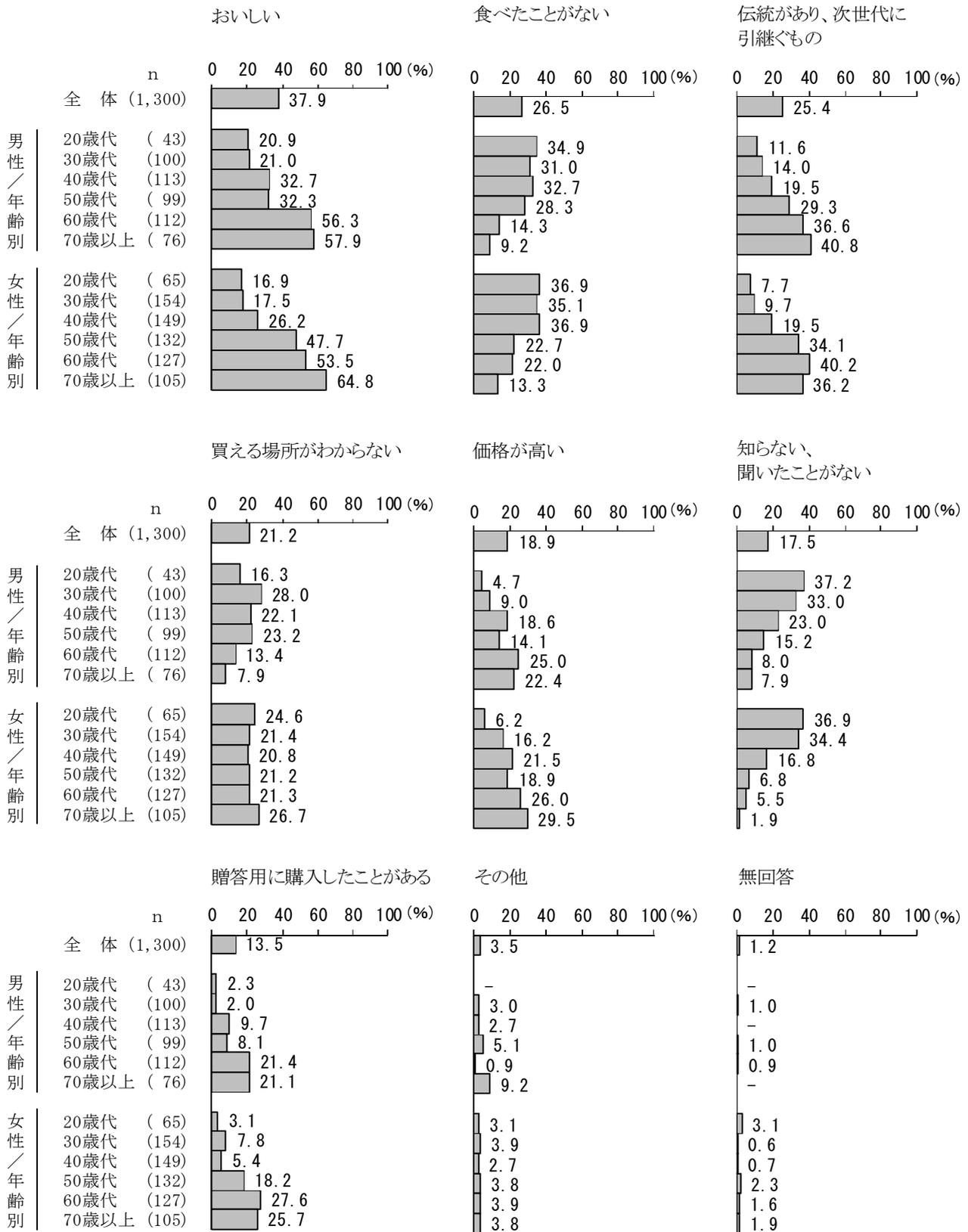
(あてはまるもの全てに○)

図表 5-23 「多摩川梨」について



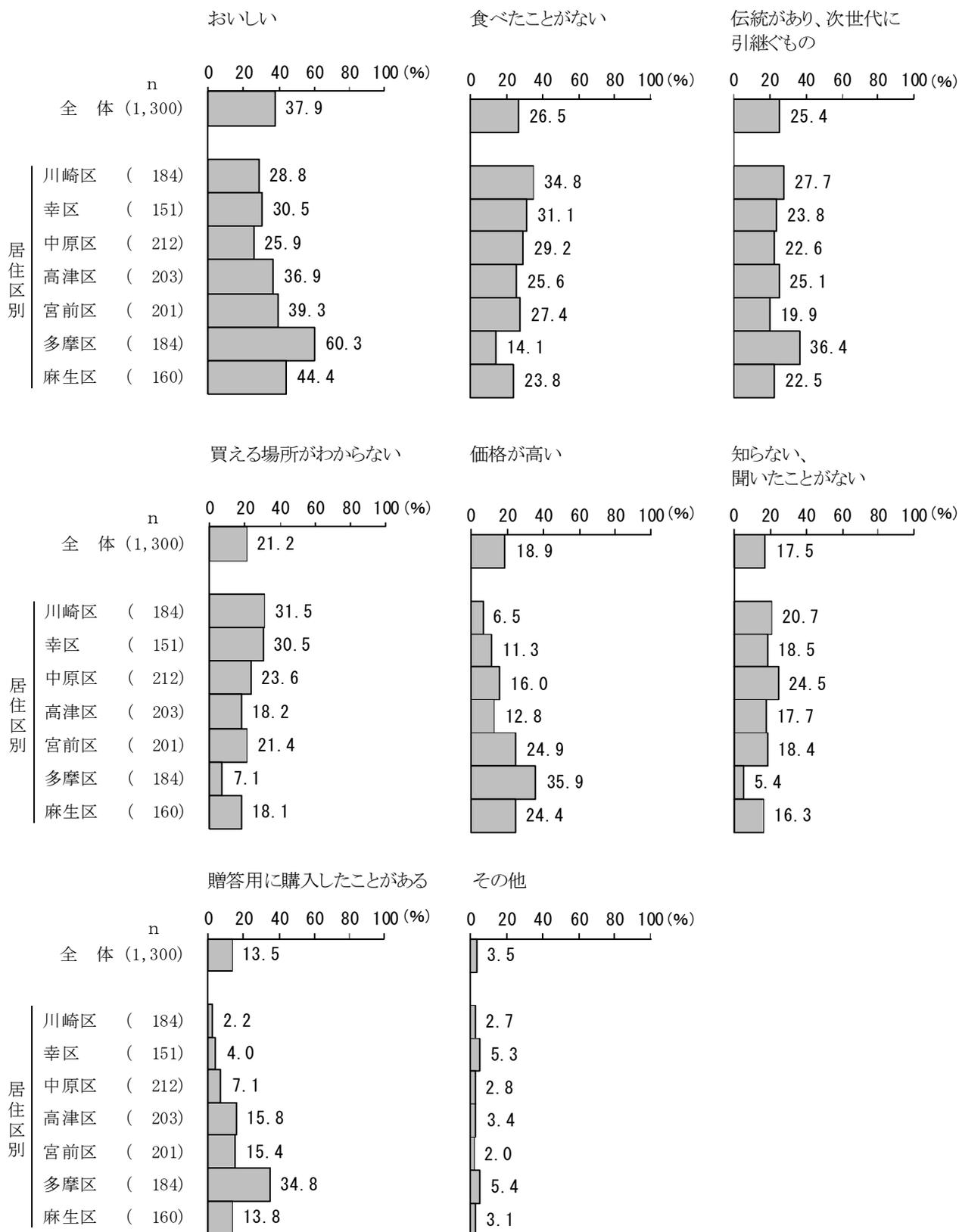
「多摩川梨」については、「おいしい」(37.9%)が最も高く、次いで「食べたことがない」(26.5%)、「伝統があり、次世代に引継ぐもの」(25.4%)、「買える場所がわからない」(21.2%)の順となっている。

図表5-24 「多摩川梨」について（性／年齢別）



性／年齢別では、「おいしい」は、女性の70歳以上（64.8%）で最も高く、次いで男性の70歳以上（57.9%）、男性60歳代（56.3%）の順となっている。「食べたことがない」は、女性の20歳代と40歳代（36.9%）で最も高く、次いで女性の30歳代（35.1%）、男性の20歳代（34.9%）となっている。「伝統があり、次世代に引継ぐもの」は、男性の70歳以上（40.8%）で最も高く、次いで女性の60歳代（40.2%）、男性の60歳代（36.6%）の順となっている。

図表5-25 「多摩川梨」について（居住区別）



居住区別では、「おいしい」は、多摩区(60.3%)が最も高く、次いで麻生区(44.4%)、宮前区(39.3%)の順となっている。「食べたことがない」は、川崎区(34.8%)が最も高く、次いで幸区(31.1%)、中原区(29.2%)の順となっている。「伝統があり、次世代に引継ぐもの」は、多摩区(36.4%)が最も高く、次いで川崎区(27.7%)、高津区(25.1%)の順となっている。

## 5-8 川崎の農業に期待すること

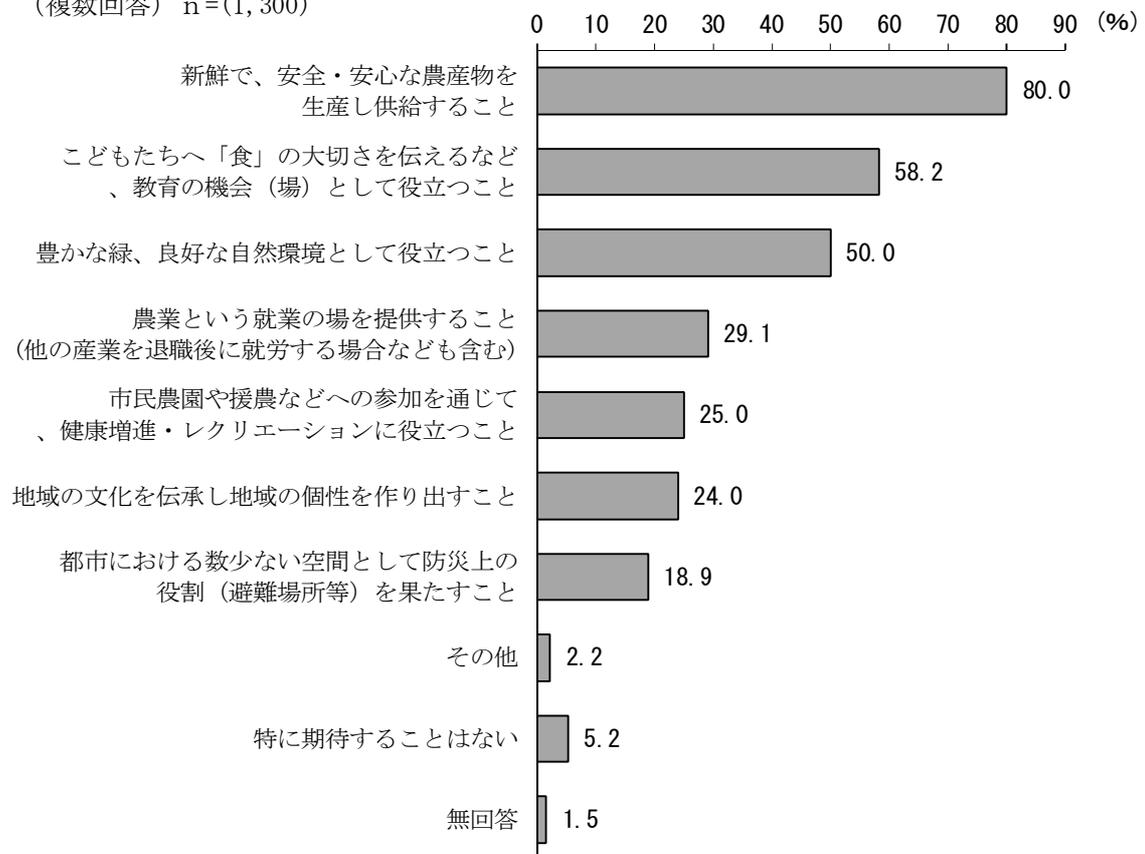
◎「新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給すること」が80.0%

問16 農地（農業）は、新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給するほか、子どもたちに土とふれあう機会を提供したり、豊かな緑・良好な自然環境として役立つなど、いわゆる多面的機能と呼ばれる役割を持っています。あなたは、川崎の農業に何を期待しますか。

（あてはまるもの全てに○）

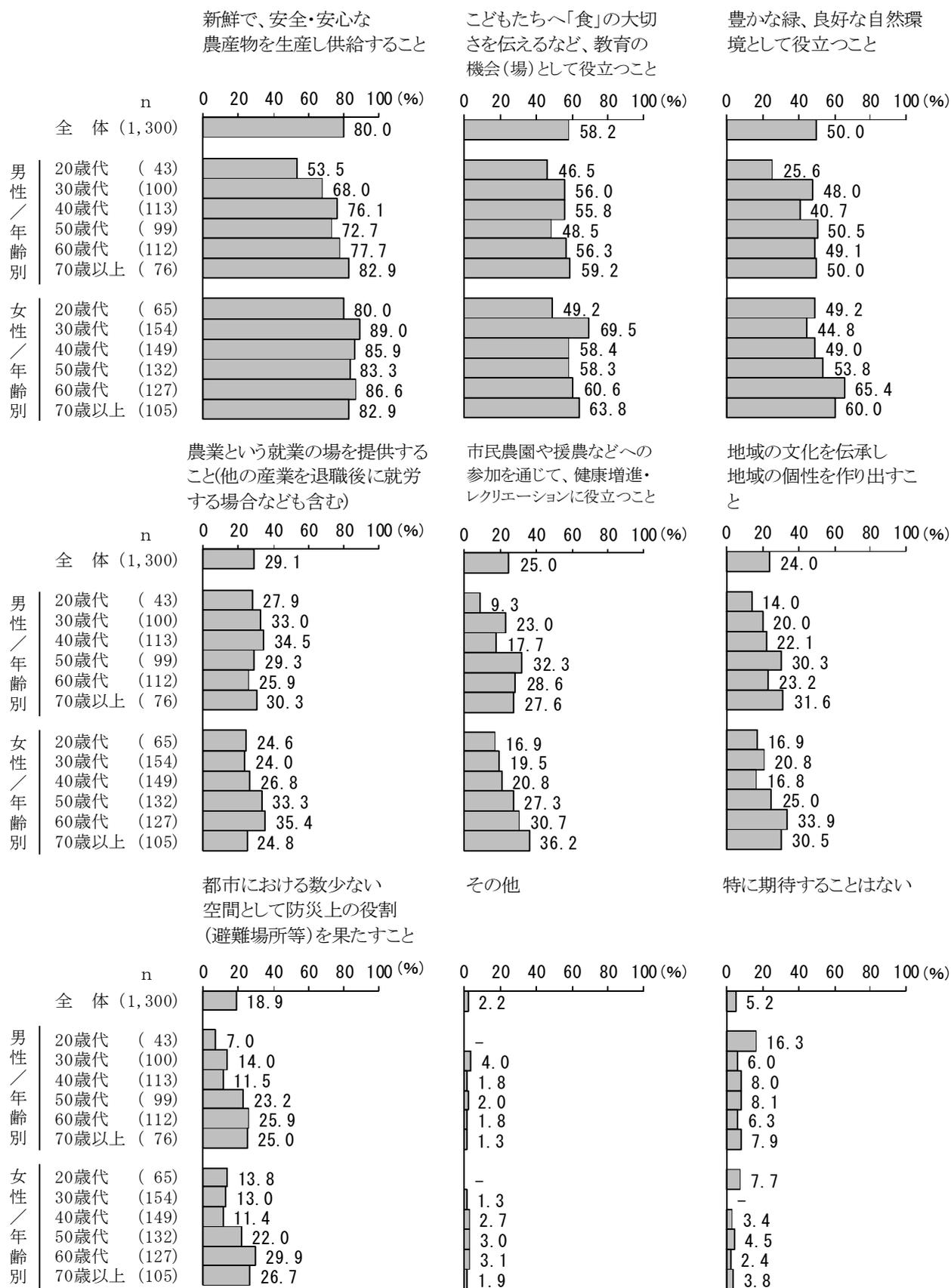
図表5-26 川崎の農業に期待すること

（複数回答） n=(1,300)



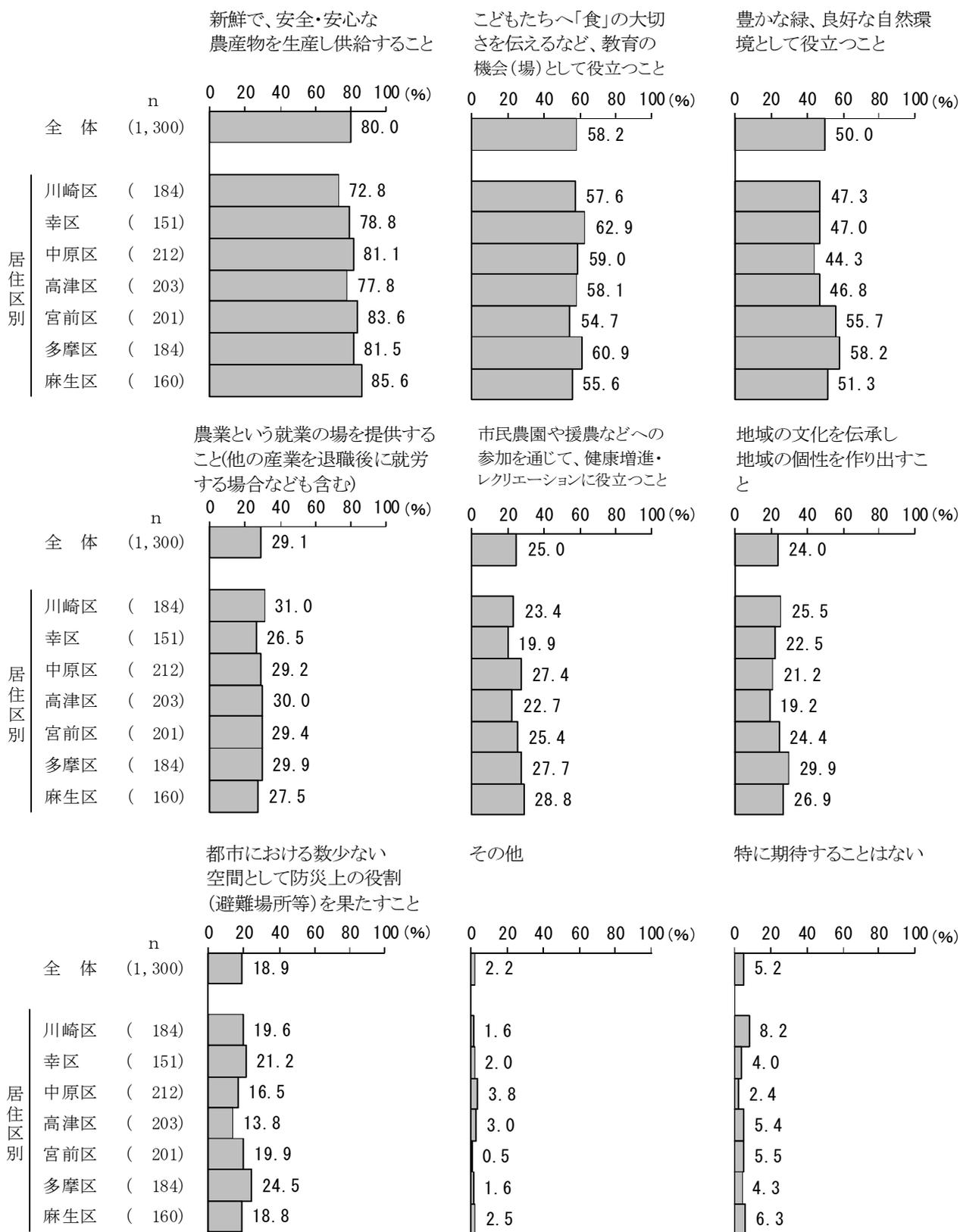
川崎の農業に期待することは、「新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給すること」（80.0%）が最も高く、次いで「子どもたちへ「食」の大切さを伝えるなど、教育の機会（場）として役立つこと」（58.2%）、「豊かな緑、良好な自然環境として役立つこと」（50.0%）の順となっている。

図表5-27 川崎の農業に期待すること（性／年齢別）



性／年齢別では、「新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給すること」は、女性の30歳代(89.0%)で最も高く、次いで女性の60歳代(86.6%)、40歳代(85.9%)の順となっている。「子どもたちへ「食」の大切さを伝えるなど、教育の機会(場)として役立つこと」は、女性の30歳代(69.5%)で最も高く、次いで女性の70歳以上(63.8%)、60歳代(60.6%)の順となっている。

図表5-28 川崎の農業に期待すること（居住区別）



居住区別では、「新鮮で、安全・安心な農作物を生産し供給すること」は、麻生区（85.6%）が最も高く、次いで宮前区（83.6%）、多摩区（81.5%）の順となっている。「こどもたちへ「食」の大切さを伝えるなど、教育の機会(場)として役立つこと」は、幸区（62.9%）が最も高く、次いで多摩区（60.9%）、中原区（59.0%）の順となっている。

## 6 地域を守る消防団員について

### 6-1 消防団の認知度

◎「名前だけ知っている」が65.9%

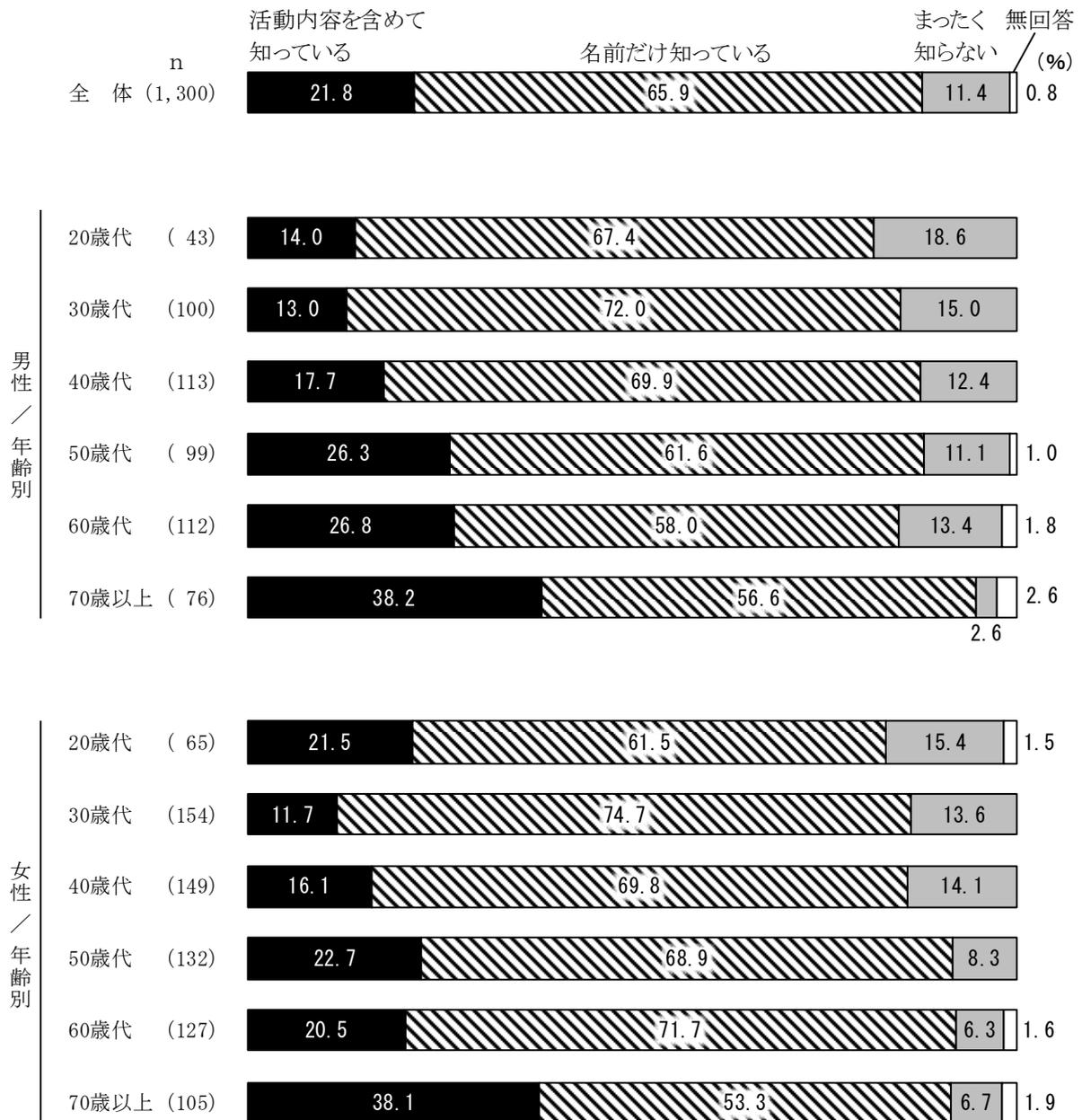
問17 あなたは、消防団を知っていますか。(〇は1つだけ)

図表6-1 消防団の認知度



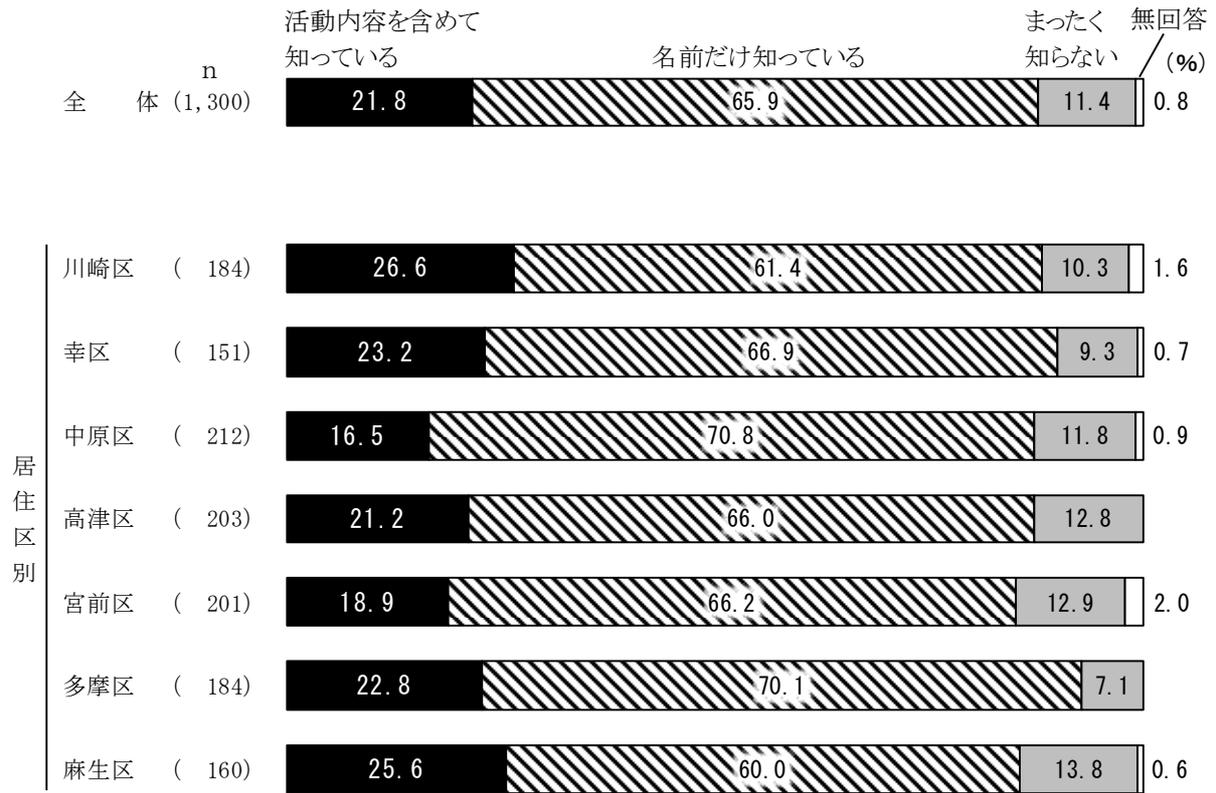
消防団の認知度は、「名前だけ知っている」(65.9%)が最も高く、次いで「活動内容を含めて知っている」(21.8%)、「まったく知らない」(11.4%)の順となっている。

図表 6 - 2 消防団の認知度（性／年齢別）



性／年齢別では、「活動内容を含めて知っている」は、男性の70歳以上（38.2%）で最も高く、次いで女性の70歳以上（38.1%）、男性の60歳代（26.8%）の順となっている。「名前だけ知っている」は、女性の30歳代（74.7%）で最も高く、次いで男性の30歳代（72.0%）、女性の60歳代（71.7%）の順となっている。

図表 6 - 3 消防団の認知度（居住区別）



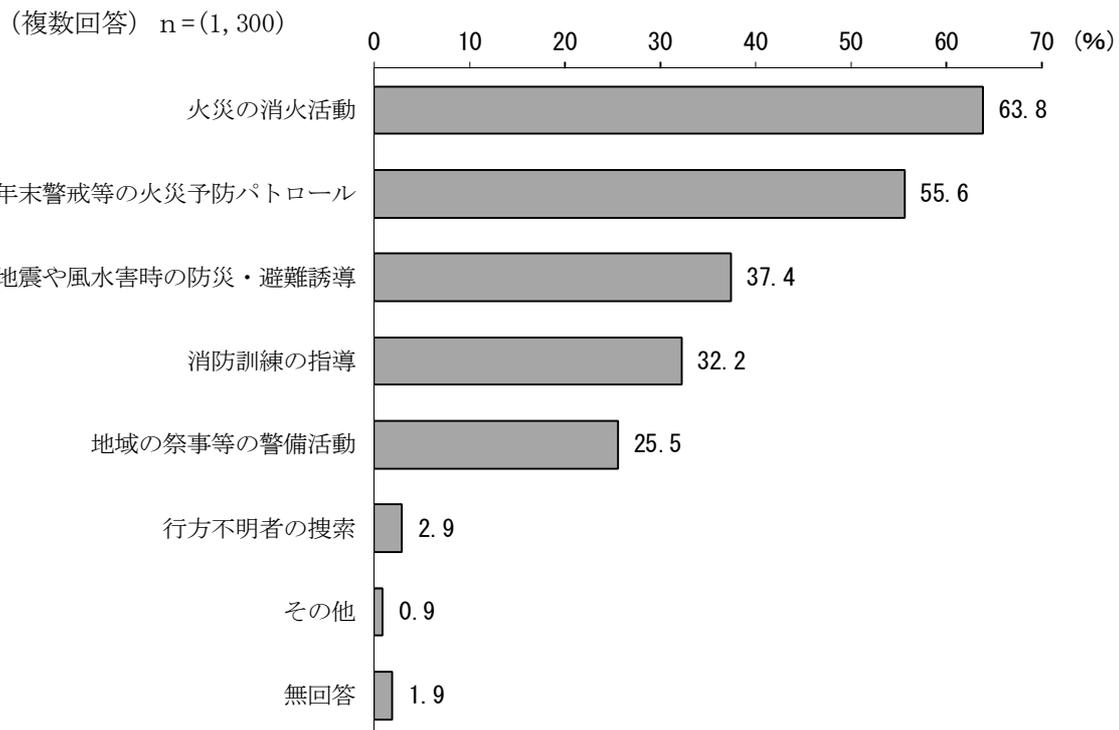
居住区別では、「活動内容を含めて知っている」は、川崎区(26.6%)で最も高く、次いで麻生区(25.6%)、幸区(23.2%)の順となっている。「名前だけ知っている」は、中原区(70.8%)が最も高く、次いで多摩区(70.1%)、幸区(66.9%)の順となっている。

## 6-2 消防団の活動のうちイメージが強い活動

◎「火災の消火活動」が63.8%

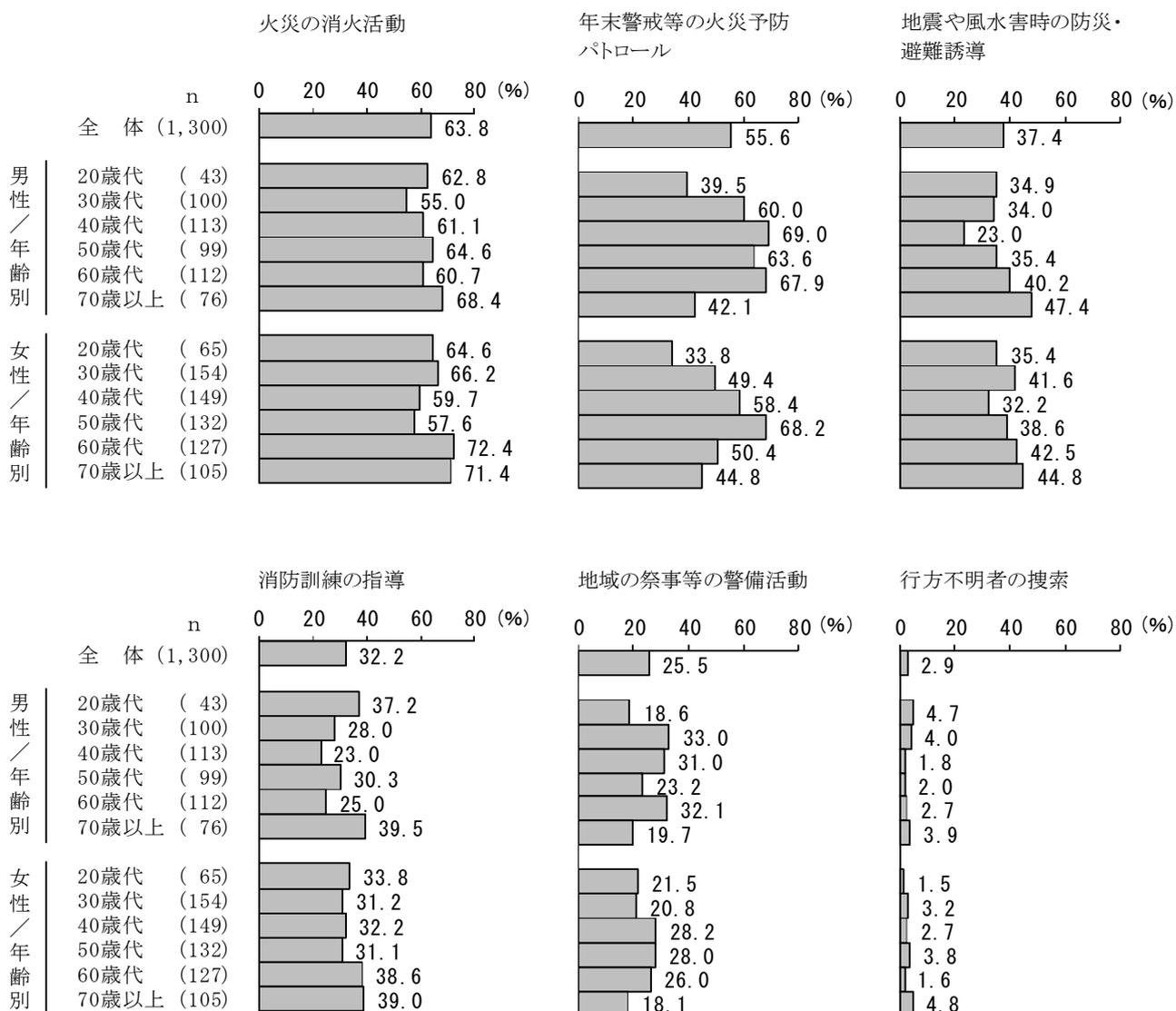
問 18 消防団の活動のうちイメージが強いのはどのような活動ですか。  
(あてはまるもの3つまでに○)

図表6-4 消防団の活動のうちイメージが強い活動



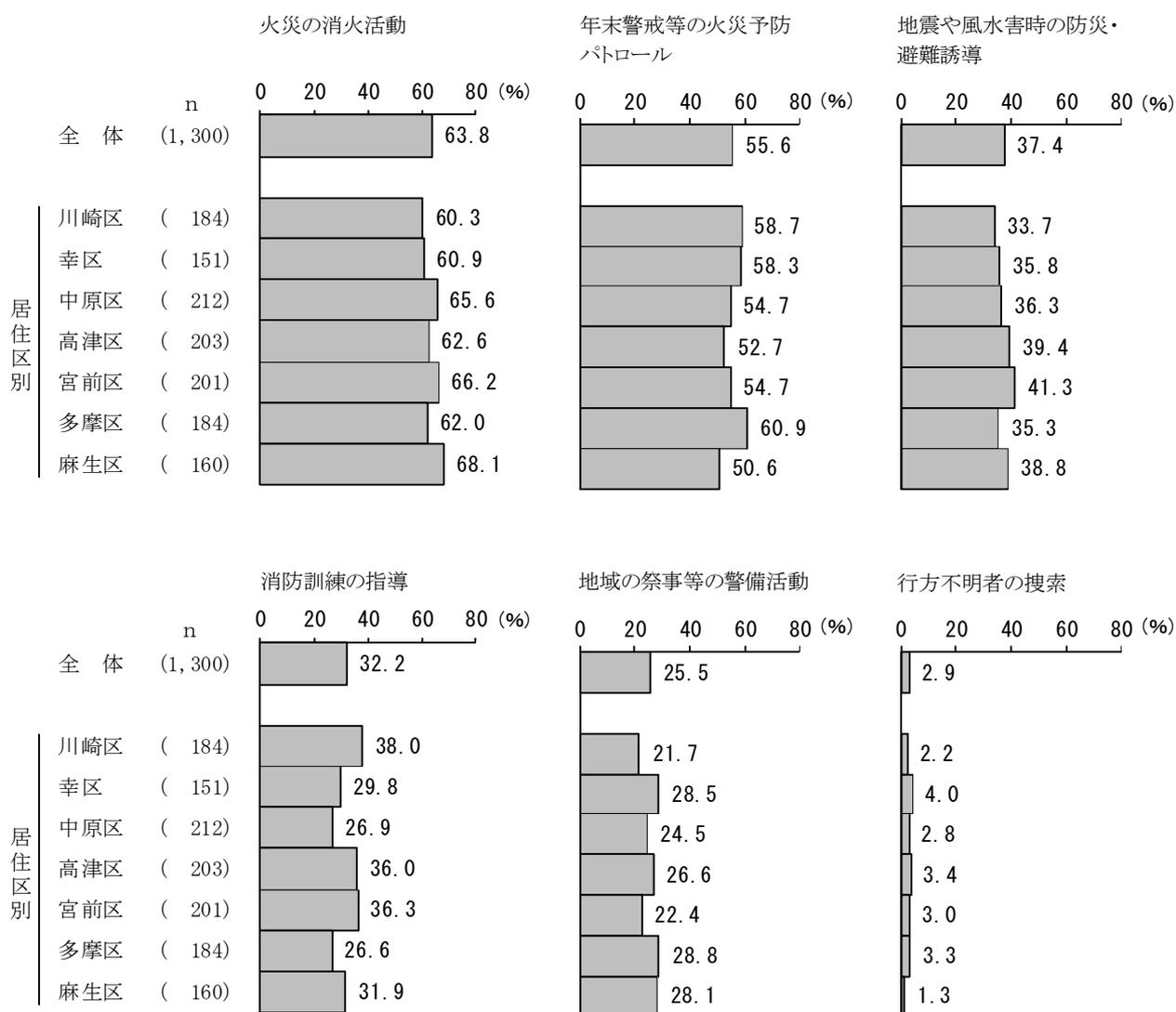
消防団の活動のうちイメージが強い活動は、「火災の消火活動」(63.8%)で最も高く、次いで「年末警戒等の火災予防パトロール」(55.6%)、「地震や風水害時の防災・避難誘導」(37.4%)の順となっている。

図表6-5 消防団の活動のうちイメージが強い活動（性／年齢別）



性／年齢別では、「火災の消火活動」は、女性の60歳代（72.4%）で最も高く、次いで女性の70歳以上（71.4%）、男性の70歳以上（68.4%）の順となっている。「年末警戒等の火災予防パトロール」は、男性の40歳代（69.0%）で最も高く、次いで女性の50歳代（68.2%）、男性の60歳代（67.9%）の順となっている。「地震や風水害時の防災・避難誘導」は、男性の70歳以上（47.4%）が最も高く、次いで女性の70歳以上（44.8%）、60歳代（42.5%）の順となっている。

図表6-6 消防団の活動のうちイメージが強い活動（居住区別）



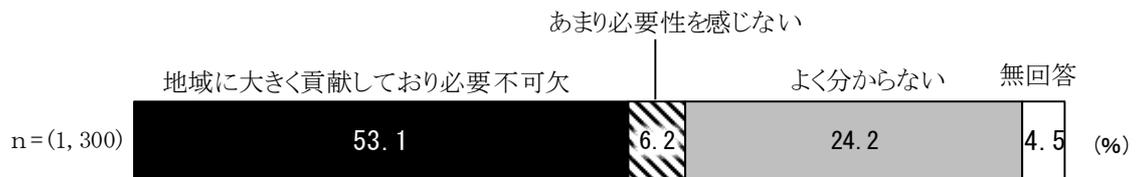
居住区別では、「火災の消火活動」は、麻生区（68.1%）が最も高く、次いで宮前区（66.2%）、中原区（65.6%）の順となっている。「年末警戒等の火災予防パトロール」は、多摩区（60.9%）が最も高く、次いで川崎区（58.7%）、幸区（58.3%）の順となっている。「地震や風水害時の防災・避難誘導」は、宮前区（41.3%）が最も高く、次いで高津区（39.4%）、麻生区（38.8%）の順となっている。

### 6-3 消防団活動への評価

◎「地域に大きく貢献しており必要不可欠」が53.1%

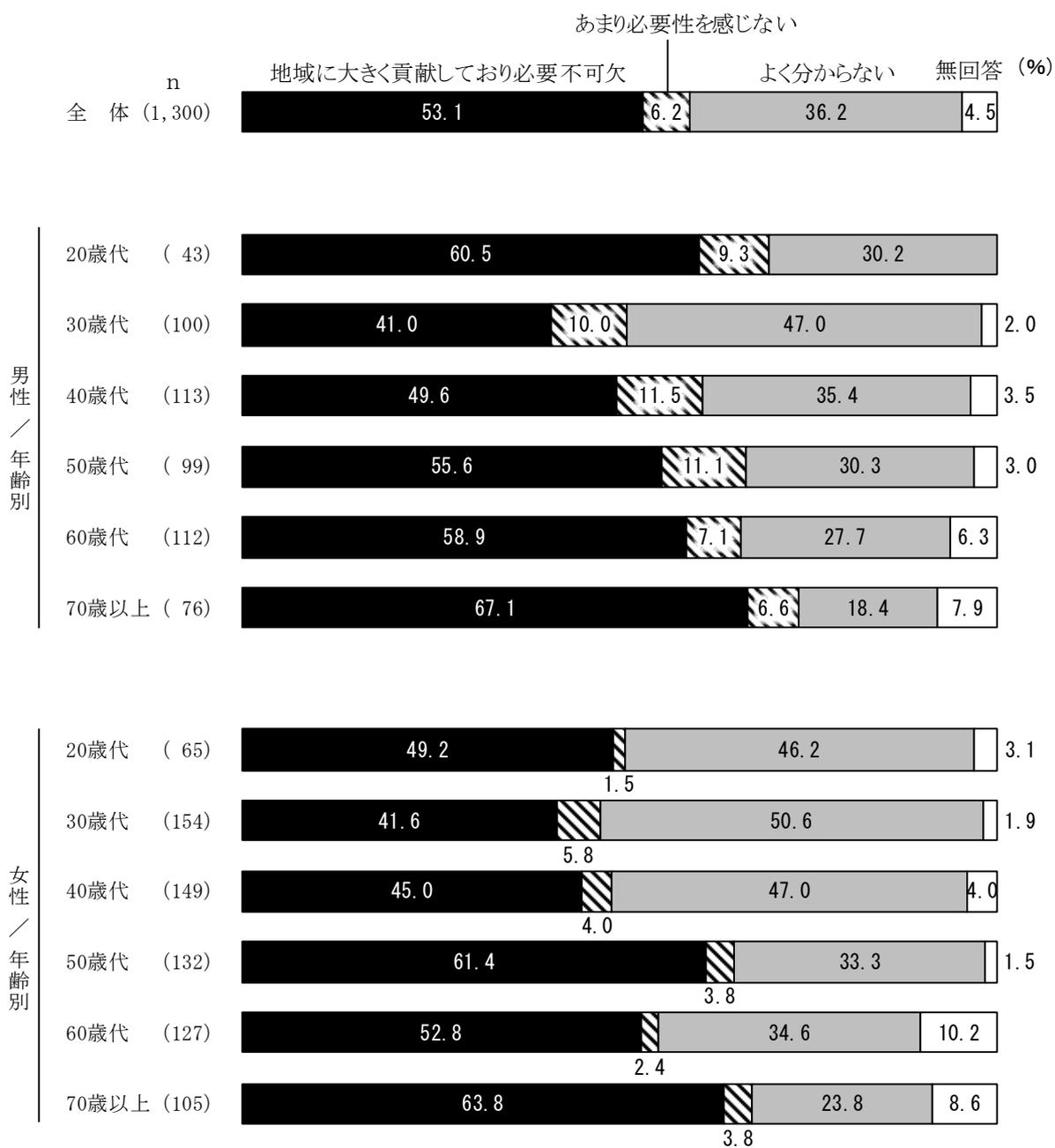
問 19 あなたは、消防団活動をどのように評価していますか。(〇は1つだけ)

図表 6-7 消防団活動への評価



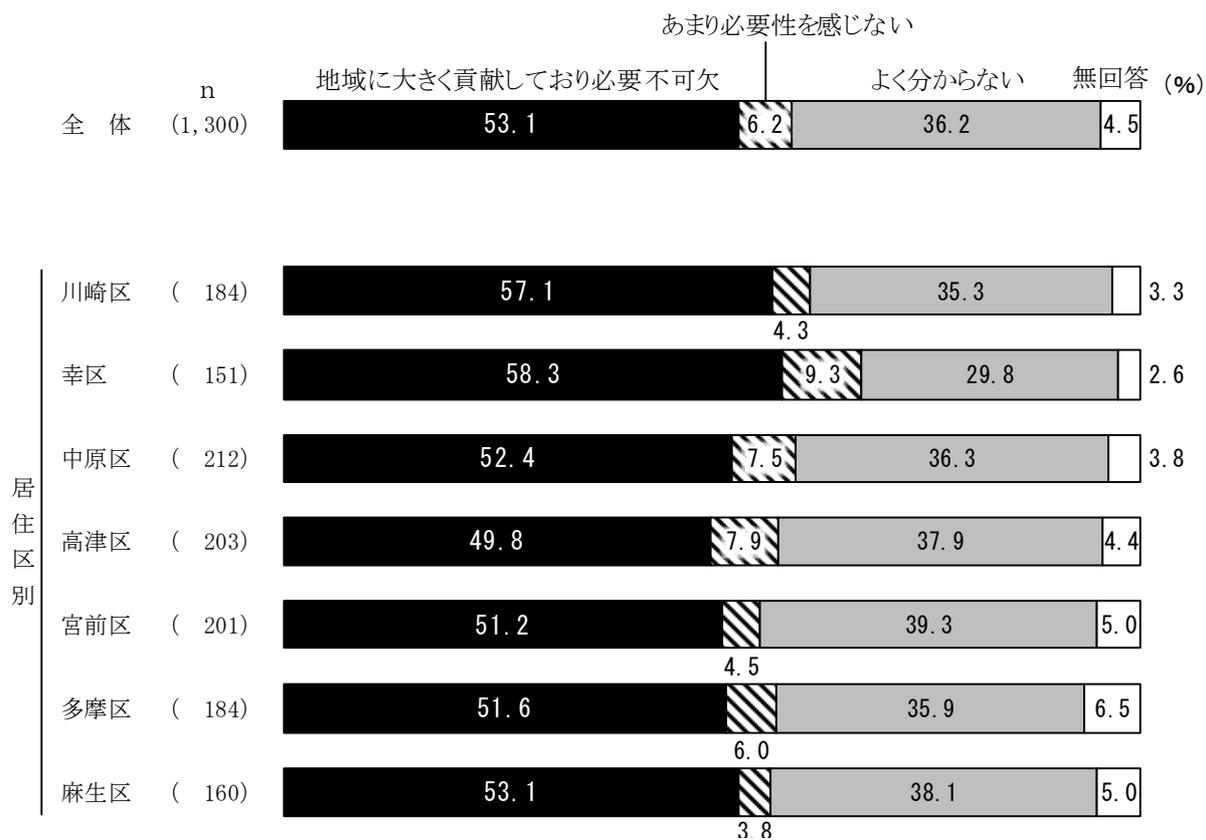
消防団活動への評価は、「地域に大きく貢献しており必要不可欠」(53.1%)が最も高く、次いで「よく分からない」(36.2%)、「あまり必要性を感じない」(6.2%)の順となっている。

図表6-8 消防団活動への評価（性／年齢別）



性／年齢別では、「地域に大きく貢献しており必要不可欠」は、男性の70歳以上（67.1%）で最も高く、次いで女性の70歳以上（63.8%）、50歳代（61.4%）の順となっている。一方、「あまり必要性を感じない」は、男性の40歳代（11.5%）で最も高く、次いで男性の50歳代（11.1%）、30歳代（10.0%）の順となっている。

図表 6 - 9 消防団活動への評価（居住区別）



居住区別では、「地域に大きく貢献しており必要不可欠」は、幸区（58.3%）で最も高く、次いで川崎区（57.1%）、麻生区（53.1%）の順となっている。一方、「あまり必要性を感じない」は、幸区（9.3%）で最も高く、次いで高津区（7.9%）、中原区（7.5%）の順となっている。

## 6-4 消防団への入団希望

◎「いいえ」が92.8%

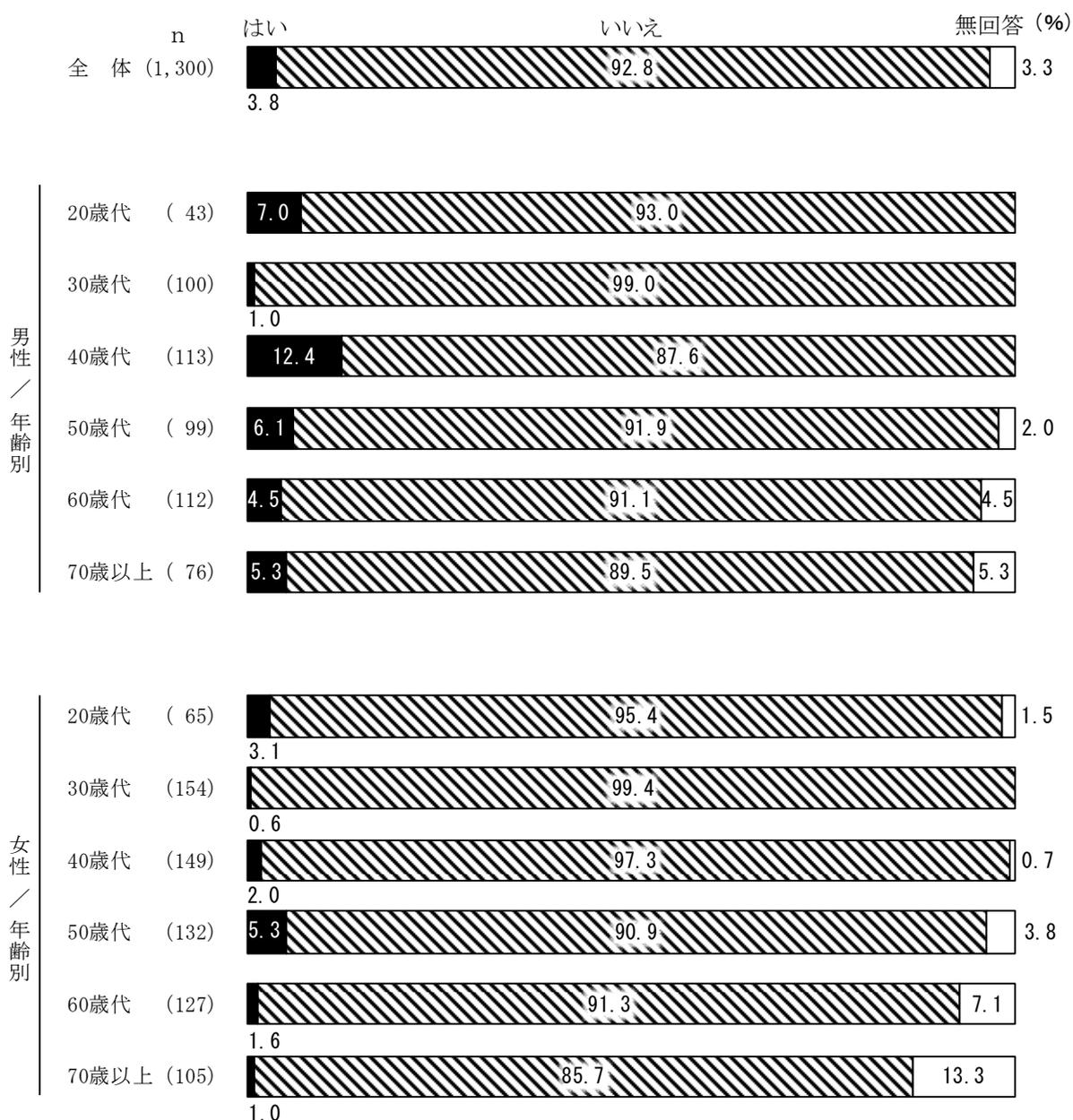
問 20 あなたは、消防団に入団したいと感じますか。(○は1つだけ)

図表 6-10 消防団への入団希望



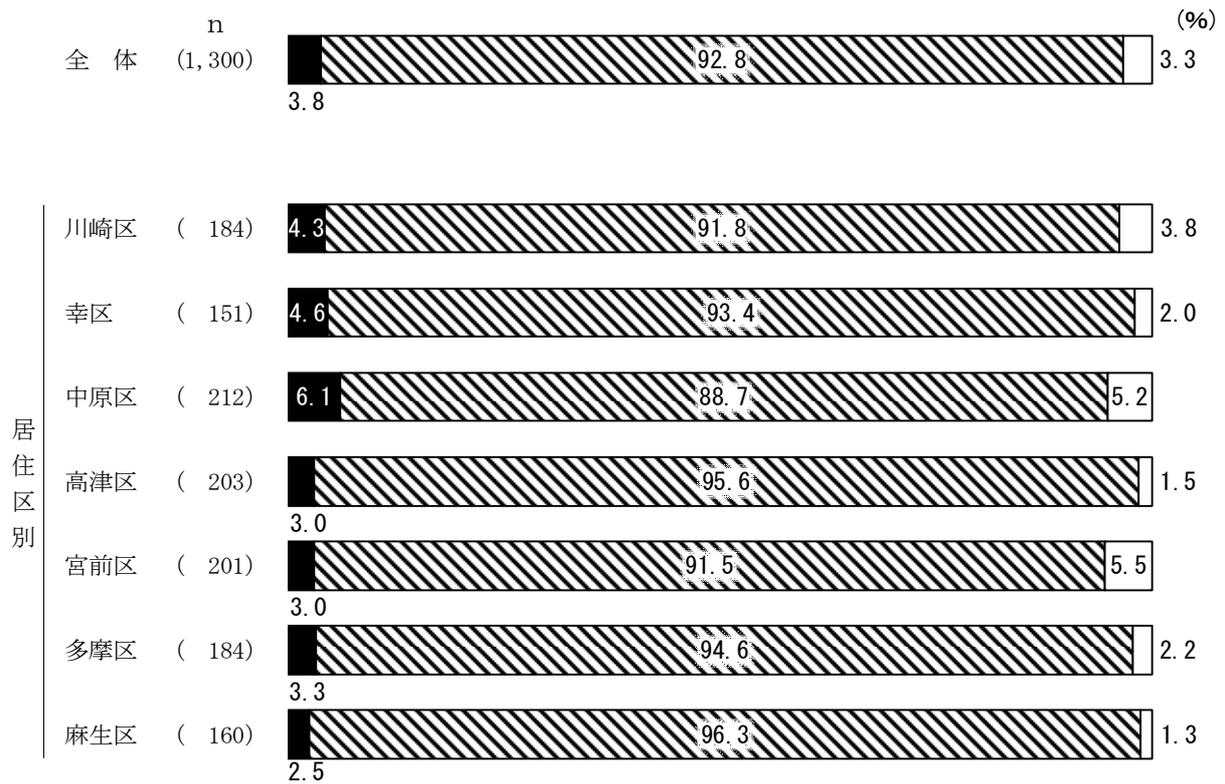
消防団への入団希望は、9割以上が「いいえ」(92.8%)となっている。

図表6-11 消防団への入団希望（性／年齢別）



性／年齢別では、「いいえ」は女性の30歳代（99.4%）で最も高く、次いで男性の30歳代（99.0%）、女性の40歳代（97.3%）の順となっている。一方、「はい」は、男性の40歳代（12.4%）で最も高く、次いで男性の20歳代（7.0%）、50歳代（6.1%）の順となっている。

図表6-12 消防団への入団希望（居住区別）



居住区別では、「いいえ」は、麻生区（96.3%）が最も高く、次いで高津区（95.6%）、多摩区（94.6%）の順となっている。一方、「はい」は、中原区（6.1%）が最も高く、次いで幸区（4.6%）、川崎区（4.3%）の順となっている。

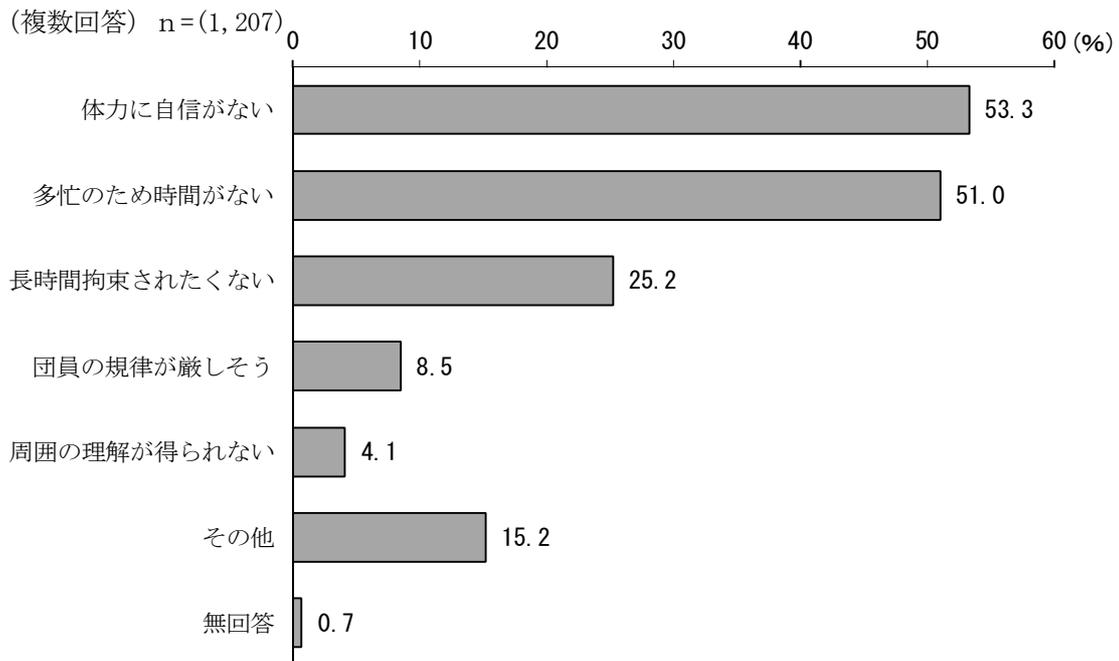
## 6-5 入団を希望しない理由

◎「体力に自信がない」が53.3%

問 20-1 問 20 で「いいえ」と回答された方にうかがいます。

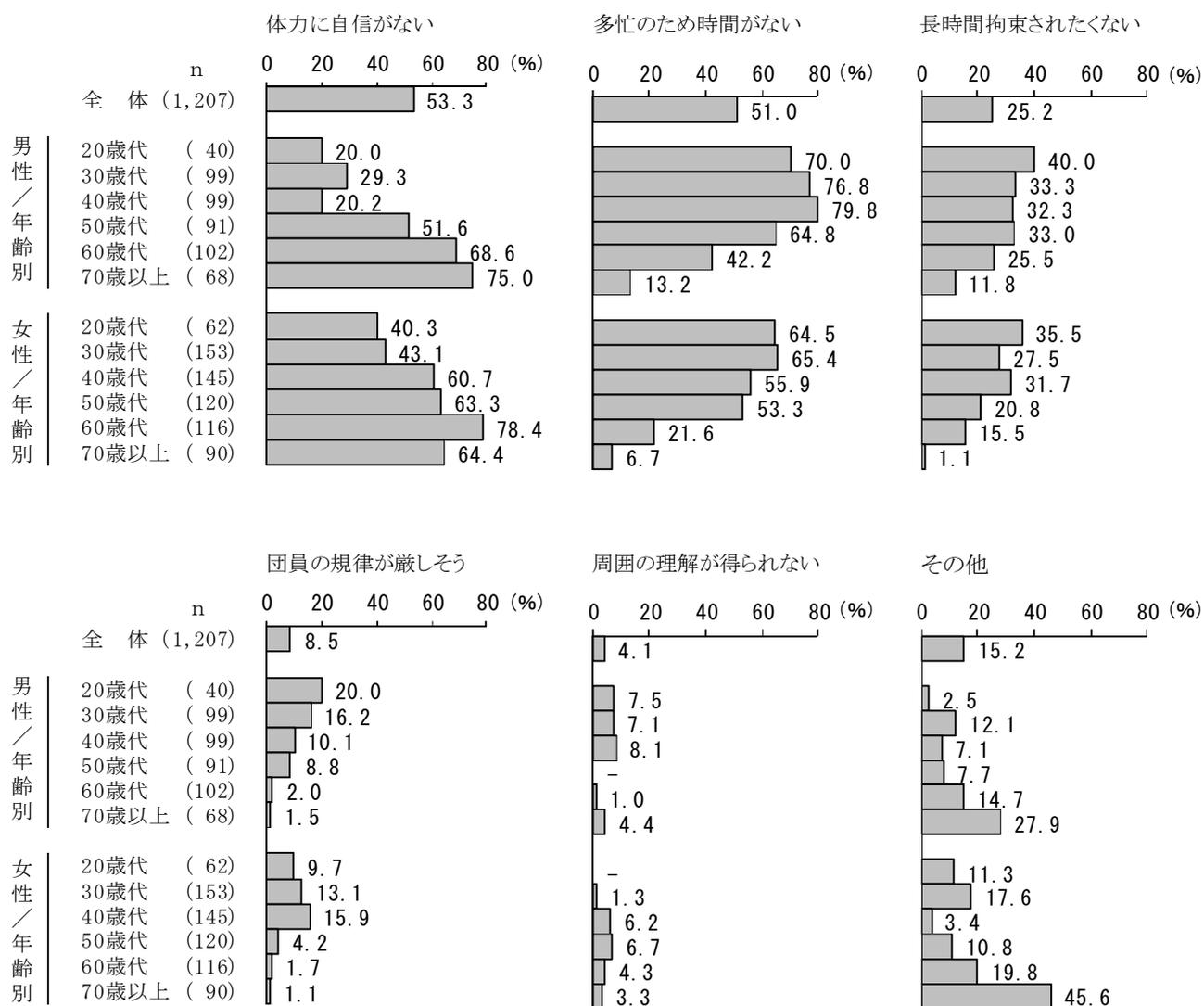
あなたが入団を希望しない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

図表 6-13 入団を希望しない理由



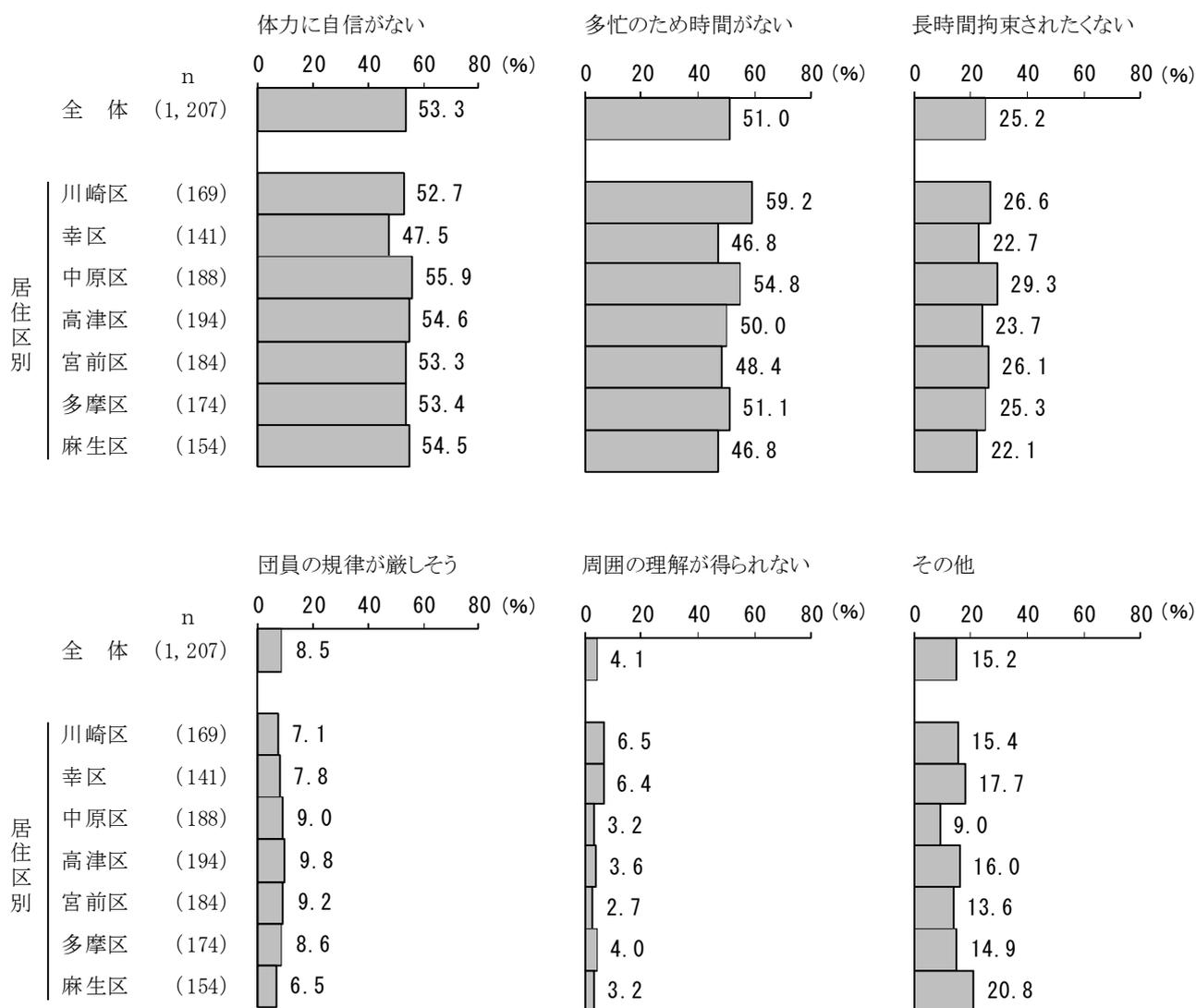
入団を希望しない理由は、「体力に自信がない」(53.3%)が最も高く、次いで「多忙のため時間がない」(51.0%)、「長時間拘束されたくない」(25.2%)の順となっている。

図表6-14 入団を希望しない理由（性／年齢別）



性／年齢別では、「体力に自信がない」は、女性の60歳代（78.4%）で最も高く、次いで男性の70歳以上（75.0%）、60歳代（68.6%）の順となっている。「多忙のため時間がない」は、男性の40歳代（79.8%）で最も高く、次いで男性の30歳代（76.8%）、20歳代（70.0%）の順となっている。「長時間拘束されたくない」は、男性の20歳代（40.0%）で最も高く、次いで女性の20歳代（35.5%）、男性の30歳代（33.3%）の順となっている。

図表6-15 入団を希望しない理由（居住区別）



居住区別では、「体力に自信がない」は、中原区（55.9%）が最も高く、次いで高津区（54.6%）、麻生区（54.5%）の順となっている。「多忙のため時間がない」は、川崎区（59.2%）が最も高く、次いで中原区（54.8%）、多摩区（51.1%）の順となっている。「長時間拘束されたくない」は、中原区（29.3%）が最も高く、次いで川崎区（26.6%）、宮前区（26.1%）の順となっている。

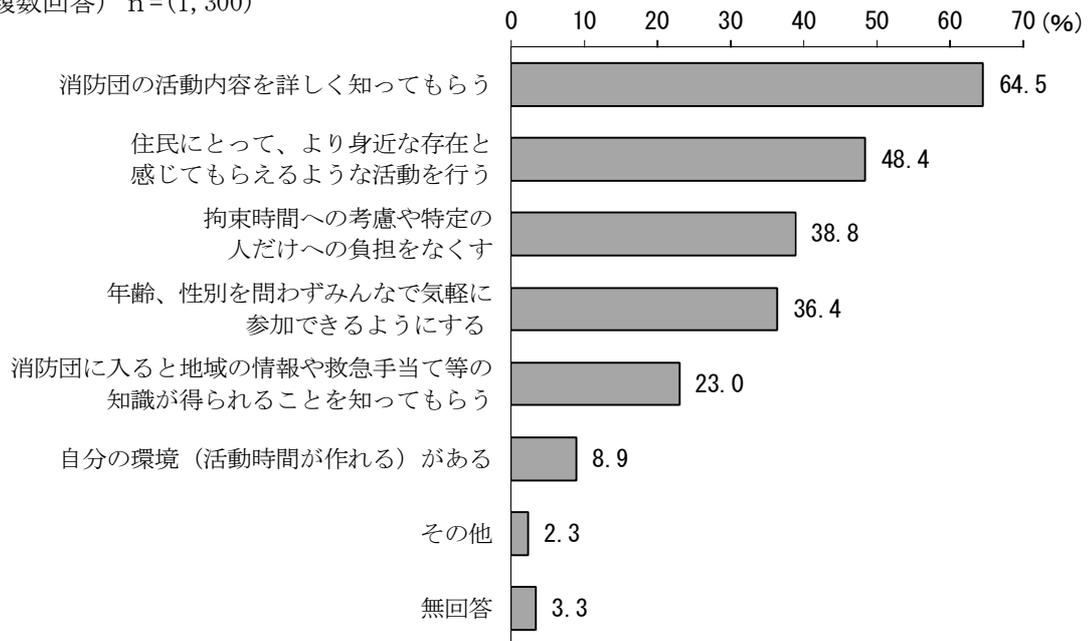
## 6-6 地域でもっと多くの人に入団してもらうために必要なこと

◎「消防団の活動内容を詳しく知ってもらう」が64.5%

問 21 地域でもっと多くの人に入団してもらうためには、今後、消防団はどのようなことをしていくことが重要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

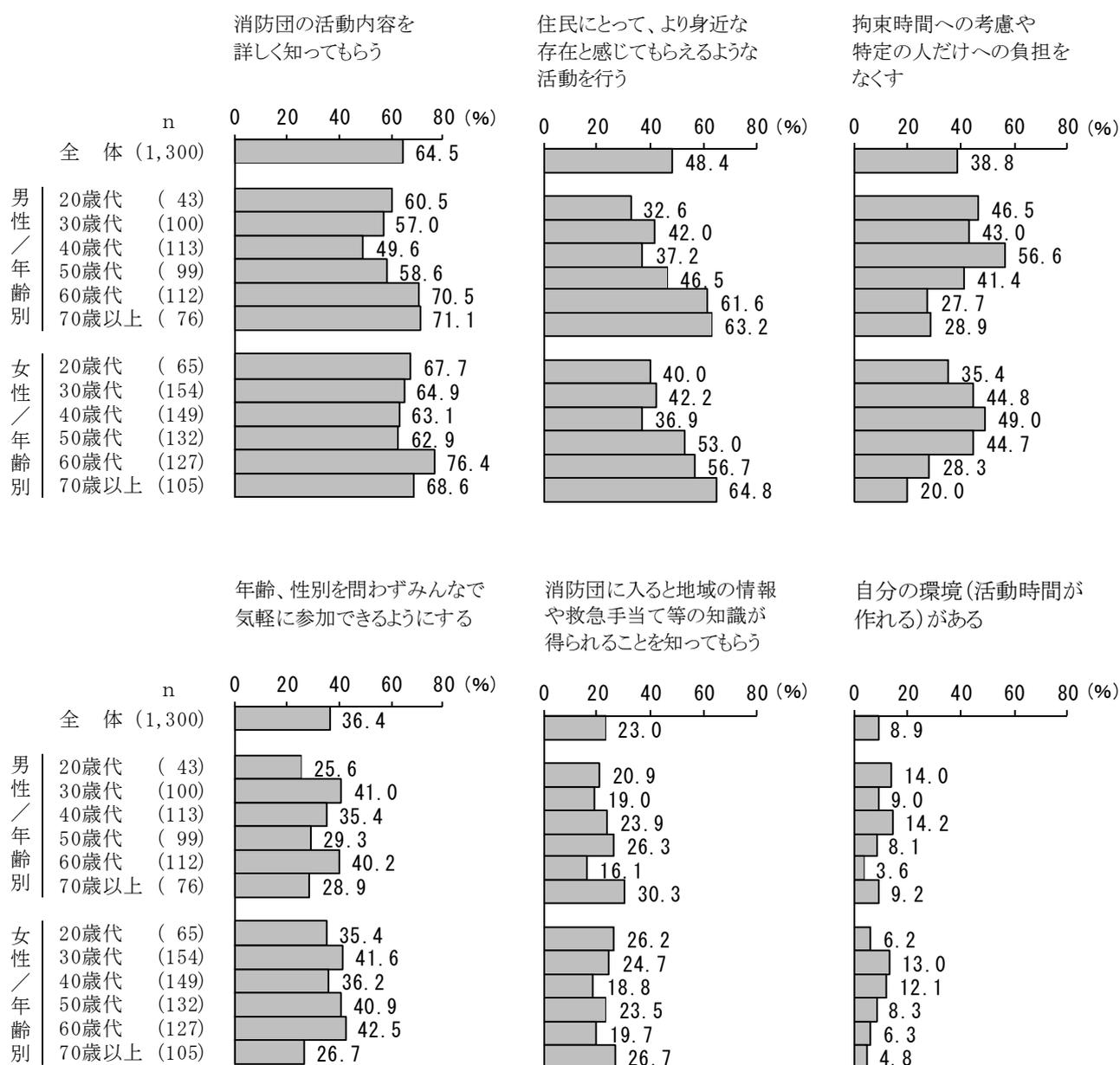
図表 6-16 地域でもっと多くの人に入団してもらうために必要なこと

(複数回答) n=(1,300)



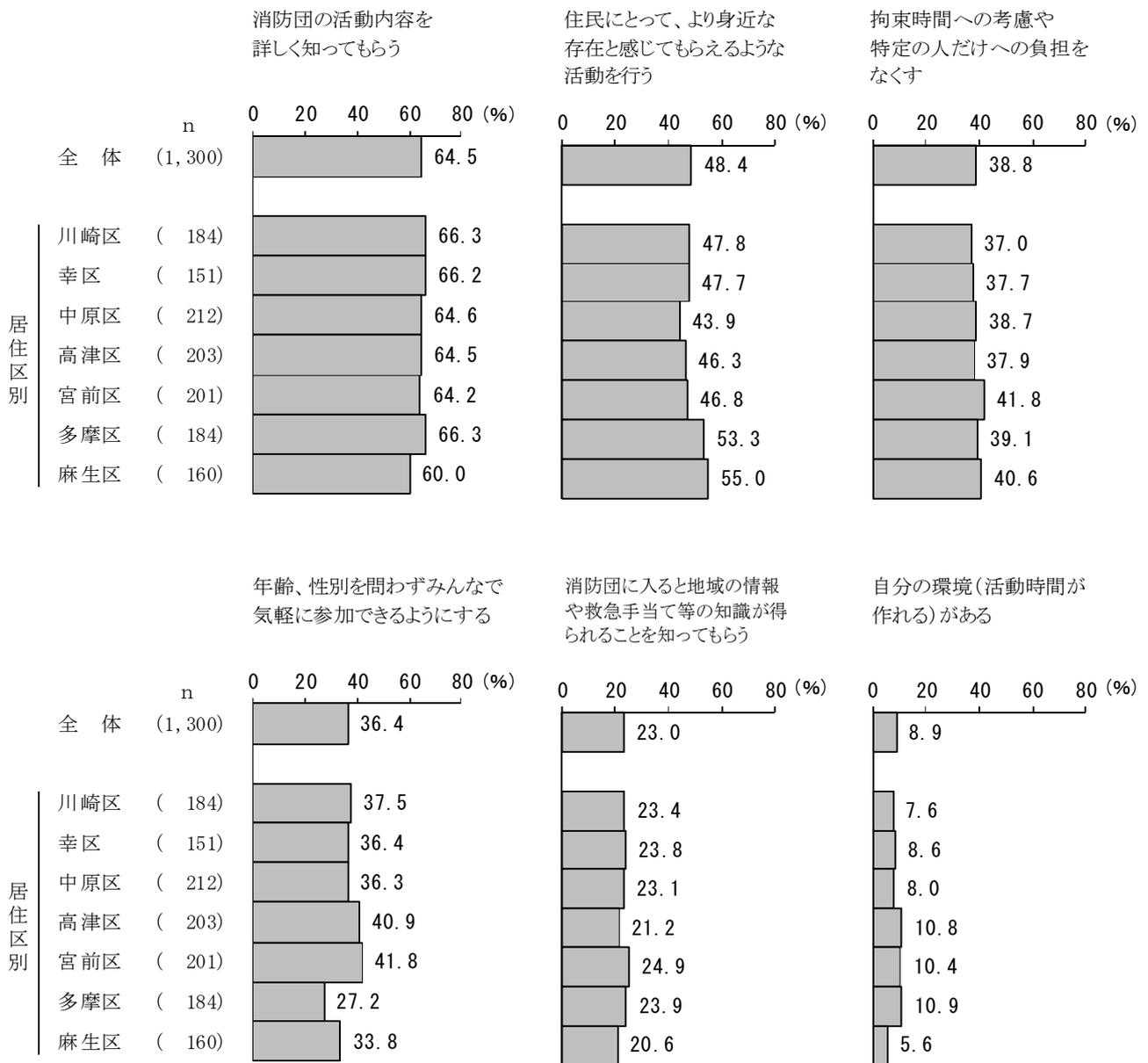
地域でもっと多くの人に入団してもらうために必要なことは、「消防団の活動内容を詳しく知ってもらう」(64.5%)が最も高く、次いで「住民にとって、より身近な存在と感じてもらえるような活動を行う」(48.4%)、「拘束時間への考慮や、特定の人だけへの負担をなくす」(38.8%)の順となっている。

図表6-17 地域でもっと多くの人に入団してもらうために必要なこと（性／年齢別）



性／年齢別では、「消防団の活動内容を詳しく知ってもらう」は、女性の60歳代（76.4%）で最も高く、次いで男性の70歳以上（71.1%）、60歳代（70.5%）の順となっている。「住民にとって、より身近な存在とじてもらえるような活動を行う」は、女性の70歳以上（64.8%）で最も高く、次いで男性の70歳以上（63.2%）、60歳代（61.6%）となっている。

図表6-18 地域でもっと多くの人に入団してもらうために必要なこと（居住区別）



居住区別では、「消防団の活動内容を詳しく知ってもらう」は、川崎区と多摩区（66.3%）が最も高く、次いで幸区（66.2%）となっている。「住民にとって、より身近な存在とじてもらえるような活動を行う」は、麻生区（55.0%）が最も高く、次いで多摩区（53.3%）、川崎区（47.8%）の順となっている。

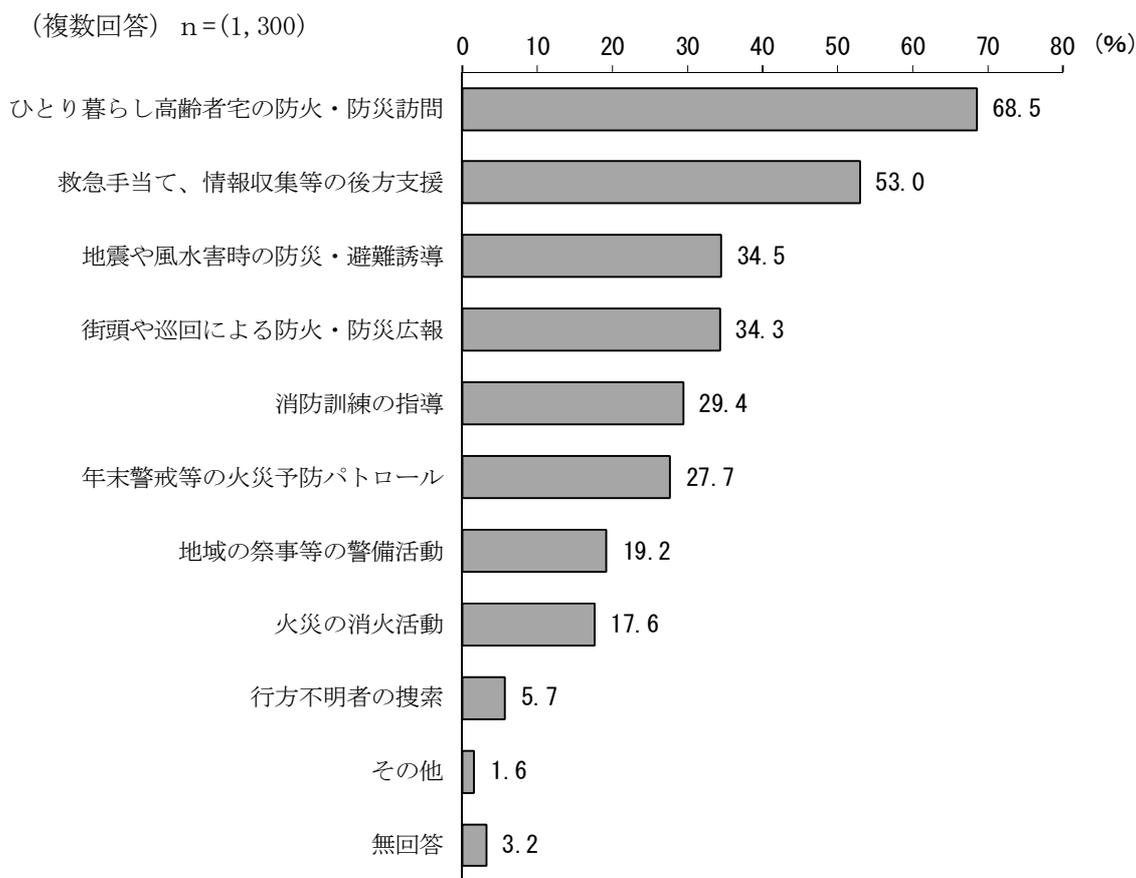
## 6-7 女性消防団員に期待する活動

◎「ひとり暮らし高齢者宅の防火・防災訪問」が68.5%

問 22 平成 27 年 4 月 1 日現在、川崎市内では現員 1,181 名のうち、85 名の女性が消防団活動をしています。女性消防団員は主に防火・防災の広報などの活動をしていますが、今後女性の活躍の場を広げるため、次の消防団員の活動のうちどのような活動を期待しますか。

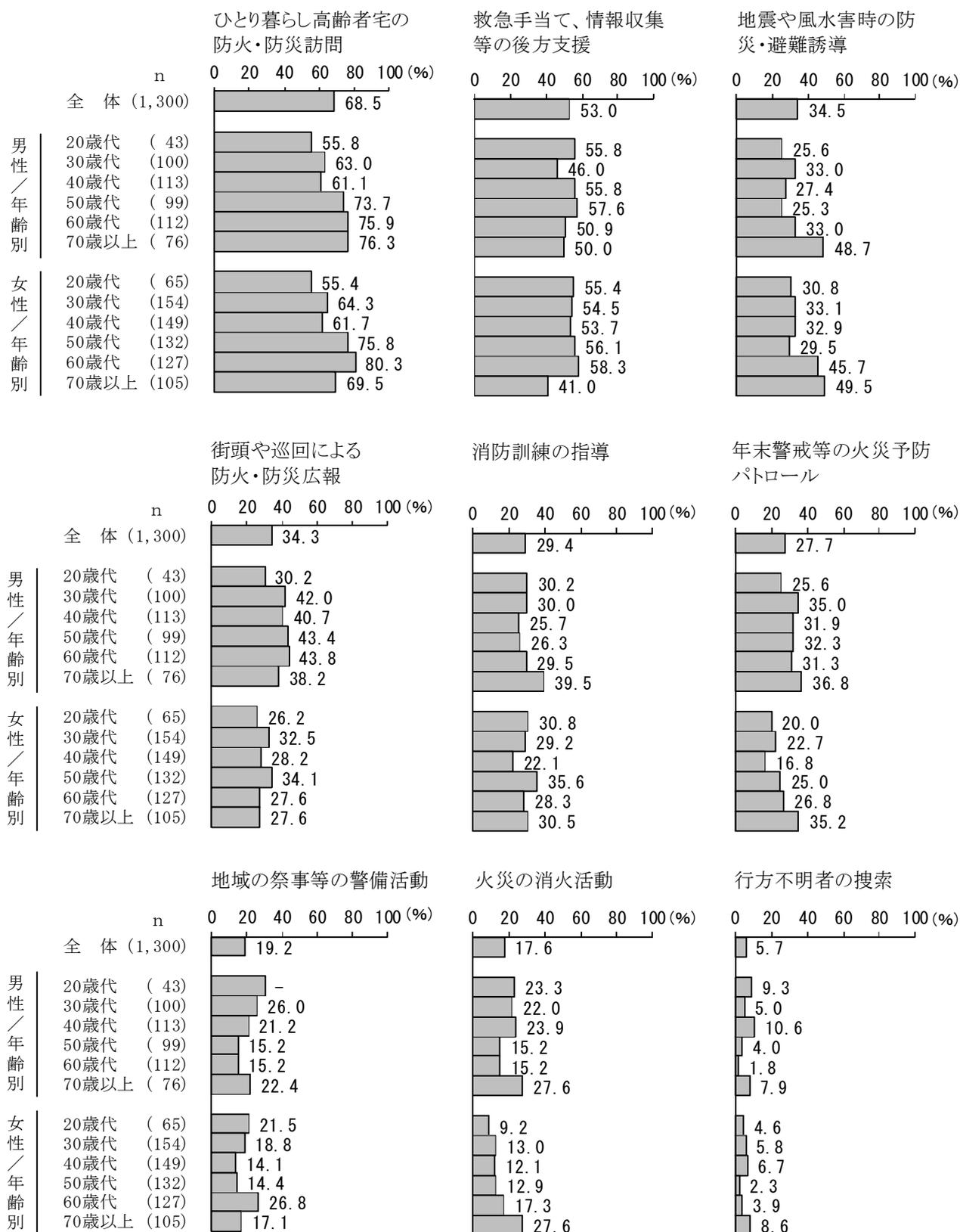
(あてはまるもの全てに○)

図表 6-19 女性消防団員に期待する活動



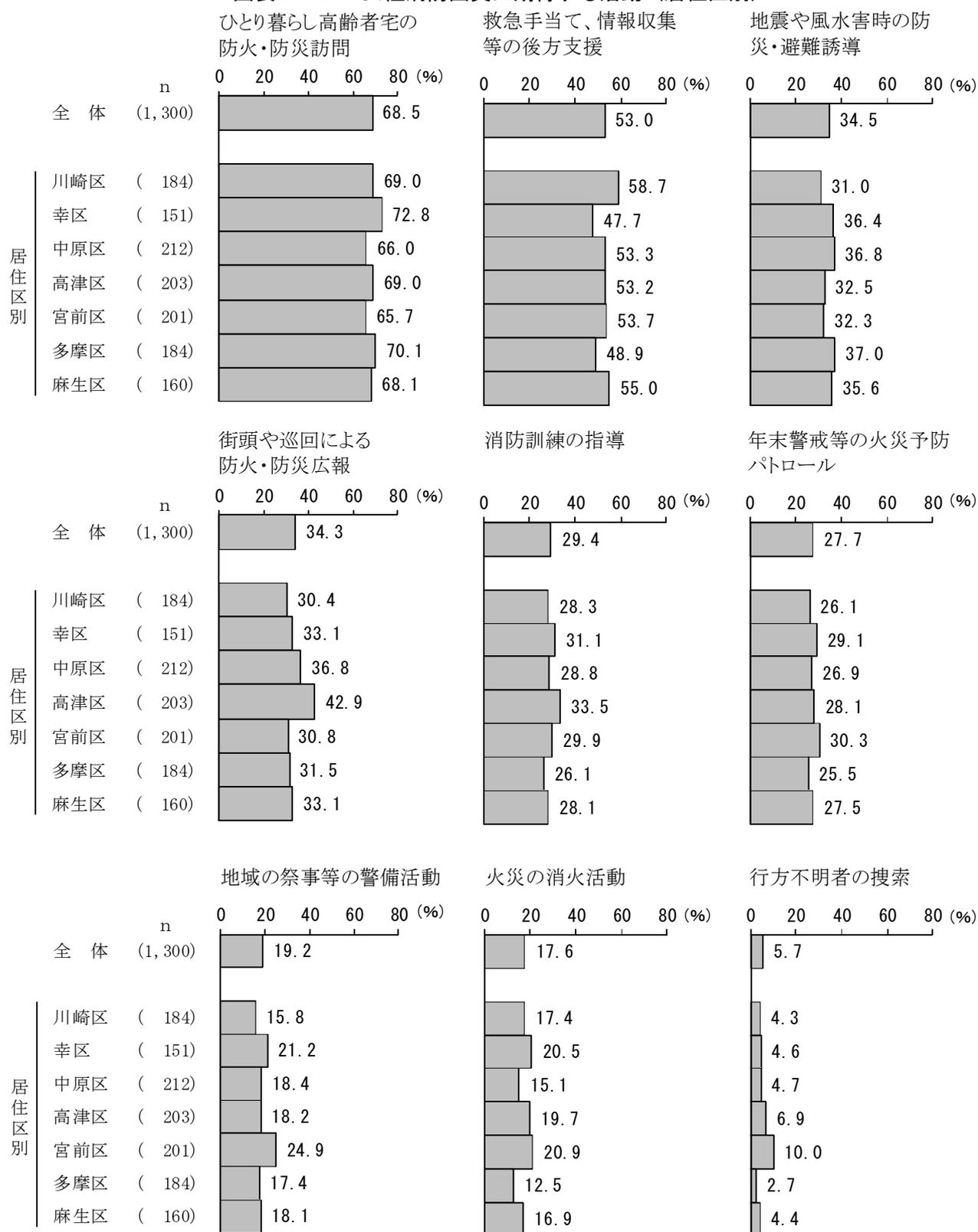
女性消防団員に期待する活動は、「ひとり暮らしの高齢者宅の防火・防災訪問」(68.5%)が最も高く、次いで「救急手当て、情報収集等の後方支援」(53.0%)、「地震や風水害時の防災・避難誘導」(34.5%)、「街頭や巡回による防火・防災広報」(34.3%)の順となっている。

図表6-20 女性消防団員に期待する活動（性／年齢別）



性／年齢別では、「ひとり暮らしの高齢者宅の防火・防災訪問」は女性の60歳代（80.3%）で最も高く、次いで男性の70歳以上（76.3%）、60歳代（75.9%）の順となっている。「救急手当て、情報収集等の後方支援」は、女性の60歳代（58.3%）で最も高く、次いで男性の50歳代（57.6%）、女性の50歳代（56.1%）の順となっている。「地震や風水害時の防災・避難誘導」は、女性の70歳以上（49.5%）が最も高く、次いで男性の70歳以上（48.7%）、女性の60歳代（45.7%）となっている。

図表6-21 女性消防団員に期待する活動（居住区別）



居住区別では、「ひとり暮らしの高齢者宅の防火・防災訪問」は、幸区（72.8%）が最も高く、次いで多摩区（70.1%）、川崎区及び高津区（69.0%）の順となっている。「救急手当て、情報収集等の後方支援」は、川崎区（58.7%）が最も高く、次いで麻生区（55.0%）、宮前区（53.7%）の順となっている。「地震や風水害時の防災・避難誘導」は、多摩区（37.0%）が最も高く、次いで中原区（36.8%）、幸区（36.4%）の順となっている。

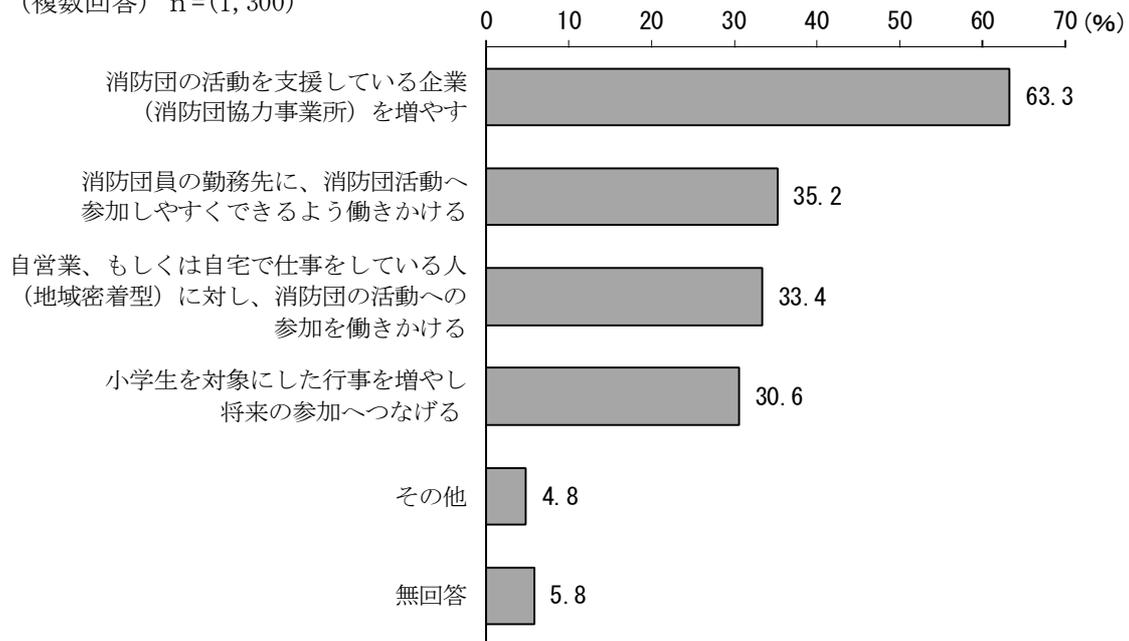
## 6-8 消防団を充実させるための方策

◎「消防団の活動を支援している企業(消防団協力事業所)を増やす」が63.3%

問 23 最近では消防団員の多くが勤めており、災害時に出動が厳しい状況になっています。あなたは、今後消防団を充実させるにはどうしたら良いと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

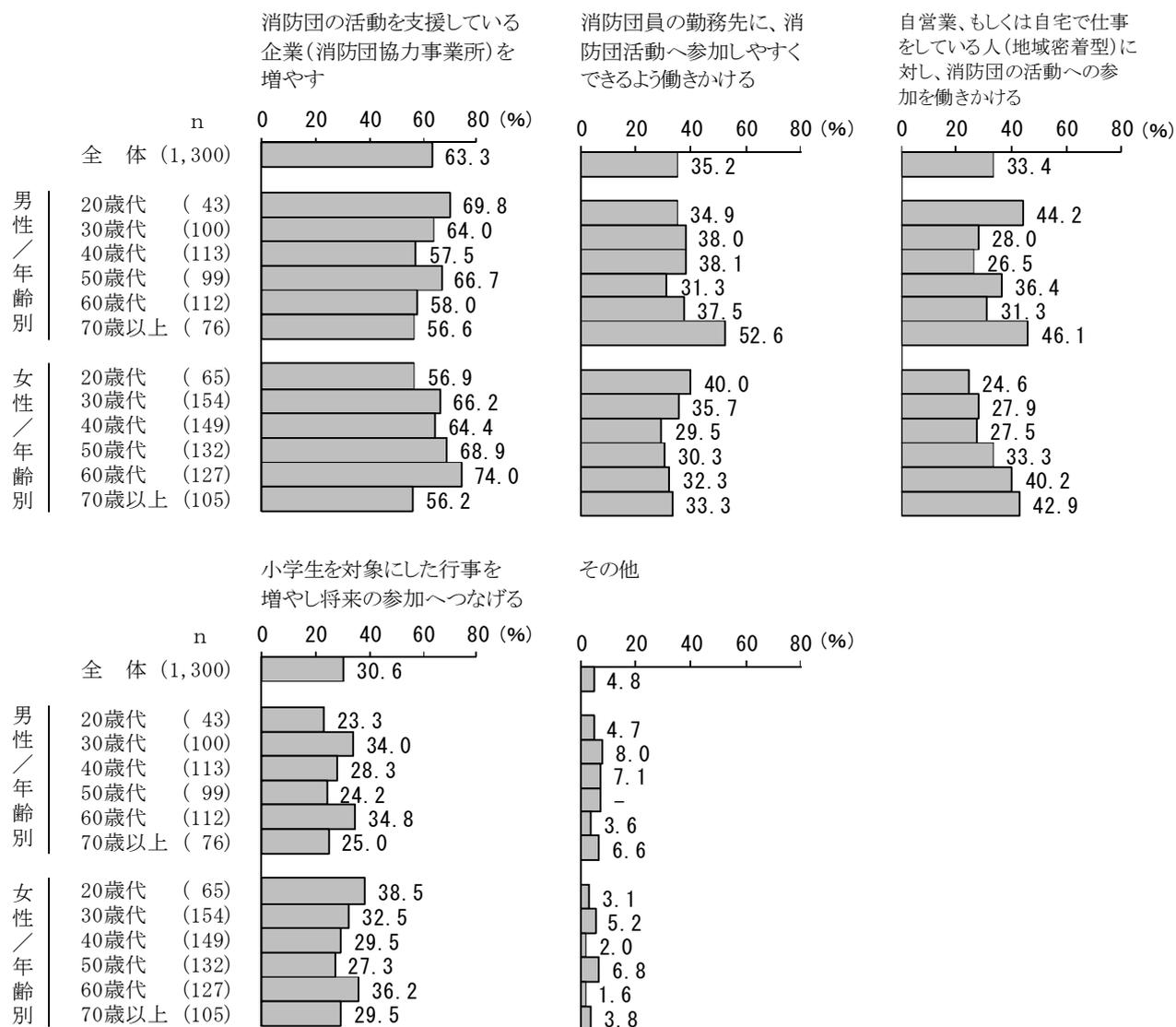
図表6-22 消防団を充実させるための方策

(複数回答) n=(1,300)



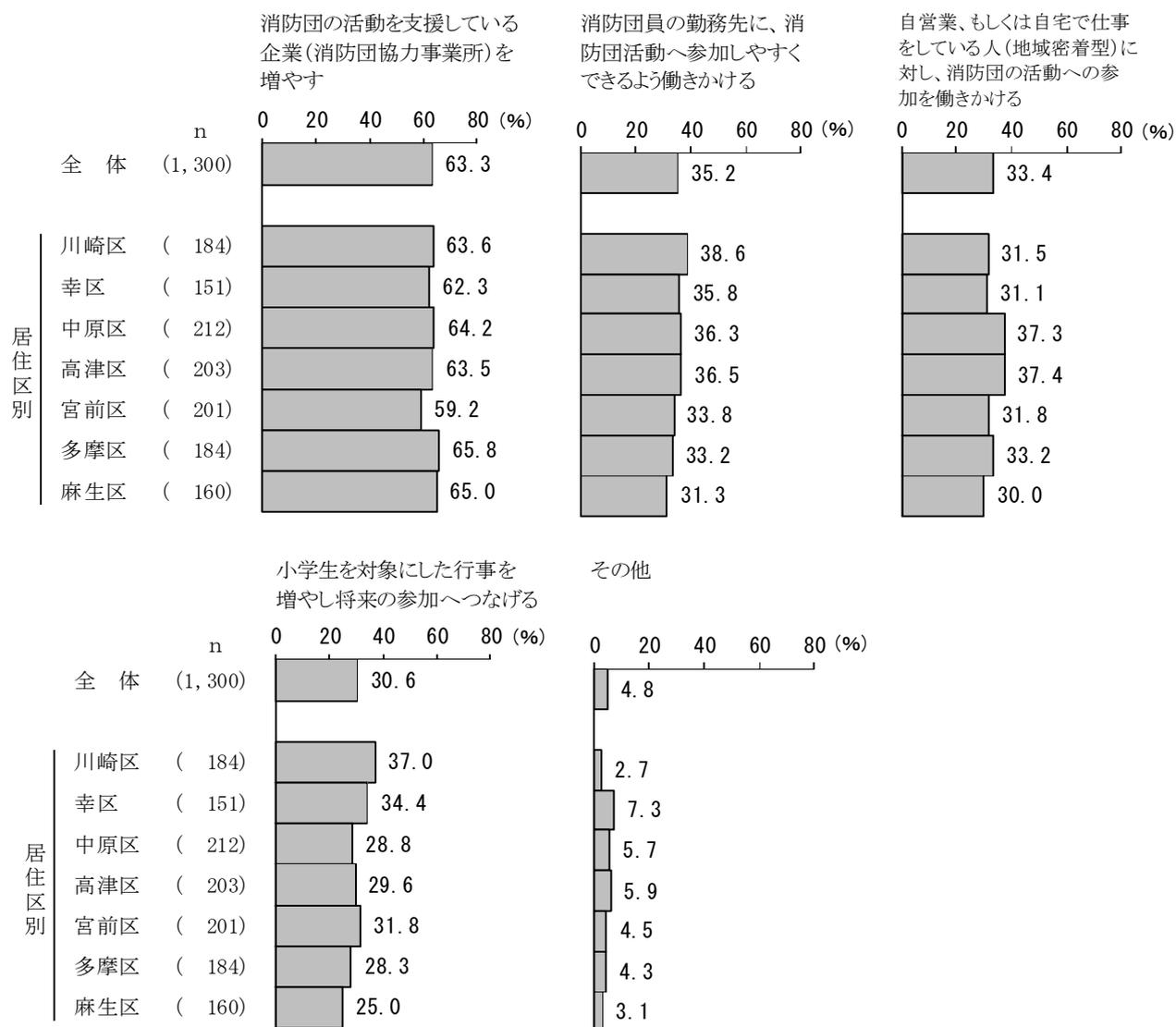
消防団を充実させる方法は、「消防団の活動を支援している企業(消防団協力事業所)を増やす」(63.3%)が最も高く、次いで「消防団員の勤務先に、消防団活動へ参加しやすくできるよう働きかける」(35.2%)、「自営業、もしくは自宅で仕事をしている人(地域密着型)に対し、消防団の活動への参加を働きかける」(33.4%)、「小学生を対象にした行事を増やし将来の参加へつなげる」(30.6%)の順となっている。

図表6-23 消防団を充実させるための方策（性／年齢別）



性／年齢別では、「消防団の活動を支援している企業（消防団協力事業所）を増やす」は、女性の60歳代（74.0%）で最も高く、次いで男性の20歳代（69.8%）、女性の50歳代（68.9%）の順となっている。「消防団員の勤務先に、消防団活動へ参加しやすくできるよう働きかける」は、男性の70歳以上（52.6%）で最も高く、次いで女性の20歳代（40.0%）、男性の40歳代（38.1%）の順となっている。「自営業、もしくは自宅で仕事をしている人(地域密着型)に対し、消防団の活動への参加を働きかける」は、男性の70歳以上（46.1%）で最も高く、次いで男性の20歳代（44.2%）、女性の70歳以上（42.9%）の順となっている。「小学生を対象にした行事を増やし将来の参加へつなげる」は、女性の20歳代（38.5%）で最も高く、次いで女性の60歳代（36.2%）、男性の60歳代（34.8%）の順となっている。

図表6-24 消防団を充実させるための方策（居住区別）



居住区別では、「消防団の活動を支援している企業（消防団協力事業所）を増やす」は、多摩区（65.8%）が最も高く、次いで麻生区（65.0%）、中原区（64.2%）の順となっている。「消防団員の勤務先に、消防団活動へ参加しやすくできるように働きかける」は、川崎区（38.6%）が最も高く、次いで高津区（36.5%）、中原区（36.3%）の順となっている。「自営業、もしくは自宅で仕事をしている人（地域密着型）に対し、消防団の活動への参加を働きかける」は、高津区（37.4%）が最も高く、次いで中原区（37.3%）、多摩区（33.2%）の順となっている。「小学生を対象にした行事を増やし将来の参加へつなげる」は、川崎区（37.0%）が最も高く、次いで幸区（34.4%）、宮前区（31.8%）の順となっている。

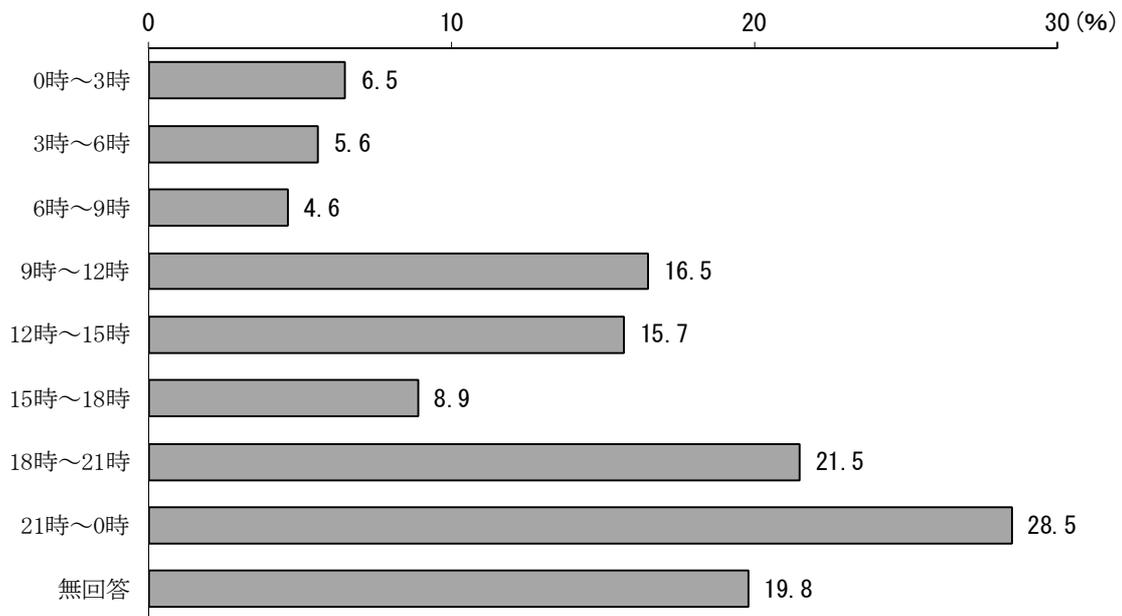
## 6-9 消防団に入団した場合活動できると思う時間帯

◎「21時～0時」が28.5%

問 24 もし、あなたが消防団に入団するとした場合に、活動できると思う時間帯を教えてください。  
(あてはまるもの全てに○)

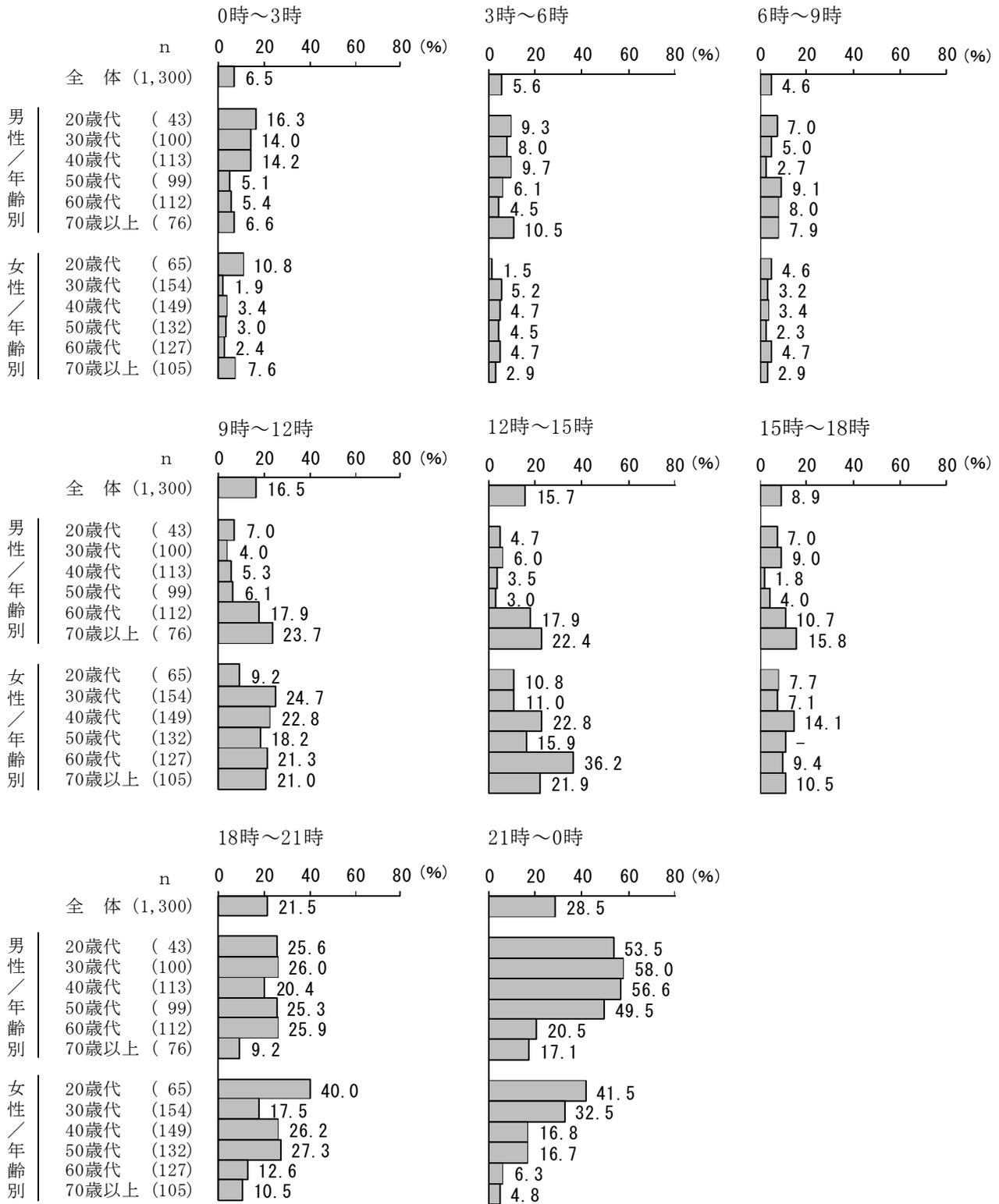
図表6-25 消防団に入団した場合活動できると思う時間帯

(複数回答) n=(1,300)



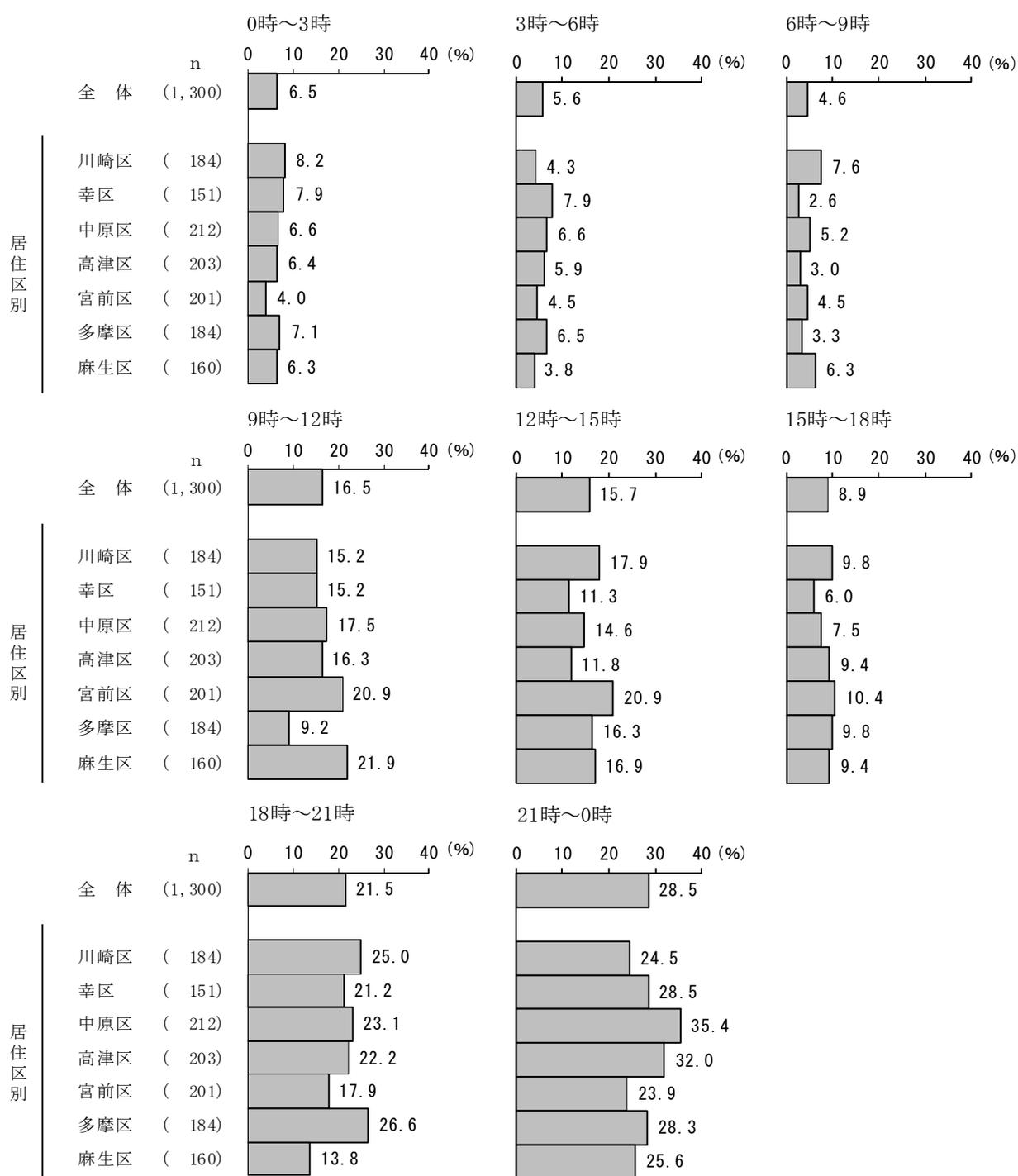
消防団に入団した場合活動できると思う時間帯は、「21時～0時」(28.5%)が最も高く、次いで「18時～21時」(21.5%)、「9時～12時」(16.5%)、「12時～15時」(15.7%)の順となっている。

図表6-26 消防団に入団した場合活動できると思う時間帯（性／年齢別）



性／年齢別では、「21時～0時」は、男性の30歳代(58.0%)で最も高く、次いで男性の40歳代(56.6%)、20歳代(53.5%)の順となっており、女性は20歳代(41.5%)が最も高い。「18時～21時」は、女性の20歳代(40.0%)が最も高く、次いで女性の50歳代(27.3%)、40歳代(26.2%)の順となっており、男性は30歳代(26.0%)が最も高い。

図表6-27 消防団に入団した場合活動できると思う時間帯（居住区別）



居住区別では、「21時～0時」は、中原区（35.4%）が最も高く、次いで高津区（32.0%）、幸区（28.5%）の順となっている。「18時～21時」は、多摩区（26.6%）が最も高く、次いで川崎区（25.0%）、中原区（23.1%）の順となっている。

## 7 サービス産業に対する消費について

### 7-1 1か月間の消費状況について

◎「レストラン・飲食店（喫茶店を除く）」が77.8%

問 25-① あなたは、この1か月間に次のサービスや物（有料のもの）を消費（利用、購入など）しましたか。消費したものの番号（1～12）に○をつけてください。

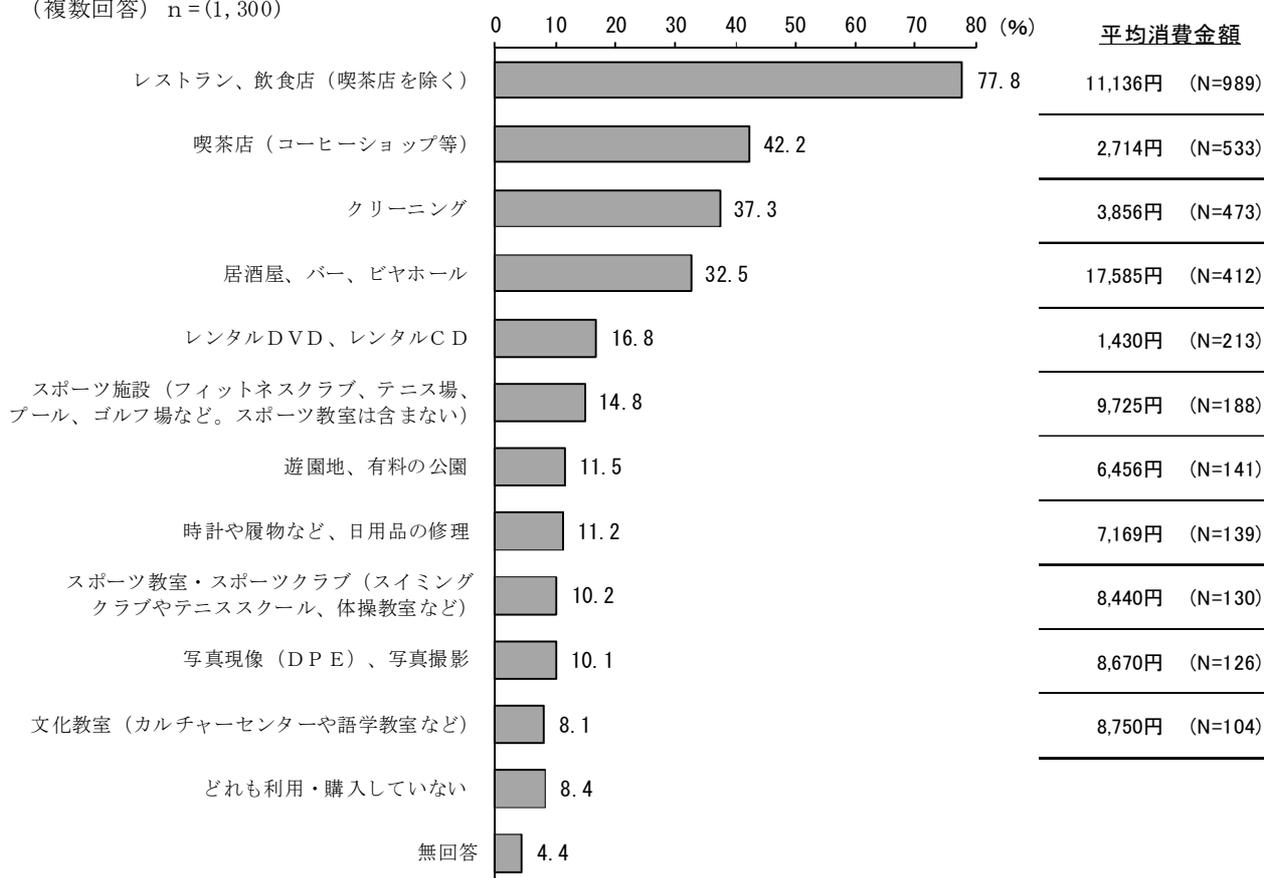
（あてはまるもの全てに○）

問 25-② いくらくらい消費したか、概算金額をご記入ください。

※あなたご自身（1人当たり）の金額をお答えください。

図表7-1 1か月間の消費状況について

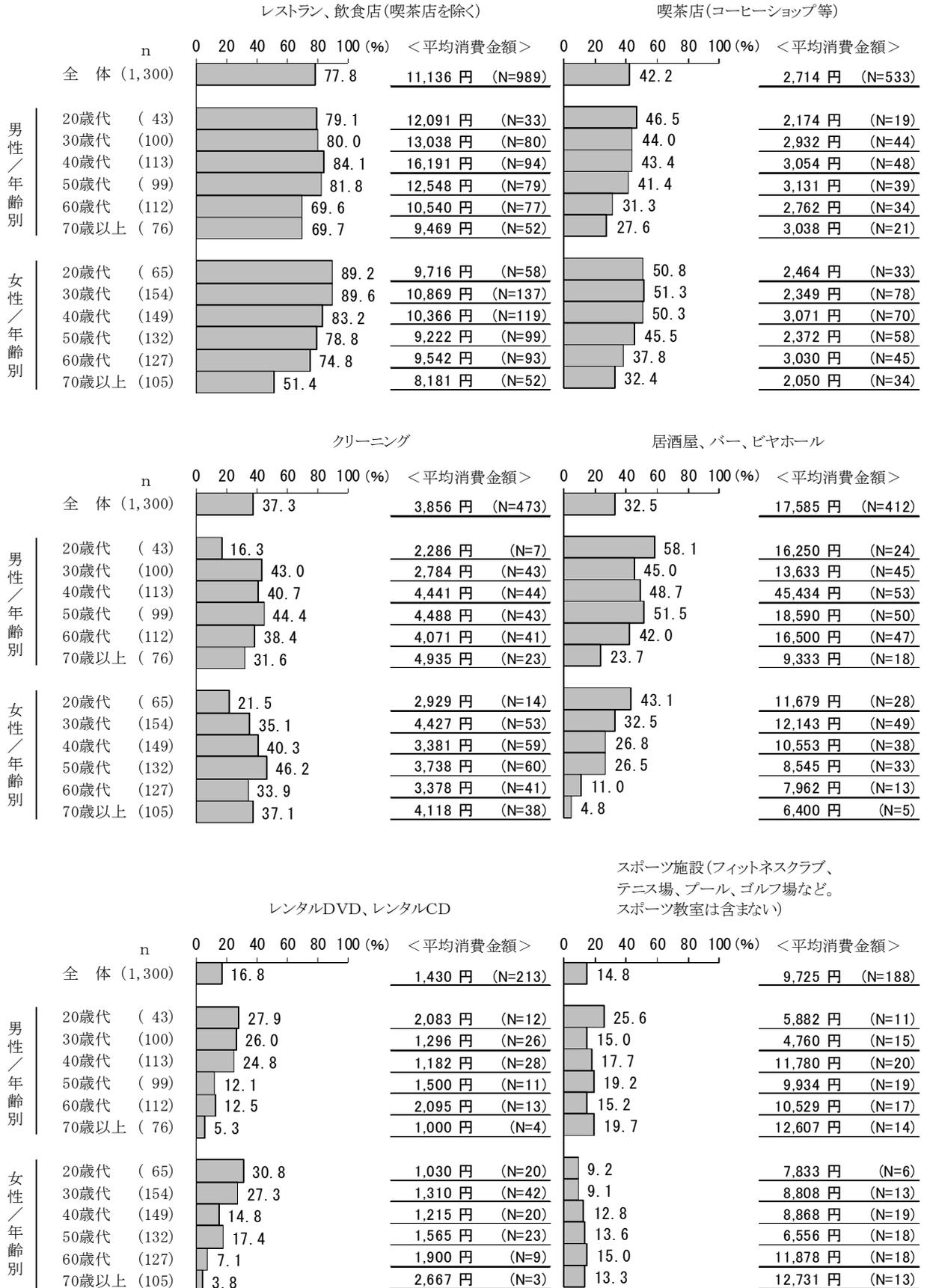
（複数回答） n=(1,300)

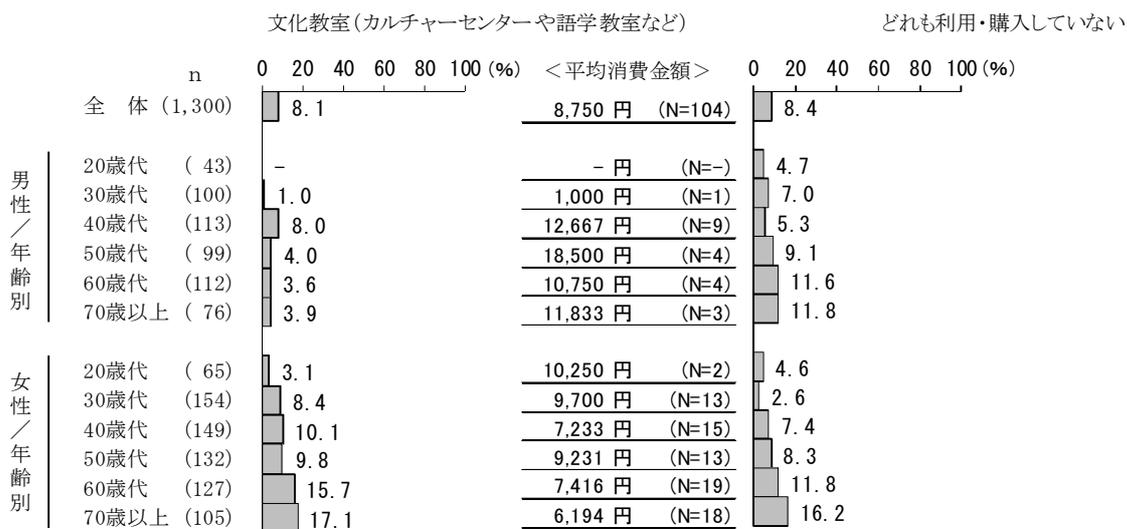
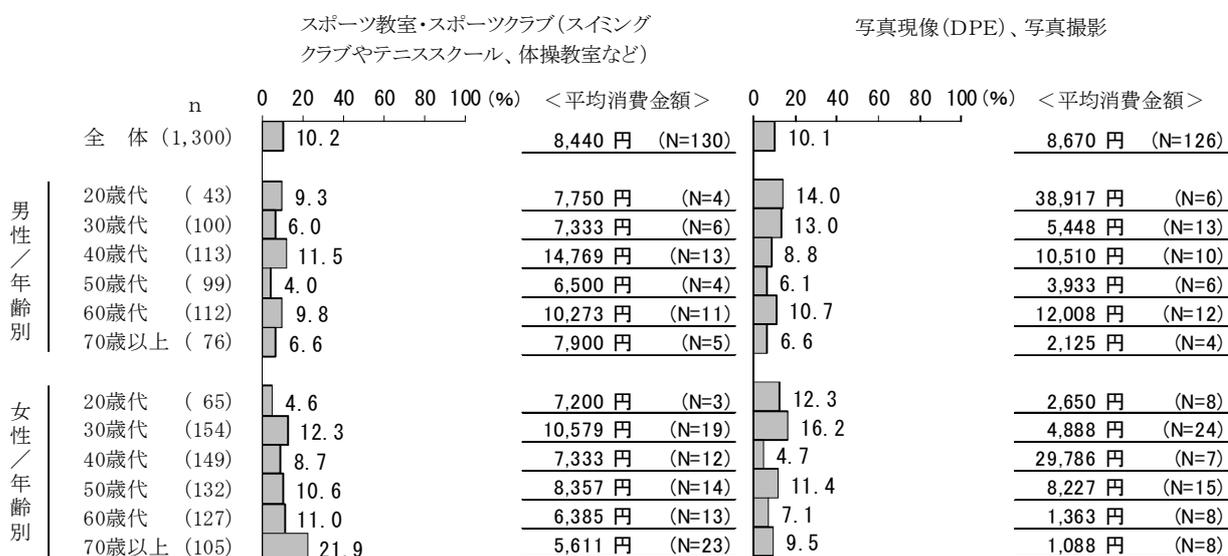
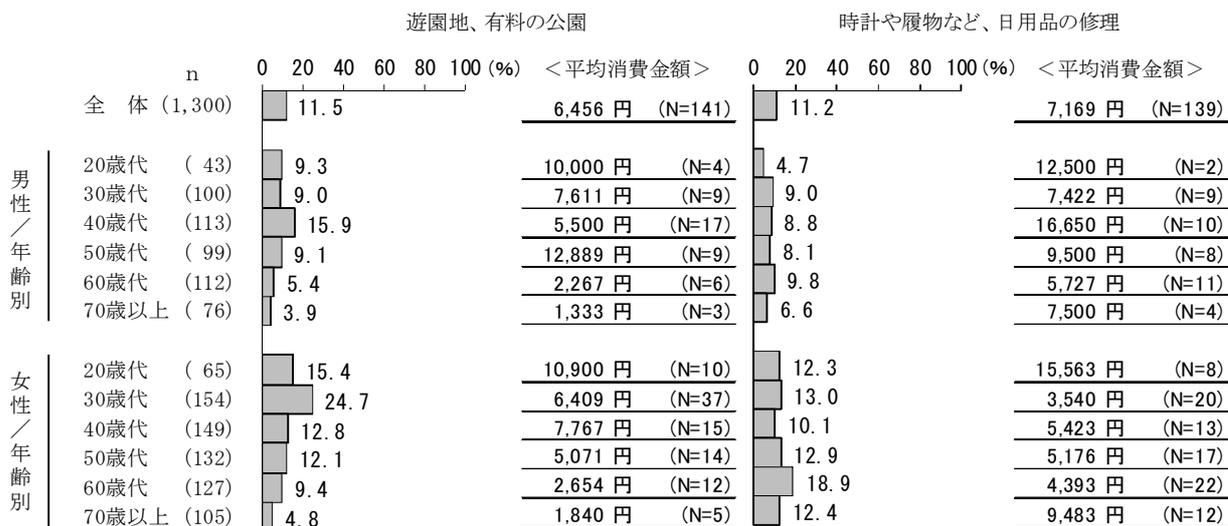


1か月間の消費状況については、「レストラン・飲食店（喫茶店を除く）」（77.8%）が最も高く、次いで「喫茶店（コーヒーショップ等）」（42.2%）、「クリーニング」（37.3%）、「居酒屋、バー、ビヤホール」（32.5%）の順となっている。

平均消費金額は、「居酒屋、バー、ビヤホール」（17,585円）が最も高く、次いで「レストラン・飲食店（喫茶店を除く）」（11,136円）、「スポーツ施設（フィットネスクラブ、テニス場、プール、ゴルフ場など。スポーツ教室は含まない）」（9,725円）の順となっている。

図表7-2 1か月間の消費状況について（性／年齢別）

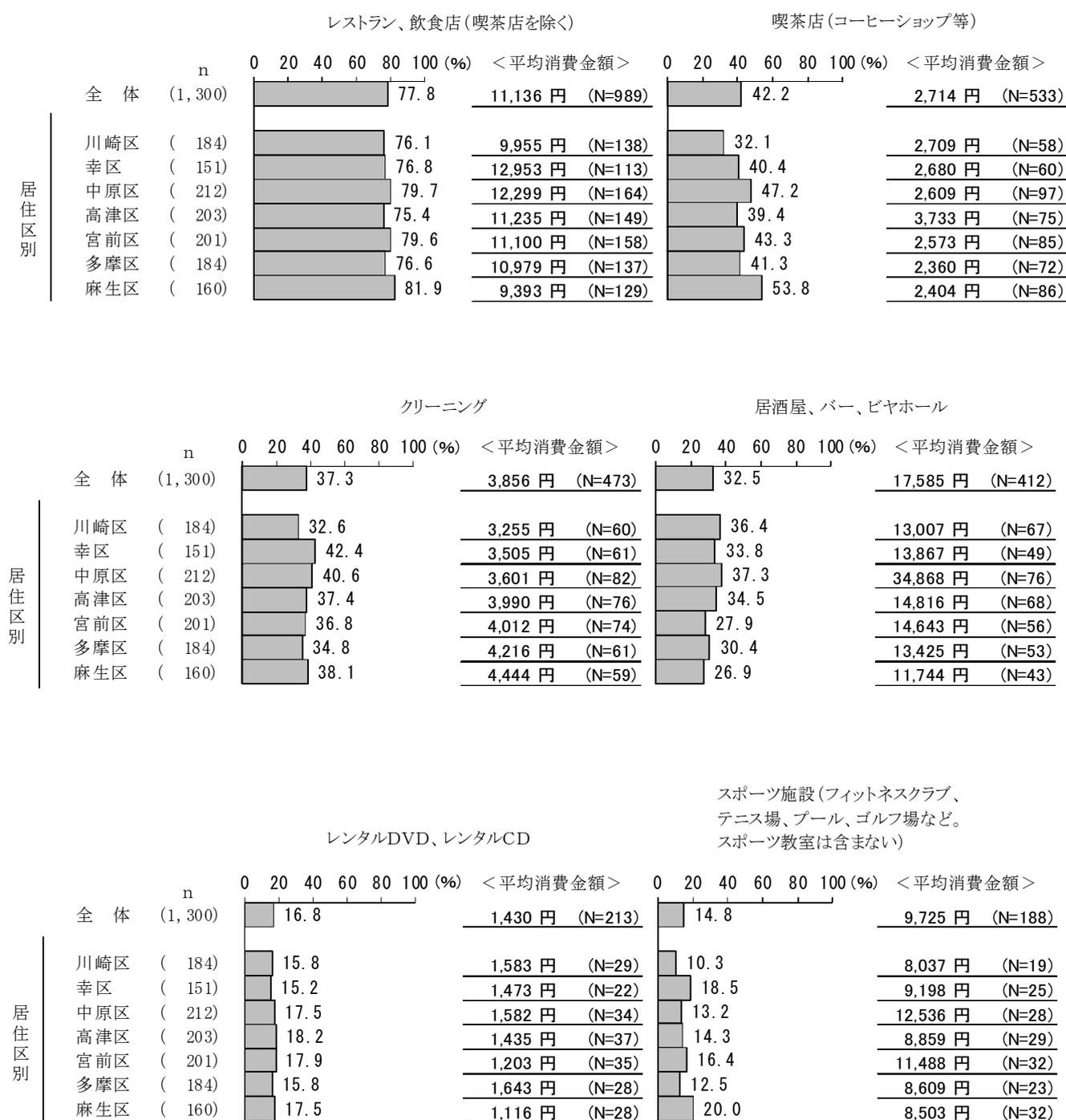


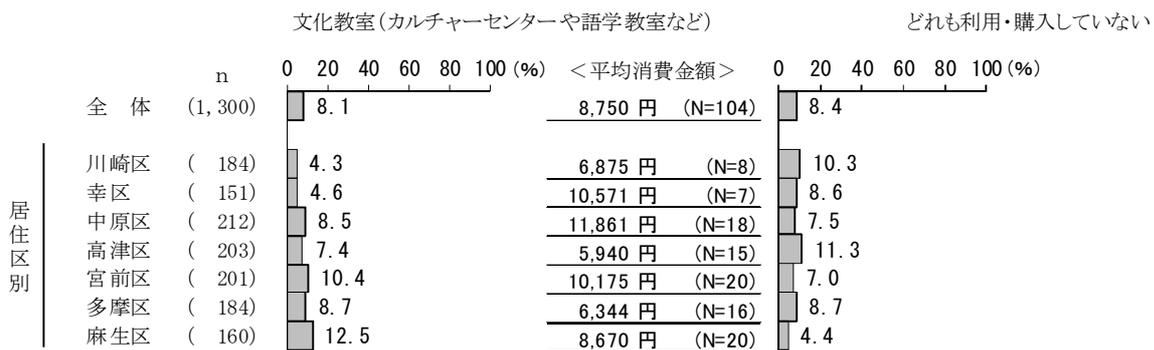
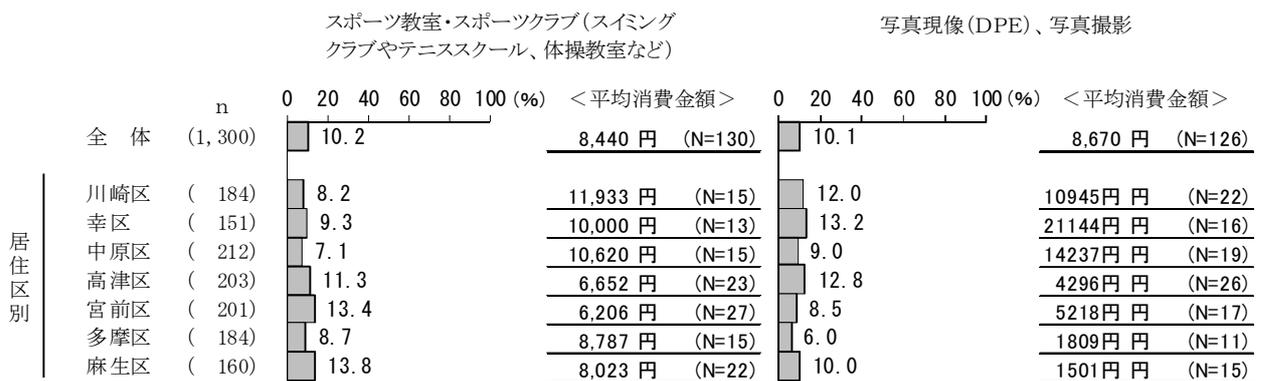
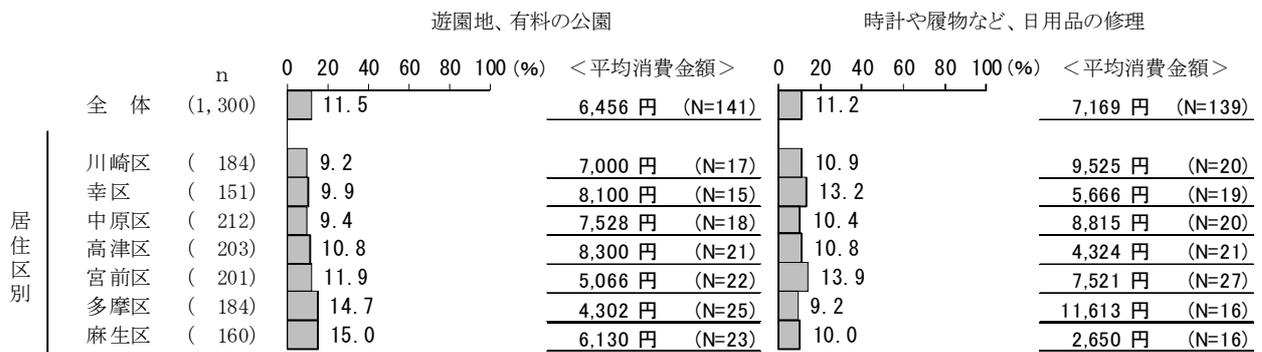


性／年齢別では、1か月間の消費状況については、「レストラン、飲食店（喫茶店を除く）」は、男性では20歳代から50歳代で8割台となっているが、60歳代（69.6%）、70歳以上（69.7%）は少なくなっている。女性では20歳代から40歳代で8割台半ば、50歳代と60歳代で7割台となっているが、70歳以上（51.4%）は5割台と低くなっている。「喫茶店（コーヒーショップ等）」は、男女ともにおおむね年齢が高くなるにつれ、割合が低くなっている。「クリーニング」は、男性では30歳代から50歳代で4割台、60歳代と70歳以上で3割台となっているが、20歳代（16.3%）で低くなっている。女性では40歳代と50歳代で4割台、30歳代と60歳代、70歳以上で3割台となっているが、20歳代（21.5%）で低くなっている。「居酒屋、バー、ビヤホール」は、男女ともに20歳代（男性：58.1%、女性：43.1%）が最も高く、70歳以上（男性：23.7%、女性：4.8%）が最も低い。

平均消費金額については、「居酒屋、バー、ビヤホール」は、男性の40歳代（45,434円）が最も高く、次いで男性の50歳代（18,590円）、60歳代（16,500円）、20歳代（16,250円）の順になっており、女性では30歳代（13,143円）が最も高い。「レストラン、飲食店（喫茶店を除く）」は、男性の40歳代（16,191円）が最も高く、次いで30歳代（13,038円）、50歳代（12,548円）の順になっており、女性では30歳代（10,869円）、40歳代（10,366円）が最も高い。

図表 7-3 1か月間の消費状況について（居住区別）





居住区別では、1か月間の消費状況について、「レストラン、飲食店(喫茶店を除く)」は、麻生区(81.9%)が8割台、他の地区では7割台となっている。「喫茶店(コーヒーショップ等)」は、麻生区(53.8%)が最も高く、川崎区(32.1%)が最も低くなっている。「クリーニング」は、幸区(42.4%)と中原区(40.6%)が4割台となっており、他の地区では3割台となっている。「居酒屋、バー、ビヤホール」は、中原区(37.3%)が最も高くなっており、麻生区(26.9%)が最も低くなっている。

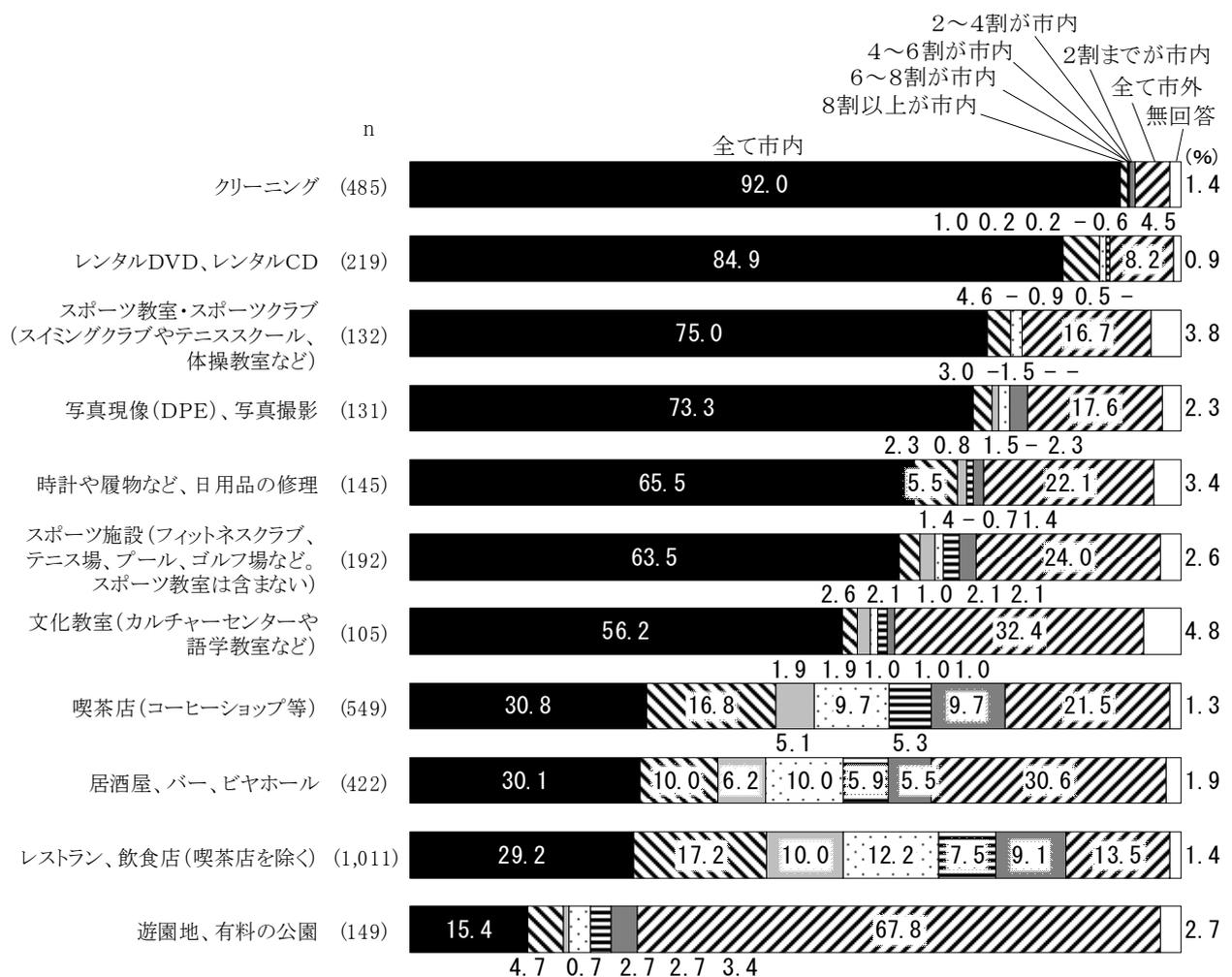
平均消費金額については、「居酒屋、バー、ビヤホール」は、中原区(34,868円)が最も高い。「レストラン、飲食店(喫茶店を除く)」は、幸区(12,953円)が最も高く、麻生区(9,393円)が最も低くなっている。

## 7-2 1か月間の市内での消費割合

◎『すべて市内』は「クリーニング」が92.0%

問 25-③ あなたが、この1か月に次のサービスや物を川崎市内で消費（利用、購入など）した割合はどれくらいですか。1~7のあてはまる番号をお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

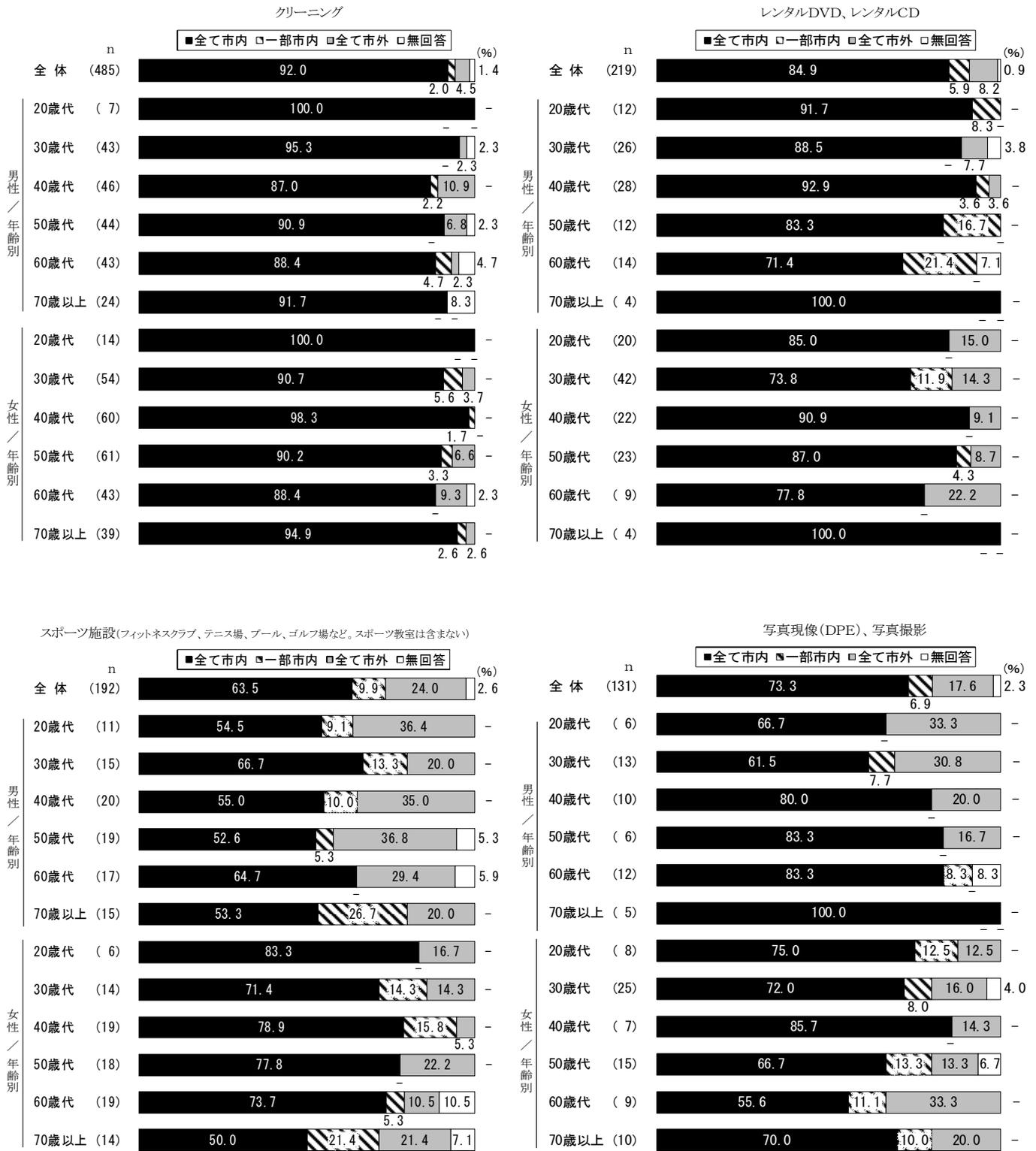
図表7-4 1か月間の市内での消費割合



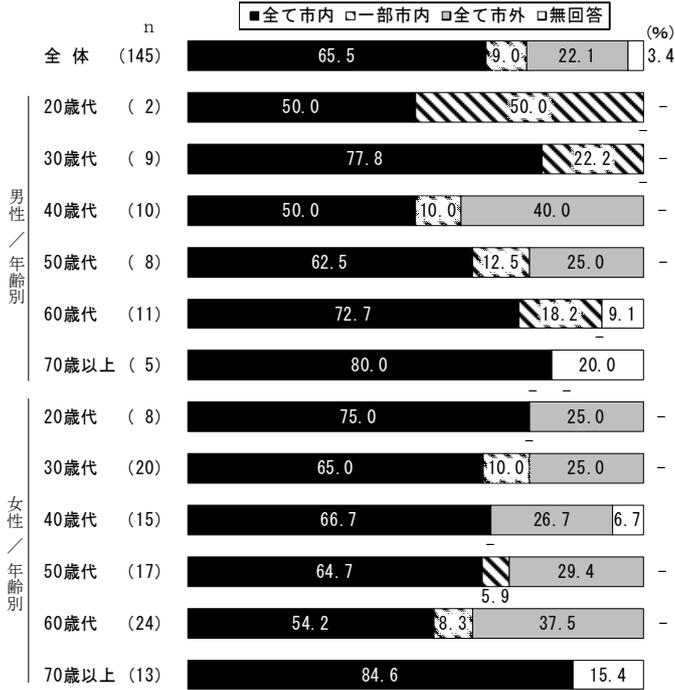
1か月間の市内での消費割合については、『全て市内』は、「クリーニング」(92.0%)が最も高く、次いで「レンタルDVD、レンタルCD」(84.9%)、「スポーツ教室・スポーツクラブ(スイミングクラブやテニススクール、体操教室など)」(75.0%)の順となっている。一方、『全て市外』は、「遊園地、有料の公園」(67.8%)が最も高く、次いで「文化教室(カルチャーセンターや語学教室など)」(32.4%)、「居酒屋、バー、ビヤホール」(30.6%)の順となっている。

図表7-5 1か月間の市内での消費割合（性／年齢別）

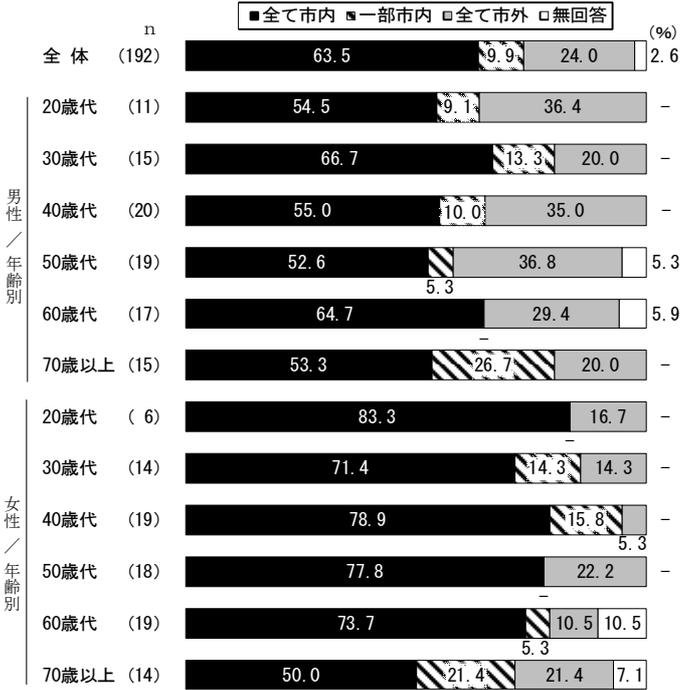
※グラフでは「8割以上が市内」から「2割までが市内」を「一部市内」としている



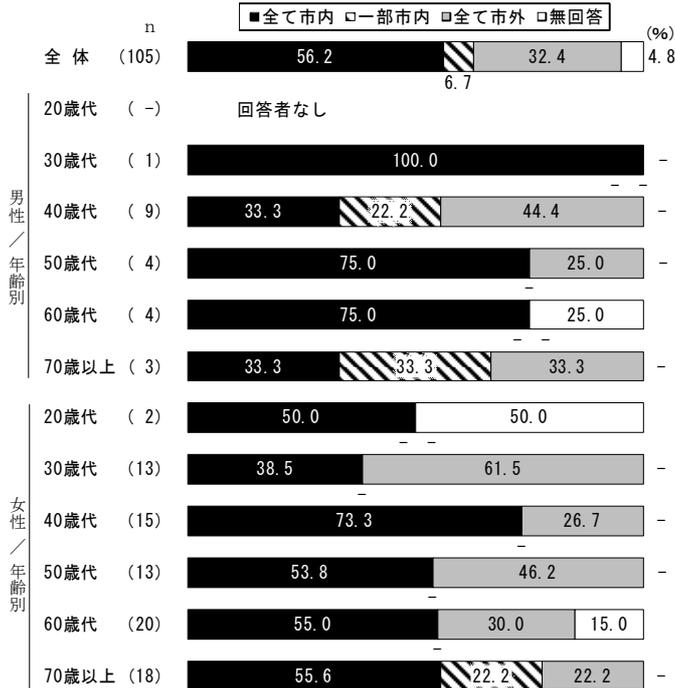
時計や履物など、日用品の修理



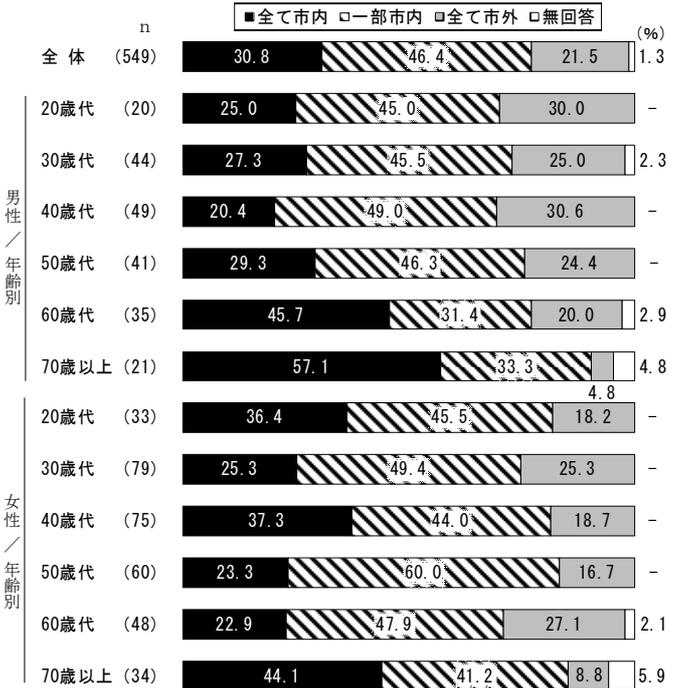
スポーツ施設(フィットネスクラブ、テニス場、プール、ゴルフ場など。スポーツ教室は含まない)



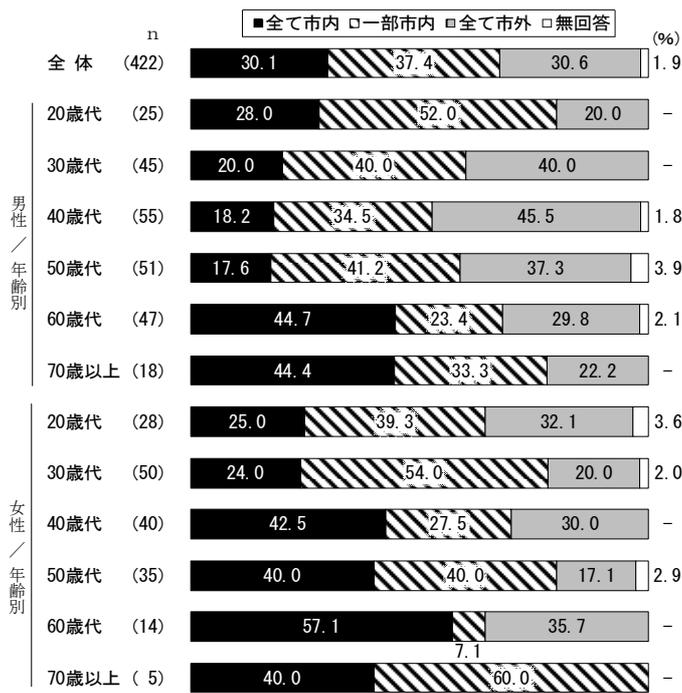
文化教室(カルチャーセンターや語学教室など)



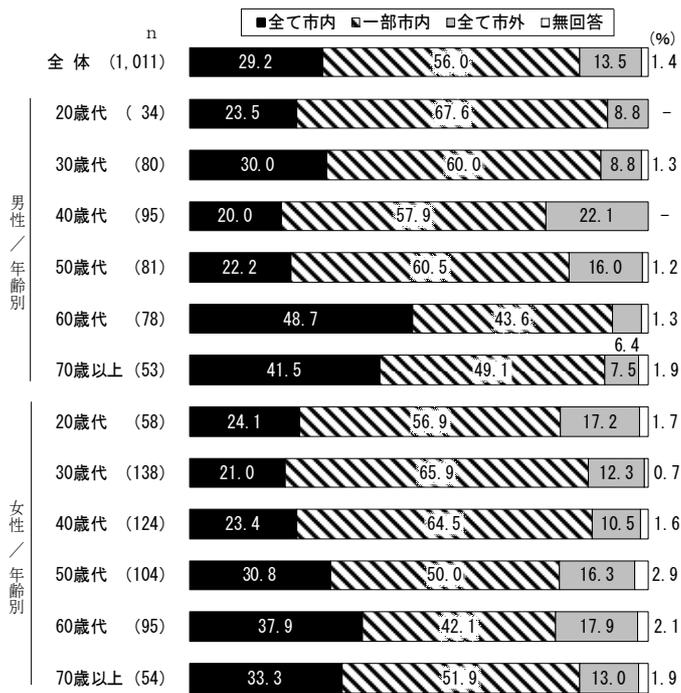
喫茶店(コーヒーショップ等)



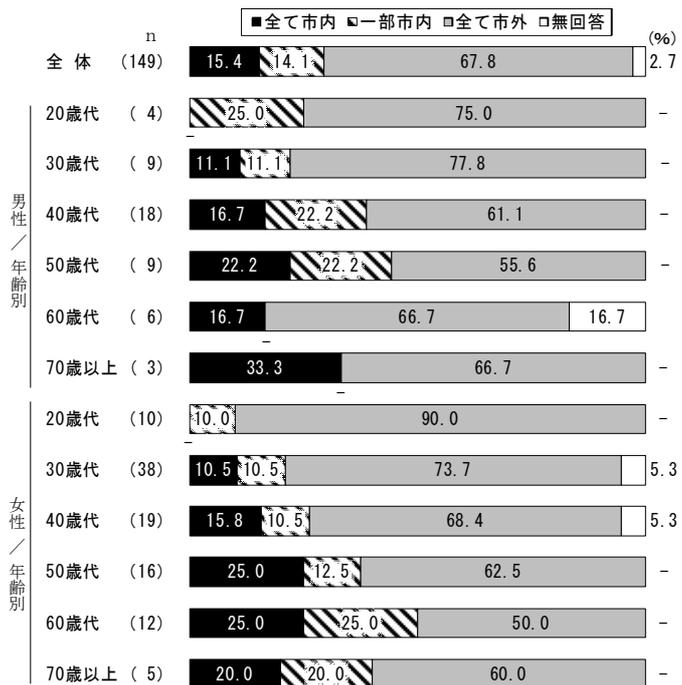
居酒屋、バー、ピヤホール



レストラン、飲食店(喫茶店を除く)



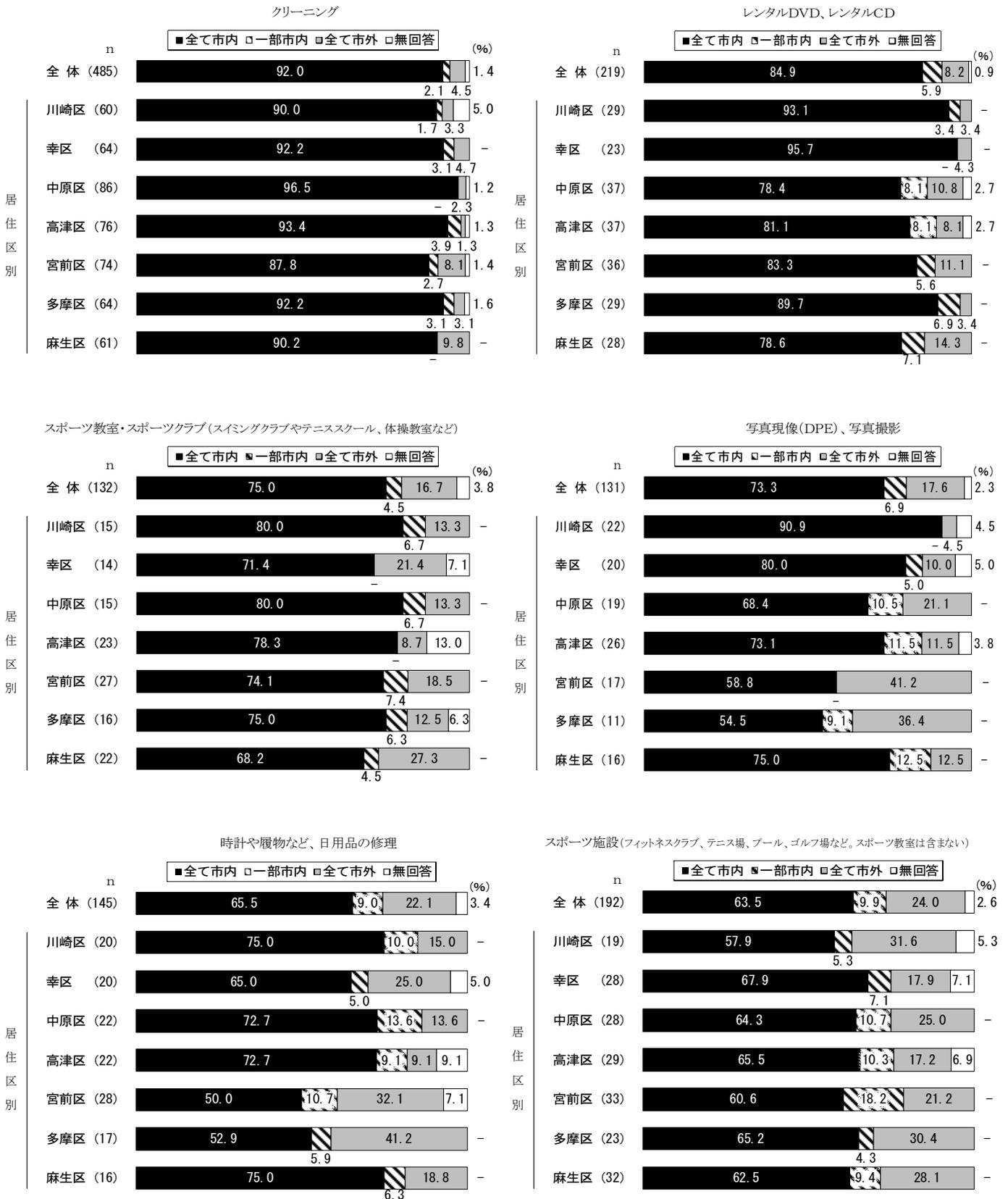
遊園地、有料の公園



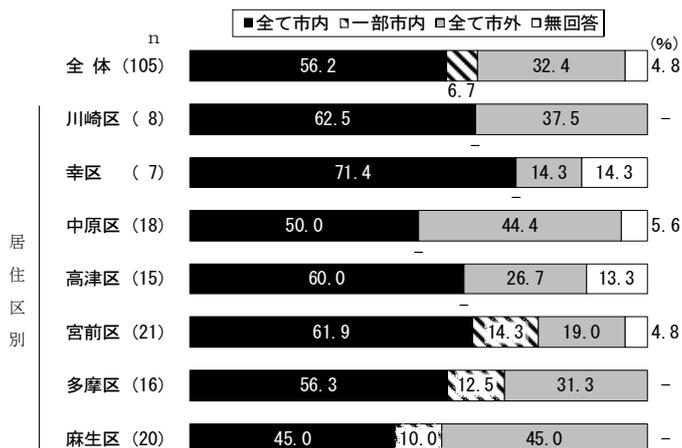
性/年代別では、「クリーニング」は、『全て市内』が男女ともに全年代で8割以上、「レンタルDVD、レンタルCD」は7割以上となっている。

「遊園地、有料の公園」は、『全て市外』が男女ともに全ての年代で5割以上となっている。

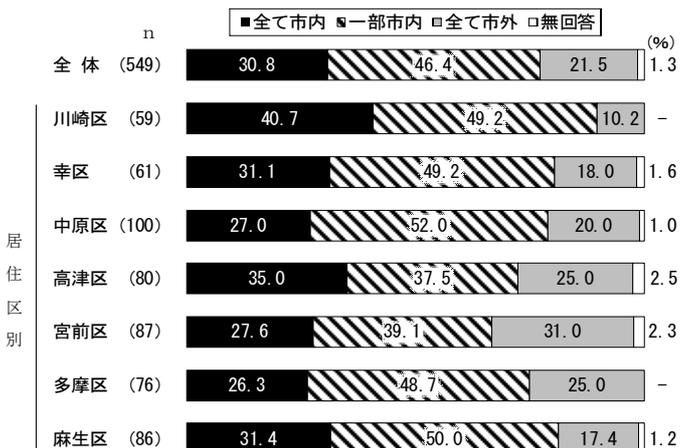
図表7-6 1か月の市内での消費割合（居住区別）  
 ※グラフでは「8割以上が市内」から「2割までが市内」を「一部市内」としている



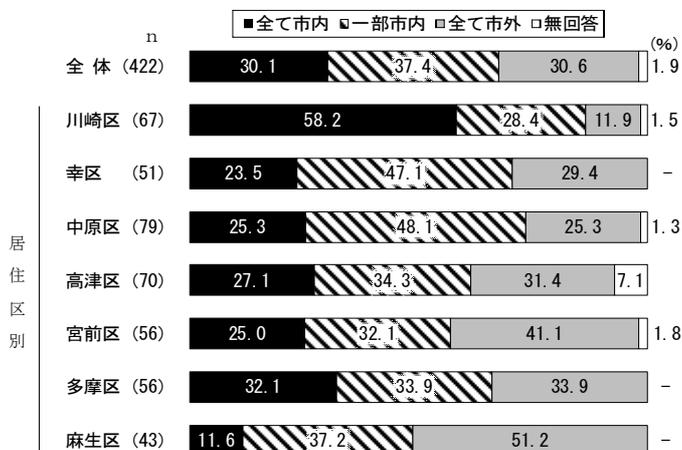
文化教室(カルチャーセンターや語学教室など)



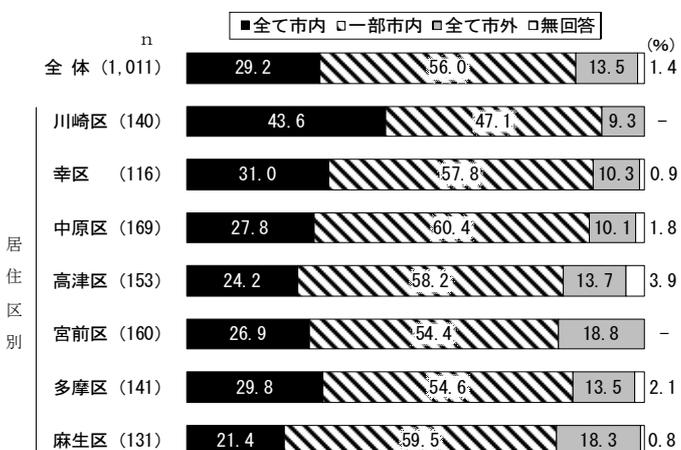
喫茶店(コーヒーショップ等)



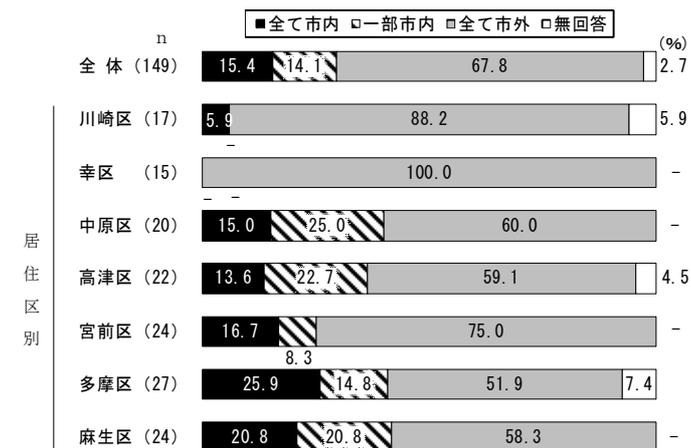
居酒屋、バー、ピヤホール



レストラン、飲食店(喫茶店を除く)



遊園地、有料の公園



居住区別では、「クリーニング」は、『全て市内』が中原区(96.5%)で最も高く、宮前区(87.8%)で最も低い。「レストラン、飲食店(喫茶店を除く)」は、『全て市内』が川崎区(43.6%)で最も高く、麻生区(21.4%)で最も低い。「遊園地、有料の公園」は、『全て市外』が幸区(100.0%)でもっと高く、多摩区(51.9%)でもっと低い。

## 7-3 半年間の消費状況について

### ◎「医療費（通院や治療など）」が69.1%

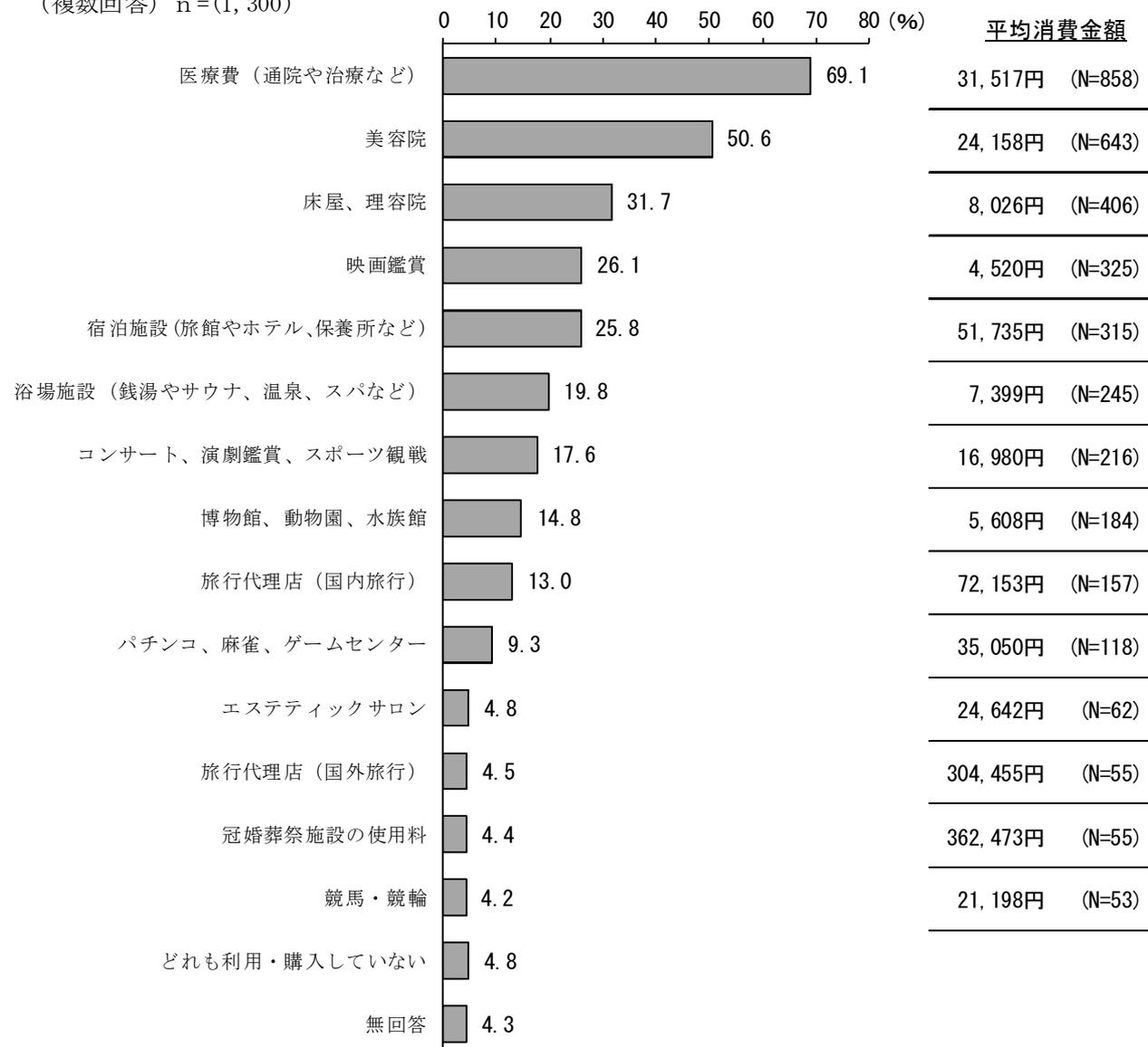
問 26-① あなたは、この半年間に次のサービスや物（有料のもの）を消費（利用、購入など）しましたか。消費したものの番号（1～15）に○をつけてください。（あてはまるもの全てに○）

問 26-② また、いくらくらい消費したか、概算金額をご記入ください。

※あなたご自身（1人当たり）の金額をお答えください

図表 7-7 半年間の消費状況について

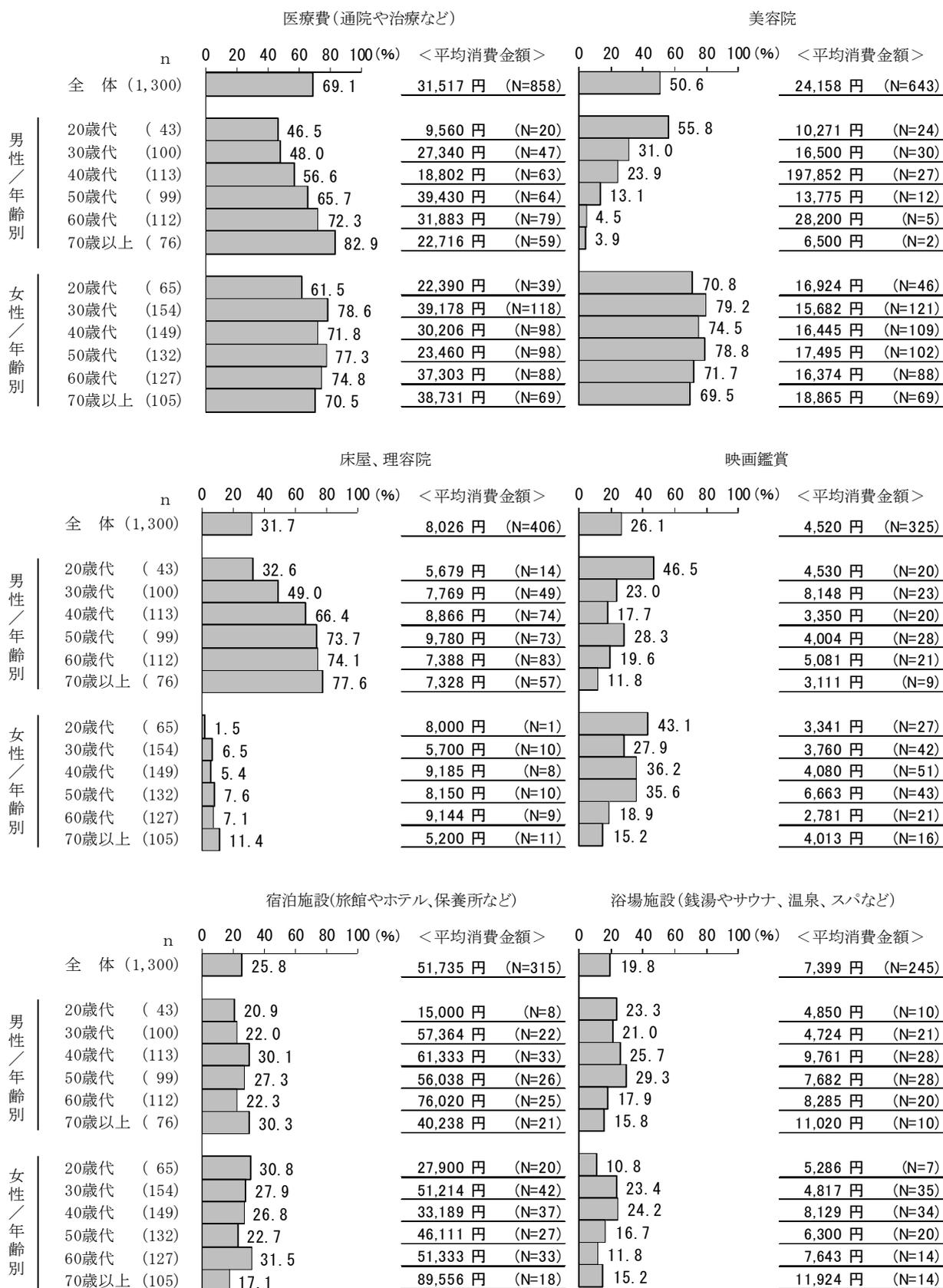
（複数回答） n=(1,300)

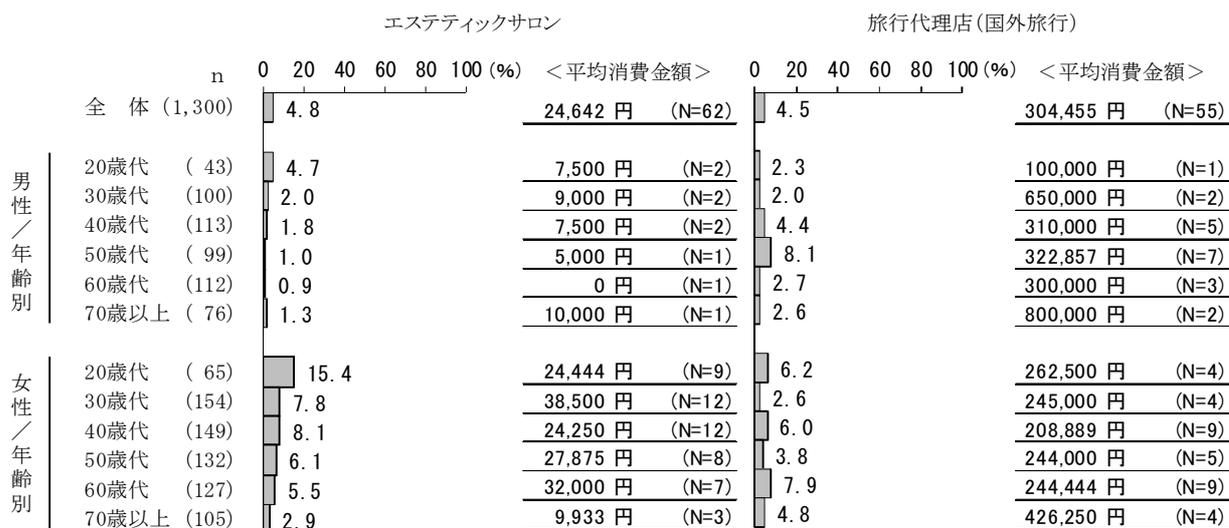
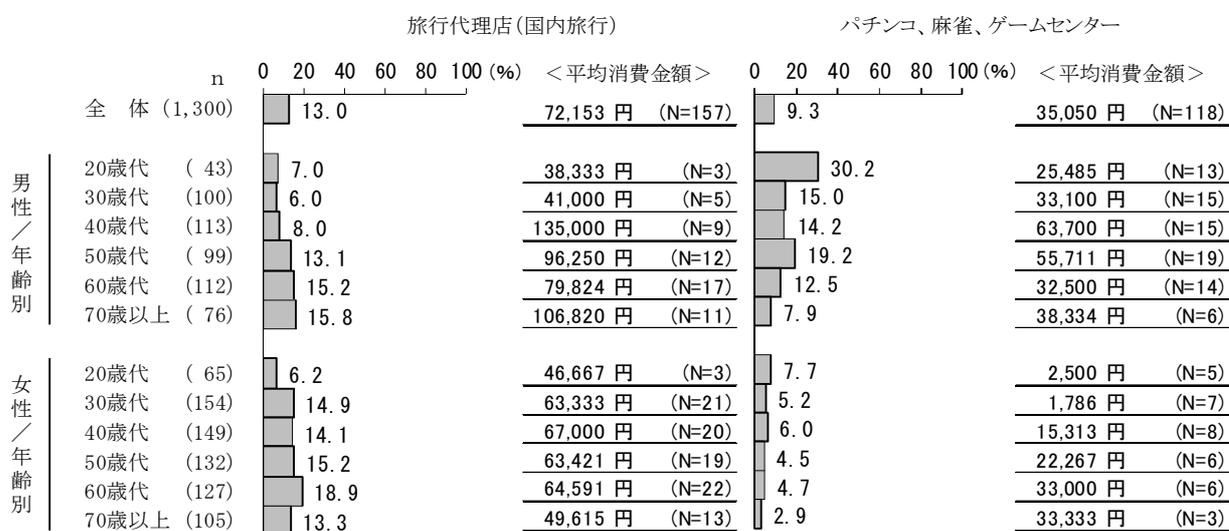
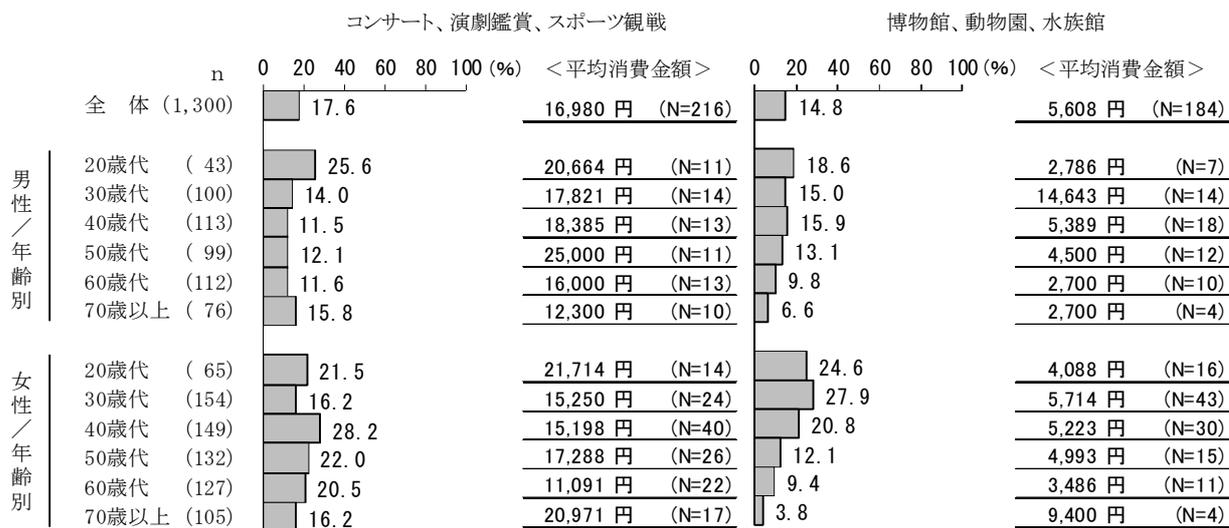


半年間の消費状況については、「医療費（通院や治療など）」（69.1%）と最も高く、次いで「美容院」（50.6%）、「床屋、理容院」（31.7%）の順となっている。

平均消費金額は、「冠婚増歳施設の使用料」（362,473円）が最も高く、次いで「旅行代理店（国外旅行）」（304,455円）、「旅行代理店（国内旅行）」（72,153円）の順となっている。

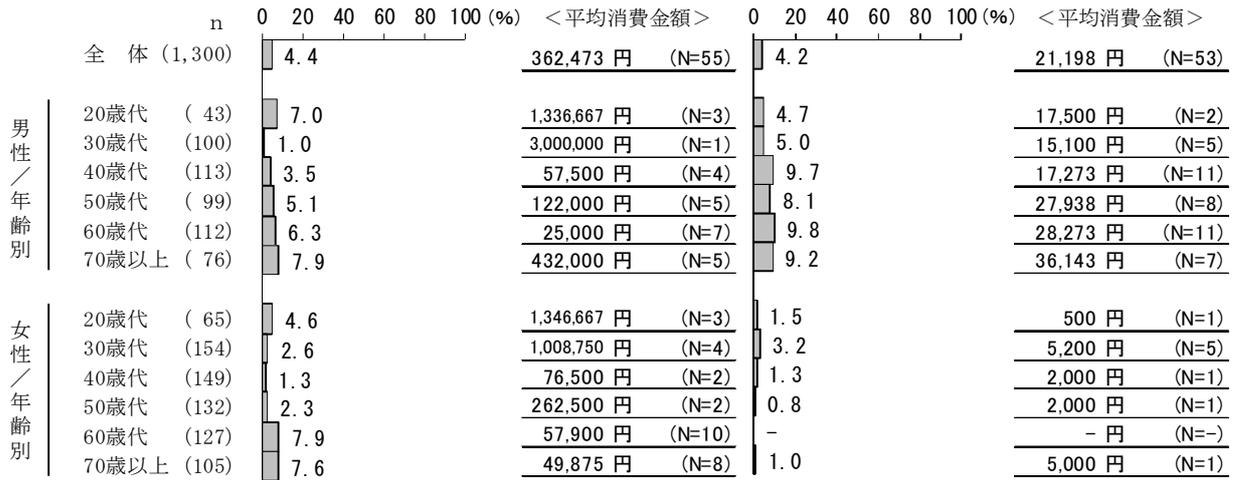
図表 7-8 半年間の消費状況について (性/年齢別)



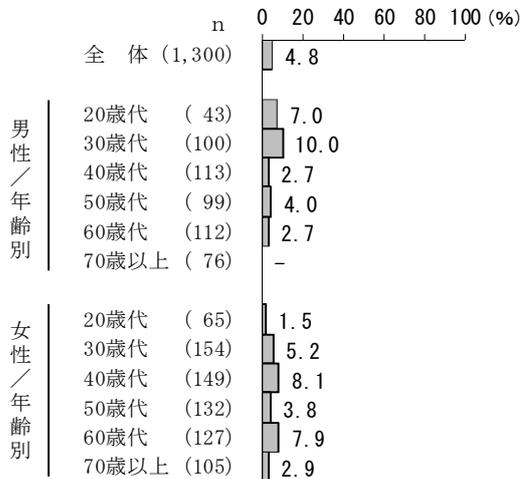


## 冠婚葬祭施設の使用料

## 競馬・競輪



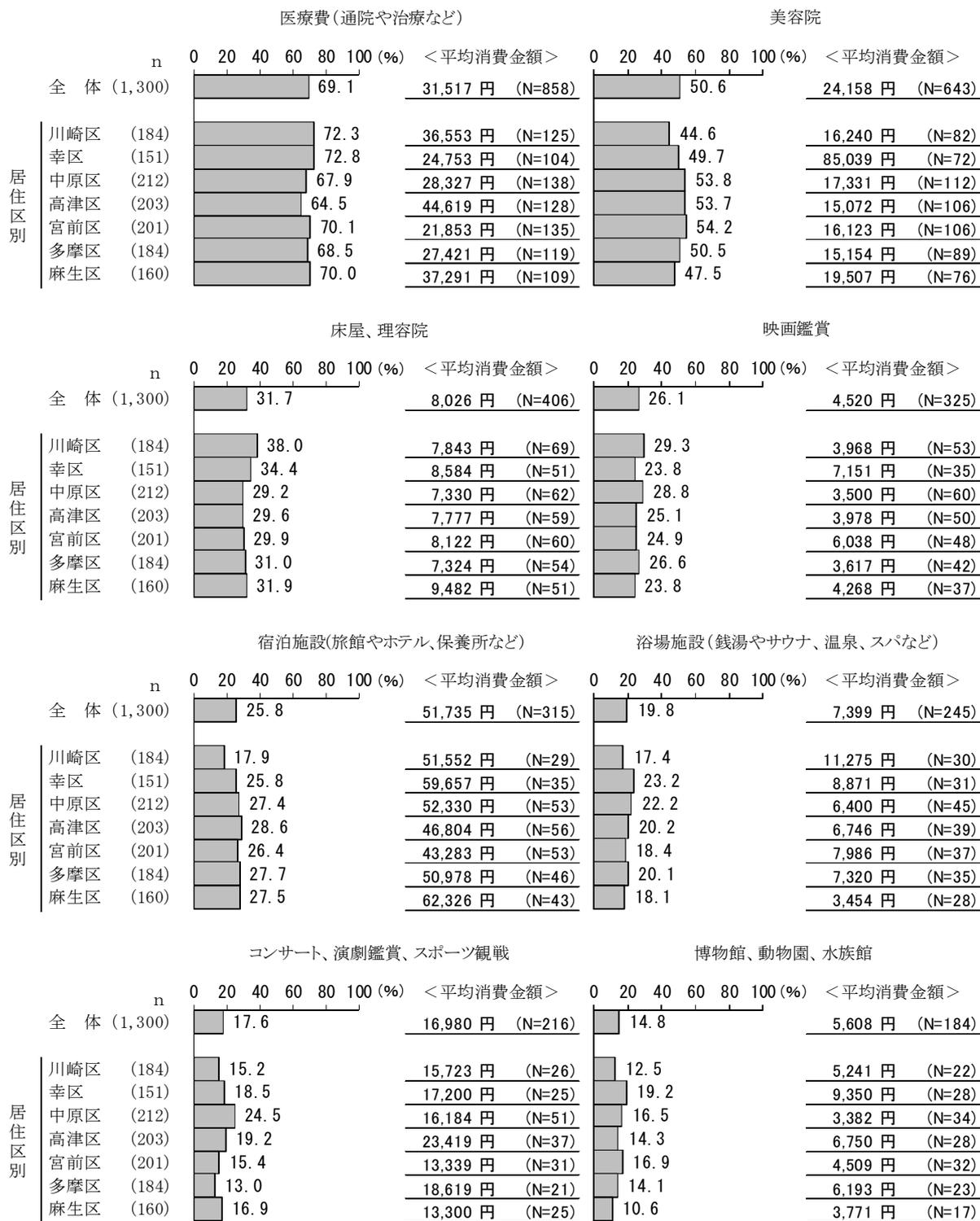
## どれも利用・購入していない

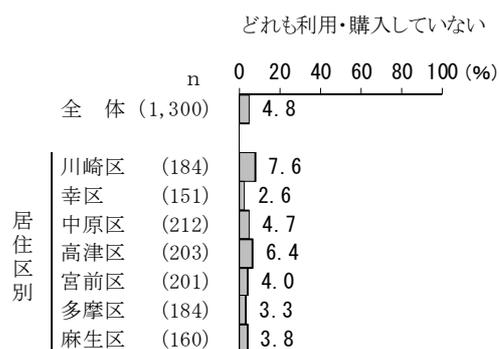
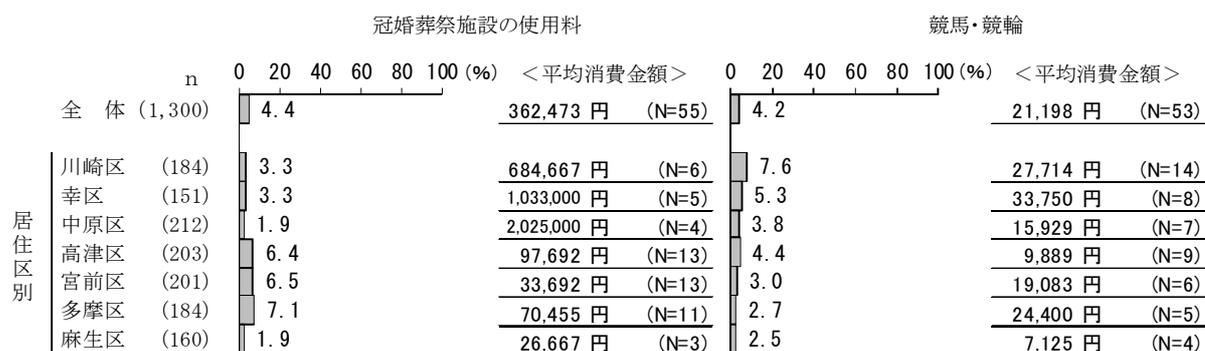
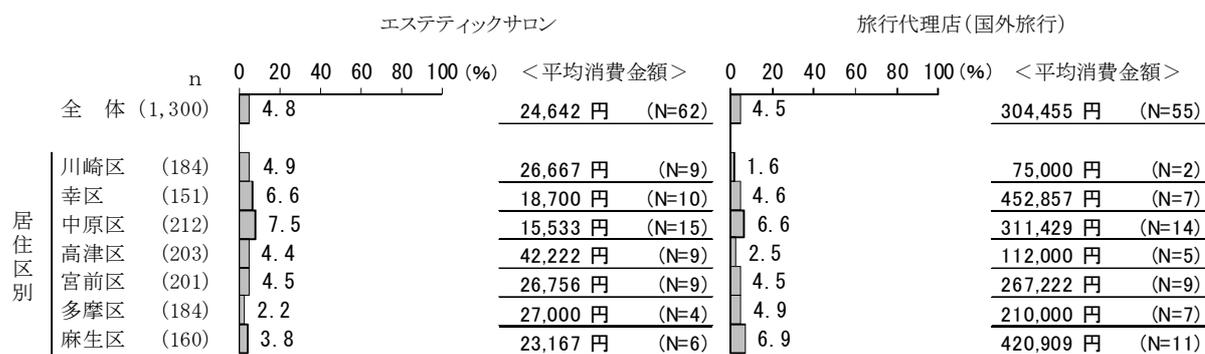
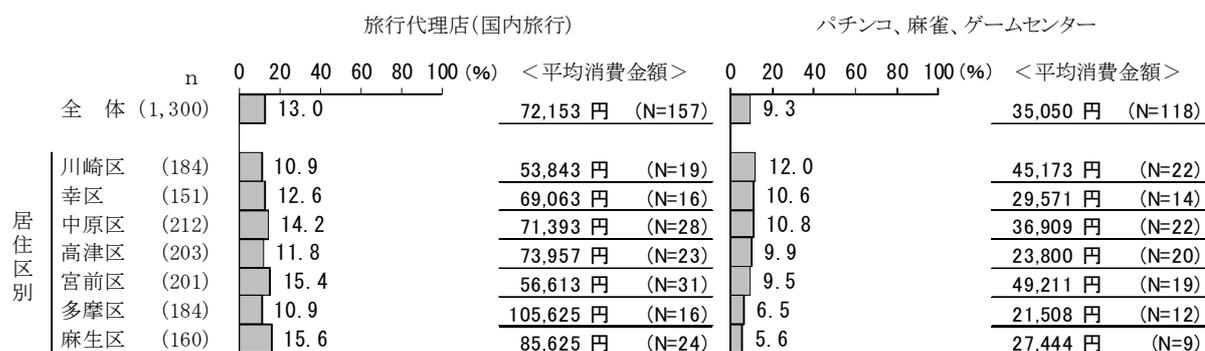


性／年齢別では、「医療費（通院や治療など）」は、男性は年代が上がるにつれ割合が高くなり、70歳以上（82.9%）で8割台となっている。女性は30歳代から70歳以上で7割台と高くなっているが、20歳代（61.5%）で低くなっている。

平均消費金額については、「医療費（通院や治療など）」は男性は50歳代、（39,430円）、女性は30歳代（39,178円）が最も高い。

図表 7-9 半年間の消費状況について（居住区別）





居住区別では、「医療費（通院や治療など）」は、幸区（72.8%）が最も高く、高津区（64.5%）が最も低い。

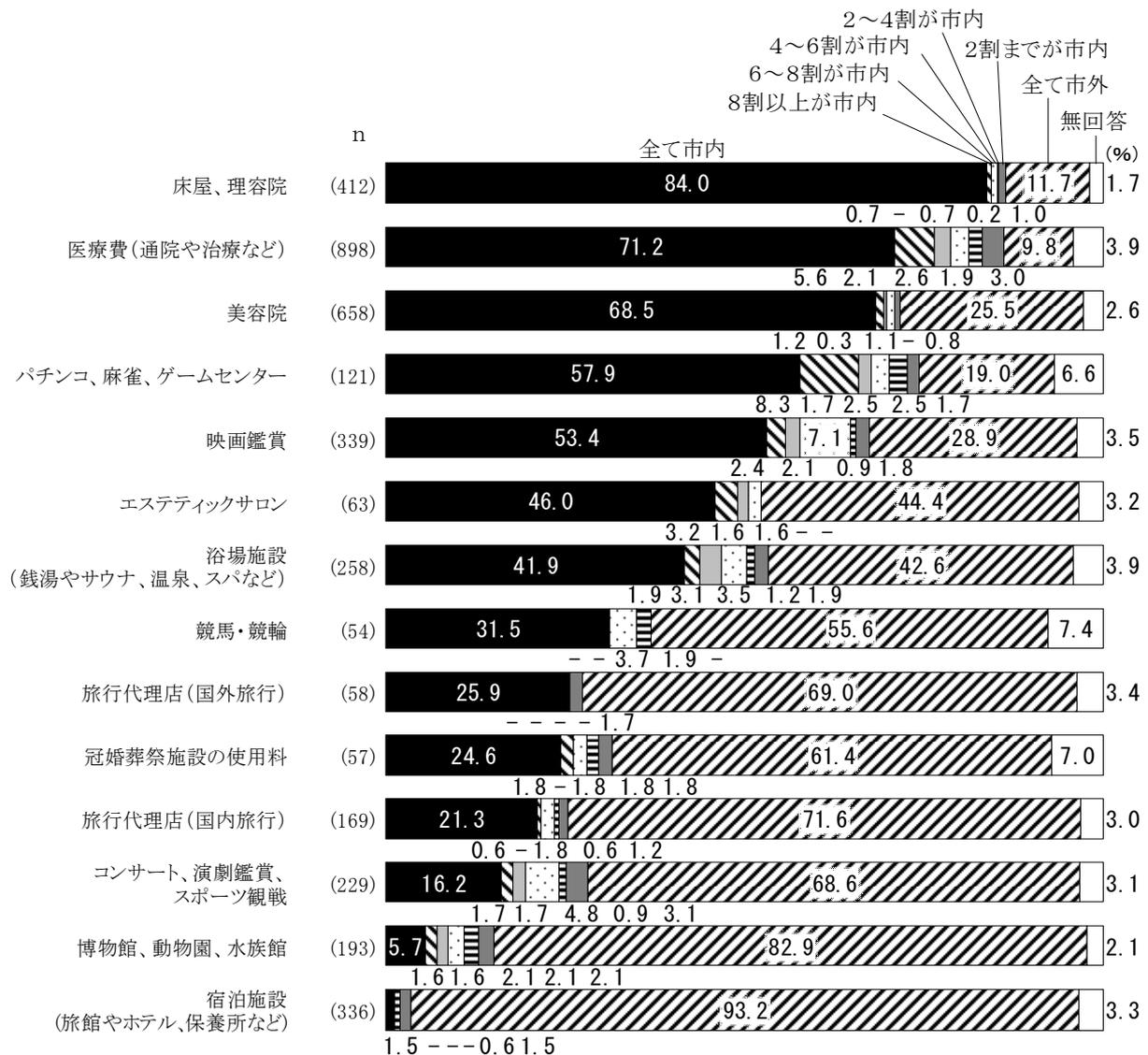
平均消費金額については、「医療費」は高津区（44,619 円）が最も高くなっている。

## 7-4 半年間の市内での消費割合

◎『全て市内』は「床屋、理容院」が84.0%

問 26-③ あなたが、この半年間に次のサービスや物を川崎市内で消費（利用、購入など）した割合はどれくらいですか。1～7のあてはまる番号をお選び下さい。（○はそれぞれ1つずつ）  
 ※事前にチケットを購入して施設等を利用した場合、チケットを購入した場所ではなく、実際に消費した施設等がどこにあるかで消費割合をお答えください。

図表 7-10 半年間の市内での消費割合

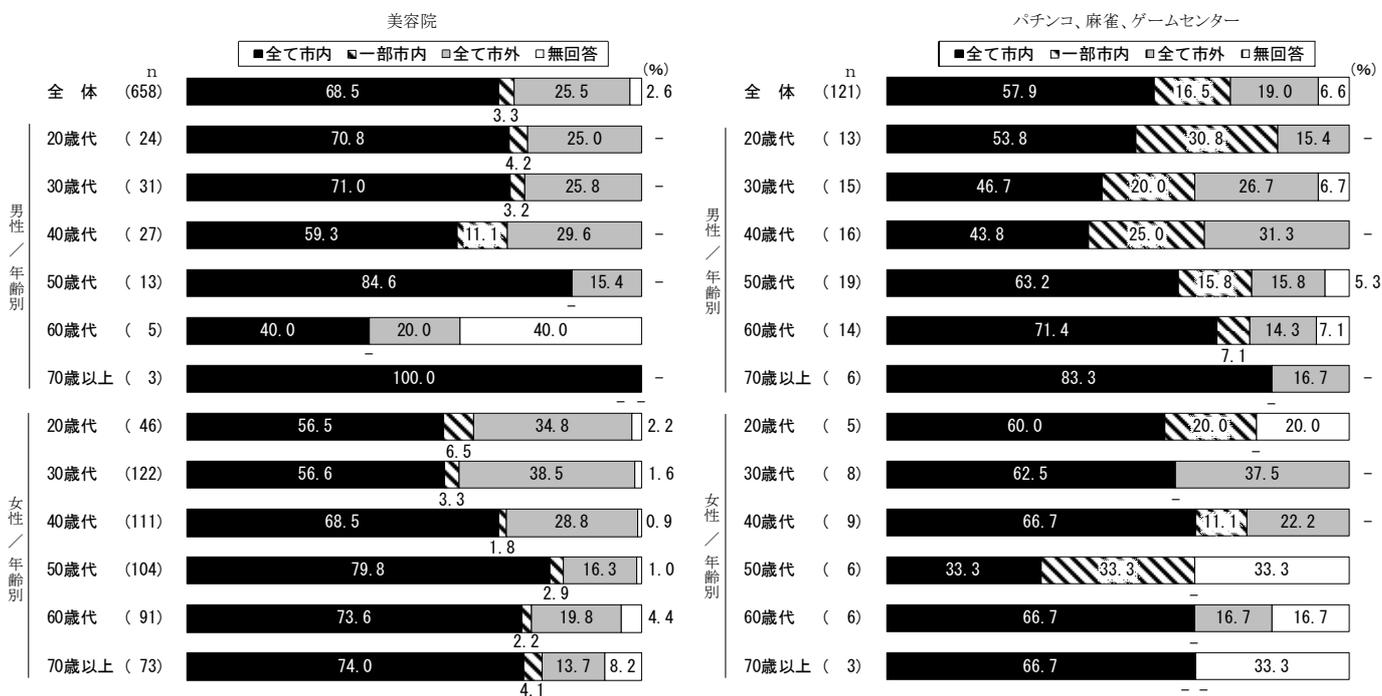
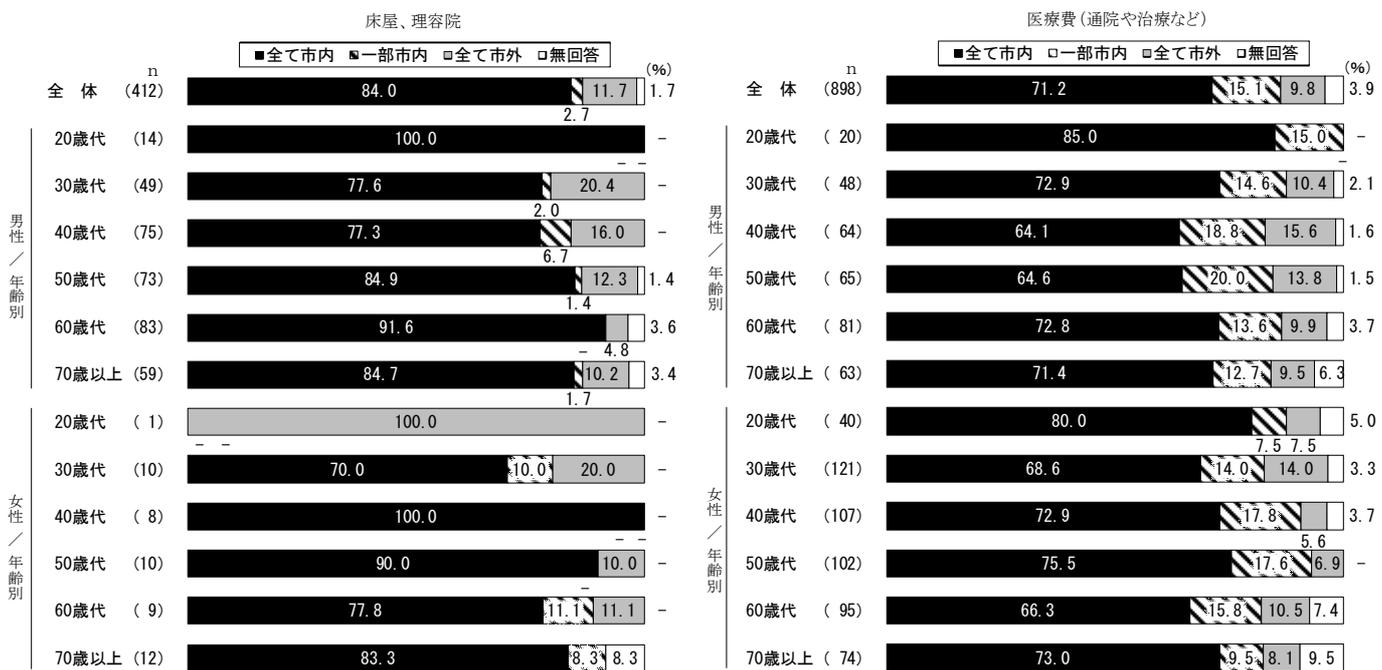


半年間の市内での消費割合については、『全て市内』は、「床屋、理容院」(84.0%)が最も高く、次いで「医療費(通院や治療など)」(71.2%)、「美容院」(68.5%)、「パチンコ、麻雀、ゲームセンター」(57.9%)の順となっている。

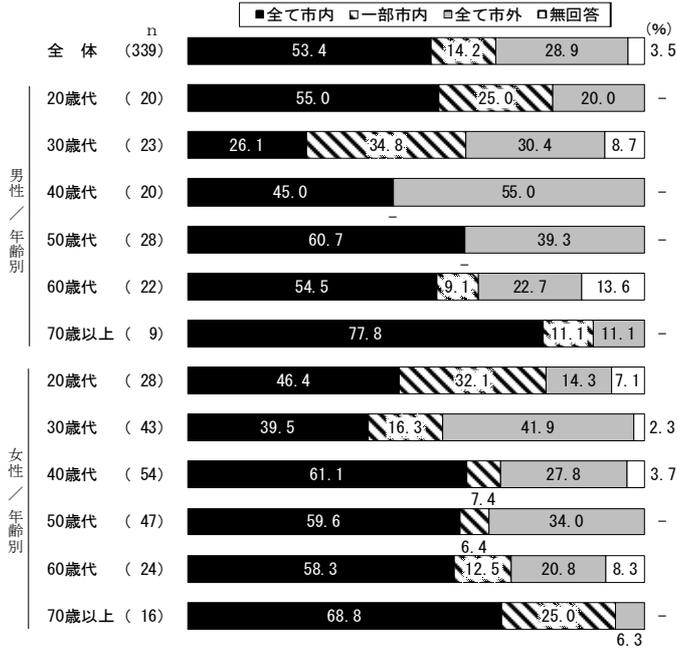
一方、『全て市外』は、「宿泊施設(旅館やホテル、保養所など)」(93.2%)が最も高く、次いで「博物館、動物園、水族館」(82.9%)、「旅行代理店(国内旅行)」(71.6%)、「コンサート、演劇観賞、スポーツ観賞」(68.6%)の順となっている。

図表 7-11 半年間の市内での消費割合（性／年齢別）

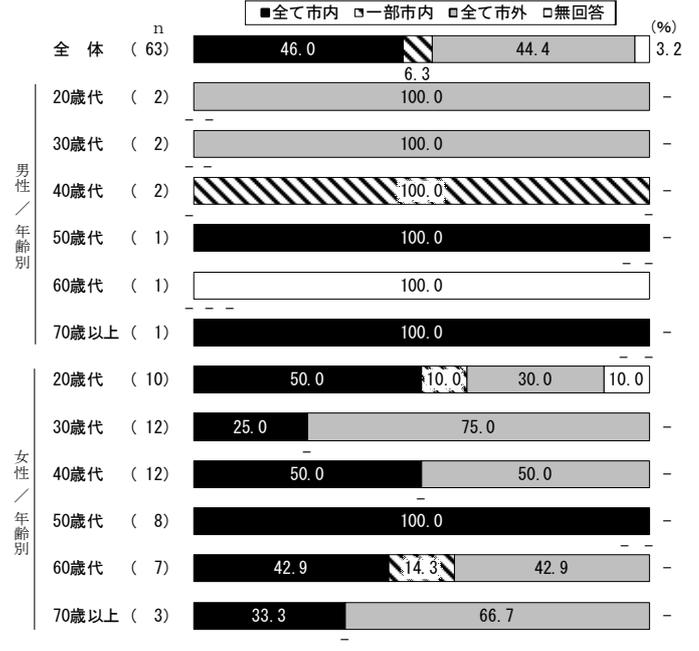
※グラフでは「8割以上が市内」から「2割までが市内」を「一部市内」としている



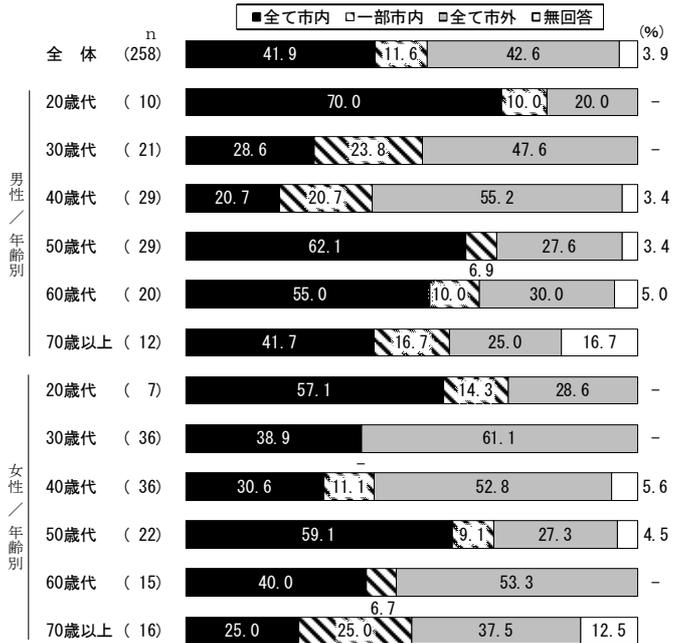
映画鑑賞



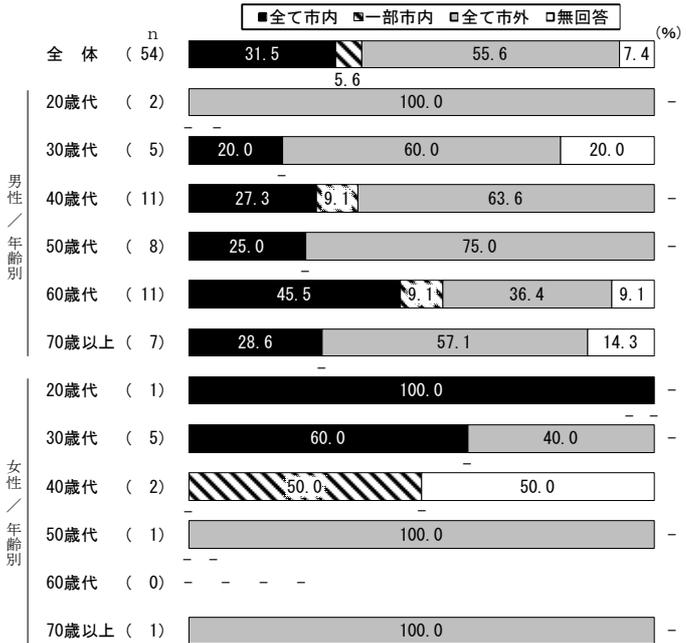
エステティックサロン



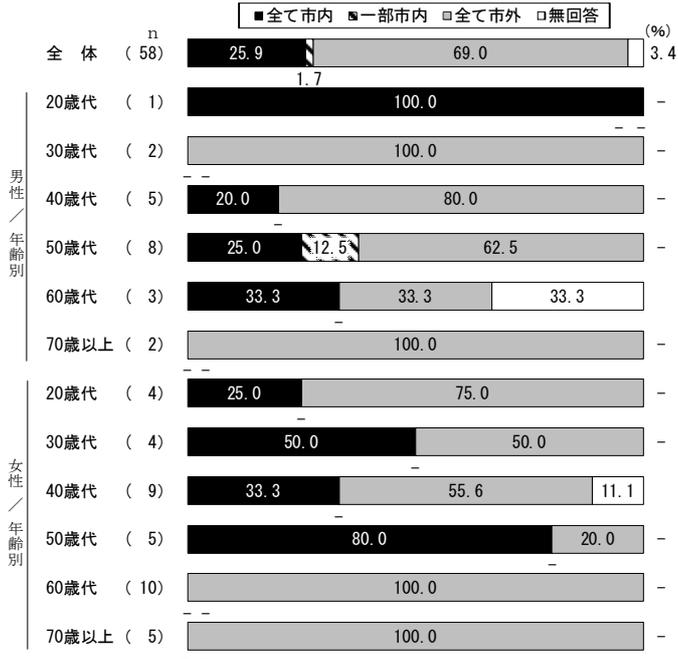
浴場施設 (銭湯やサウナ、温泉、スパなど)



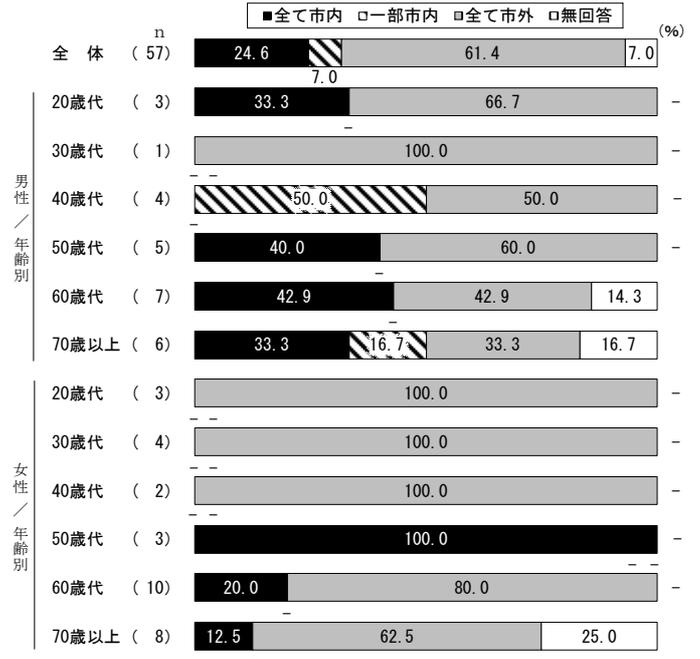
競馬・競輪



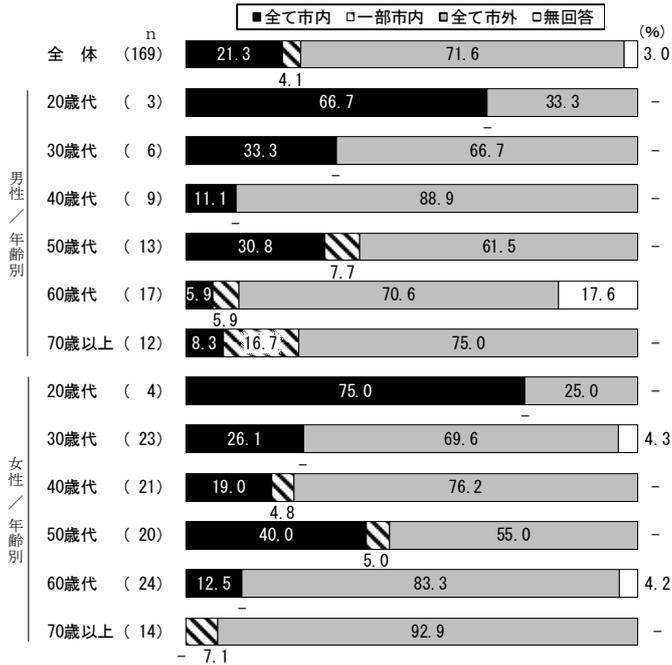
旅行代理店(国外旅行)



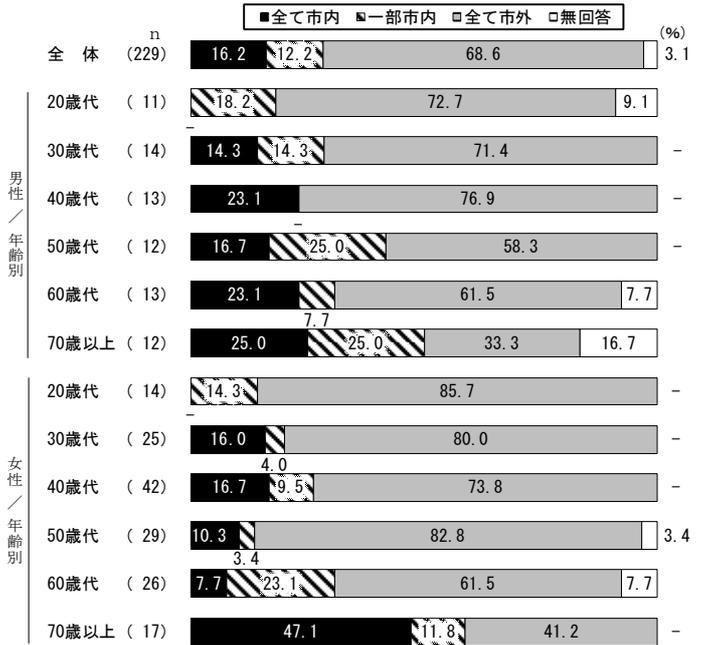
冠婚葬祭施設の使用料



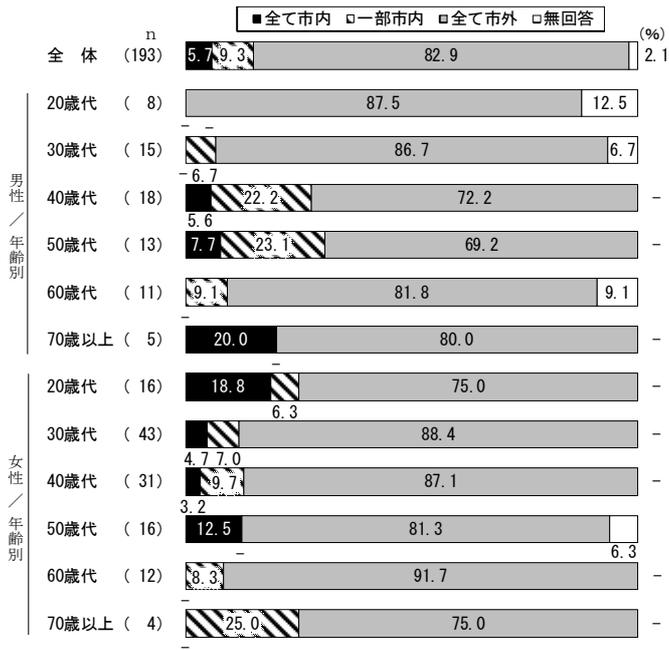
旅行代理店(国内旅行)



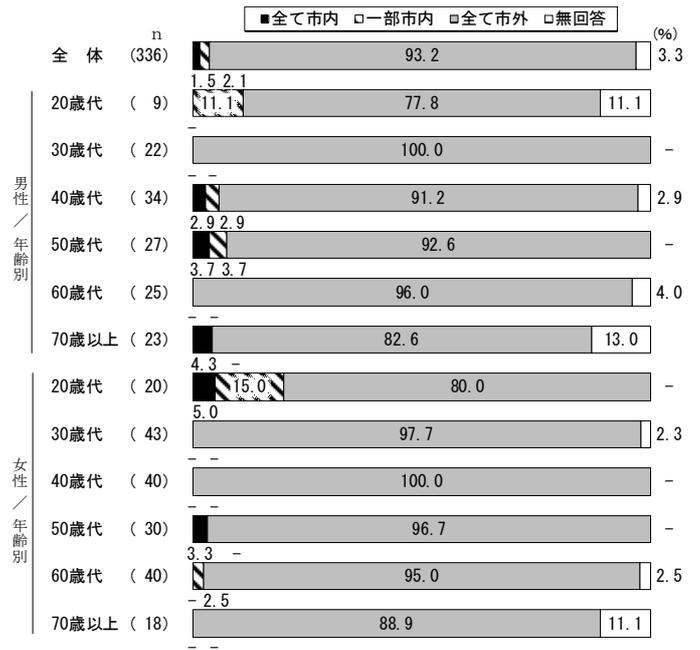
コンサート、演劇鑑賞、スポーツ観戦



博物館、動物園、水族館



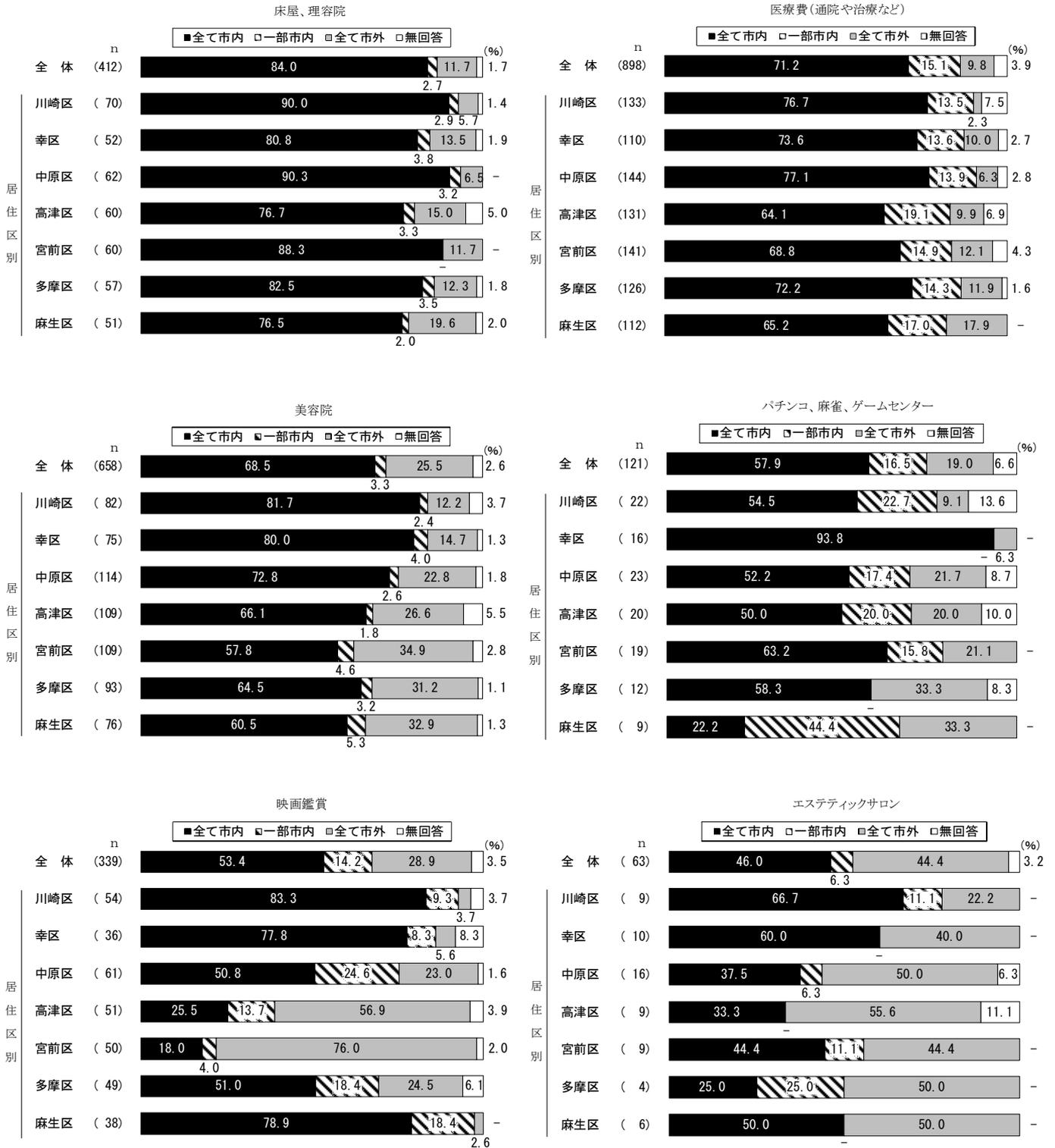
宿泊施設(旅館やホテル、保養所など)



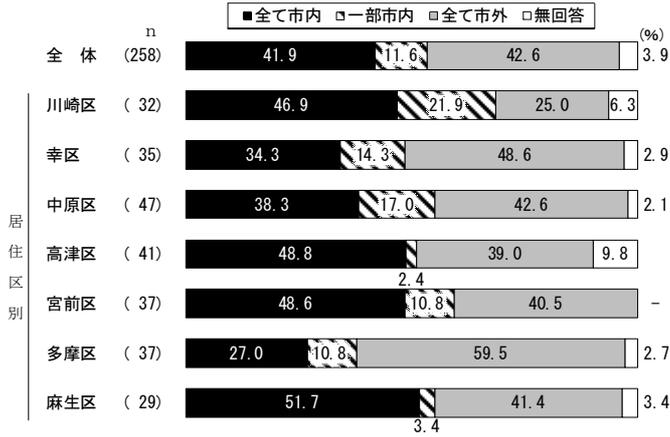
基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。

図表 7-12 半年間の市内での消費割合（居住区別）

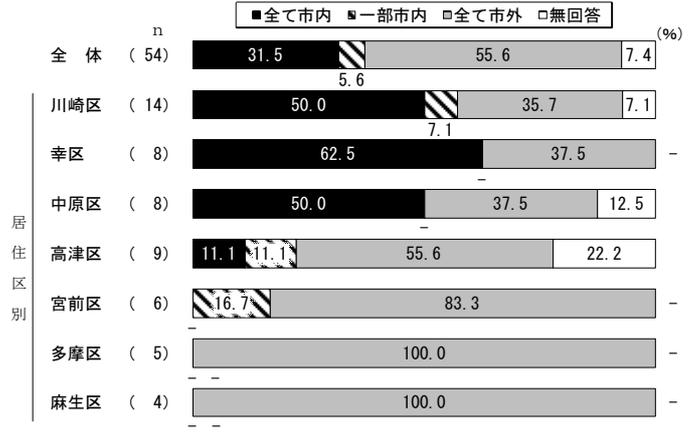
※グラフでは「8割以上が市内」から「2割までが市内」を「一部市内」としている



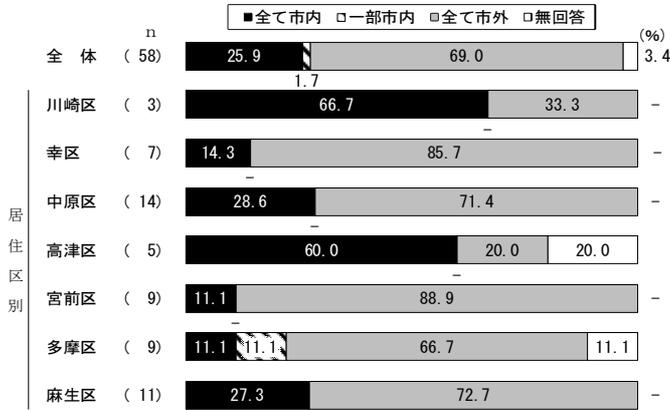
浴場施設(銭湯やサウナ、温泉、スパなど)



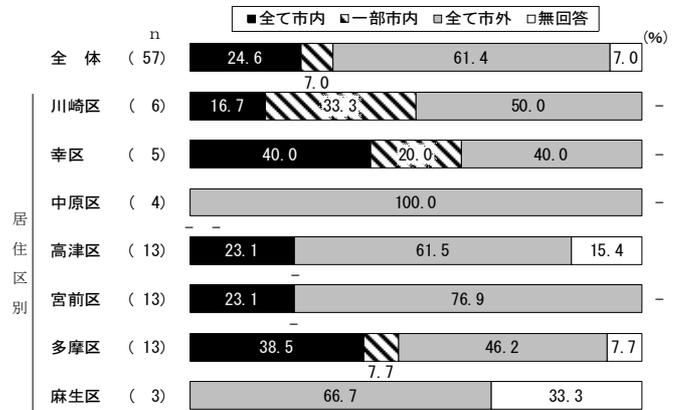
競馬・競輪



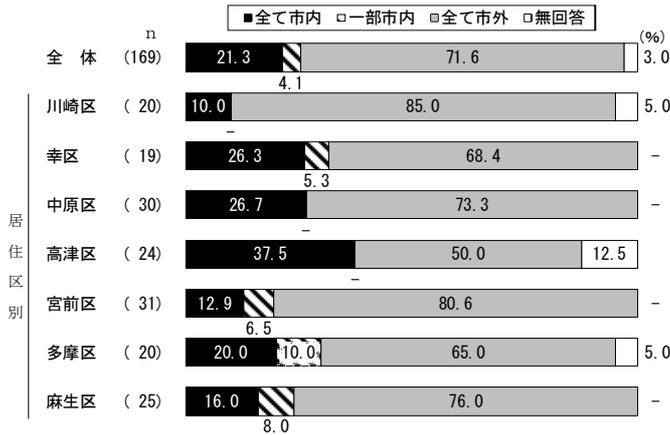
旅行代理店(国外旅行)



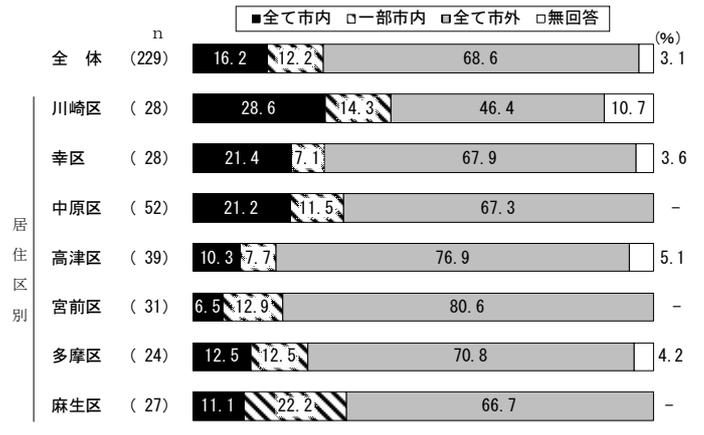
冠婚葬祭施設の使用料

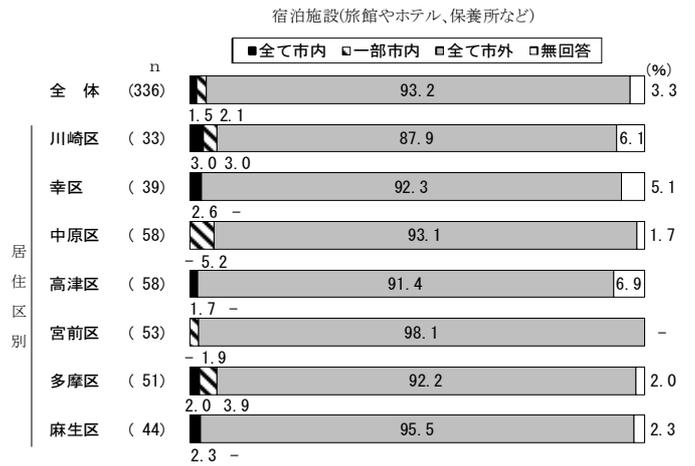
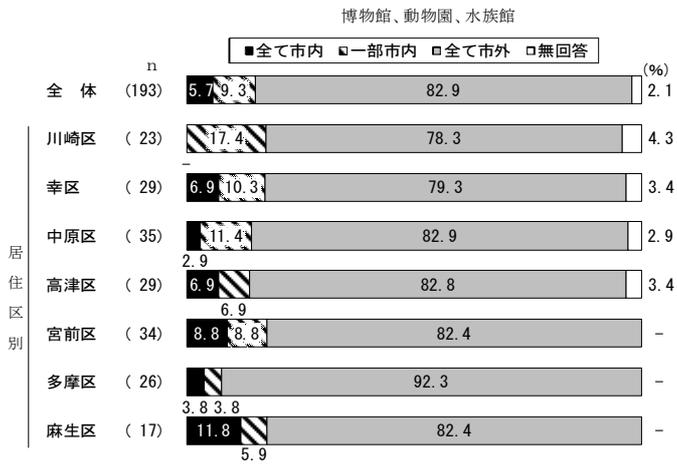


旅行代理店(国内旅行)



コンサート、演劇鑑賞、スポーツ観戦





基数が少ないため、図表を参考程度にとどめる。



## IV 調査票



## IV 調査票



---

# かわさき市民アンケート

---

平成27年11月

お忙しいところ大変にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- ◆ この調査は無記名調査です。あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。
- ◆ この調査で個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

## 【ご記入に関する注意点とお願い】

- ご本人（封筒の宛名の方）がアンケートにご回答ください。
- 回答は、直接、この調査票にご記入いただき、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 「その他」と回答された場合は、（具体的に：                    ）の中にその内容をご記入ください。
- 回答は、設問ごとに（○は1つだけ）（あてはまるもの全てに○）など指定されていますので、お気を付けください。
- 設問の中にはお答えいただく方が限られる場合もありますので、お気を付けください。
- ご記入いただいた調査票は、折りたたみ、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、11月26日（木）までに郵便ポストへ投函してください。
- インターネットからご回答いただくことも可能です（詳細は、別紙「かわさき市民アンケート調査 インターネット回答要領」をご参照ください）。

本調査についてご不明な点がございましたら、調査担当課までお問い合わせください。

【調査担当課】川崎市 総合企画局 自治推進部  
電話：044-200-2168（直通）  
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

問1～問8の「定住状況」、「生活環境の評価」、「関心ごとと行動範囲」、「市政に対する評価と要望」は、昭和50年度から継続的に調査し、市政運営や政策立案などの参考にしています。

## ■ 定住状況について

問1 あなたは、今のところにお住まいになって、何年になりますか。(○は1つだけ)

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1 生まれてからずっと住んでいる | 2 1年未満     |
| 3 1～3年未満         | 4 3～5年未満   |
| 5 5～10年未満        | 6 10～20年未満 |
| 7 20年以上          |            |

問2 あなたは、これからも今のところにお住まいになりたいですか。(○は1つだけ)

- |                   |
|-------------------|
| 1 これからも住んでいたい     |
| 2 できれば市内の他の区へ移りたい |
| 3 できれば市外へ移りたい     |
| 4 わからない           |

▶問2-1 問2で、『2 できれば市内の他の区へ移りたい』または『3 できれば市外へ移りたい』と回答された方にうかがいます。

あなたが、今のところから移りたい、または移る理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- |                             |                          |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 通勤・通学が不便だから               | 2 買い物が不便だから              |
| 3 住宅事情がよくないから(家賃が高い、家が狭いなど) | 4 住環境がよくないから(日照、騒音、治安など) |
| 5 医療環境がよくないから               | 6 保育環境がよくないから            |
| 7 介護環境がよくないから               | 8 子供の教育のため               |
| 9 その他(具体的に: )               |                          |

▶問2-2 問2で、『2 できれば市内の他の区へ移りたい』または『3 できれば市外へ移りたい』と回答された方にうかがいます。

あなたは、どこに住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

- |          |              |                    |
|----------|--------------|--------------------|
| 1 川崎区    | 2 幸区         | 3 中原区              |
| 4 高津区    | 5 宮前区        | 6 多摩区              |
| 7 麻生区    | 8 横浜市        | 9 神奈川県(川崎市・横浜市を除く) |
| 10 東京23区 | 11 23区以外の東京都 | 12 その他の道府県         |

## ■ 生活環境の評価について

問3 お住まいの周りの生活環境についてうかがいます。

あなたは、次にあげる項目についてどの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	満足している	まあ満足している	少し不満である	不満である	わからない
回答例 ⇒	①	2	3	4	5
(1) 地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	1	2	3	4	5
(2) 風紀上・防犯上の安心感	1	2	3	4	5
(3) 交通事故・危険物からの安心感	1	2	3	4	5
(4) 空気や川、海のきれいさ	1	2	3	4	5
(5) 家の周りの静けさ	1	2	3	4	5
(6) 公園や緑の豊かさ	1	2	3	4	5
(7) 通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5
(8) 買い物の便利さ	1	2	3	4	5
(9) 病院や医院までの距離	1	2	3	4	5
(10) 休日、夜間などの救急医療体制の充実度	1	2	3	4	5
(11) 市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	1	2	3	4	5
(12) 市や区の窓口サービス	1	2	3	4	5

問4 あなたは、地域の生活環境を総合的に見た場合、今住んでいる地域にどの程度満足していますか。

(○は1つだけ)

1 満足している	2 まあ満足している	3 少し不満である
4 不満である	5 わからない	

## ■ 関心ごとと行動範囲について

問5 あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1 子ども	2 家族	3 友人・知人
4 住宅・土地	5 お金・財産	6 健康
7 仕事（家事や勉強も含む）	8 老後の生活	9 趣味・娯楽
10 スポーツ・レジャー	11 信仰・宗教	12 政治
13 ボランティア活動	14 地域活動（町会・自治会、 子ども会等）	15 その他
16 特になし		

問6 あなたは、行楽や文化施設の利用・ショッピングなどをされる場合、主にどこに行かれますか。

（○はそれぞれ1つずつ）

	川崎市 市内	横浜市 市内	神奈川県 川崎市・横浜市 以外の	東京 23区	その他の 地域	そう いうこと はしない ので わから ない
(1) 自然に親しむための近距離の行楽	1	2	3	4	5	6
(2) 遊園地や動物園等のレジャーでの行楽	1	2	3	4	5	6
(3) 観劇や映画鑑賞	1	2	3	4	5	6
(4) 音楽会や美術展	1	2	3	4	5	6
(5) 趣味を生かす講習や練習（音楽・演劇・美術等）	1	2	3	4	5	6
(6) 図書館の利用	1	2	3	4	5	6
(7) 美術館・博物館の利用	1	2	3	4	5	6
(8) レストランなどでの飲食	1	2	3	4	5	6
(9) 洒落たものや高価なものを買うためのショッピング	1	2	3	4	5	6
(10) スポーツをする（観る）	1	2	3	4	5	6

## ■ 市政に対する評価と要望について

問7 市政について総合的にいかがいます。あなたは、次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものはどれですか。また、あなたが今後特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。

(あてはまるもの全てに○)

	①	②
	よくやっている と思うもの	今後特に力を入れて ほしいもの
(1) 海外姉妹都市との国際交流事業	1	1
(2) 行財政改革	2	2
(3) 市や区の仕事などについての情報提供	3	3
(4) 市政への市民参加の促進のための施策	4	4
(5) 地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	5	5
(6) 防犯対策	6	6
(7) 交通安全対策	7	7
(8) 美術館、各種ホールなど文化施設の整備	8	8
(9) 映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	9	9
(10) 女性の地位向上のための施策	10	10
(11) 中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	11	11
(12) 観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）	12	12
(13) 道路、公園、広場の美化・清掃	13	13
(14) 公園の整備や維持管理	14	14
(15) 自然や緑の保全	15	15
(16) 大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	16	16
(17) 日常のごみ収集やリサイクル	17	17
(18) 子どものための施策	18	18
(19) 高齢者のための施策	19	19

	①	②
	よくやっていると 思うもの	今後特に力を入れて ほしいもの
(20) 障害者のための施策	20	20
(21) 病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	21	21
(22) 健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	22	22
(23) 市営住宅の建設・整備	23	23
(24) 主要な駅周辺の再開発	24	24
(25) 河川の整備	25	25
(26) 下水道の整備	26	26
(27) 道路・歩道の整備	27	27
(28) 放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	28	28
(29) 市民が親しむことのできる港湾の整備	29	29
(30) 水道水の安定供給	30	30
(31) バスなどの交通網の整備	31	31
(32) 消防力の強化や防災体制の整備	32	32
(33) 市民が学習する機会や施設の整備	33	33
(34) スポーツ・レクリエーションの施設整備	34	34
(35) 小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	35	35
(36) わからない	36	36
(37) 特にない	37	37

問8 あなたは、川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。

(○は1つだけ)

1 満足している	2 まあ満足している	3 少し不満である
4 不満である	5 わからない	



問 12 川崎市では、川崎の農業を理解し、応援する市民の方を増やすために、次の世代を担う子どもたちを対象に「食」や「農業」の大切さなどを伝える「食農教育」に取り組んでいます。あなたは、どのような方法で「食農教育」を行えば、子どもたちにより効果的に伝わると思いますか。

(あてはまるもの全てに○)

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 1 近隣農家が学校に出向き講義を行う出張農業講座      |  |
| 2 こどもたちが実際の田畑で活動する農業体験講座      |  |
| 3 川崎の農業をわかりやすく紹介した副読本の活用      |  |
| 4 市内産農産物の学校給食での積極的な活用と紹介      |  |
| 5 川崎の農業を紹介した定期的なパンフレット・情報誌の配布 |  |
| 6 その他(具体的に: _____)            |  |
| 7 食農教育の必要性はあまり感じない            |  |

問 13 川崎市では、梨のもぎ取りやブルーベリーの摘み取り、サツマイモ掘りなど、下記のような観光農園があります。あなたは、そのような観光農園を利用したことがありますか。また、利用したいと思いますか。川崎市以外のものも含めてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	利用したことがある	利用したことはないが 今後利用したい	興味はない
①梨のもぎ取り	1	2	3
②柿のもぎ取り	1	2	3
③ブルーベリーの摘み取り	1	2	3
④いちごの摘み取り	1	2	3
⑤みかんのもぎ取り	1	2	3
⑥サツマイモ掘り	1	2	3
⑦落花生掘り	1	2	3

問 14 川崎市では、農家を手助けしたい(援農)と思う市民の方に対して栽培等の技術を支援し、修了後は実際の援農活動ができるような支援を行っています。あなたは、援農に興味がありますか。

(○は1つだけ)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 興味があり、活動してみたい               |
| 2 興味はあるが、今はできない(退職後にやってみたいなど) |
| 3 興味はない                       |
| 4 内容が分からない                    |

問 15 川崎市では、江戸時代の初期から多摩川沿いを中心に「多摩川梨※」の生産が盛んに行われています。「多摩川梨」について、あなたにあてはまるものをお答えください。

(あてはまるもの全てに○)

※「多摩川梨」は多摩川沿いを中心に市内で栽培されている「梨」の愛称です。市内では幸水梨や豊水梨など様々な品種が栽培されています。

- 1 おいしい
- 2 価格が高い
- 3 贈答用に購入したことがある
- 4 伝統があり、次世代に引継ぐもの
- 5 食べたことがない
- 6 買える場所がわからない
- 7 知らない、聞いたことがない
- 8 その他( )

問 16 農地(農業)は、新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給するほか、子どもたちに土とふれあう機会を提供したり、豊かな緑・良好な自然環境として役立つなど、いわゆる多面的機能と呼ばれる役割を持っています。あなたは、川崎の農業に何を期待しますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 新鮮で、安全・安心な農産物を生産し供給すること
- 2 子どもたちへ「食」の大切さを伝えるなど、教育の機会(場)として役立つこと
- 3 豊かな緑、良好な自然環境として役立つこと
- 4 農業という就業の場を提供すること(他の産業を退職後に就労する場合なども含む)
- 5 市民農園や援農などへの参加を通じて、健康増進・レクリエーションに役立つこと
- 6 都市における数少ない空間として防災上の役割(避難場所等)を果たすこと
- 7 地域の文化を伝承し地域の個性を作り出すこと
- 8 その他(具体的に: )
- 9 特に期待することはない



市内産農産物「かわさきそだち」PRキャラクター『<sup>さいか</sup>菜果ちゃん』

## ■ 地域を守る消防団員について

消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置され、郷土愛護の使命感を胸に秘めて昼夜を問わず住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っていますが、近年団員が減少傾向にあります。消防団員の確保や増員に向けた検討とするため、次の問にお答えください。

問 17 あなたは、消防団を知っていますか。（○は1つだけ）

- 1 活動内容を含めて知っている      2 名前だけ知っている      3 まったく知らない

問 18 消防団の活動のうちイメージが強いのはどのような活動ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

- 1 火災の消火活動                      2 地震や風水害時の防災・避難誘導      3 消防訓練の指導  
4 年末警戒等の火災予防パトロール      5 地域の祭事等の警備活動              6 行方不明者の搜索  
7 その他（具体的に：                      ）

問 19 あなたは、消防団活動をどのように評価していますか。（○は1つだけ）

- 1 地域に大きく貢献しており必要不可欠      2 あまり必要性を感じない      3 よく分からない

問 20 あなたは、消防団に入団したいと感じますか。（○は1つだけ）

- 1 はい                                      2 いいえ

▶問 20-1 問 20 で「2 いいえ」と回答された方にうかがいます。

あなたが入団を希望しない理由は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

- 1 多忙のため時間がない                      2 長時間拘束されたくない              3 体力に自信がない  
4 団員の規律が厳しそう                      5 周囲の理解が得られない              6 その他（                      ）

問 21 地域でもっと多くの人に入団してもらうためには、今後、消防団はどのようなことをしていくことが重要だと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

- 1 消防団の活動内容を詳しく知ってもらう  
2 消防団に入ると地域の情報や救急手当て等の知識が得られることを知ってもらう  
3 住民にとって、より身近な存在と感じてもらえるような活動を行う  
4 拘束時間への考慮や特定の人だけへの負担をなくす  
5 年齢、性別を問わずみんなで気軽に参加できるようにする  
6 自分の環境（活動時間が作れる）がある  
7 その他（具体的に：                      ）

問 22 平成 27 年 4 月 1 日現在、川崎市内では現員 1,181 名のうち、85 名の女性が消防団活動をしています。女性消防団員は主に防火・防災の広報などの活動をしてはいますが、今後女性の活躍の場を広げるため、次の消防団員の活動のうちどのような活動を期待しますか。(あてはまるもの全てに〇)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1 火災の消火活動          | 2 地震や風水害時の防災・避難誘導    |
| 3 消防訓練の指導          | 4 年末警戒等の火災予防パトロール    |
| 5 地域の祭事等の警備活動      | 6 行方不明者の捜索           |
| 7 救急手当て、情報収集等の後方支援 | 8 ひとり暮らし高齢者宅の防火・防災訪問 |
| 9 街頭や巡回による防火・防災広報  | 10 その他(具体的に: )       |

問 23 最近では消防団員の多くが勤めており、災害時に出動が厳しい状況になっています。あなたは、今後消防団を充実させるにはどうしたら良いと思いますか。(あてはまるもの全てに〇)

- |  |
|--|
| 1 消防団員の勤務先に、消防団活動へ参加しやすくできるよう働きかける               |
| 2 消防団の活動を支援している企業(消防団協力事業所)を増やす                  |
| 3 自営業、もしくは自宅で仕事をしている人(地域密着型)に対し、消防団の活動への参加を働きかける |
| 4 小学生を対象にした行事を増やし将来の参加へつなげる                      |
| 5 その他(具体的に: )                                    |

問 24 もし、あなたが消防団に入団するとした場合に、活動できると思う時間帯を教えてください。(あてはまるもの全てに〇)

- |           |           |           |          |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1 0時～3時   | 2 3時～6時   | 3 6時～9時   | 4 9時～12時 |
| 5 12時～15時 | 6 15時～18時 | 7 18時～21時 | 8 21時～0時 |



川崎市消防局イメージキャラクター『<sup>たすけ</sup>太助』

## ■ サービス産業に対する消費について

川崎市では、各種統計を用いて市内の経済構造や産業構造を把握し、市内地域経済の分析をしています。サービス産業についての市内やその他の買物場所における消費実態を把握し、地域経済分析の参考とするため、以下の問にお答えください。

問 25-① あなたは、この1か月間に次のサービスや物（有料のもの）を消費（利用、購入など）しましたか。消費したものの番号（1～12）に○をつけてください。（あてはまるもの全てに○）

問 25-② いくらくらい消費したか、概算金額をご記入ください。  
※あなたご自身（1人当たり）の金額をお答えください。

問 25-③ あなたが、この1か月間に次のサービスや物を川崎市内で消費（利用、購入など）した割合はどれくらいですか。1～7のあてはまる番号をお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

※事前にチケットを購入して施設等を利用した場合、チケットを購入した場所ではなく、実際に消費した施設等がどこにあるかで消費割合をお答えください。

	①1か月間で消費したものに○ (あてはまるもの全てに○)	②この1ヶ月間にいくらくらい消費しましたか  (①で○をつけた項目について概算金額をご記入ください)	③川崎市内で消費（利用、購入など）した割合 〔①で○をつけた項目について、それぞれ、1～7からあてはまるもの1つに○〕						
			全て市内	8割以上が市内	6～8割が市内	4～6割が市内	2～4割が市内	2割までが市内	全て市外
①レストラン、飲食店（喫茶店を除く）	1	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
②喫茶店（コーヒーショップ等）	2	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
③居酒屋、バー、ピヤホール	3	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
④クリーニング	4	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑤レンタルDVD、レンタルCD	5	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑥時計や履物など、日用品の修理	6	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑦写真現像（DPE）、写真撮影	7	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑧スポーツ施設（フィットネスクラブ、テニス場、プール、ゴルフ場など。スポーツ教室は含まない）	8	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑨スポーツ教室・スポーツクラブ（スイミングクラブやテニススクール、体操教室など）	9	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑩文化教室（カルチャーセンターや語学教室など）	10	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑪遊園地、有料の公園	11	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑫どれも利用・購入していない	12								

問 26-① あなたは、この半年間に次のサービスや物（有料のもの）を消費（利用、購入など）しましたか。消費したものの番号（1～15）に○をつけてください（あてはまるもの全てに○）。

問 26-② また、いくらくらい消費したか、概算金額をご記入ください。

※あなたご自身（1人当たり）の金額をお答えください。

問 26-③ あなたが、この半年間に次のサービスや物を川崎市内で消費（利用、購入など）した割合はどれくらいですか。1～7のあてはまる番号をお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

※事前にチケットを購入して施設等を利用した場合、チケットを購入した場所ではなく、実際に消費した施設等がどこにあるかで消費割合をお答えください。

	①半年間で消費したものの番号 (あてはまるもの全てに○)	②この半年間にいくらくらい消費しましたか  (①で○をつけた項目について概算金額をご記入ください)	③川崎市内で消費（利用、購入など）した割合 (①で○をつけた項目について、それぞれ、1～7からあてはまるもの1つに○)						
			全て市内	8割以上が市内	6～8割が市内	4～6割が市内	2～4割が市内	2割までが市内	全て市外
①床屋、美容院	1	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
②美容院	2	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
③エステティックサロン	3	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
④浴場施設（銭湯やサウナ、温泉、スパなど）	4	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑤パチンコ、麻雀、ゲームセンター	5	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑥医療費（通院や治療など）	6	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑦博物館、水族館、動物園	7	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑧競馬・競輪	8	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑨映画鑑賞	9	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑩コンサート、演劇鑑賞、スポーツ観戦	10	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑪宿泊施設(旅館やホテル、保養所など)	11	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑫旅行代理店（国内旅行）	12	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑬旅行代理店（国外旅行）	13	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑭冠婚葬祭施設の使用料	14	円 くらい	1	2	3	4	5	6	7
⑮どれも利用・購入していない	15								

## ■ あなたご自身について

F 1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

1 男性	2 女性
------	------

F 2 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つだけ)

1 20～24歳	2 25～29歳	3 30～34歳	4 35～39歳
5 40～44歳	6 45～49歳	7 50～54歳	8 55～59歳
9 60～64歳	10 65～69歳	11 70～74歳	12 75歳以上

F 3 あなたの職業をお答えください。(〇は1つだけ)

1 自営業主	2 家族従業(家業手伝い)	
3 勤め(全日)	4 勤め(パートタイム)	
5 内職	6 主婦・主夫(家事専業)	7 学生
8 無職(収入が年金のみの方を含む)	9 その他	

F 4へ

F 3-1 F 3で、「1 自営業主」「2 家族従業(家業手伝い)」「3 勤め(全日)」「4 勤め(パートタイム)」のいずれかに回答された方にうかがいます。

お仕事の内容を具体的にお聞かせください。(〇は1つだけ)

1 自営業主、2 家族従業の方 (1～3の中からお選びください。)	勤め(3 全日、4 パートタイム)の方 (4～8の中からお選びください。)
1 農林漁業	4 経営・管理職
2 商工サービス業	5 専門・技術職
3 自由業	6 事務職
	7 技能・労務職
	8 販売・サービス職

(全員の方に)

F 4 お勤め先あるいは通学先はどちらですか。(○は1つだけ)

1 川崎市内(お住まいと同じ区)	2 川崎市内(お住まいと別の区)
3 横浜市	4 神奈川県内(川崎市・横浜市以外)
5 東京都(23区内)	6 東京都(23区以外)
7 その他	8 通勤・通学していない

F 5 あなたは、ふだん最寄り駅まで主にどのような交通手段をご利用になりますか。(○は1つだけ)

1 徒歩	2 自転車	3 原付
4 バイク(原付を含まない)	5 バス	6 自動車(送迎含む)

F 6 F 5で選択した交通手段を利用した場合、最寄り駅までの所要時間はおよそ何分ですか。

(○は1つだけ)

1 10分未満	2 10分以上20分未満	3 20分以上30分未満
4 30分以上40分未満	5 40分以上50分未満	6 50分以上1時間未満
7 1時間以上		

F 7 あなたがお持ちの運転免許は、次のうちどれですか。(あてはまるもの全てに○)

1 自動車	2 自動二輪	3 原付のみ	4 運転免許を持っていない
-------	--------	--------	---------------

F 8 あなたの世帯でお持ちの交通用具は、次のうちどれですか。(あてはまるもの全てに○)

1 自転車	2 原付	3 バイク(原付を含まない)
4 自動車	5 その他(具体的に: )	6 いずれもっていない

F 9 あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1 持ち家(一戸建)	2 持ち家(マンション・集合住宅等)
3 借家(一戸建)	4 借家(マンション・集合住宅等、公営住宅)
5 借家(民間アパート、間借、下宿)	6 社宅・寮・公務員住宅
7 その他	

F 10 現在、同居しているご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。(○は1つだけ)

1 1人	2 2人	3 3人	4 4人
5 5人	6 6人	7 7人以上	

F11 ご家族に中学生以下のお子さんはいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

1 いる	2 いない
------	-------

F12 65歳以上の方は同居していらっしゃいますか。(○は1つだけ)

(ご自分が65歳以上の方は1に○をつけてください。)

1 いる	2 いない
------	-------

F13 あなたが現在お住まいの区はどちらですか。(○は1つだけ)

1 川崎区	2 幸区	3 中原区	4 高津区
5 宮前区	6 多摩区	7 麻生区	

F14 あなたのお住まいの地域の様子は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1 オフィスビル、商業ビル、商店などがある地域
2 古くからの住宅が中心となっている地域
3 新しく開発された住宅地域
4 住宅と工場が混在している地域
5 まわりに田畑や山林などの緑が残されている地域
6 その他(具体的に： )

F15 町内会に加入していますか。(○は1つだけ)

1 加入している	2 加入していない
----------	-----------

最後に、川崎市の市政について、ご意見やご要望などがございましたら、どんなことでもご自由に記入してください。

以上でアンケートは終了です。  
ご協力大変ありがとうございました。